2005年次報告

世界の原子力発電開発の動向

Nuclear Power Plants In The World

2005

2005年12月31日現在

日本原子力産業協会

凡　　　　例

1）調査対象および調査方法について

⑴　原則としてグロス電気出力3万kW以上の発電炉を対象とした。

⑵　海外の電力会社および原子力関係機関を対象に実施したアンケート調査の結果に基づき集計しているが，一部関連資料も参考とした。

2）計算について

★印を付した原子炉は，グロス電気出力が3万kWより小さいもので，集計(出力，基数)から除外した。

3）発電所の状況の分類定義

⑴　運転中——原則として，営業運転開始日をもって運転中とした。

⑵　建設中——建設着工から営業運転開始までの発電所。着工日は電力会社発表の日付を基準とした。ただし，一部は工事認可発給をもって着工とみなし，また，着工年月日が明らかにされていないものについては，原子炉建屋の敷地掘削工事開始をもって建設中に入れている場合もある。なお，各種の理由から，建設を中断している発電所については★印を付すとともに，集計（出力，基数）から除外した。

⑶　休止中——各種の理由から，運転を休止している発電所については★印を付すとともに，集計（出力，基数）から除外した。

⑷　計画中——計画実現の可能性が高いもので，まだ建設工事に入っていない発電所(炉型・出力が決まっていない発電所は集計から除外した)。

⑸　閉鎖——営業運転を終了した発電所。

4）その他

⑴　国・地域名の配列および原子力発電所名の配列はアルファベット順とした。

⑵　百分率(%)表示は，四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

世界の原子力発電開発の動向

2005

日本原子力産業協会

目　　　次

Contents

J-1. 世界の原子力発電開発の現状

2005 年 12 月 31 日現在
（万 kW、グロス電気出力）

国・地域		運転中 出力	運転中 基数	建設中 出力	建設中 基数	計画中 出力	計画中 基数	合計 出力	合計 基数
1	米国	10,274.5	103					10,274.5	103
2	フランス	6,602.0	59			160.0	1	6,762.0	60
3	日本	4,822.2	54	392.3	4	1,273.5	9	6,488.0	67
4	ロシア	2,355.6	31	300.0	3	107.0	2	2,762.6	36
5	ドイツ	2,137.1	17					2,137.1	17
6	韓国	1,771.6	20	400.0	4	560.0	4	2,731.6	28
7	カナダ	1,342.3	18					1,342.3	18
8	ウクライナ	1,281.8	14	300.0	3			1,581.8	17
9	英国	1,279.3	23					1,279.3	23
10	スウェーデン	921.1	10					921.1	10
11	スペイン	788.7	9					788.7	9
12	中国	699.8	9	300.0	3	630.0	7	1,629.8	19
13	ベルギー	605.0	7					605.0	7
14	台湾	514.4	6	270.0	2			784.4	8
15	チェコ	372.2	6					372.2	6
16	スイス	337.2	5					337.2	5
17	インド	331.0	15	392.0	8			723.0	23
18	ブルガリア	288.0	4			200.0	2	488.0	6
19	フィンランド	278.0	4	170.0	1			448.0	5
20	スロバキア	264.0	6					264.0	6
21	ブラジル	200.7	2			130.9	1	331.6	3
22	南アフリカ	189.0	2			11.0	1	200.0	3
23	ハンガリー	186.6	4					186.6	4
24	リトアニア	150.0	1					150.0	1
25	メキシコ	136.4	2					136.4	2
26	アルゼンチン	100.5	2	74.5	1			175.0	3
27	スロベニア	70.7	1					70.7	1
28	ルーマニア	70.6	1	282.4	4			353.0	5
29	オランダ	48.1	1					48.1	1
30	パキスタン	46.2	2	30.0	1			76.2	3
31	アルメニア	40.8	1					40.8	1
32	イラン			229.3	2	88.0	2	317.3	4
33	インドネシア					400.0	4	400.0	4
34	カザフスタン					192.0	3	192.0	3
35	エジプト					187.2	2	187.2	2
36	イスラエル					66.4	1	66.4	1
合　計		38,505.4	439	3,140.5	36	4,006.0	39	45,651.9	514
（　）内は前年値		(37,920.7)	(434)	(2,805.2)	(33)	(3,972.3)	(38)	(44,698.2)	(505)

J-2. 地域別　世界の原子力発電開発の現状

2005 年 12 月 31 日現在
(万 kW、グロス電気出力)

国・地域		運転中		建設中		計画中		合計	
		出力	基数	出力	基数	出力	基数	出力	基数
	西　欧								
2	フランス	6,602.0	59			160.0	1	6,762.0	60
5	ドイツ	2,137.1	17					2,137.1	17
9	英国	1,279.3	23					1,279.3	23
10	スウェーデン	921.1	10					921.1	10
11	スペイン	788.7	9					788.7	9
13	ベルギー	605.0	7					605.0	7
16	スイス	337.2	5					337.2	5
19	フィンランド	278.0	4	170.0	1			448.0	5
29	オランダ	48.1	1					48.1	1
	小　計	**12,996.5**	**135**	**170.0**	**1**	**160.0**	**1**	**13,326.5**	**137**
	北　米								
1	米国	10,274.5	103					10,274.5	103
7	カナダ	1,342.3	18					1,342.3	18
	小　計	**11,616.8**	**121**	**0.0**	**0**	**0.0**	**0**	**11,616.8**	**121**
	アジア								
3	日本	4,822.2	54	392.3	4	1,273.5	9	6,488.0	67
6	韓国	1,771.6	20	400.0	4	560.0	4	2,731.6	28
12	中国	699.8	9	300.0	3	630.0	7	1,629.8	19
14	台湾	514.4	6	270.0	2			784.4	8
17	インド	331.0	15	392.0	8			723.0	23
30	パキスタン	46.2	2	30.0	1			76.2	3
33	インドネシア					400.0	4	400.0	4
	小　計	**8,185.2**	**106**	**1,784.3**	**22**	**2,863.5**	**24**	**12,833.0**	**152**
	CIS								
4	ロシア	2,355.6	31	300.0	3	107.0	2	2,762.6	36
8	ウクライナ	1,281.8	14	300.0	3			1,581.8	17
31	アルメニア	40.8	1					40.8	1
34	カザフスタン					192.0	3	192.0	3
	小　計	**3,678.2**	**46**	**600.0**	**6**	**299.0**	**5**	**4,577.2**	**57**
	東　欧								
18	ブルガリア	288.0	4			200.0	2	488.0	6
20	スロバキア	264.0	6					264.0	6
23	ハンガリー	186.6	4					186.6	4
15	チェコ	372.2	6					372.2	6
24	リトアニア	150.0	1					150.0	1
27	スロベニア	70.7	1					70.7	1
28	ルーマニア	70.6	1	282.4	4			353.0	5
	小　計	**1,402.1**	**23**	**282.4**	**4**	**200.0**	**2**	**1,884.5**	**29**
	中南米								
21	ブラジル	200.7	2			130.9	1	331.6	3
25	メキシコ	136.4	2					136.4	2
26	アルゼンチン	100.5	2	74.5	1			175.0	3
	小　計	**437.6**	**6**	**74.5**	**1**	**130.9**	**1**	**643.0**	**8**
	アフリカ								
22	南アフリカ	189.0	2			11.0	1	200.0	3
35	エジプト					187.2	2	187.2	2
	小　計	**189.0**	**2**	**0.0**	**0**	**198.2**	**3**	**387.2**	**5**
	中　東								
32	イラン			229.3	2	88.0	2	317.3	4
36	イスラエル					66.4	1	66.4	1
	小　計	**0.0**	**0**	**229.3**	**2**	**154.4**	**3**	**383.7**	**5**
	合　計 (　)内は前年値	38,505.4 (37,920.7)	439 (434)	3,140.5 (2,805.2)	36 (33)	4,006.0 (3,972.3)	39 (38)	45,651.9 (44,698.2)	514 (505)

J-3. 調査の概要

日本原子力産業協会は毎年，世界の原子力発電所の現状を「世界の原子力発電開発の動向」としてとりまとめている。今回の調査は，当協会が世界の電力会社等から得たアンケートの回答などに基づき，2005年末現在のデータを集計したものである。

* * *

――各国で原子力発電再評価の動きが強まる――

5ヵ国で6基（602万kW）が営業運転開始

2005年末現在，世界で運転中の原子力発電所は439基，合計出力は3億8,505万4,000 kW（前回：434基・3億7,920万7,000 kW）となり，運転中の合計出力は，前年を上回り過去最高となった。建設中は36基・3,140万5,000 kW（前回調査33基・2,805万2,000 kW），計画中は39基・4,006万kW（同38基・3,972万3,000 kW）となった。

2005年に新たに営業運転を開始した原子力発電所は，日本の浜岡5号機（ABWR，138万kW）と東通1号機（BWR，110万kW），韓国の蔚珍（ウルチン）6号機（PWR，100万kW），インドのタラプール4号機（PHWR，54万kW），ウクライナのフメルニツキ2号機（PWR，100万kW），ロシアのカリーニン3号機（PWR，100万kW）の6基で，うち4基がアジア地域。また2000年以降の営業運転開始基数は，合計30基（合計出力2,649万7,000 kW）に達し，地域別にみると，アジアが19基・1,372万2,000 kWで，世界全体の約52%を占めている。

アジアで7基，フィンランドで1基が着工

2005年に新たに着工したのは，韓国の新古里1，2号機（PWR，各100万kW）と新月城1，2号機（PWR，各100万kW），中国の嶺澳（リンアオ）Ⅱ期1号機（PWR，100万kW），日本の島根3号機（ABWR，137万3,000 kW），パキスタンのチャシュマ2号機（PWR，30万kW），フィンランドのオルキルオト3号機（EPR＝PWR，170万kW）の合計8基。

韓国で着工した4基は，いずれも100万kWの国産PWRである韓国標準型炉（KSNP）の改良型であるKSNP＋。なお，世界の原子力市場への進出をめざしている韓国は，KSNPの海外向け名称をOPR 1000（Optimized Power Reactor 1000）とすることを決めている。

また，中国の嶺澳Ⅱ期1号機（PWR，100万kW）で2005年12月15日，着工式が行われた。中国の嶺澳Ⅱ期原子力発電所は，第10次五ヵ年計画（2001～2005年）の柱の1つで，フランスの技術に基づく中国初の国産100万kW級PWR。運転開始は2010年12月を予定している。同サイトの嶺澳Ⅱ期2号機（同）も近く着工し，2011年8月に運転を開始する予定。

中国電力の島根3号機は，同社にとって3基目の原子力発電所で，初のABWR（改良型沸騰水型炉）。ABWRとしては，国内で5基目となる。運開すれば，中国電力の総発電設備容量に占める原子力の割合は8%から16%に，総発電電力量ベースでは11%から30%程度にまで高まる。営業運転開始は，2011年12月を予定している。

パキスタンで2005年12月28日に着工したチャシュマ2号機は，2000年9月に営業運転を開始した同1号機（PWR，32万5,000 kW）に続いて中国が供給する。着工式には，S. アジス首相のほか，供給側の中国国家原子能機構（CAEA）の孫勤主任，中国核工業集団公司（CNNC）の康日新総経理が出席。送電開始は，2011年が見込まれている。パキスタンでは，2030年までに原子力発電設備容量を880万kWに拡大する方針が打ち出されており，インダス川流域や海岸部を中心に新規建設に向けたサイト選定調査に着手している。

フィンランドのオルキルオト3号機は2005年8月12日，コンクリート打設が行われ，同機は正式に着工した。同9月12日にはP. リッポネン前首相臨席の下，セレモニーが行われた。フランスのフラ

マトムANP社が原子炉系統，ドイツのシーメンス社がタービン系統を供給し，2009年の運転開始をめざす。

送電開始，初臨界，運転再開が各1基

2005年に送電を開始したのは，日本の志賀2号機（ABWR，135万8,000 kW）。同機は，2005年4月26日に燃料装荷を開始し，同5月26日に初臨界を達成した。北陸電力としては初のABWR。（なお同機は、2006年3月15日に営業運転開始をした。）

臨界を達成したのは，ロシア製PWRを採用している中国の田湾（ティエンワン）1号機（PWR，100万kW）。同機は，2005年10月18日に燃料装荷を開始し，同12月20日に初臨界に達した。2006年10月に営業運転を開始する見通し。

運転を再開したのは，経済性の悪化などの理由によって1997年12月から休止していたカナダのピッカリングA1号機（CANDU，54万2,000 kW）。同発電所を所有・運転するオンタリオ・パワー・ジェネレーション社（OPG）は，残りの同2，3号機（同）の運転再開についても，1号機の運転再開に要した費用と工期をみて判断するとしている。

ブルガリアで2基が計画入り

新たに計画入りを果たしたのは，ブルガリアのベレネ1，2号機（PWR，各100万kW級）。欧州連合（EU）加盟を目指すブルガリア政府は2005年4月，EUから2006年までの閉鎖を要求されているコズロドイ3，4号機（VVER−440/230＝旧ソ連型PWR，各44万kW）の代替電源として，一時計画が中断されたベレネ原子力発電所の建設計画の再開を正式に承認。同5月には同発電所を所有するブルガリア電力公社（NEK）が，建設再開に向け国際入札の手続きに着手した。入札には，①ロシアのアトムストロイエクスポルト社と仏フラマトムANP社②チェコのSKODA　PRAHA社と米シティバンク，伊ウニクレディト，チェコのコメルチニ銀行——の2つのコンソーシアムが入札している模様。

南アフリカ，小型モジュール高温ガス炉（PBMR）を2007年に着工へ

南アフリカで建設が計画されているペブルベッド燃料・モジュール炉（PBMR）プロジェクトが実現に向け大きく前進した。南ア政府が所有する電力会社Eskomは2005年8月，PBMRプロジェクトについて，同プロジェクトを実施に移すための枠組みを定めた協定が出資者間で調印されたと発表した。同協定は，出資者間の関係などを定めているほか，権利や義務，参入・撤退の条件も明記している。

今回の協定調印によって同プロジェクトに対するEskomの役割も大きく変わることになった。同社は，実証炉（HTGR＝高温ガス炉，11万kW）プロジェクトならびにPBMR社に出資するにとどまり，将来的に同炉が商業化された時点で顧客として採用するかどうかを検討するとの考えを示している。実証炉は2007年にも着工し，2010年に完成する見込み。（なお，本調査では，今回の協定調印をもって正式に計画入りとした。）

ロシアが浮遊型原子力発電所の建設を決定

ロシアでは，新たに2基が計画入りし，1基が建設を再開した。このうち特に注目されるのは，中国やインドネシア，マレーシアなども関心を示していると言われている海上浮遊型原子力発電所（KLT−40S＝半一体型PWR，7万kW）。同発電所は，ロシア北西部の白海沿岸のセヴェロドヴィンスク市にあるセブマッシュ・プリドプリヤチェ造船所で着工の予定で，資金調達などが順調に進めば，4〜5年で運転を開始できるとみられている。

また，ロシア連邦原子力庁（ROSATOM）のルミャンツェフ長官（当時）が2005年2月，ロストフ（ボルゴドンスク）2号機（PWR，100万kW），バラコボ5号機（同），カリーニン4号機（同）の3基の原子力発電所を2010年までに運転開始すること

を定めた命令書に署名した。これにより，バラコボ5号機は建設再開，カリーニン4号機は再計画入りとなった。両機とも2010年の運転開始を見込んでいる。ロストフ2号機の運転開始は2008年の予定。

リトアニア・ウクライナで新規計画が具体化

リトアニアで新規原子力発電所の建設計画が浮上してきた。同国のアダムクス大統領は2005年10月，国内における原子力発電利用を堅持するとともに，3基目の原子力発電所の建設に早急に着手する必要があると語った。一方，ブラザウスカス首相は2004年末に閉鎖されたイグナリナ1号機（LWGR，150万kW）の代替電源として，新規原子力発電所の建設に関する実行可能性調査を開始したことを明らかにした。2006年初めにも基礎的調査を終え，2015～2017年の運転開始をめざすとしている。

ロシアからの天然ガスの供給停止に直面したウクライナでも，新規原子力発電所の建設計画が持ち上がっている。エネルゴアトムのネダシュコフスキ総裁は2005年6月，議会のヒアリングの場で，2008年から100～150万kW級の新規原子力発電所の建設に着手する意向を示すとともに，炉型の選定などで国際入札を行う方針を明らかにした。ウクライナは，2030年までにベースロード電源としての原子力発電設備容量を現在の約1,200万kWから2,000万kWに拡大することを計画している。

米国では2020年までに600万kW新設の見通し，カナダでも新規計画が浮上

米国では2005年8月の「2005年エネルギー政策法」の成立を受け，絶えて久しい原子力発電所の建設がいよいよ具体化してきた。エネルギーの安定供給に向けて，同法に新規原子力発電所の建設を政府が後押しするリスク保証や発電税の減税措置などが盛り込まれたことを受け，電力会社が中心となって設立されたコンソーシアムの間で先陣争いが活発化してきている。

原子力発電所の建設・運転一体認可（COL）の実証を目的に設立されたNuStartエナジー・デベロップメントは2005年9月，ウェスチングハウス社（WH）のAP 1000（PWR）とゼネラル・エレクトリック社（GE）のESBWRのモデル・サイトとして，それぞれテネシー峡谷開発公社（TVA）のベルフォンテ・サイト（アラバマ州）とエンタジー・ニュークリア社のグランドガルフ・サイト（ミシシッピー州）を選定した。

NuStartは今後，ベルフォンテへのAP 1000，グランドガルフへのESBWRの建設に向けた詳細エンジニアリング作業と環境影響評価を行い，2007年末か2008年初頭にも原子力規制委員会（NRC）に対してCOLを申請する予定。NRCによる審査には2年程度を要するため，最初のCOLの発給は2010年頃になる見通し。今回，選定されたサイトに原子力発電所が建設されるかどうかはまだ白紙の状態だが，早ければ2014年頃にも新規の原子力発電所が運転を開始するとみられている。NuStart以外にも，フランスのAREVA社が参加したコンソーシアムであるユニスター・ニュークリアや各原子力発電事業者が単独でCOLの取得をめざした動きを進めている。

こうした動きを受け，米エネルギー省（DOE）のエネルギー情報局は2005年12月に公表した「2006年版長期エネルギー見通し」（～2030年）の中で，「2014年から2020年にかけて合計で600万kWの原子力発電所が新たに着工され，既存の原子力発電所の出力増強（約300万kW）と合わせて2030年の米国の原子力発電設備容量は900万kW増加する」と予測している。

2009年にすべての石炭火力発電所を閉鎖することになっているカナダのオンタリオ州では2005年12月，オンタリオ州電力庁（OPA）によって，再生可能エネルギーの拡大と原子力発電シェアの維持を柱とした「電源ミックス報告書」がエネルギー大臣に提出された。それによると，オンタリオ州にお

ける2025年時点の原子力発電シェアを維持するため，原子力発電所の新規建設が勧告されている。

報告書は原子力発電について，環境影響や発電コストの点からみても理想的なベースロード電源と位置づけており，2025年時点の原子力発電電力量を890億kWh，総発電電力量に占める割合（シェア）を50%，原子力発電設備容量を1,500万kWに維持するため，運転期間延長を目的とした既存の原子力発電所の改修やリプレイス，または新規サイトへの原子力発電所の建設を勧告している。

イランが新規原子力発電所で国際入札へ

イランでは，ペルシャ湾に面する同国南西部のフゼスタン州（Khuzestan）か現在1，2号機の建設が進められているブシェール・サイトに，2基の100万kW級PWRを建設する計画が新たに浮上してきた。同国原子力庁（AEOI）は，当協会のアンケート調査に対して，イラン政府が今後20年間で原子力発電設備容量を2,000万kWに拡大する方針を承認し，新たに100万kW級の原子力発電所2基を建設するための国際入札の準備を開始した，と回答した。またAEOIは，炉型については明らかにしていないものの，出力36万kWの原子力発電所を国産技術で設計，建設する計画がスタートしたことも明らかにしている。

欧州各国で脱原発政策見直しの気運

今回の調査で閉鎖を確認したのは，ドイツのオブリッヒハイム原子力発電所（PWR，35万7,000kW＝2005年5月11日閉鎖）とスウェーデンのバーセベック2号機（BWR，61万5,000kW＝同5月31日閉鎖）の2基で，いずれも両国の脱原子力政策に沿ったもの。

そうした脱原子力を進めるスウェーデンとドイツでも，脱原子力政策の見直しの気運が高まってきた。政府によってバーセベック2号機が閉鎖されたスウェーデンでは，反原子力の姿勢を堅持してきた野党中央党のオロフソン党首が「運転中の原子力発電所は安全性に問題がない限り運転を継続すべき」などと発言，同党の脱原子力政策の転換を示唆している。

ドイツでは，2005年9月の総選挙を受けて発足したキリスト教民主・社会同盟（CDU/CSU）と社会民主党（SPD）の大連立政権が，現行の脱原発政策の維持で合意した。しかし，グロス連邦経済技術相は2006年1月，ロシアによるウクライナへの天然ガスの供給停止を受け，ドイツの長期的なエネルギー安定供給を抜本的に再考する必要があると指摘した上で，2006年3月に予定されているエネルギー政策に関するナショナル・サミットでは，現行の脱原子力政策の見直しが中心課題になるとの見通しを示した。

また，最後の原子力発電所が1990年6月に閉鎖されたイタリアでは，フランスのフラマンビル3号機（EPR，160万kW）の建設計画への参加に加えて，国内での原子力発電所の新設が話題にのぼるようになってきた。ベルルスコーニ首相は2005年1月，イタリアは原子力発電オプションを放棄すべきではないとの見解を表明するとともに，2006年の総選挙で再選されれば原子力発電に関する議論を再開することもありうると指摘，脱原子力政策を転換する可能性を示唆している。

さらに，オランダ政府は2006年1月10日，国内で唯一運転中のボルセラ原子力発電所（PWR，48万1,000kW）の運転期間延長（20年）を認可し，運転開始から60年目にあたる2033年12月まで運転を継続すると発表，事実上，脱原子力政策を撤回した。

英国でエネルギー政策の策定がスタート

英国のブレア首相は2005年11月29日，英産業連盟の年次会合の場で，2003年2月に公表したエネルギー白書（政策）に盛り込まれていた目標の達成に向けてどの程度の進展があったかについて検討を開始することを明らかにした。ブレア首相は，英

国の電力の30% 以上を供給している原子力発電所と石炭火力発電所が2020年頃までには閉鎖されるとの見通しを示したうえで，「1つのエネルギーに依存するのではなく，エネルギーの多様化をめざすことになろう」と語った。

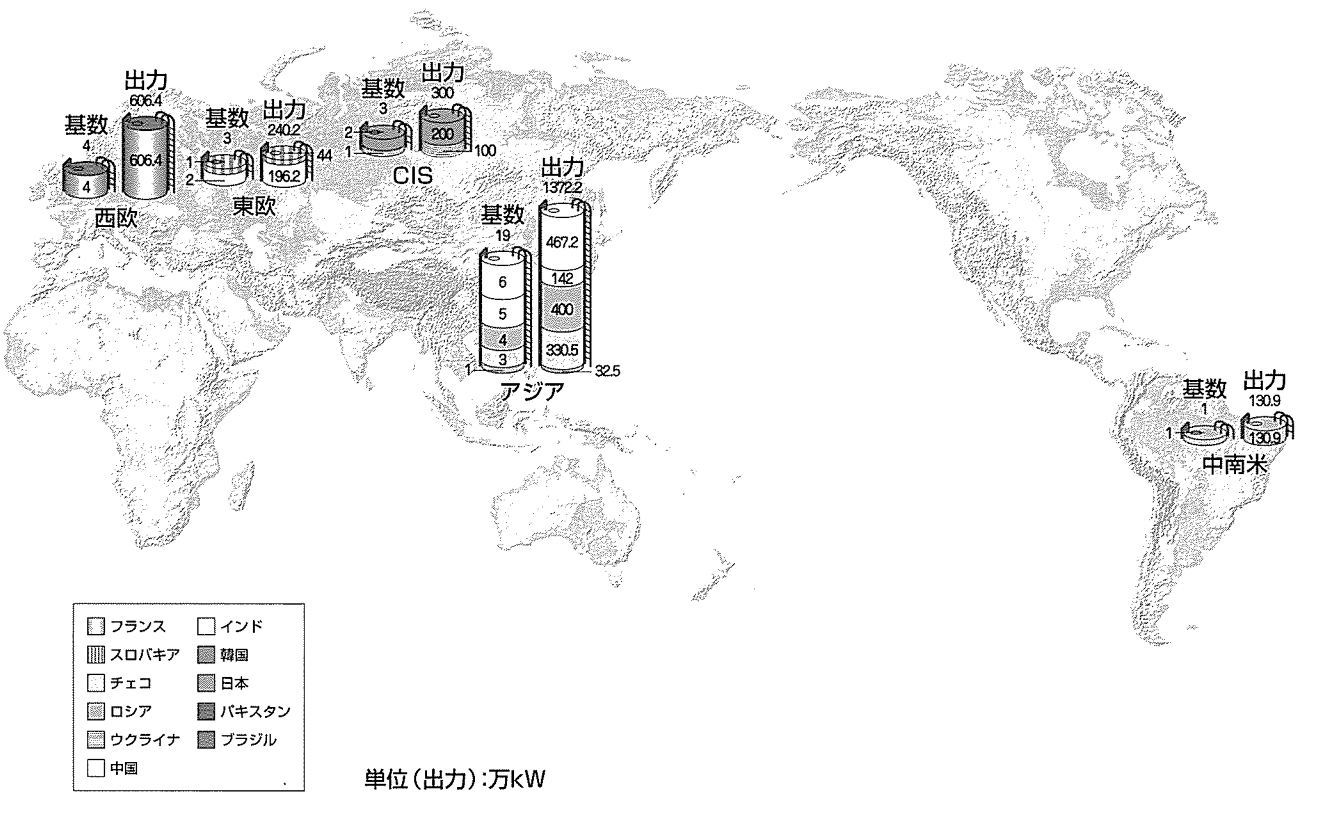
わずか3年足らずで見直されることになったエネルギー政策の中心課題が原子力発電の扱いになることは確実。公式の場では原子力発電支持を表明していないものの，ブレア首相が原子力発電に肩入れしていることは良く知られており，新しい政策でも首相のそうした考えが盛り込まれるのではとの見方が強い。

オーストラリアで原子力発電導入の議論浮上

世界有数のウランの生産国であるオーストラリアでも，閣僚の間から原子力発電の導入に関する議論が沸きあがってきた。ネルソン連邦教育・科学・職業訓練大臣とマクファーレン連邦産業・観光・資源大臣は2005年11月，原子力発電所の国内への導入に関して，地質や環境，社会科学的な側面から調査を実施するようハワード首相に要請した。

こうした政府内での動きに歩調を合わせるかのように，産業界でも原子力発電の導入に関する議論が浮上してきた。政府の政策決定に大きな影響力を持つと言われているオーストラリア商工会議所は2005年8月，国内のエネルギー需要をまかなうための手段として原子力発電の導入を真剣に検討するよう連邦政府に要請した。

地域別にみた新規運転開始基数と出力（2000年～）



2005年の主な動き

営業運転開始	日本	浜岡5号機	(ABWR，138万kW)	1月18日
	韓国	蔚珍6号機	(PWR，100万kW)	4月22日
	インド	タラプール4号機	(PHWR，54万kW)	9月12日
	ウクライナ	フメルニツキ2号機	(PWR，100万kW)	9月 7日
	ロシア	カリーニン3号機	(PWR，100万kW)	11月 8日
	日本	東通1号機	(BWR，110万kW)	12月 8日
	5カ国 6基・602万kW			
送電開始	日本	*志賀2号機	(ABWR，135万8,000 kW)	7月 4日
				*2006年3月15日，営業運転開始
初臨界	中国	田湾1号機	(PWR，100万kW)	12月20日
着工	韓国	新古里1,2号機	(PWR，各100万kW)	1月
	フィンランド	オルキルオト3号機	(PWR，170万kW)	8月12日
	韓国	新月城1,2号機	(PWR，各100万kW)	10月
	中国	嶺澳Ⅱ期1号機	(PWR，100万kW)	12月15日
	日本	島根3号機	(ABWR，137万3,000 kW)	12月22日
	パキスタン	チャシュマ2号機	(PWR，30万kW)	12月28日
	5カ国 8基・837万3,000 kW			
計画入り	ブルガリア	ベレネ1,2号機	(PWR，各100万kW級)	4月 7日
	ロシア	カリーニン4号機	(PWR，100万kW)	2月 8日
	南アフリカ	PBMR実証炉	(HTGR，11万kW)	8月24日
	ロシア	海上浮遊型原子力発電所	(KLT-40 S＝半一体型PWR，7万kW)	9月 8日
	3カ国 5基・318万kW			
営業運転再開	カナダ	ピッカリング1-(A)号機	(CANDU，54万2,000 kW)	11月 3日
建設再開	ロシア	バラコボ5号機	(PWR，100万kW)	2月 8日
閉鎖	ドイツ	オブリッヒハイム原子力発電所	(PWR，35万7,000 kW)	5月11日
	スウェーデン	バーセベック2号機	(BWR，61万5,000 kW)	5月31日
	2カ国 2基・97万2,000 kW			

E-1. Generating Capacity of Nuclear Power Plants in the World

As of December 31, 2005
(Gross Output)

Country・Region		In Operation		Under Construction		Planned		Total	
		×10 MW	Units	×10 MW	Units	×10 MW	Units	×10 MW	Units
1	U.S.A.	10,274.5	103					10,274.5	103
2	France	6,602.0	59			160.0	1	6,762.0	60
3	Japan	4,822.2	54	392.3	4	1,273.5	9	6,488.0	67
4	Russia	2,355.6	31	300.0	3	107.0	2	2,762.6	36
5	Germany	2,137.1	17					2,137.1	17
6	Republic of Korea	1,771.6	20	400.0	4	560.0	4	2,731.6	28
7	Canada	1,342.3	18					1,342.3	18
8	Ukraine	1,281.8	14	300.0	3			1,581.8	17
9	United Kingdom	1,279.3	23					1,279.3	23
10	Sweden	921.1	10					921.1	10
11	Spain	788.7	9					788.7	9
12	China	699.8	9	300.0	3	630.0	7	1,629.8	19
13	Belgium	605.0	7					605.0	7
14	Taiwan	514.4	6	270.0	2			784.4	8
15	Czech Republic	372.2	6					372.2	6
16	Switzerland	337.2	5					337.2	5
17	India	331.0	15	392.0	8			723.0	23
18	Bulgaria	288.0	4			200.0	2	488.0	6
19	Finland	278.0	4	170.0	1			448.0	5
20	Slovak Republic	264.0	6					264.0	6
21	Brazil	200.7	2			130.9	1	331.6	3
22	South Africa	189.0	2			11.0	1	200.0	3
23	Hungary	186.6	4					186.6	4
24	Lithuania	150.0	1					150.0	1
25	Mexico	136.4	2					136.4	2
26	Argentina	100.5	2	74.5	1			175.0	3
27	Slovenia	70.7	1					70.7	1
28	Romania	70.6	1	282.4	4			353.0	5
29	Netherlands	48.1	1					48.1	1
30	Pakistan	46.2	2	30.0	1			76.2	3
31	Armenia	40.8	1					40.8	1
32	Iran			229.3	2	88.0	2	317.3	4
33	Indonesia					400.0	4	400.0	4
34	Kazakhstan					192.0	3	192.0	3
35	Egypt					187.2	2	187.2	2
36	Israel					66.4	1	66.4	1
Total		38,505.4	439	3,140.5	36	4,006.0	39	45,651.9	514
(previous year)		(37,920.7)	(434)	(2,805.2)	(33)	(3,972.3)	(38)	(44,698.2)	(505)

E-2. Generating Capacity of Nuclear Power Plants by Region

As of December 31, 2005
(Gross Output)

	Country・Region	In Operation ×10 MW	In Operation Units	Under Construction ×10 MW	Under Construction Units	Planned ×10 MW	Planned Units	Total ×10 MW	Total Units
	Western Europe								
2	France	6,602.0	59			160.0	1	6,762.0	60
5	Germany	2,137.1	17					2,137.1	17
9	United Kingdom	1,279.3	23					1,279.3	23
10	Sweden	921.1	10					921.1	10
11	Spain	788.7	9					788.7	9
13	Belgium	605.0	7					605.0	7
16	Switzerland	337.2	5					337.2	5
19	Finland	278.0	4	170.0	1			448.0	5
29	Netherlands	48.1	1					48.1	1
	subtotal	**12,996.5**	**135**	**170.0**	**1**	**160.0**	**1**	**13,326.5**	**137**
	North America								
1	U.S.A.	10,274.5	103					10,274.5	103
7	Canada	1,342.3	18					1,342.3	18
	subtotal	**11,616.8**	**121**	**0.0**	**0**	**0.0**	**0**	**11,616.8**	**121**
	Asia								
3	Japan	4,822.2	54	392.3	4	1,273.5	9	6,488.0	67
6	Republic of Korea	1,771.6	20	400.0	4	560.0	4	2,731.6	28
12	China	699.8	9	300.0	3	630.0	7	1,629.8	19
14	Taiwan	514.4	6	270.0	2			784.4	8
17	India	331.0	15	392.0	8			723.0	23
30	Pakistan	46.2	2	30.0	1			76.2	3
33	Indonesia					400.0	4	400.0	4
	subtotal	**8,185.2**	**106**	**1,784.3**	**22**	**2,863.5**	**24**	**12,833.0**	**152**
	Ex-Soviet Union								
4	Russia	2,355.6	31	300.0	3	107.0	2	2,762.6	36
8	Ukraine	1,281.8	14	300.0	3			1,581.8	17
31	Armenia	40.8	1					40.8	1
34	Kazakhstan					192.0	3	192.0	3
	subtotal	**3,678.2**	**46**	**600.0**	**6**	**299.0**	**5**	**4,577.2**	**57**
	Eastern Europe								
18	Bulgaria	288.0	4			200.0	2	488.0	6
20	Slovak Republic	264.0	6					264.0	6
23	Hungary	186.6	4					186.6	4
15	Czech Republic	372.2	6					372.2	6
24	Lithuania	150.0	1					150.0	1
27	Slovenia	70.7	1					70.7	1
28	Romania	70.6	1	282.4	4			353.0	5
	subtotal	**1,402.1**	**23**	**282.4**	**4**	**200.0**	**2**	**1,884.5**	**29**
	Latin America								
21	Brazil	200.7	2			130.9	1	331.6	3
25	Mexico	136.4	2					136.4	2
26	Argentina	100.5	2	74.5	1			175.0	3
	subtotal	**437.6**	**6**	**74.5**	**1**	**130.9**	**1**	**643.0**	**8**
	Africa								
22	South Africa	189.0	2			11.0	1	200.0	3
35	Egypt					187.2	2	187.2	2
	subtotal	**189.0**	**2**	**0.0**	**0**	**198.2**	**3**	**387.2**	**5**
	Middle East								
32	Iran			229.3	2	88.0	2	317.3	4
36	Israel					66.4	1	66.4	1
	subtotal	**0.0**	**0**	**229.3**	**2**	**154.4**	**3**	**383.7**	**5**
	Total	38,505.4	439	3,140.5	36	4,006.0	39	45,651.9	514
	(previous year)	(37,920.7)	(434)	(2,805.2)	(33)	(3,972.3)	(38)	(44,698.2)	(505)

E-3. Research Overview

Annually, the Japan Atomic Industrial Forum, Inc. (JAIF) releases a report, entitled "NPPs in the World," tracking the status of nuclear power plants worldwide. The most recent survey was based on a questionnaire received by JAIF from electric power companies and other nuclear organizations around the world, and illustrates the situation as of December 31, 2005.

*　　*　　*

—Growing Trend Toward Reevaluating, Reconsidering Nuclear Power—

Six New Units (6,020 MW) Start Commercial Operation in Five Countries

As of the end of 2005, there were 439 NPPs in operation worldwide, bringing total generation capacity to 385,054 MW (compared with 434 units and 379,207 MW at the end of 2004), exceeding that of the previous year and registering a record high. There were 36 reactors under construction, with a capacity of 31,405 MW (33 units, 28,052 MW), and 39 more in the planning stages, with a capacity of 40,060 MW (38 units, 39,723 MW).

Six NPPs worldwide, four of them in Asia, began commercial operation in 2005: Japan's Hamaoka-5 (ABWR, 1,380 MW) and Higashidori-1 (BWR, 1,100 MW), Korea's Ulchin-6 (PWR, 1,000 MW), India's Tarapur-TAPS-4 (PHWR, 540 MW), Ukraine's Khmelnitski-2 (PWR, 1,000 MW), and Russia's Kalinin-3 (PWR, 1,000 MW). Since 2000 (inclusive), a total of 30 units have entered service, representing 26,497 MW of capacity. 19 of those 30 units are in Asia, and, with a total capacity of 13,722 MW, account for about 52% of the world's newest nuclear generation.

Construction Begins on 7 Units in Asia, 1 Unit in Finland

Construction began on eight NPPs in 2005: Korea's Shin-Kori-1 and-2 (PWRs, 1,000 MW each) and Wolsong-1 and-2 (PWRs, 1,000 MW each), China's Lingao-II-1 (PWR, 1,000 MW), Japan's Shimane-3 (ABWR, 1,373 MW), Pakistan's Chashma-2 (PWR, 300 MW), and Finland's Olkiluoto-3 (EPR =PWR, 1,700 MW).

The four units in Korea were advanced models (KSNP+) of the Korean Standard Nuclear Plant (KSNP), a domestic 1,000 MW-Class PWRs. With a view toward expanding its presence in the global nuclear market, Korea calls the newer model the OPR1000 (Optimized Power Reactor 1000) internationally.

On December 15, 2005, a groundbreaking ceremony was held for the Lingao-II-1 in China. Lingao-II is a key pillar of the 10th five-year program (2001-2005), and is China's first domestic 1,000-MW PWR, based on French technology. Commercial operation is scheduled for December 2010. Construction of Lingao-II-2 (PWR, 1,000 MW) is expected to begin soon, with the aim of commercial operation in August 2011.

The Shimane-3 of the Chugoku Electric Power Co. will be the company's third nuclear plant, its first ABWR (advanced boiling water reactor), and the fifth ABWR in Japan. When the unit is commissioned, Chugoku Electric Power's nuclear generating capacity will increase from 8% to 16% of its total generating capacity, and total generated electricity will go from 11% to 30% nuclear. Commercial operation is expected in December 2011.

Pakistan's Chashma-2, construction of which was launched on December 28, 2005, will be provided by China, as was Chashma-1 (PWR, 325 MW), commissioned in September 2000. The concrete pouring ceremony was attended by Chairman Sun Qin of the China Atomic Energy Authority (CAEA) and President Kang Rixin of the China National Nuclear Corporation (CNNC), along with Pakistan Prime Minister Shaukat Aziz. Unit 2 is expected to be connected to the grid in 2011. The Country's policy is to expand nuclear capacity to 8,800 MW by 2030, and Pakistan has commenced investigations toward the selection of sites for new reactors, mainly along the Indus River and in the coastal area.

The Construction of Finland's Olkiluoto-3 was officially launched on August 12, 2005, with the pouring of concrete at the site. On September 12, a ceremony of foundation stone was held and attended by former Finnish Prime Minister Paavo Lipponen. The French Framatom ANP and German Siemens AG will provide reactor systems and turbine systems, respectively, with a target for commercial operation in 2009.

One Unit Connected to the Grid, One Reaching Criticality and One Returning to Service

In 2005, Japan's Shika-2 (ABWR, 1,358 MW) was connected to the grid. The loading of fuel had commenced on April 26, 2005, and on May 26, the unit reached first criticality. Commercial operation has already started since March 15, 2006. The unit is the Hokuriku Electric Power Co.'s first ABWR.

China's Tianwan-1 (PWR, 1,000 MW), based on a Russian design, reached first criticality on December 20, 2005, after fuel loading commenced on October 18. It is expected to start commercial operation in October, 2006.

Operation was resumed at the Pickering A-1 (CANDU, 542 MW) in Canada which had been suspended since December 1997, in part due to its worsened economic efficiency. The restarting of Pickering A-2 and-3 (CANDU, 542 MW each), owned and operated by Ontario Power Generation (OPG), will be decided after a review of the cost and time required to restart Unit 1.

Two Units Now Being Planned in Bulgaria

Two new units —the Belene-1 and-2 (PWRs, 1,000 MW class each) —are being planned in Bulgaria. In April 2005, the Bulgarian government, desiring to join the European Union (EU), officially approved the resumption of planning (which had been suspended) for the Belene NPPs, to replace the Kozloduy-3 and-4 (VVER-440/230=Soviet-designed PWRs, 440 MW each), which the EU insisted on the closure of both by 2006. In May 2005, the National Electric Company (NEK), the owner of Belene, commenced international bidding procedures toward the re-launch of construction. Two consortiums — Atomstroiexport of Russia and Framatom ANP of France; and Skoda Praha of the Czech Republic, Citibank of the U.S., UniCredit of Italy and Komercni Banka of the Czech Republic — appear to make bit.

South Africa to Launch Pebble Bed Modular Reactor (PBMR) in 2007

The project to construct the pebble bed modular reactor (PBMR) being planned in South Africa took a large step forward. In August 2005, a government-owned electric power company, Eskom, announced that an agreement providing a framework for carrying out the PBMR project was signed by the investors. The agreement stipulates relationships among the investors, rights and obligations, conditions for participating in and withdrawing from the project, etc.

By conclusion of the agreement, the role of Eskom in the project is substantially changed. It will now be involved only in financing a project to construct a demonstration reactor (HTGR, 110 MW), and be an investor in PBMR Ltd. In the future, when the PBMR is commercialized, Eskom will consider whether or not to adopt it. (In this survey, it is classified as "being planned" by the signature of this agreement.)

Russia Plans to Construct Floating NPP

In Russia, two new units are being planned, and the construction of one unit is to be resumed. Of particular note is that one will be an ocean-based "floating NPP" (KLT-40 S=PWR, 70 MW), something China, Indonesia and Malaysia are also said to be interested in. It will be constructed at a shipyard in Severodvinsk, on the White Sea, in northwestern Russia. If financing and other matters go well, the unit could be operating in four or five years.

In February 2005, Alexander Rumyantsev, then head of Russia's federal atomic energy agency (ROSATOM), signed an order calling for the start of operation of three NPPs — the Rostov (Volgodonsk)-2, the Balakovo-5, and the Kalinin-4 (PWRs, 1,000 MW each) — by 2010. As a result, construction of Balakovo-5 will be resumed, and Kalinin-4 will be included in the national plan again. The two units are expected to start commercial operation in 2010. Operation of Rostov-2 is scheduled for 2008.

New Programs Firming Up in Lithuania and Ukraine

A Lithuanian plan to construct a new NPP has emerged. In October 2005, Lithuanian President Valdas Adamuks, holding fast to the use of nuclear power in that country, said there was a need to begin construction of a third NPP as soon as possible. At the same time, Prime Minister Algirdas Brazauskas announced that Lithuania had begun an investigation into the feasibility of building a new NPP as a substitute power source for the Ignalina-1 (LWGR, 1,500 MW), shut down at the end of 2004. A basic investigation will be completed early in 2006. The aim is for a start of operation between 2015 and 2017.

In Ukraine, which must deal with suspended natural gas supplies from Russia, there is a plan to construct a new NPP. At a hearing in Congress in June 2005, Ukraine Energoatom's President Yuriy Nedashkovsky expressed his intention to start construction of a 1,000-to-1,500-MW-class NPP in 2008, and to invite international bidding as part of selection of the reactor type, etc. The Ukraine plans to expand its installed nuclear capacity from the current 12,000 MW to 20,000 MW as a baseload power source by 2030.

U.S. Sees 6,000 MW More Nuclear Capacity by 2020; New Plan Coming Out in Canada, Too

In the United States, with passage of the "Energy Policy Act of 2005" in August 2005, the construction of new NPPs has become realistic again after a long time. To ensure a stable supply of energy, the act includes risk liability provisions and tax breaks for power generation, thus encouraging the construction of new reactor units. Competition among consortiums formed around electric power companies is heating up as each looks to be the first rider in the charge.

Established to demonstrate the combined construction/operating license (COL) for NPPs, NuStart Energy Development LLC consortium announced in September 2005 the sites for two reactor models — Westinghouse's AP1000 (PWR) and General Electric's ESBWR — respectively, the Tennessee Valley Authority's Bellefonte site in Alabama, and Entergy's Grand Gulf site in Mississippi.

NuStart will carry out detailed engineering work and prepare environmental impact statements toward construction of the AP1000 at Bellefonte and the ESBWR at Grand Gulf, and file COL applications with the Nuclear Regulatory Commission (NRC) either at the end of 2007 or early in 2008. It will take some two years for the NRC to review the applications; the first COL is thus likely to be granted around 2010. Although the slate is still blank as to whether either NPP will actually be built at its selected site, if so, a new reactor could start operating as early as 2014. Apart from NuStart, UniStar Nuclear Consortium (in which France's AREVA participates) and individual nuclear power companies are also working toward COL applications.

In these circumstances, in the "Annual Energy Outlook 2006 with Projections to 2030" announced in December 2005, the Energy Information Administration of the Department of Energy (DOE) projects: "From 2014 to 2020, the construction of new nuclear plants generating a total of 6,000 MW of electricity will be launched, and, combined with power uprates at existing plants (about 3,000 MW), nuclear generating capacity nationally will be higher by 9,000 MW in 2030."

In Canada, where all coal-fired thermal power plants in the province of Ontario will be closed in 2009, the Ontario Power Authority (OPA) submitted a "Supply Mix Advice Report" to the Minister of Energy, focusing on the expansion of renewable energies and maintaining the nuclear generation share. The report recommends that new nuclear plants be built in order to maintain the current share to 2025.

Categorizing nuclear power generation as an ideal baseload power source in respect of its environmental impact and generation cost, the report recommends that existing nuclear power plants be improved for the purpose of extending their operational lives, or replaced, or that nuclear reactors be newly constructed, so as to maintain nuclear generated electricity at 89 TWh and the nuclear share of total generated electricity at 50%, with total installed nuclear capacity of 15,000 MW in 2025.

Iran to Invite International Bidding for New NPPs

Iran has a new plan to construct two 1,000 MW-class PWRs at the Khuzestan province, in the southwest on the Persian Gulf, or at the Bushehr site where the Bushehr-1 and -2 are already under construction. In response to JAIF's questionnaire, the Atomic Energy Organization of Iran (AEOI) said that the Iranian government approved a policy of expanding nuclear installed capacity to 20,000 MW over the next 20 years, and that it commenced preparation for international bidding toward the construction of two 1,000-MW class nuclear reactors. AEOI also revealed that planning had begun to design and build a 360-MW class nuclear plant using domestic technology, although it did not discuss the reactor type.

Decisions in Europe Away from Nuclear Power Now Getting Second Looks

The current JAIF survey has confirmed the closure of two reactors: Obrigheim (PWR, 357 MW; closed on May 11, 2005) in Germany, and Barseback-2 (BWR, 615 MW; closed on May 31, 2005) in Sweden. Both were based on the national political decisions to move away from nuclear power.

Yet even in those two countries, where the nuclear phase-out is well under way, there are growing moves to review such policies. In Sweden, where Barseback-2 was closed by the government, Mrs. Maud Olofsson, head of the opposition Centre Party and who has adhered to an anti-nuclear line, said: "Operation of existing nuclear power plants should be continued unless there is an safety issue" — indicating a policy change by the party.

In Germany, the grand coalition between the Christian Democratic Union/the Christian Social Union (CDU/CSU) and the Social Democratic Party (SPD) formed following the general election in September 2005 agreed on maintaining the current policy of phasing out nuclear power. In January 2006, however, Michael Glos, Federal Minister of Economics and Technology, pointed out the need to fundamentally reconsider the long-term stable energy supply in Germany — after Russia had suspended the flow of natural gas to the Ukraine — and said the review of current phase-out policy would be the main issue at the national summit on energy policy scheduled in March 2006.

In Italy, the last nuclear power plant was closed in June 1990. The country will, however, participate in the construction of Flamanville-3 (EPR, 1,600 MW) in France, and there have been voices raised on building new nuclear power plants domestically. In January 2005, Prime Minister Silvio Berlusconi expressed his view that Italy should not give up the nuclear power option, and noted the possibility of restarting discussions on nuclear power generation if he is returned to office in the upcoming general election in 2006 — indicating a possible change in the nation's phase-out policy.

In the Netherlands, following a 20-year extension of the approved operating license for the Borssele (PWR, 481 MW), the sole nuclear reactor in operation in that country, the government on January 10, 2006, announced that the unit will continue in service until December 2033, the 60th year since its start of operation. The government has virtually withdrawn its policy of moving the nation out of nuclear power.

Issuance of Energy Policy Commences in England

On November 29, 2005, British Prime Minister Tony Blair announced at an annual conference of the Confederation of British Industry that the government would commence a look into how much progress has been made toward achieving the goals set out in the energy white paper (policy paper) released in February 2003. Facing the prospect that nuclear and coal-fired power plants supplying more than 30% of the nation's electricity would be closed by around 2020, Prime Minister Blair said, "The nation must endeavor to diversify energy sources, rather than depend on any single energy source."

It is certain that the stance on nuclear power will be the focus of the energy policy, which, as it turns out, is under review within a period of only three years. Although Prime Minister Blair never officially stated that he supports nuclear power, it is well known that he favors its inclusion, and there is strong opinion that his position will be incorporated into the new policy.

Pro-Nuclear Arguments Emerge in Australia

In Australia, the world's leading uranium producer, arguments supporting the introduction of nuclear power are being aired by cabinet members. In November 2005, Brendan Nelson, Minister of Education, Science and Training, and Ian Macfarlane, Minister of Industry, Tourism and Resources, requested that Prime Minister John Howard conduct an investigation in respect of geology, environment, and science and technology, toward the introduction of nuclear power plants domestically.

Seemingly in parallel with this move within the administration, a discussion on the same issue is taking place among those in industry. In August 2005, the Australian Chamber of Commerce, which is said to have influence on decisions by the government, asked the federal government to seriously consider the introduction of nuclear power as a means to meet domestic energy demand.

New Developments in 2005

New Nuclear Power Plants in 2005 (Commercial Operation Began)

Japan	Hamaoka-5 (ABWR, 1,380 MW)	January 18
South Korea	Ulchin-6 (PWR, 1,000 MW)	April 22
India	Tarapur-4 (PHWR, 540 MW)	September 12
Ukraine	Khmelnitski-2 (PWR, 1,000 MW)	September 7
Russia	Kalinin-3 (PWR, 1,000 MW)	November 8
Japan	Higashidori-1 (BWR, 1,100 MW)	December 8

5 countries, 6 Units, 6,020 MW in total

Grid Connection

Japan	*Shika-2 (ABWR, 1,358 MW)	July 4
	*Commercial operation has started since March 15, 2006.	

First Criticality

China	Tianwan-1 (PWR, 1,000 MW)	December 20

Construction Began

South Korea	Shin-Kori-1, 2 (PWR, 1,000 MW each)	January
Finland	Olkiluoto-3 (PWR, 1,700 MW)	August 12
South Korea	Shin-Wolsong-1, 2 (PWR, 1,000 MW each)	October
China	Lingao-II-1 (PWR, 1,000 MW)	December 15
Japan	Shimane-3 (ABWR, 1,373 MW)	December 22
Pakistan	Chashma-2 (PWR, 300 MW)	December 28

5 countries, 8 Units, 8,373 MW in total

Newly Planned

Bulgaria	Belene-1, 2 (PWR, 1,000 MW each)	April 7
Russia	Kalinin-4 (PWR, 1,000 MW)	February 8
South Africa	Demonstration Pebble Bed Modular Reactor (HTGR, 110 MW)	August 24
Russia	Floating Nuclear Power Plant (KLT-40 S, 70 MW)	September 8

3 countries, 5 Units, 3,180 MW in total

Return of Commercial Operation

Canada	Pickering-1 (A) (CANDU, 542 MW)	November 3

Construction Restarted

Russia	Balakovo-5 (PWR, 1,000 MW)	February 8

Closed Down

Germany	Obrigheim (PWR, 357 MW)	May 11
Sweden	Barseback-2 (BWR, 615 MW)	May 31

2 countries, 2 Units, 972 MW in total

J-4. 世界の主な動き

日　本

東北電力の東通1号機が12月8日に営業運転開始

東北電力が青森県東通村で建設中の東通1号機（BWR，110万kW）が2005年12月8日，営業運転を開始した。同機は，青森県としては初の原子力発電所で，同1月に運転を開始した中部電力の浜岡5号機（ABWR，138万kW）に続くわが国54基目の原子力発電所。同機の運開により，東北電力の原子力発電設備容量は，4基・327万4,000 kWに達し，総発電設備の約20%，総発電電力量ベースでは約30%にまで高まる。

東通1号機は1996年7月，電源開発調整審議会（当時）に上程された後，1998年12月に着工した。そして2005年1月24日に初臨界に達した後，順調に試運転を続け，同3月9日には送電を開始した。なお，着工準備中の同2号機（ABWR，138万5,000 kW）は，2012年度以降の着工，2017年度以降の運転開始を予定している。

志賀2号機，送電開始

北陸電力の志賀2号機（ABWR，135万8,000 kW）で2005年7月4日，発電機を送電系統に初めて連系する初併入が行なわれ，試運転段階での発電を開始した。今後は電気出力20%段階での試験を経て，順次出力を上昇させ各出力段階での各種試験・検査を行う。同機は同4月26日，燃料装荷作業を開始，5月26日には初臨界を達成していた。営業運転開始は，2006年3月の予定。

志賀2号機は，1997年に電源開発調整審議会（当時）に上程された後，1999年8月に着工した。北陸電力としては初のABWR（改良型沸騰水型炉）で，国内では2005年1月18日に営業運転を開始した浜岡5号機（138万kW）に続く4基目のABWR。運開すれば，単機容量では浜岡5号機に次ぐ国内で2番目の出力となる。

志賀2号機，送電線接続

島根3号機が着工

中国電力の島根3号機（ABWR，137万3,000 kW）が2005年12月22日に着工した。経済産業省原子力安全・保安院が同日，工事計画を認可したのを受けたもので，同社は引き続き，敷地造成などの準備工事を進め，2006年12月の本工事（原子炉建屋の基礎掘削）をめざす。

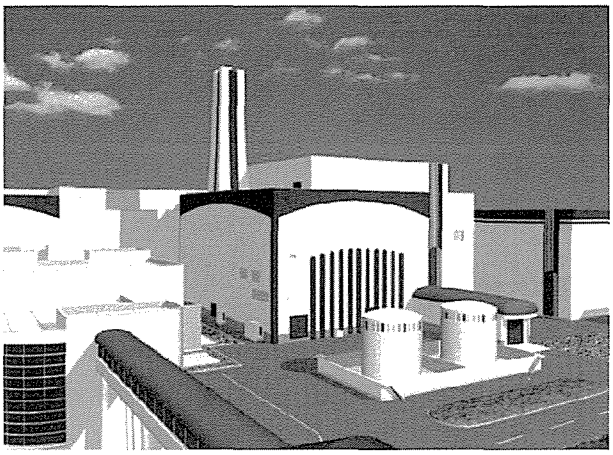
同機は，中国電力にとって3基目の原子力発電所。また同社初のABWRで，国内では運転中の東京電力の柏崎・刈羽6,7号機（ABWR，各135万6,000 kW），中部電力の浜岡5号機（ABWR，138万kW）および建設中の北陸電力の志賀2号機（ABWR，135万8,000 kW）に続き5基目となる。運開すれば，中国電力の総発電設備容量に占める原子力の割合は8%から16%に，総発電電力量ベースでは11%から30%程度にまで高まる。営業運転は2011年12月の予定で，総工費は約4,000億円。

大間発電所，第2次公開ヒアリング開催

原子力安全委員会は2005年10月19日，電源開発が建設を予定している青森県の大間原子力発電所（ABWR，138万3,000 kW）の第2次公開ヒアリングを大間町で開催した。意見陳述では，MOX（ウラン・プルトニウム混合酸化物）燃料装荷の安全性

や地震対策，防災体制などに関する質問や意見が出され，原子力安全・保安院が説明し，理解を求めた。

電源開発にとって初の原子力発電所となる大間原子力発電所は，日本初の全炉心でのMOX燃料利用をめざした改良型沸騰水型軽水炉（フルMOX-ABWR）であり，2006年8月の着工，2012年3月の運転開始を予定している。



大間原子力発電所の完成予想図

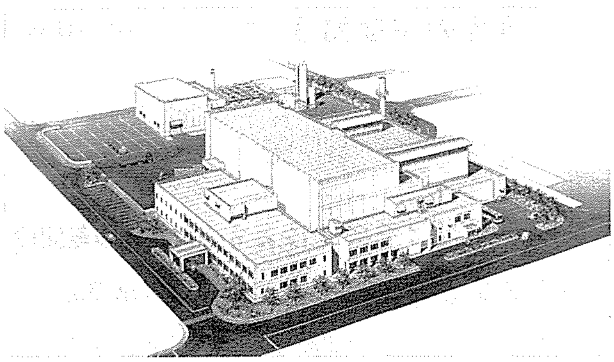
福島第一・1号機が発電再開

東京電力の福島第一原子力発電所1号機（BWR，46万kW）が2005年7月13日，約3年ぶりに発電を再開した。同機の運転再開により，2002年8月に発覚した自主点検記録の不正問題などに端を発した一連の不祥事以降，東電の原子力発電所全17基が戦列に復帰した。

MOX燃料加工工場の立地協力基本協定を締結

青森県六ヶ所村に建設予定のMOX燃料加工工場をめぐり，青森県と六ヶ所村，事業主体の日本原燃は2005年4月19日，同加工工場に関する立地協力基本協定に調印した。これを受けて，日本原燃は同20日，経済産業省に事業許可を申請した。

同工場の製造能力は最大で年間130トン，建設費は1,200億円にのぼる見通し。着工は2007年4月，操業開始は2012年4月の予定。



MOX燃料加工工場の完成予想図

青森県，中間貯蔵施設の立地を承認

青森県の三村申吾知事は2005年10月19日，東京電力と日本原子力発電がむつ市に建設を予定している中間貯蔵施設の立地協力要請について，正式に要請を受諾。同知事の承認を受け，青森県とむつ市，東電，原電の4者は同日，使用済み燃料貯蔵期間終了後（50年間）の確実な搬出などを約束する協定書に調印した。

中間貯蔵施設の新会社を設立

東京電力と日本原子力発電は2005年11月21日，青森県むつ市に建設する使用済み燃料の中間貯蔵施設を建設・運営管理する新会社「リサイクル燃料貯蔵（株)」を設立した。資本金は30億円で，東電が80%，原電が20%をそれぞれ出資する。今後，ボーリングや環境調査などを約1年かけて実施し，2007年春にも国への事業許可申請を行う予定。

建設予定のリサイクル燃料備蓄センターの貯蔵量は最大で5,000トン（東電分：4,000トン，原電分：1,000トン），建設費は1,000億円にのぼる見通し。貯蔵期間は50年間で，使用済み燃料の搬出については，操業開始後40年目までに協議するとしている。操業開始は，2010年の予定。

MOX利用計画が前進

電力業界は，1997年の閣議了解をふまえ，2010年度までに16～18基程度の軽水炉でのMOX燃料利用（プルサーマル）をめざしている。当初の計画

では，東京電力の福島第一・3号機（BWR，78万4,000 kW）と柏崎刈羽3号機（BWR，110万kW）及び関西電力の高浜3,4号機（PWR，各87万kW）にMOX燃料を装荷することを目標としてきたが，JCOの臨界事故やBNFLによるデータ改ざん，東京電力の自主点検データ不正問題の発覚などで計画が大幅に遅れている。

こうしたなか，経済産業省原子力安全・保安院は2005年9月7日，九州電力が運転中の玄海3号機（PWR，118万kW）でのMOX燃料の装荷計画に対し，原子炉設置変更を許可した。計画では，取り替え燃料の一部としてMOX燃料を最大48体（約4分の1炉心相当）装荷する予定で，九州電力は今後，地元の了解を得た上で，2010年度までの導入をめざす。同10月には，国（経済産業省）主催による「プルサーマルシンポジウム」が佐賀県玄海町で開催され，プルサーマルの必要性や安全性に関する議論が交わされた。

MOX燃料装荷計画をめぐっては，現在，四国電力の伊方3号機（PWR，89万kW）で国による安全審査が実施されているほか，中国電力が9月12日，島根2号機（BWR，82万kW）でMOX燃料を利用する計画について，安全協定に基づく事前了解願いを地元の島根県，松江市に提出，また翌13日にも中部電力が，浜岡4号機（BWR，113万7,000 kW）でのMOX利用を実施する方針を地元の静岡県と御前崎市に伝えるなど，各電力で実施に向けた動きが再び活発化している。

もんじゅ訴訟，国側が逆転勝訴

核燃料サイクル開発機構（当時）の「もんじゅ」（高速増殖炉原型炉，28万kW）をめぐり，周辺住民が国を相手に原子炉設置許可の無効確認を求めていた行政訴訟の上告審判決で最高裁は2005年5月30日，「設置許可は無効」とする二審判決を破棄し，住民側の請求を棄却する判決を下した。裁判長は，「国の安全審査の過程に見過ごし難い過誤，欠落があるとはいえない」とし，無効を認めた第二審の名古屋高裁金沢支部の判決を取り消し，国側の逆転勝訴が確定した。

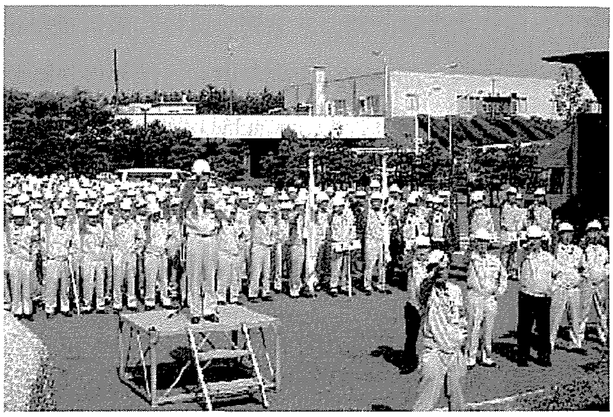
裁判は国による原子炉設置許可に対する安全審査の手法の是非が争われ，判決は2次冷却材漏えい事故について，基本設計のみを安全審査の対象とし，ナトリウムとコンクリートを直接接触させないための床ライナーの厚さは詳細設計で検討する事項とした国の判断を妥当と判断。蒸気発生器伝熱管破損事故の安全評価の解析条件についても，現在の科学水準に照らして不相当とは言えず，炉心崩壊事故の解析も不合理な点はないとした。

もんじゅ訴訟をめぐっては，2000年3月の福井地裁の一審判決では，住民側の請求を棄却。続く二審の名古屋高裁金沢支部は2003年1月，国の安全審査に欠陥があったことを認め，重大な違法があるとし，設置許可を無効とする判決を下していた。

もんじゅ改造工事が本格着工

高速増殖炉原型炉「もんじゅ」（28万kW）の運転再開をめざす核燃料サイクル開発機構（当時）は2005年9月1日，本格的な改造工事に着手した。ナトリウム漏洩対策などの安全性強化を実施し，2007年初め頃までに全工事を完了した後，約1年間かけて機能確認試験やプラント健全性確認試験を行う。工事が順調に進展し，地元の了解が得られれば，2007年度（2008年2月）にも運転を再開する見通し。

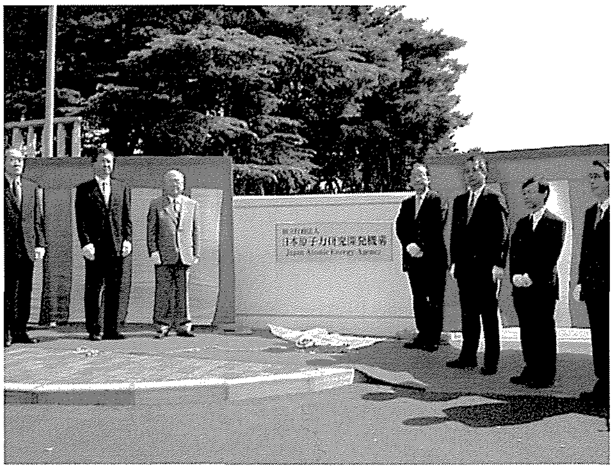
もんじゅをめぐっては，1995年12月に起こったナトリウム漏洩事故以来，運転停止状態にあるが，国による安全審査が2004年1月に全て終了した後，福井県が2005年2月に改造工事入りを正式了承。これを受けて，サイクル機構は同3月初旬に準備工事に着手していた。



もんじゅ改造工事安全着工大会

日本原子力研究開発機構が発足

政府の行財政改革の一環として，核燃料サイクル開発機構と日本原子力研究所の2法人が2005年10月1日統合し，日本原子力研究開発機構（英語名称：Japan Atomic Energy Agency（JAEA））が発足した。原子力の基礎研究からプロジェクト開発までを網羅する国内唯一の総合的研究開発機関。職員数は約4,400人，予算規模は1,911億円と，独立行政法人では最大規模となる。新理事長には殿塚猷一氏が就任，新本社は茨城県東海村に置かれる。研究開発拠点は，幌延，むつ，東海，大洗，那珂，高崎，東濃，敦賀，関西，人形峠の計10ヵ所。



JAEA プレート除幕式

原子力政策大綱まとまる

原子力委員会の新計画策定会議は2005年9月29日，原子力政策大綱（旧：原子力の研究，開発及び利用に関する長期計画）をとりまとめ，最終報告書案を原子力委員会に提出した。同委員会は同10月11日，同案を決定，同14日には閣議了解された。策定会議は2004年6月に設置され，計33回の会合を重ねた。また，新大綱案に対する「意見募集」を行なったほか，青森，福島，佐賀，福井，東京の計5都市で「ご意見を聴く会」を開催し，国民の意見をふまえた最終案がとりまとめられた。

大綱では，使用済み燃料の再処理をベースに現行の核燃料サイクル路線を堅持するとともに，発電電力量に占める原子力の比率を2030年以降も現行水準の30～40%に維持，またはそれ以上とするなど，原子力の役割を明確に位置付ける内容となった。その他，六ヶ所再処理工場に続く第2再処理工場については，2010年頃から検討を開始するとし，FBRについては，2050年頃を目処に実用化をめざすことが掲げられた。

原子力2法案が成立

バックエンド費用の外部機関での積み立てや核物質防護対策などを盛り込んだ原子力関連2法案（バックエンド新法案および原子炉等規制法の改正案）が2005年5月13日，参議院・本会議で可決，成立した。

バックエンド新法案（正式名称：原子力発電における使用済燃料の再処理等のための積立金の積立て及び管理に関する法律）は，電力会社などに対し再処理事業などに必要な資金を外部指定法人（原子力環境整備促進・資金管理センター）へ積み立てることを義務付けるとともに，経済産業省が外部法人の指定や監督を行なうことなどを規定している。今後，電力会社などは国に対し再処理計画を提出し，これを受けて国は電力会社に積立額を通知。電力会社は，外部の指定法人に必要金額を積み立てることになる。

一方，原子炉等規制法の改正案では，原子力関連施設での核物質防護規制の強化や放射線量が0.01

シーベルト以下という極めて弱い放射性廃棄物を再生利用できるクリアランス制度の導入，原子炉などの廃止措置規制の拡充——の3点が盛り込まれている。

電力自由化，第3段階へ

電力の小売り自由化範囲が2005年4月1日，現在の契約電力500 kW以上の高圧から小規模工場などの50 kW以上の高圧全体に拡大した。これにより，電力需要全体に占める自由化対象の割合は，2000年3月に部分自由化がスタートした第1段階の26%から63%まで拡大した。なお，全面自由化については，需要家の選択肢の確保状況などをふまえ，2007年4月以降に検討が開始される予定。

アジア・太平洋地域

中　国

田湾1号機が初臨界

中国核工業集団公司（CNNC）の田湾1号機（VVER−1000，100万kW）が2005年12月20日の午前10:40（現地時間）に初臨界を達成した。田湾1号機は1999年10月に着工，2005年10月に燃料が初装荷されていた。なお，CNNCによれば，田湾2号機（同，2000年9月着工）でも12月11日と13日に一次系と二次系の試験運転（コールドテスト）が実施されており，近く運転開始する模様である。田湾1,2号機の投資額は，総額約30億ドル。

広東・嶺澳Ⅱ−1号機が着工

2005年12月15日，曾培炎副首相らの臨席の下，広東核電集団公司（CGNPC）の広東・嶺澳第Ⅱ−1（PWR，100万kW）の着工式が行われた。広東・嶺澳第Ⅱ原子力発電所は，第10次五ヵ年計画（2001年～2005年）の目玉の1つで，フランスの技術に基づく中国初の国産100万kW級PWR（運転開始：2010年12月）。同サイトでは，広東・嶺澳第Ⅱ−2号機（同）も近く着工し，2011年8月に運転を開始する予定である。

2007年に広東省4番目の原子力発電所を陸豊市に決定

広東核電集団公司（CGNPC）と広東省発展・改革委員会は2005年8月，大亜湾，嶺澳，陽江に続く広東省4番目の原子力発電所を広東省東部の陸豊市の田尾地点とすることを決定した。両者は，第11次五ヵ年計画（2006年～2010年）として第四原子力発電所の立地作業を進めてきており，恵来県の烏嶼地点と陸豊市の甲東地点，海甲地点，田尾地点の合計4つの候補地点の中から最終的に水利，地質などの点から南シナ海の碣石湾に面した田尾地点が選定された。陸豊市の田尾地点には，最終的に100万kW級の原子炉（炉型未定）が6基建設される計画で，第一期計画として最初の2基が2007年末に着工，2013年に運転開始される予定である。

第11次五ヵ年計画で4基増設

人民日報が中国核工業集団公司（CNNC）からの情報として伝えるところによると，第11次五ヵ年計画（2006年～2011年）に遼寧省瓦房店市（大連

市の中に含まれる県級市）の紅沿河 1,2 号機（PWR，108 万 kW×2 基）と山東省煙台市の海陽 1,2 号機（炉型未定，100 万 kW 級×2 基）が盛り込まれた模様である。

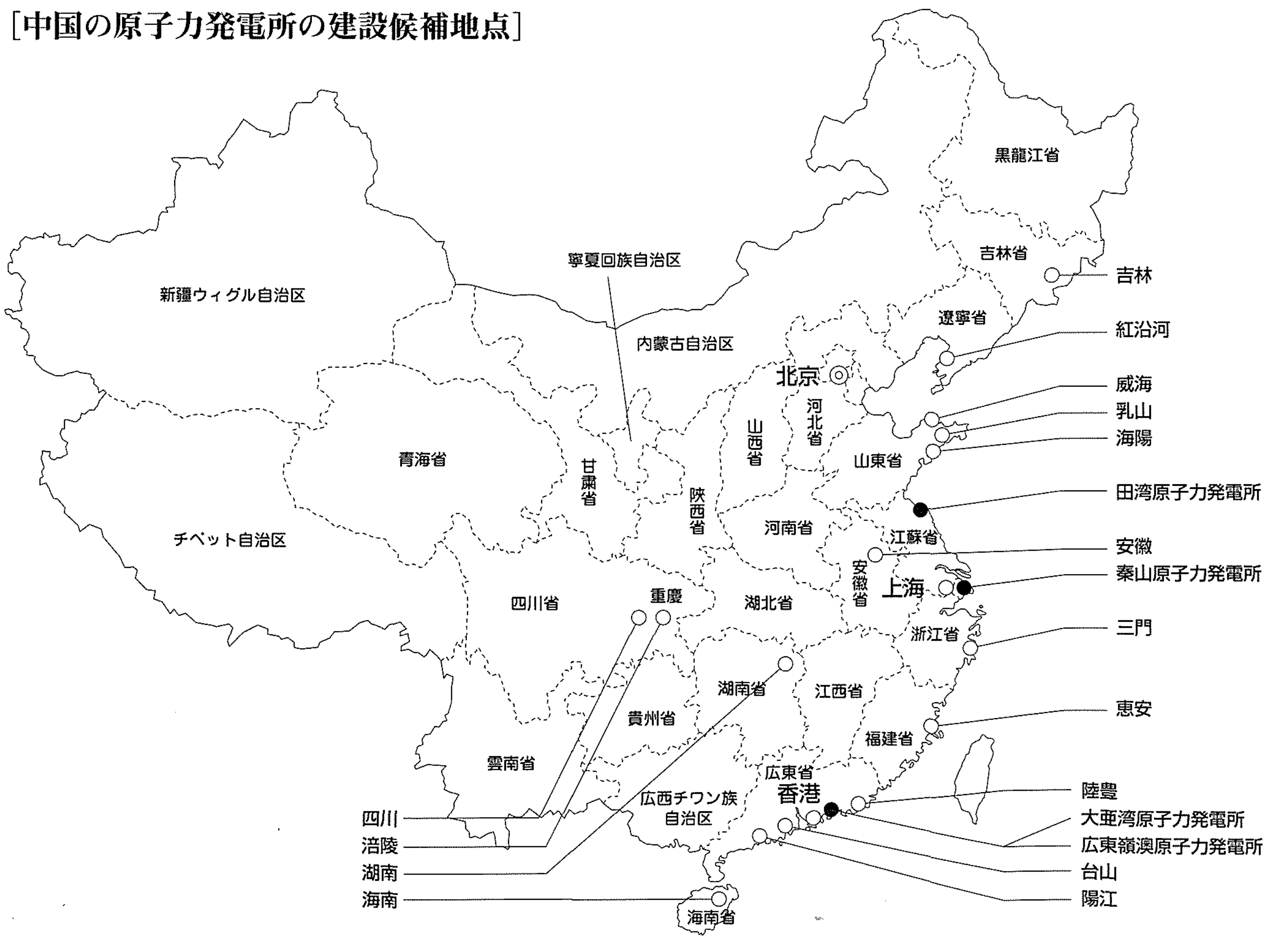
紅沿河 1,2 号機は，広東・嶺澳第Ⅱ-1,2 号機と同型のフランスの技術に基づく 100 万 kW 級の国産型炉 CPR 1000。遼寧核電有限公司が事業主体となり，中国電力投資集団公司（CPI）が 45%，広東核電集団公司（CGNPC）が 45%，遼寧省能源投資公司が 5%，大連市建設投資公司が 5% を出資する。第Ⅰ期計画（1,2 号機）の総工費は 28 億ドルだが，広東・嶺澳第Ⅱ-1,2 号機の建設コストが 1 kW あたり 1,500 ドルであるのに対して，国産化率が 80% 近い紅沿河 1,2 号機は 1,300 ドル程度に低下すると期待されている。

国家発展改革委員会（NDRC）は 2005 年 12 月中に紅沿河 1,2 号機の建設を承認するとみられており，2006 年に着工，2011 年に初号機が運転開始する見通しである。紅沿河原子力発電所には最終的に 6 基の 100 万 kW 級 PWR の建設が計画されている。

一方，海陽 1,2 号機（炉型未定，100 万 kW 級×2 基）は中電投核電有限公司の子会社である山東核電有限公司が事業主体で，中電投は中国核工業集団公司と海陽 1,2 号機の共同建設で基本合意するとともに，国家発展改革委員会にフィージビリティ・スタディを提出している。海陽 1,2 号機の詳細スケジュールは不明だが，2006 年に着工し，最終的に 4 基の 100 万 kW 級原子力発電所が建設される見通しである。

現在，中国で原子力発電所の建設が認められているのは中国核工業集団公司と広東核電集団公司の 2 社のみで，中電投など他の電気事業者は出資しか認められていない。

[中国の原子力発電所の建設候補地点]



韓　国

中・低レベル放射性廃棄物処分場サイトが決定

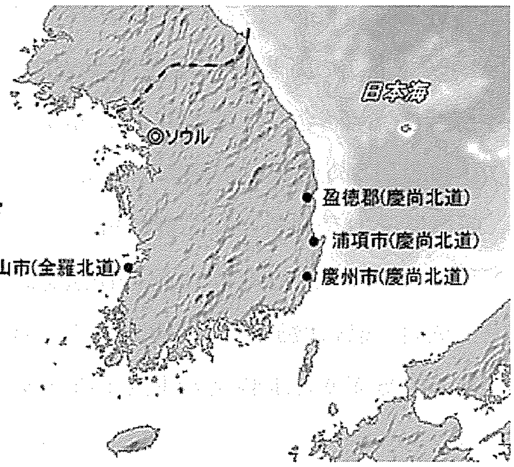
産業資源部（MOCIE）は2005年11月3日，同国初の中・低レベル放射性廃棄物処分場サイトを，慶尚北道・慶州市（韓国の古都）に決定したと発表した。

同11月2日に実施された同処分場の建設誘致に関する住民投票の結果，誘致を表明していた4つの自治体の中で慶州市が賛成89.5％と住民の支持率が最も高かったため。その他の自治体での住民投票結果は，群山市（全羅北道）が賛成84.4％，盈徳郡（慶尚北道）が79.3％，浦項市（慶尚北道）が67.5％となった。

今回の決定により，慶州市には中・低レベル廃棄物処分場が建設されるほか，総工費数十億ウォンの粒子加速器施設および韓国水力・原子力発電会社（KHNP）の本社移転も見込まれており，国による支援額は総額数兆ウォンに達する。処分場が建設されるのは，慶州市郊外の月城原子力発電所近くで，操業開始は2008年～2009年になる見通し。

産業資源部は2004年2月，全羅北道の扶安（プアン）郡蝟島（ウィド）を候補地点に選定するのと並行して，全国の地方自治体に誘致を公募したが，2004年9月の締切までに誘致を申請した自治体は1つもなく，蝟島でも地元の反対が根強いため立地を断念した。このため，暗礁に乗り上げていた処分場の立地を打開すべく，産業資源部は2005年1月，地元への総額3,000億ウォン（約300億円）に上る特別交付金や廃棄物処分税（地方税）の創設などを骨子とした手厚い建設誘致促進法を提出。これに加えて，立地地点に韓国水力・原子力発電の本社移転も示唆されたことから，2005年8月末までに慶州市のほか，盈徳郡，群山市，浦項市の4つの自治体が相次いで誘致を表明し，一転して誘致合戦となっていた。

韓国の中・低レベル放射性廃棄物は現在，各発電所内に保管されており，2008年には貯蔵能力を超える見通しである。なお，政府は今回の中・低レベル放射性廃棄物処分場誘致に際し，同処分地を高レベル放射性廃棄物の処分地としないことを約束している。



韓国の中・低レベル廃棄物処分場の立地候補地

蔚珍6号機が営業運転開始

韓国水力・原子力発電会社（KHNP）の蔚珍6号機が2005年4月22日，営業運転を開始した。同機の営業運転開始により，韓国の商業用原子力発電所は全部で20基，100万kWの国産PWRである韓国標準型炉（KSNP）としては6基目となり，原子力発電設備容量は合計1,771万6,000 kWに達する。

同6号機は，1999年1月に着工，2004年12月16日の初臨界を経て，2005年1月7日に送電を開始していた。

韓国では現在，運転中の20基のほか，4基がそれぞれ建設中と計画中である。なお，産業資源部（省）は2005年内に，KSNP＋（KSNPの改良型，後に海外向け名称をOPR1000と決定）としては初となる新古里1,2号機（PWR，各100万kW）および新月城1,2号機（同）の計4基の建設を承認している。

台　湾

龍門原子力発電所の運転開始が3年程度遅れる見通し

台湾電力公社は2005年10月，行政院（内閣）に提出した内部評価報告書の中で「原油価格の高騰と国内経済の低迷のため，建設中の龍門1,2号機（ABWR，各135万kW）の運転開始が当初予定（1号機：2006年7月，2号機：2007年7月）から3年遅れる」との見通しを明らかにした。

龍門原子力発電所（総工費：56億ドル）の建設スケジュールは，2000年10月の民進党政権の建設中止決定（後に撤回，2001年2月に再開）などにより，2005年9月末時点の建設工事進捗率が当初計画の86%に対して62%とすでに大幅に遅れている。これだけで建設費が当初予算を13億ドル上回っているが，今後，さらに3年間遅れることになれば，これに伴う建設費の超過は9,000万～21億ドルに達するとみられている。

なお，台湾電力によれば，2006年には合計出力140万kWの新しい天然ガス（LNG）火力発電所が運転開始する予定で，「龍門1,2号機の遅れによる電力不足はない」としている。

ベトナム

初号機建設をめぐる動き

国家原子力発電開発運営委員会（National Steering Committee for Nuclear Power Development）は2005年8月，2003年末にとりまとめた原子力発電所の初号機建設に関する予備的実行可能性調査（PFS）の報告書を首相府に提出した。

今後，関係各省で評価検討が行われた後，首相の承認を経て，2006年中に国会へ提出される模様だ。国会で承認されれば，次のステップである実行可能性調査（FS）へ進む予定。

今回提出されたPFS報告書には，①2017年～2020年の間に200万kW～400万kW（100万kW級×2基～4基）の運転開始，②炉型は，PWR，BWR，CANDU炉のいずれかが妥当（最終的な炉型選定は，フィジビリティ・スタディで実施），③立地地点は，いずれも中南部沿岸のフォック・ディン（ニン・トゥァン省），ビン・ハイ（ニン・トゥァン省），③ホア・タム（フー・エン省）の三地点が有力――などが盛り込まれている。

インド

米国と民生部門で原子力協力

インドのシン首相と米国のブッシュ大統領は2005年7月18日，「戦略的パートナーシップにおける次のステップ」の完了を発表し，原子力や宇宙，ハイテクといった民生分野での協力を拡大する方針を示した。

これにもとづき，米商務省が8月30日に官報に公布（発効）した最終規則では，核不拡散の点からみて米国が単独にコントロールできる品目，つまり原子力供給国グループ（NSG）の承認を受ける必要がない品目の輸出と再輸出にかかわる認可要件を削除した。

また，特別な認可なしには米国製の機微な品目を購入することができない機関としてリストアップされていた中から，タラプール，ラジャスタン，クダンクラムの3ヵ所の原子力発電所を含む6つの機関がはずされた。このうち，タラプールとラジャスタンの両原子力発電所は国際原子力機関（IAEA）の保障措置下に置かれている。建設中のクダンクラム原子力発電所についても，完成後には保障措置の対象にすることがインド政府とIAEAとの間で合意されている。

7月18日の米印両国首脳による共同声明では，急増する世界のエネルギー需要をまかなうにあたっての原子力発電の重要性を認めた上で，米国がインドに対して民生用の原子力技術供与で最大限の協力

をすると約束している。

共同声明の中でブッシュ大統領は，インドが大量破壊兵器の拡散防止に責任を果たしていると高く評価し，先進的な原子力技術をもった信頼できる立場にあるインドは他の国と同じような利益を享受すべきであるとの考えを示した。またブッシュ大統領は，シン首相に対して，原子力発電を促進しエネルギー安全保障を達成するという目標を掲げているインドとの間で，民生用の原子力協力ならびに通商の拡大ができるよう最大限の努力を払う意思を伝えた。

これに対してシン首相は，原子力施設ならびにプログラムを民生と軍事用のものに分けた上で民生用施設をIAEAに提出し，任意にIAEAとの間で保障措置協定を結び，さらには追加議定書にも加盟する意向を示した。

こうした米国の動きに対して，英国のブレア首相は9月8日，インドのシン首相との会談後，米国との共同声明を支持する姿勢を表明した。また，フランスのシラク大統領は同12日，シン首相との会談後，民生用原子力技術分野におけるインドとの協力の必要性を認識しているとした上で，今後，原子力供給国グループ（NSG）各国との間でインドへの原子力技術供与に関する協議と二国間協力の強化を図る意向を示した。

さらにカナダのペティグルー外相とインドのシン外相は9月26日，新たな原子力協力協定をオタワで調印した。この協定は，IAEAの保障措置を条件として，インドへの原子力関連汎用品・技術の輸出を再開するというもの。

政府が4地点の立地計画を原則承認，今後10年間で原子力発電を4,000万kWに拡大へ

シン首相は2005年8月15日の独立記念日の演説で，水力発電と火力発電を1億5,000万kW増設することに加えて，原子力発電を今後10年間で4,000万kWに拡大する方針を表明した。

首相のこうした発言を受ける形で，インド連邦政府は9月22日，原子力省（DAE）が申請していた――カクラパー（グジャラート州），クダンクラム（タルミナドゥ州），ジャイタプール（マハラーシュトラ州），ラワトバータ（ラジャスタン州）――の4地点への原子力発電所の新規建設のための立地計画を原則承認した。4地点のうち2地点に70万kW級の重水炉（PHWR）が4基（2×2基），他の2地点に100万kW級の軽水炉4基（2×2基）が建設される予定になっている。なお，今回承認されたのはサイト認可のみで，最終的な建設認可は燃料の供給契約が終了したあとになる。

インド火力発電公社（NTPC）は9月20日，国内の原子力発電事業者との合弁企業の形で2017年までに約200万kWの原子力発電所を建設する方針を明らかにした。

インドでは現在，原子力発電事業は国営企業であるインド原子力発電公社（NPCIL）に限られているが，原子力発電開発促進の一環として民間も含めたNPCIL以外の企業への原子力発電事業の解禁が検討されている。

NTPCのジャイン会長は10月18日，水力発電と原子力発電への進出を検討していることを明らかにした上で，社名をNTPC社に変更する方針を示した。現在，社名変更の手続き中という。NTPCは現在，石炭火力を主力電源としているが，近年では石油火力や天然ガス火力，水力など，電源構成の多様化を検討していた。

タラプール4号機が営業運転開始

インド原子力発電公社（NPCIL）は，同国最大となる54万kW級の加圧重水炉（PHWR）であるタラプール4号機が2005年9月12日に営業運転を開始したと発表した。同機の運転開始によって，インドの合計原子力発電設備容量は，15基・331万kWとなった。

パキスタン

チャシュマ2号機，着工

パキスタンで3基目となるチャシュマ2号機（PWR，30万kW）で2005年12月28日，原子炉建屋のベースマットのコンクリート打設が行われ，同機は正式に着工した。着工式には，同国のS. アジス首相やパキスタン原子力委員会（PAEC）のP. ブット委員長のほか，同機を供給する中国国家原子能機構（CAEA）の孫勤主任，中国核工業集団公司（CNNC）の康日新総経理が出席した。

同機の供給をめぐっては，2004年5月4日にCNNCとPAECとの間で建設契約が調印され，中国側が無償融資により大半の資金調達を行なうことなどで合意していた。総工費は510億ルピー（約8億7,400万ドル）で，運転開始は2011年を予定している。

なお，式典に参加したブット委員長はスピーチの中で，2030年までに原子力発電設備容量を880万kWに拡大するという国家計画の達成に向け，インダス川流域や海岸部を中心に新規建設に向けたサイト選定調査に着手していることを明らかにした。なお，一部報道によると，パキスタンは新規原子炉の供給をめぐり，新たに中国側と協議を進めている模様。

オーストラリア

原子力発電導入の機運高まる

B. ネルソン連邦教育・科学・職業訓練相とI. マクファーレン連邦産業・観光・資源相は2005年11月27日，原子力発電所の国内への導入に関して，地質や環境，社会科学的な側面から調査を実施するようハワード首相に対して要請した。

こうした政府内での動きに歩調を合わせるかのように，産業界や学会でも原子力発電の導入に関する議論が浮上してきた。

政府の政策決定に大きな影響力を持つとされているオーストラリア商工会議所（ACCI）は8月29日，国内のエネルギー需要をまかなうための手段として，原子力発電の導入を真剣に検討するよう連邦政府に要請した。

またメルボルン大学は12月21日，「原子力発電所は二酸化炭素を排出しないだけでなく，ベースロード電源としてのコストも石炭火力発電所を下回るとして，国内への原子力発電所の導入を勧告した研究結果をとりまとめた。

それによると，原子力発電所の導入にあたっては，スケールメリットを得るため複数のユニット（100万kW級で6基以上）を建設すべきであるとしている。また，独立した原子力規制体制の構築や最終処分場の立地活動，国民の合意形成などに努力を払うことを勧告している。

中国市場見据え，ウラン増産を計画

BHPビリトン社のヒギンス副社長は2005年11月2日，議会の聴聞会で，急速な需要の拡大が期待できる中国市場をターゲットとして，オリンピック・ダム鉱山（サウスオーストラリア州）のウラン生産量を2013年から現在の年間約4,000トンから約1万5,000トンに拡大する方針を明らかにした。

オリンピック・ダム鉱山は，世界最大のウラン鉱山で，同社の子会社であるウェスタン・マイニング社が操業している。総額で50億豪ドルと見積もられている同鉱山の増産計画は，2007年末にまとまる実行可能性調査の結果をみて最終的に判断する。

中東・アフリカ

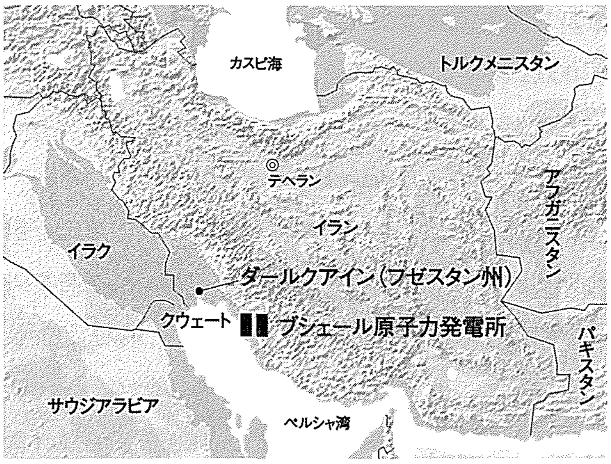
イラン

国産原子力発電所の設計・建設計画がスタート——20年間で原子力発電設備を2,000万kWに拡大へ

イラン原子力庁（AEOI）のG. アガゼデ長官は

2005年12月，イラン暦の年明け早々にも（2006年3月21日）新規原子力発電所の建設に向け国際入札の手続きを開始するとの見通しを語った。建設されるのは，100万kW級ユニット2基で，ペルシャ湾に面する同国南西部のフゼスタン州（Khuzestan）か現在1,2号機の建設が進められているブシェール・サイトに建設が予定されている。なお，AEOIは日本原子力産業協会のアンケート調査に対して，イラン政府が今後20年間で原子力発電設備容量を2,000万kWに拡大する方針を承認し，新たに100万kW級の原子力発電所2基を建設するための入札準備を開始したことを明らかにした。また政府系電力として，原子力発電所の建設・運転を行う“Nuclear Power Production & Development Co. of Iran”が新たに設立された。

AEOIは，炉型については明らかにしていないものの，出力36万kWの原子力発電所を国内技術で設計，建設する計画がスタートしたことも明らかにした。

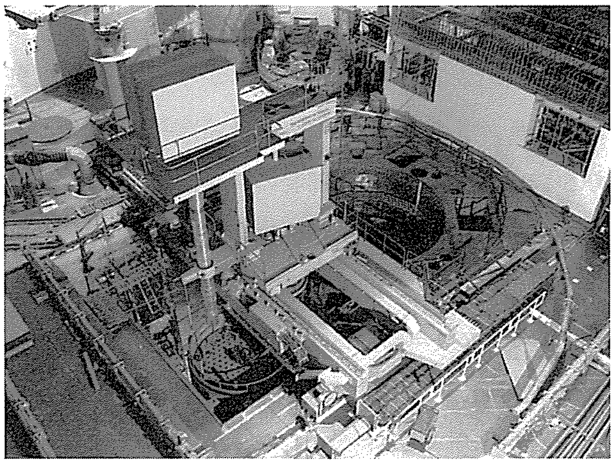


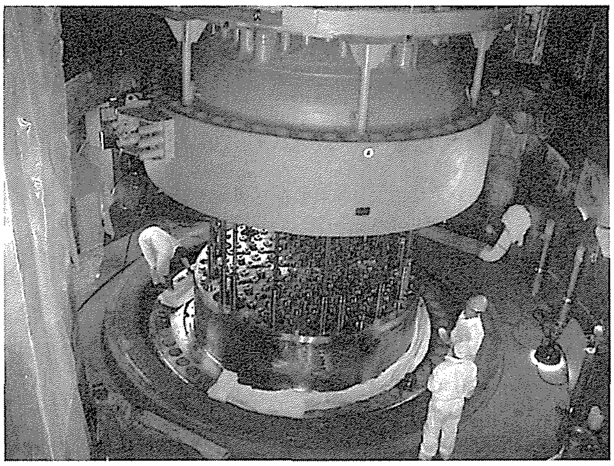
新規原子力発電所の立地候補地

ブシェール1号機，2006年に運開へ

イランでは，同国初の原子力発電所となるブシェール1号機（VVER-1000）が，2004年10月に建設工事をほぼ終了し，2006年の運転開始をめざしている。AEOIとロシア連邦原子力庁（ROSATOM）は2005年2月27日，同1号機の使用済み燃料のロシアへの返還に関する議定書に調印し，ロシアからイランへの燃料供給も正式に確定。ROSATOMのA. ルミャンツェフ長官（当時）は同5月12日，同機への燃料搬入が2005年末から2006年初めになるとの見通しを示した。

イラン・ロシア両国はブシェール2～4号機の追加契約（総工費約35億ドル）に原則合意しているが，正式な契約は未だ締結されていない。AEOIは，ブシェール2号機は既存の設備を利用せずに，1号機に隣接して新規に建設する，との見解を示している。


ブシェール1号機の原子炉建屋内の概観


圧力容器上部の据え付け

南アフリカ

PBMR実証炉，2007年に着工へ

南アフリカ政府が所有する電力会社Eskomは

2005年8月24日，同国で建設が計画されているペブルベッド燃料・モジュール炉（PBMR）プロジェクトについて，同プロジェクトを実施に移すための枠組みを定めた協定が出資者間で調印されたと発表した。この協定は，出資者間の関係などを定めており，権利や義務，参入・撤退の条件などが明記されている。

Eskomは1993年以来，PBMRの国内での発電利用ならびに外国への輸出の可能性を探るなど，PBMR開発において中心的な役割を果たしてきたが，今回のPBMR出資者間で結ばれた協定によって，同プロジェクトとEskomとの関係が変わることになった。具体的には，これからはPBMR実証プロジェクトの実施主体ならびに計画の事業主体であるPBMR社の一部出資者の関係にとどまるものの，将来的には顧客としてPBMRを採用することも考えられるとEskomは説明している。PBMRの実証炉（HTGR＝高温ガス炉，電気出力11万kW）については，環境影響評価や許認可手続きが残されているが，2007年に建設を開始し，2010年に完成すると見込まれている。

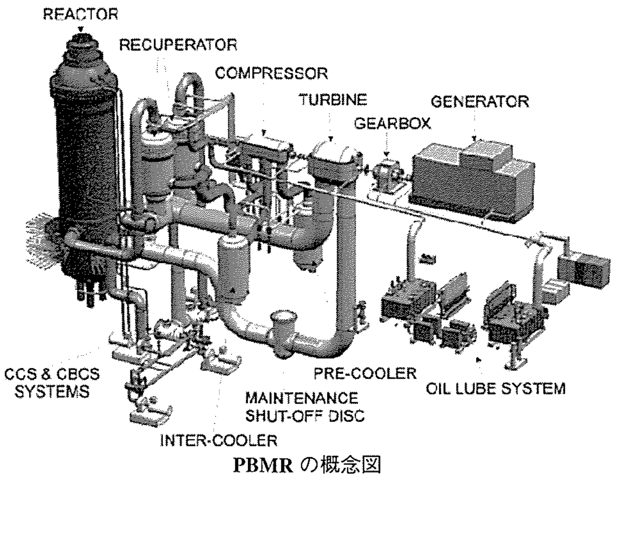
今後のPBMR実証プロジェクトの枠組みが決まったことを受け，各種の契約が相次いで結ばれている。PBMR社は2005年12月20日，クバーグ・サイトでの建設が計画されているPBMR実証炉の原子炉防護システム，手動停止システム，事故後計装システムの基本設計契約（約260万ドル）を米国のウェスチングハウス社（WH）と結んだと発表した。一連の安全システムは米国原子力規制委員会（NRC）の基準に適合した設計となっている。

またPBMR社は12月6日，PBMRの炉内構造物の部品供給と設計支援契約を三菱重工業との間で結んだと発表した。三菱重工業は2004年12月に，PBMR社からヘリウム・タービン発電機の基本設計と炉内構造物の概念設計レビュー作業を受注している。

PBMR社は8月にはドイツのSGLカーボン・グループ社と黒鉛材料（原子炉の反射体）の供給契約に調印。その後，11月には，カナダのSNCラバリン社と南アのマレイ＆ロバーツ社の合弁企業であるSNCラバリン・マレイ＆ロバーツ社との間で，エンジニアリング・資材調達・建設管理契約を結んだ。

ペリンダバ・サイトに建設が計画されているPBMR燃料加工パイロット・プラント（2007年1月の完成予定）についても，4月に南アのウーデ社と設計・建設・コールド試験契約を結んでいる。また，8月には，ドイツのRWEニューケム社との間で，燃料加工工程と廃棄物・ウランのリサイクル工程の詳細設計と完成後のコンサルティング，技術支援，オンサイトでの支援・監督契約を結んでいる。

PBMR社は，2007年にも米国原子力規制委員会（NRC）に対してPBMRの設計認証を申請する予定。また，2005年3月には，中国のChinergy社（清華大学・核能技術設計研究所と中国核工業建設集団公司が折半出資する高温ガス炉開発のための合弁企業）との間で技術協力の合意覚書を取り交わしている。



PBMRの概念図

中南米

ブラジル

7基の新規原子力発電所建設を計画

S. レゼンデ科学技術相は2005年9月6日，L.I. ルーラ・ダ・シルヴァ大統領が，建設工事中断中のアングラ3号機（PWR，130万9,000 kW）を含め，今後17年間に総額130億ドルを投じて合計7基(大型炉3基，小型炉4基）の新規原子力発電所の建設を検討していることを明らかにした。また，このほど改定された原子力発電開発計画の中で，アングラ3号機の完成のほか，総発電電力量に占める原子力発電の割合を現在の3%から，2022年までに5%に引き上げる方針が盛り込まれており，政府は2005年末にも，新規建設を含む同開発計画を正式に承認する見通しである。

アングラ3号機は1991年に建設工事が中断（建設工事進捗率：約70%)。これまでに調達済みの資材（7億ドル相当）も含めて総額で約10億ドルが投じられているが，資金不足のため建設再開には至っていない。資材の維持・管理だけで年間2,000万ドルが必要とみられている。

一方，現在試験運転中のレゼンデ・ウラン濃縮工場（濃縮能力：120トンSWU/年）は，2006年にも操業開始の予定。同工場は，運転中のアングラ1,2号機（PWR，1号機：65万7,000 kW/2号機：135万kW）の燃料自給をめざしたもので，将来的には海外輸出も視野に入れている。

北　米

米　国

2020年までに600万kWを増設

米エネルギー省・エネルギー情報局 (DOE/EIA) は2005年12月，2030年に至る米国の一次エネルギー需給を予測した「2006年版長期エネルギー見通し」(Annual Energy Outlook 2006, AEO 2006) を発表した。

同見通しでは，2005年エネルギー政策法（包括エネルギー法，EPACT 2005）の成立（2005年8月）を反映し，「2014年から2020年にかけて合計600万kWの原子力発電所が新たに着工され，既存のユニットの熱出力増強（合計：300万kW）と合わせて2030年の米国の原子力発電設備容量は1億900万kW（2004年は1億kW）に達する」と上方修正された。これまでの長期エネルギー見通しでは，原子力発電所の新規着工件数はゼロと予測されていた。

2006年版エネルギー見通し（標準ケース，以下同）によれば，米国の一次エネルギー消費量は2004年の99.68 QBTU（兆英国熱量単位）から年率1.1%で増加して，2030年には133.88 QBTUに達すると予測されている。今回，2025年の一次エネルギー消費量は前回見通し（AEO 2005）から6.2 QBTU下方修正されたが，これは，化石燃料価格の高騰，非エネルギー集約産業へのシフトなど産業構造の変化，輸送部門でのハイブリッド自動車の普及，2005年エネルギー政策法による家庭・商業部門のエネルギー消費量の低下——などのため石油と天然ガス消費量の低下が見込まれるため。一方，石炭，原子力発電，再生可能エネルギーは現在の消費量を上回るとみられている。

一次エネルギー消費量を燃料別にみると，石油が2004年の40.08 QBTUから2030年には53.58 QBTU（年平均増加率：1.1%)，天然ガスが23.07 QBTUから27.66 QBTU（同：0.7%)，石炭が22.53 QBTUから34.49 QBTU（同：1.7%)，原子力発電が8.23 QBTUから9.09 QBTU（同：0.4%)，再生可能エネルギーが5.74 QBTUから9.02 QBTU（同：1.8%)，その他が0.04 QBTUから0.05 QBTU（同：0.9%）と予測されている。

このうち原子力発電設備容量は，2014年から2020

年にかけて合計600万kWの新規原子力発電所が運転開始し，2030年にかけて合計300万kWの熱出力増強が見込まれることから，2004年の1億kWから2019年には1億900万kWに達し，以降，2030年まで横ばいで推移すると予測されている。これに伴い原子力発電量も，2004年の7,890億kWhから2030年には8,710億kWh(原子力発電シェアは約15%）に達するとみられている。

このほかエネルギー消費に伴う米国の二酸化炭素排出量は，2004年の59億1,900万トンから年率1.2%で増加して，2025年に75億8,700万トン，2030年には81億1,500万トンに達すると予測されている。一方，二酸化炭素排出集約度（国内総生産単位あたりの二酸化炭素排出量）は，2004年の550トン/100万ドルGDP（2004年ドル）から年率1.8%で低下して，2025年に377トン/100万ドルGDP，2030年には351トン/100万ドルGDPになるとみられている。

包括エネルギー法が成立

G．ブッシュ大統領は2005年8月8日，同7月に連邦議会を超党派の支持を得て通過した包括エネルギー法案（2005年米エネルギー政策法案）に署名した。同法案は，米国のエネルギー供給安全保障の強化を主眼に置いたもので，原子力発電所の新規建設促進のための連邦政府によるリスク保証や発電税減税などが盛り込まれている。

包括エネルギー法案の成立は，国家エネルギー政策（2001年5月）以来のブッシュ大統領の悲願だったが，同法案は7月26日に両院協議会で一本化され，7月28日に下院（賛成：275，反対：156)，7月29日に上院（賛成：74，反対：26）をそれぞれ通過し，ブッシュ大統領に送付されていた。

2005年エネルギー政策法のうち主な原子力関連の部分は次の通りである：

—規制手続きおよび訴訟による原子力発電所の建設遅延と運転開始後の休止に伴う損失額の最大50%を連邦政府が補償。この対象となるのは，新たに着工された6基の原子力発電所で，米原子力規制委員会（NRC）の設計認証が発給された原子炉設計でなくてはならない。また，補償額は最初の2基が最大5億ドル，3基目から6基目が最大2億5,000万ドルを上限とする；

—プライス・アンダーソン法(原子力損害賠償法)の20年間(2025年12月31日まで)の延長。また，将来，建設されるモジュール型炉（単基出力が10万kW～30万kWで，モジュールの合計出力が130万kW以下）も対象とされる；

—大気汚染物質または温室効果ガスの排出を回避，削減または隔離できる革新的発電技術(新型炉，クリーンコール・テクノロジーおよび再生可能エネルギー）を対象とし，発電所の建設費の最大80%の長期債務保証を行う権限を米エネルギー省(DOE）長官に付与する；

—2021年1月1日までに運転開始した最初の合計600万kWの原子力発電所を対象とし，8年間にわたり1kWhあたり1.8セントの発電税（production tax）を控除する（年間1億2,500万ドルを上限)；

—発電・水素製造を目的とした次世代型炉の原型炉建設プロジェクトに対して12億5,000万ドルの予算（2006年度～2015年度）を計上。第一フェーズ（～2011年）として原型炉および核熱水素製造技術の初期設計，第二フェーズ（2011年～2013年)として詳細設計，第三フェーズ（2013年～2021年)として原型炉と核熱水素製造施設をアイダホ国立研究所（INL）に建設する；

—革新型炉，核拡散抵抗性の高い燃料および使用済み燃料管理技術の研究開発の促進を目的とした「革新的燃料サイクル・イニシアティブ」(Advanced Fuel Cycle Initiative）への予算計上；

—2001年9月11日の同時多発テロ以降に電力会社が講じた原子力発電所のセキュリティ対策に加え，原子力発電所のセキュリティをさらに強化。NRC規則として原子力発電所を防護すべき脅威の

米国の新規原子力発電所プロジェクトの状況

電力会社・コンソーシアム	サイト	炉型（基数）	事前サイト許可（ESP）	建設・運転一体認可（COL）
ドミニオン	ノースアナ（バージニア州）	ESBWR（1）	申請中、06年に許可見込み	07年に申請予定
*1ニュースタート（TVA）	ベルフォンテ（アラバマ州）	AP 1000（2）	COLを直接申請	07/08年に申請予定
ニュースタート（エンタジー）	グランドガルフ（ミシシッピー州）	ESBWR（1）	申請中、07年に許可見込み	07/08年に申請予定
エンタジー	リバーベンド（ルイジアナ州）	ESBWR（1）	COLを直接申請	07/08年に申請予定
サザン	アルビン・W・ボーグル（ジョージア州）	AP 1000（2）	06年夏に申請予定	08年に申請予定
プログレス・エナジー	シアロンハリス（ノースカロライナ州）とフロリダ州（サイト未定）	AP 1000（4）	COLを直接申請	07/08に申請予定
SCE&G/サンティ・クーパー	バージル・C・サマー（サウスカロライナ州）	AP 1000（2）	COLを直接申請	07年に申請予定
デューク・パワー	チェロキー郡（サウスカロライナ州）	AP 1000（2）	COLを直接申請	07/08に申請予定
	オコーニー郡（サウスカロライナ州）とデイビー郡（ノースカロライナ州）	未定	申請検討中	07/08に申請予定
エクセロン	クリントン（イリノイ州）	未定	申請中、07年に許可見込み	未定
*2ユニスター	カルバートクリフス（メリーランド州）またはナインマイルポイント（ニューヨーク州）	U.S. EPR（1）	COLを直接申請	07年に申請予定

出典：米原子力エネルギー協会（NEI）等

*1 ニュースタート・エナジー・デベロップメントへの参加企業：コンステレーション・エナジー，デューク・エナジー，EDFインターナショナル・ノースアメリカ，エンタジー・ニュークリア，エクセロン・ジェネレーション，フロリダ・パワー＆ライト社，プログレス・エナジー，サザン・カンパニー，テネシー峡谷開発公社，GEエナジー，ウェスチングハウス・エレクトリック社

*2 ユニスター・ニュークリア：コンステレーション・エナジーとアレバ社の合弁会社。アーキテクト・エンジニアとして，ベクテル・パワー社が参加。

事前サイト許可（Early Site Permits）：電力会社が将来の原子力発電所の建設を見越して用地を確保（バンキング）でき，事前サイト許可が発給されたサイトについては，環境影響評価と緊急時計画がクリアーされているとみなされる。事前サイト許可は20年間有効。

建設・運転一体認可（Construction/Operating Licenses）：事業者が事前サイト許可を取得したサイトに設計認証を受けた標準型炉を建設する場合，建設前に建設・運転の一体認可が発給されるというもの。サイトと設計に関する事項はすでにクリアーされているとみなされるため，原子力発電所の完成後，供用前検査に合格するだけで運開できる。なお，これまでにNRCから標準型炉として設計認証（15年間有効）された原子炉は，GEのABWR,WHのシステム80＋とAP 600, AP 1000がある。また現在，GEのESBWRが審査中である。

レベルを示す「設計基準脅威」（design basis threat）を規定するとともに，定期的な対テロ実地訓練（“force-on-force” drill）を行う。また，NRCの所轄区域ごとに連邦保安調整官（federal security coordinator）を配置する；

―原子力発電所のデコミッショニング基金の取扱いに関する税制の改正。これまで電力市場が自由化された州では，原子力発電所の売買に伴うデコミッショニング基金の移管の際，買手に所得税がかかったり，運用益に対する税法上の優遇措置がなくなるケースがあったが，これを規制下にある州と同じにするとともに，原子力発電所の運転期間中，1984年以前のデコミッショニング基金への積立金を税控除の対象とする；

―米エネルギー省は，クラスC低レベル放射性廃棄物の取扱いに関する長期計画を1年以内，また，密封線源回収の短期計画について6ヶ月以内に連邦議会に報告する。

NuStart，AP 1000とESBWRのモデルサイト選定

原子力発電所の新規建設をめざし，建設・運転一体認可（COL）の実証を目的として設立されたコンソーシアムであるNuStartエナジー・デベロップメントは2005年9月，ウェスチングハウス社（WH）のAP 1000とゼネラル・エレクトリック社（GE）の高経済性単純化沸騰水型炉（ESBWR）のモデルサイトとして，テネシー峡谷開発公社（TVA）のベルフォンテ・サイト（アラバマ州）とエンタジー・ニュークリア社のグランドガルフ・サイト（ミシシッピー州）を選定した。

NuStartは2005年5月，建設・運転一体認可の実証の対象となる，米原子力規制委員会（NRC）か

ら設計認証を受けた2種類の第三世代＋（プラス）の標準型炉（ESBWRは現在，審査中）の候補地として，ベルフォンテ，グランドガルフ，リバーベンド（ルイジアナ州），サバンナリバー（サウスカロライナ州），カルバートクリフス（メリーランド州），ナインマイルポイント（ニューヨーク州）――の6地点を予備的に選定。モデルサイトの候補地となった地元は，いずれも原子力発電所の新規建設を歓迎していた。

NuStartは今後，ベルフォンテとグランドガルフへのAP 1000とESBWRの建設に向けた詳細エンジニアリング作業と環境影響評価を行い，2007年末か2008年初頭にもNRCに建設・運転一体認可を申請する予定。NRCの審査に2年程度を要するとみられるため，最初のCOL発給は2010年頃になる見通し。今回，選定されたモデルサイトに原子力発電所が建設されるかどうかは全くの白紙状態だが，この時点で建設が決定されれば，早くて2014年頃にも最初のユニットが運転開始されると期待されている。

なお，米エネルギー省（DOE）は建設・運転一体認可の実証のための費用（主としてシリーズ初号機の詳細エンジニアリング作業：FOAK）の50％を分担することになっているが，現時点では1種類の原子炉設計しか費用分担の対象となっていないため，NuStartは，「原子炉メーカーの競争と選択の余地を持つ観点から，2つの原子炉設計とも費用分担の対象とするようDOEに求めていく方針」（M. クレイNuStart理事長）である。

合計138万kWeの出力増強を予定

米原子力規制委員会（NRC）が2005年6月2日に発表した原子力発電所の熱出力増強に関する現状報告（Status Report on Power Uprates）によれば，米国では2005年度から2010年度の5年間に28の原子力発電所で合計413万9,000 kWth（電気出力で合計137万9,700 kWe）の熱出力増強が見込まれている。

米国では，1977年9月のカルバートクリフス原子力発電所を皮切りに熱出力増強が相次いでおり，2004年にはキウォーニ原子力発電所（増加率：6％，増加熱出力：9万9,000 kWth），パリセーズ原子力発電所（同：1.4％，3万5,400 kWth），インディアンポイント2号機（同：3.26％，10万1,600 kWth），2005年にはシーブルック原子力発電所（同：5.2％，17万6,000 kWth），インディアンポイント3号機（同：4.85％，14万8,600 kWth），ウォーターフォード原子力発電所（同：8.0％，27万5,000 kWth）の熱出力増強が相次ぎ認可された。2005年6月現在，米国では105件の熱出力増強が認可されており，これによる熱出力の増加は合計1,325万kWth（電気出力の合計では約441万6,700 kWe）と100万kW級の原子力発電所で4基に相当する。

また，2004年6月現在，バーモントヤンキー原子力発電所（増加率：20％，増加熱出力：31万9,000 kWth），ブランズフェリー2,3号機（同：ともに15％，49万4,000 kWth），ブランズフェリー1号機（同：20％，65万9,000 kWth），パロベルデ1,3号機（同：ともに2.94％，11万4,000 kWth），ビーバーバレー1,2号機（同：ともに8％，21万1,000 kWth），カルバートクリフス1,2号機（同：ともに1.3％，3万7,000 kWth），フォートカルホーン原子力発電所（同：1.6％，2万4,000 kWth）――の11基で合計271万4,000 kWth（電気出力で合計90万4,700 kWe）の出力増強がNRCにより審査中である。

なお，NRCは熱出力増強の種類をMU（Measurement Uncertainty Recapture）：測定誤差の修正（熱出力の増加率：～1.5％），S（Stretch）：計装設定値の変更（同：～7％），E（Extended）：高圧タービン，復水ポンプ，モーター，発電機，変圧器等のバランス・オブ・プラント（BOP）の大規模改修（同：～20％）――の3つのカテゴリーに区分している。

米国の原子力発電所の運転認可更新状況

（2006年1月末現在）

原子力発電所	炉型	出力（グロス出力）	電力会社（発給・申請時）	運転認可期限・申請・申請予定
運転認可更新（39基：3537万6000 kW）				
カルバートクリフス1号機	PWR	88万kW	コンステレーション・エナジー社	2034年
カルバートクリフス2号機	PWR	88万kW	コンステレーション・エナジー社	2036年
オコニー1号機	PWR	88万7000 kW	デューク・エナジー社	2033年
オコニー2号機	PWR	88万7000 kW	デューク・エナジー社	2033年
オコニー3号機	PWR	89万3000 kW	デューク・エナジー社	2034年
アーカンソー･ニュークリア･ワン1号機	PWR	88万3000 kW	エンタジー・ニュークリア・オペレーションズ社	2034年
E.I. ハッチ1号機	BWR	89万8000 kW	サザン・ニュークリア・オペレーティング社	2034年
E.I. ハッチ2号機	BWR	91万6000 kW	サザン・ニュークリア・オペレーティング社	2038年
ターキーポイント3号機	PWR	72万6000 kW	フロリダ・パワー&ライト社	2032年
ターキーポイント4号機	PWR	72万6000 kW	フロリダ・パワー&ライト社	2033年
ノースアナ1号機	PWR	97万1000 kW	ドミニオン・エナジー社	2038年
ノースアナ2号機	PWR	96万3000 kW	ドミニオン・エナジー社	2040年
サリー1号機	PWR	84万2000 kW	ドミニオン・エナジー社	2032年
サリー2号機	PWR	84万7000 kW	ドミニオン・エナジー社	2033年
ピーチボトム2号機	BWR	117万4000 kW	エクセロン・ニュークリア社	2033年
ピーチボトム3号機	BWR	114万4000 kW	エクセロン・ニュークリア社	2034年
セントルーシー1号機	PWR	87万2000 kW	フロリダ・パワー&ライト社	2036年
セントルーシー2号機	PWR	88万2000 kW	フロリダ・パワー&ライト社	2043年
フォートカルホーン1号機	PWR	50万2000 kW	オハマ・パブリックパワー・ディストリクト社	2033年
マクガイヤー1号機	PWR	122万kW	デューク・エナジー社	2045年
マクガイヤー2号機	PWR	122万kW	デューク・エナジー社	2046年
カトーバ1号機	PWR	120万5000 kW	デューク・エナジー社	2041年
カトーバ2号機	PWR	120万5000 kW	デューク・エナジー社	2043年
H.B. ロビンソン2号機	PWR	74万5000 kW	オハマ・パブリックパワー・ディストリクト社	2030年
V.C. サマー1号機	PWR	95万kW	サウス・カロライナ・エレクトリック&ガス社	2042年
R.E. ギネイ1号機	PWR	50万7000 kW	ローチェスター・ガス&エレクトリック社	2029年
ドレスデン2号機	BWR	91万2000 kW	エクセロン・ニュークリア社	2029年
ドレスデン3号機	BWR	91万2000 kW	エクセロン・ニュークリア社	2031年
クアドシティーズ1号機	BWR	91万2000 kW	エクセロン・ニュークリア社	2032年
クアドシティーズ2号機	BWR	91万2000 kW	エクセロン・ニュークリア社	2032年
ファーリー1号機	PWR	87万7000 kW	サザンニュークリア社	2037年
ファーリー2号機	PWR	88万4000 kW	サザンニュークリア社	2041年
アーカンソー･ニュークリア･ワン2号機	PWR	89万7000 kW	エンタジー・ニュークリア・オペレーションズ社	2038年
D.C. クック1号機	PWR	102万kW	インディアナ・ミシガン・パワー社	2034年
D.C. クック2号機	PWR	109万kW	インディアナ・ミシガン・パワー社	2037年
ミルストン2号機	PWR	90万8000 kW	ドミニオン・エナジー社	2035年
ミルストン3号機	PWR	120万9000 kW	ドミニオン・エナジー社	2045年
ポイントビーチ1号機	PWR	50万9000 kW	ウィスコンシン・エナジー・パワー社	2030年
ポイントビーチ2号機	PWR	50万9000 kW	ウィスコンシン・エナジー・パワー社	2033年
運転認可更新の審査中（12基：1038万8000 kW）				
ブラウンズフェリー1号機	BWR	109万8000 kW	テネシー峡谷開発公社	2004年1月
ブラウンズフェリー2号機	BWR	115万5000 kW	テネシー峡谷開発公社	2004年1月
ブラウンズフェリー3号機	BWR	115万5000 kW	テネシー峡谷開発公社	2004年1月
ナインマイルポイント1号機	BWR	63万5000 kW	コンステレーション・エナジー社	2004年5月
ナインマイルポイント2号機	BWR	116万9000 kW	コンステレーション・エナジー社	2004年5月
ブランズウィック1号機	BWR	96万2000 kW	プログレス・エナジー社	2004年10月
ブランズウィック2号機	BWR	92万5000 kW	プログレス・エナジー社	2004年10月
モンティセロ	BWR	56万9000 kW	ニュークリア・マネージメント社	2005年3月
パリセード	PWR	83万kW	ニュークリア・マネージメント社	2005年3月
オイスタークリーク	BWR	65万4000 kW	アマージェン社	2005年7月
ピルグリム1号機	BWR	69万6000 kW	エンタジー・ニュークリア・オペレーションズ社	2006年1月
バーモントヤンキー	BWR	54万kW	エンタジー・ニュークリア・オペレーションズ社	2006年1月
2006年内に運転認可更新を予定				
サスケハナ1号機	BWR	113万8000 kW	PPL サスケハナ社	2006年7月～9月
サスケハナ2号機	BWR	117万8000 kW	PPL サスケハナ社	2006年7月～9月
(未公表)	—	—	エンタジー・ニュークリア・オペレーションズ社	2006年7月
ウルフ・クリーク	PWR	121万3000 kW	ウルフクリーク･ニュークリア･オペレーティング社	2006年9月
シアロンハリス1号機	PWR	96万kW	カロライナ・パワー&ライト社	2006年10月～12月

（社）日本原子力産業協会　情報本部調べ

AP 1000 に設計認証

米原子力規制委員会（NRC）は2005年12月，ウェスチングハウス社（WH）が2002年3月に申請していた新型炉AP 1000（Advanced Passive 1000）に対する標準型炉としての最終設計認証（15年間有効）を発給した。AP 1000の設計認証は，連邦政府官報に同炉の設計認証規則が掲載されてから30日後に有効となる。NRCの設計認証が発給された新型炉は，ウェスチングハウス社のAP 600とシステム80+，ゼネラル・エレクトリック社（GE）の改良型沸騰水型炉（ABWR）に次いでAP 1000が4番目。米国では，このほか2005年8月にGEが高経済性単純化沸騰水型炉（ESBWR）の設計認証を申請している。

標準型炉の設計認証は，改正エネルギー政策法（1992年）で新たに導入された新しい許認可制度。従来の許認可制度では，建設許可を取得して原子力発電所を建設した後，これとは別に運転認可も取得しなくてはならず，運転認可発給に対する訴訟やNRCによる安全改善命令（バックフィット）によってリードタイムが長期化するというリスクがあった。これに対して，新制度では，事前サイト許可（ESP）を取得した環境影響評価や緊急時計画などのサイト関連の問題がクリアーされたサイトに設計認証を受けた標準型炉を建設する場合，建設許可と運転認可が同時発給され（建設・運転一体認可：COL），ITAACプロセスと呼ばれる一種の供用前検査だけで運転開始できる。

カナダ

オンタリオ州電力庁が2025年にらみ報告書――原子力発電所の新規建設を勧告

オンタリオ州電力庁（OPA）は2005年12月9日，再生可能エネルギーの拡大と原子力発電シェアの維持を柱とした「電源ミックス報告書」（The Supply Mix Advice Report）を同州のエネルギー大臣に提出した。OPAは，オンタリオ州における2025年時点の原子力発電シェアを50％に維持するため，原子力発電所の新規建設を勧告している。

この報告書はエネルギー大臣の諮問（2005年5月）を受けてまとめられたもので，OPAは今回の報告書をベースに今後20年間の「包括的電力供給計画」（Integrated Power System Plan）を州のエネルギー委員会に今夏にも提出する予定となっている。

報告書によると，トロント圏での人口増加と経済成長に伴いオンタリオ州の電力需要が急増すると見込まれる一方で，1990年代後半からの電源開発の停滞や全石炭火力発電所の閉鎖（2009年），経年化にともなう原子力発電所の閉鎖などによって需給ギャップが2025年までに2,400万kW（現在の総発電設備容量の約80％に相当）に拡大すると予測している。そうした上で，早ければ2013年頃には電力危機が発生する恐れがあると警告するとともに，原子力発電オプションはリードタイムが長いため早急な決定が必要であると勧告している。

特に原子力発電については，環境影響や発電コストの面からみても理想的なベースロード電源と位置づけており，2025年時点の原子力発電電力量を890億kWh，総発電電力量に占める割合（シェア）を50％，原子力発電設備容量を1,500万kWに維持するため，運転期間延長を目的とした既存の原子力発電所の改修やリプレイス，または新規サイトへの原子力発電所の建設を勧告している。

一方，風力発電や小型水力発電などの再生可能エネルギーについては，発電量を2005年の360億kWh（発電シェア23％）から2025年までに770億kWh（同43％），発電設備容量を785万5,000kWに拡大するよう勧告している。

ピッカリングA1号機が運転を再開，ブルースの2基も運転再開をめざす

オンタリオ・パワー・ジェネレーション社（OPG）は2005年11月3日，ピッカリングA1号機

(CANDU，51万5,000 kW）の営業運転を8年ぶりに再開した。OPG社は1997年12月から運転を休止していた同機に対して9億9,520万ドルの経費を投じて運転再開に向けた大規模工事を実施していた。

また，ブルース原子力発電所を運転するブルース・パワー社とオンタリオ州電力庁（OPA）は10月17日，運転を休止しているブルースA 1,2号機（CANDU，各76万9,000 kW）の運転再開と運転期間延長（25年間）を含む同発電所の投資計画（総額42億5,000万ドル）で合意した。

両者は2005年3月，1号機（1996年10月から運転を休止）と2号機（1995年10月から運転を休止）の運転再開で基本合意しており，現在，運転再開と運転期間の延長にともなう環境影響評価が実施されている。近く，環境影響評価報告書が原子力安全委員会に提出される見通しで，許可が得られ次第，改造工事に着手する。このほか，3号機（2004年1月に営業運転を再開）と4号機（2003年11月に営業運転を再開）でも蒸気発生器や燃料チャンネルの交換などの改造工事と運転期間の延長が計画されている。

使用済み燃料処分に関する最終報告書を政府に提出

カナダ放射性廃棄物管理機関（NWMO）は2005年11月3日，使用済み燃料の管理方法に関する勧告を盛り込んだ最終報告書を政府に提出した。NWMOは，2002年核燃料廃棄物法に従い設立された機関。

「進むべき道を選ぶ：将来におけるカナダの使用済み燃料管理」と題する報告書は，「適応性を持った段階的な管理」（Adaptive Phased Management）を基本的な考え方として，集中的な地層処分を柱に，適応性を踏まえて段階的に意思決定を行うべきであると提言している。

また，不測の事態に備えた選択肢として，集中的なサイトで浅地貯蔵できるようにすることも提案している。さらに，モニタリングの継続に加え，使用済み燃料を回収できるようにすること，市民を意思決定手続きに参加させることなどを求めている。

カナダ国内の使用済み燃料は現在，暫定的な措置として，オンタリオ，ケベック，ニューブランズウィックの各州の原子力発電所サイト内にある施設で貯蔵されている。このほか，量的には少ないものの，研究施設にも使用済み燃料が貯蔵されている。しかし，こうした使用済み燃料を最終的にどうするかについては，まだ政府として結論を出していない。

こうしたことから，核燃料廃棄物法の制定を受けNWMOが設立され，とりあえずの課題として，使用済み燃料の長期管理法について研究を行うとともに幅広く意見を聞き，連邦政府に勧告を行うことになっていた。NWMOは，集中貯蔵施設の誘致公募も行うことになっている。

欧　州

英　国

エネルギー政策の策定作業がスタート

英国のエネルギー・原子力政策の策定作業が2005年11月29日，正式にスタートした。ブレア首相は，同日開かれた英産業連盟（CBI）の年次会合で，2003年2月に公表したエネルギー白書（政策）に盛り込まれていた目標の達成に向けてどの程度の進展があったかについての検討を開始することを明らかにした。首相は，2006年の夏の早い時期までにはエネルギーと原子力に関する政策声明を公表すると明言した。

ブレア首相は，「各国は，1つのエネルギーに依存するのではなく，エネルギーの多様化をめざすことになろう」と指摘した上で，英国の電力の30%以上を供給している原子力発電所と石炭火力発電所が2020年頃までには閉鎖されるとの見通しを示した。首相は，2003年のエネルギー白書の柱であっ

た再生可能エネルギーによって，閉鎖される発電所の一部をまかなうことができるとしながらも，全てをまかなうことはできないとの見解を表明した。

一方，ブレア首相がエネルギー政策の再検討を正式に表明する場所として選んだCBI（の年次会合）は，首相演説に先立つ11月21日，「Powering the Future : Enabling the UK Energy Market to Deliver」と題する報告書を公表し，新しい世代の原子力発電所の建設に関する政府としての判断を1年内に下すよう要望した。

CBIは，自由化の結果として一時は大きく下がったエネルギー価格が再び急激に上昇に転じたことを最も懸念している。特に，ガスの先渡市場のボラティリティと価格急騰を懸念している。

原子力発電についてCBIは，原子力発電の将来を決める国民的な議論を2006年までに主導するよう政府に対して求めている。予想される原子力発電所の閉鎖については，極めて深刻な問題であるとの認識を示した上で，英国が掲げる温室効果ガスの排出量削減の目標を達成し，エネルギーの供給を安定的に確保するうえで不可欠であると指摘している。

また，国民的な議論を踏まえた上で原子力発電オプションを保持するという結論に達した場合には，①放射性廃棄物の処分戦略を支持する，②新規原子力発電所の経済性を明確化する，③熟練労働力を確保する，④計画の立案や規制，ならびに他の承認手続きが現実的な予定のもとで達成できるように保証する——施策を政府が講じる必要があるとしている。

学界や専門家協会も原子力発電支持を鮮明に打ち出している。地質学会，王立化学会，物理学会，電気技術者協会，土木技術者協会は2005年11月，合同で会議を開き，英国として早急に原子力発電所の新設を検討すべきであるとする勧告をまとめた。

それによると，閉鎖が予定されている原子力発電所の不足分の電力を再生可能エネルギーでまかなうことはできないと位置づけた上で，温室効果ガスの排出量を抑制しようとするのであれば原子力発電設備を維持しなければならないと指摘している。

原子力発電所の新設については，国内で製造能力がないため，各種基準や設計の承認などに関連した問題については国際的な協調が重要であるとの見解を示している。また，国際的に見ても原子力発電所の供給能力が限られているため，世界的な規模で同時に発注が行われるようなことがあれば，リードタイムがさらに長期化するおそれがあることから，早めの政策決定が求められると主張している。

こうした中で，英国最大の原子力発電事業者であるブリティッシュ・エナジー社（BE）のビル・コーリーCEO（最高経営責任者）は，既存の原子力発電所の運転期間を延長したとしても，電力供給に占める原子力発電の割合は2020年までに急激に低下するため輸入ガスへの依存度を上げる必要が出てくるだけでなく，温室効果ガスの排出削減目標を達成することは難しいだろうとの見方を示している。

また，コーリー氏は，原子力発電所を運転開始までにもっていくためには10年程度のリードタイムが必要なため，2007～2008年よりも早い時期に新規建設の決断を下す必要があると指摘している。

同氏は，新しい設計の原子力発電所について，効率が向上し建設コストも低減しているため，政府による直接的な財政支援がなくても建設することができるだろうとの見通しを示した。一方で同氏は，原子力発電所によるベースロード電力の長期契約といった形で政府が保証する必要があるとするとともに，放射性廃棄物の処分問題に政府として取り組む必要があると強調している。

BE社は，最近の卸電力価格の上昇によって業績が回復しつつあるが，コーリー氏は，同社が経営再建中であるため新規原子力発電所の建設を主導することはできないものの，条件さえ整えば建設計画への参加も考えられるとしている。

フランス

2020年から現行炉をEPRにリプレイス

フランス電力公社（EDF）が2005年8月に金融市場庁（AMF）に提出した部分民営化に伴う事業再編計画によれば，同社は2020年以降，年間1基のペースで運転中の原子力発電所を欧州加圧水型炉（EPR）でリプレイスしていく計画である。

EPRによる現行炉のリプレイスには，年間の設備投資額を約10億ユーロ増額する必要がある。同国では，現在，59基（合計出力：6,602万kW）の原子力発電所が運転中で総発電電力量の78%を供給している。このうちの半数は第一次石油ショック後の原子力発電拡大路線に基づき着工され，1970年代末～80年代末にかけて運転開始した90万kW級のユニットで，2015年以降，相次ぎ設計寿命（40年間）を迎える。

J-P. ラファラン内閣は，民間資本の導入による国際競争力の強化と売却益による財政赤字の補填のため，EDFやフランス・ガス公社（GDF）などの国営企業の民営化を進めている。フランス政府は2004年5月，EDFとGDFを株式会社化（部分民営化）する法案を閣議で採択。2004年11月には株式会社化法により部分民営化されており，2005年内には政府保有株（30%）が公開された。

EDFは2004年10月にフラマンビル原子力発電所（PWR，138万2,000 kW×2基）にEPRの初号機を着工すると発表。フラマンビル3号機となるEPR初号機は，出力が160万kWで総工費が約30億ユーロ。2007年に着工が予定されており，建設期間に5年程度を要することから，運転開始は2012年頃になる見通しである。

バックエンド戦略決定で報告書

フランス原子力庁（CEA）とフランス放射性廃棄物管理機関（ANDRA）は2005年6月，長寿命高レベル廃棄物処分の研究開発の成果をとりまとめた報告書「放射性廃棄物処分研究――2006年のバックエンド戦略決定に向けた研究成果と見通し（ドラフト）」（“Recherches sur les dechets nucleaires—Acquis et perspectives a l’echeance 2006”）をF. ロース経済・財務・産業相とF. グラール高等教育・研究担当相に提出した。最終報告書は2005年末に提出される予定で，これに基づき議会でバックエンド戦略に関する審議が行われ，2006年に新しい放射性廃棄物処分法が成立する見通しである。

フランスでは，1991年12月の「放射性廃棄物管理研究法」（バタイユ法）に基づき，2006年に議会がバックエンド戦略を決定することになっており，これに向けてCEAが，核種分離・消滅処理と地上・浅地層施設での長期貯蔵，ANDRAが深地層処分（回収可能処分も対象）の3つのオプションについての研究を実施している。

ANDRAはビュール・サイト（ムーズ・オートマルヌ県）のカロビアン-オクスフォーディアン堆積層（ジュラ紀の粘土層）で深地層処分研究のための地下研究施設を2000年9月に着工しているほか，CEAもアタランタ研究所（バルロー・マルクール）で核種分離・消滅処理研究と地上・浅地層施設での長期貯蔵のための研究（コンディショニング，マトリックスおよび貯蔵キャニスタ等）を行っている。

EDFが部分民営化

2005年10月，フランス電力公社（EDF）の政府保有株の公募（最大15%，総額：70億ユーロ）を行い，部分民営化された。

欧州電力市場の完全自由化（2007年7月）に備えてEDFの経営基盤強化と2004年時点で500億ユーロ（フランスの国内総生産の約3.6%）に達するフランスの財政赤字の削減を図る。

EDF民営化に対しては，同社の労働組合が公共サービスの低下と原子力発電所の安全確保への影響の観点から強硬に反対していたが，政府とEDFの間で取り交わされた公共事業に関する契約で電気料

金の維持とユニバーサル・サービスの維持（全国一律の電気料金体系と貧困層への電力供給）のほか，政府出資率も 85% を維持することが合意された。

フランス電力公社は 1 億 2,544 万 7,000 kW の総発電設備容量と 16 万 1,300 人の従業員を擁する欧州最大の電気事業者（ロシアの統一電力システム社：RAO-UES に次ぎ，発電設備容量，売上ともに世界第 2 位）。フランス国内のエネルギー市場開放（民営化）を目的とした「電気・ガス事業と電力公社およびガス公社に関する法律」（2004 年 8 月）により，EDF は国営企業（EPIC）から政府が株式の 70% 以上の保有を義務付けられた株式会社（SA）に改組。これにより EDF は増資の形での資金調達が可能となり，「今後 5 年間で総額 400 億ユーロの投資を計画中」（P. ガドネックス総裁）である。

EDF は 2004 年度の総売上が 469 億ユーロ（同：4.5% 増），純益が 13 億 4,100 万ユーロ（同：56% 増）で，2005 年上期の総売上も 252 億ユーロ（同：6.6% 増），純益が 21 億 3,000 万ユーロ（同：23.9% 増）だが，積極的な対外投資に伴う負債が 2005 年上期で 191 億ユーロ（前年同期比 3.1% 減）あり，資本強化による経営基盤の安定が大きな課題となっている。

EDF は欧州（英国，ドイツ，スペイン，イタリア，ポーランド，スロバキア，ハンガリー）をはじめ，北米（米国，メキシコ），南米（ブラジル，アルゼンチン），アジア（中国，ベトナム，ラオス），アフリカ（南アフリカ，エジプト，モロッコ，象牙海岸）など 22 ヶ国に 75 社のグループ企業を持ち，35 ヶ国で電力関連サービスおよびコンサルティング事業を展開している。

ドイツ

オブリッヒハイム原子力発電所が閉鎖

オブリッヒハイム原子力発電所（PWR, 35 万 7,000 kW）が 2005 年 5 月 11 日，閉鎖された。同発電所の閉鎖は，2002 年 4 月に施行された改正原子力法に基づくもので，2003 年 11 月に閉鎖されたシュターデ原子力発電所（PWR，67 万 2,000 kW）に次いで 2 基目。今後，2007～2023 年にかけてデコミッショニング作業が行われる予定である。

同発電所は，ドイツで運転中の原子力発電所としては最も古く，1969 年 4 月に営業運転を開始，累積で約 900 億 kWh を発電した。

ドイツでは 2001 年 6 月，連邦政府と電力業界との間で原子力発電所の運転期間を基本的に 32 年にすることなどを骨子とした合意がなされ，2002 年 4 月の原子力法の改正で脱原子力政策が法制化された。ただ，同法は，発電所の運転期間を発電電力量ベースで定めており，規定の発電量に達した原子力発電所から順次閉鎖されるが，発電所間で電力量の譲渡が認められるため，全ての原子力発電所が閉鎖となる時期は予測できない。

なお，次にドイツで閉鎖されるのはビブリス A 原子力発電所（PWR，122 万 5,000 kW）で，2007 年 2 月に閉鎖される予定。

CDU/CSU と SPD が連立政権

ドイツ連邦議会（定数：598 議席）の総選挙が 2005 年 9 月に行われ，脱原子力政策の見直しを公約に掲げた野党第一党のキリスト教民主・社会同盟（CDU/CSU）が僅差で与党・社会民主党（SPD）を抑え，第一党となった。

同 11 月には，キリスト教民主党 A. メルケル党首と社会民主党の F. ミュンテフェリンク党首が現行の脱原発政策の維持を盛り込んだ連立協定に合意し，大連立政権が発足した。総選挙以降，継続されてきた連立協議では，CDU/CSU が主張する①脱原発政策の見直し（原子力発電所の運転期間延長）と SPD が主張する②高額所得者の税率引き上げが最後までネックとなっていたが，協議の結果，新政権は段階的な脱原発を規定した現行の原子力法の維持と「富裕税」（年間 25 万ユーロ以上の高額所得者の

最高税率を42%から45%に引上げ）の導入が決定され，いずれもSPDに押し切られた形となった。

その後，2006年1月，M. グロス連邦経済技術相は，ロシアによるウクライナへの天然ガス供給停止を受け，ドイツの長期的なエネルギー安定供給を抜本的に再考する必要があるとし，「2006年3月に予定されているエネルギー政策に関するナショナル・サミットでは，現行の脱原発政策の見直しが中心課題になる」との見通しを示した。

ナショナル・サミットはメルケル首相の提唱によるもので，同国のエネルギー産業首脳を含めて，エネルギー政策の議論が行われることになっている。ドイツは天然ガス供給の約30%をロシアからの輸入に頼っている。ただ，メルケル首相は，「脱原子力政策は連立交渉で決着しており，この姿勢に変わりはない」（T. シュティーグ首相スポークスマン）としている。

モルスレーベン処分場の閉鎖は2009年以降

連邦放射線防護庁（BfS）のW. ケーニッヒ長官は2005年9月，ザクセン・アンハルト州（旧東ドイツ）のモルスレーベン中・低レベル放射性廃棄物処分場（ERAM）の閉鎖は，州政府による許認可手続きなどによる遅れのため，当初予定の2008年から2009年以降になるとの見通しを示した。モルスレーベン処分場は最終的に400万トンのコンクリートで埋め戻され，閉鎖作業には20年の期間と20億ドルの費用が見込まれている。

モルスレーベン処分場は，旧東ドイツでグライフスバルト1～4号機（VVER-440×4基）を運転していた旧東ドイツのブルノー・ロイシャー原子力発電会社（VEB）が1978年から中・低レベル廃棄物と使用済み線源の最終処分を行っていた。その後，1990年にはドイツ統一に伴い所有権が連邦放射線防護庁に移管され，ドイツ廃棄物処分施設建設・運営会社（DBE）が操業していたが，1998年9月に廃棄物の受入を中止。この時点までに3万6,752 m^3 の放射性廃棄物と6,621個の密封線源が処分された（放射能量だとベータ・ガンマ廃棄物が3.8×1,014ベクレル，アルファ廃棄物が2.3×1,011ベクレル）。以降，処分坑道の崩落を防止するための部分的な埋戻（バックフィル）作業が行われている。モルスレーベン処分場の閉鎖が完了すれば，世界で最初の永久閉鎖された放射性廃棄物処分場となる。

ベルギー

脱原子力政策の見直しを提案

2005年9月5日付の「Het Nieuwsblad」インターネット版によると，与党・フラマン（蘭語）系自由民主市民党（VLD）のJ.M. デデッカー上院議員は，現行の脱原子力政策の見直しを提案した。

ベルギーでは，現在7基（合計出力：605万kW）の原子力発電所が運転中。2003年1月に成立した脱原子力法では，電力供給に支障が生じる場合は，原子力発電所を早期閉鎖しないとの条件付きで，①原子力発電所の運転期間を40年に限定，②新規建設の禁止――が定められた。運転中の7基のうち，2015年に40年目を迎えるドール1号機（PWR，41万2,000 kW：1975年に運転開始）を皮切りに，2025年には最後のチアンジュ3号機（PWR，106万5,000 kW：1985年に運転開始）が閉鎖される。原子力発電所の新規建設も禁じられているため，2025年には全ての原子力発電所が姿を消すことになる。

しかし，ベルギー国内では，エネルギー供給安全保障や地球環境などの観点から脱原子力政策の見直しを求める声が高まっており，2004年9月にはM. ヴェルヴィルヘン・エネルギー相が，「エネルギー戦略の検討結果次第では，2003年の脱原子力法の見直しもあり得る」との見解を表明，2006年にも原子力政策の議論を再開させたい意向を表明していた。

スペイン

2011年までに原子力発電設備容量が縮小

スペイン政府（社会労働党政権）は2005年7月，同国の総発電設備容量に占める原子力の割合を2011年までに現在の約23%から10～16.5%に削減する計画を発表した。

サパテロ首相は，2004年の総選挙時の公約として，原子力発電所の段階的閉鎖や再生可能エネルギーの導入促進策を盛り込むなど，脱原子力政策を掲げていた。しかし，京都議定書に規定されたCO_2排出量削減目標の達成には原子力が不可欠なことから，その実現性が疑問視されている。

こうした中，国際エネルギー機関（IEA）は2005年10月10日，「Energy Policies of IEA Countries—Spain 2005 Review」を発表，スペインの脱原子力政策の見直しを提言した。

IEAは今回の報告書の中で，スペインに対し，原子力発電からの撤退は，経済成長や環境面にマイナスの影響を与えると懸念を表明。同国のエネルギー需要は，急速に伸びており，今後も増加が予想されるとした上で，エネルギーの供給確保の観点から，政府は脱原子力政策が及ぼす影響を十分に検討する必要があると指摘した。また，全体の電力需要と比較して，国境間の脆弱な送電系統などにより，孤立する島嶼地域と同じような事態（電力不足）を招く恐れがあるとし，同国のエネルギー安定供給上，このようなリスクはエネルギー需要の増大に伴い高まるであろうと警告している。

さらに報告書によると，スペインは，2003年までに温室効果ガスの排出量が90年比で41%増加し，目標値であるプラス15%を大きく上回るなど，気候変動に関して国家戦略に欠くスペイン政府の姿勢を批判している。

スイス

改正原子力法が発効

スイスの改正原子力法が2005年2月1日，同施行令と共に発効した。スイス全州議会（上院）と国民議会（下院）は2003年3月21日，政府が2001年3月に提出した同法案を承認していた。新しい原子力法には，原子力オプションの維持，使用済み燃料の再処理の2006年以降10年間のモラトリアム（凍結），放射性廃棄物最終処分場の立地に対する州の拒否権の廃止などが盛り込まれている。また，1990年以来，凍結されていた新規原子力発電所の建設については，計画の是非を別途，国民投票に委ねることとなった。

再処理については，再処理路線の継続か凍結で上院と下院の意見が分かれていたが，最終的には上院の主張どおり現行の契約が切れる2006年7月以降も10年間にわたって凍結される。また，原子力施設の立地に関する権限を州から連邦政府に移すことになったのは，ニトバルデン州で2002年9月に行われた住民投票により，同州のベレンベルクに低・中レベル放射性廃棄物（LLW・ILW）の研究所を建設する計画が再度否決されたことを受けたものである。

2020年以降の電力不足に備え，新規原子力発電所の建設を検討

スイス最大手の電力会社であるAXPOグループは2005年5月24日，2020年以降の電力不足に備えて，ガス火力発電所の建設や既存の水力発電所の出力増強，再生可能エネルギーの利用拡大などを内容とした総額50億スイス・フラン（約40億ドル）の電源投資を行うとともに，2030年以降の長期的な電源オプションとして原子力発電所の新規建設も検討していることを明らかにした。現在，原子力発電所の建設計画は全くの白紙状態で，2008年頃にフィージビリティ・スタディを行うかどうかを決定

する。

AXPOグループは，ベツナウ1,2号機（PWR，各38万kW）を所有・運転する北東スイス電力会社（NOK）を傘下に持つスイス最大の電力会社。同社のH. カラー最高経営責任者（CEO）は，2020年以降，ゲスゲン1,2号機が閉鎖され，フランス電力公社（EDF）との電力輸入契約が更新されなかった場合，2030年までにスイスの電力需給ギャップが年間100～300億kWh（電力需要の15%～33%に相当）に達する可能性があると指摘。2020年以降の電力需給ギャップに備えて，2018年までにベースロード電源を確保する必要があり，遅くとも2008年までに対応策を決定しなくてはならないとの見解を示した。

また同氏は，原子力発電所の新規建設は，リードタイムを考えれば2020年にも顕在化するとみられる電力不足には間に合わないが，化石燃料価格の上昇による影響を受けず，温室効果ガス排出を伴わないなどの特長から，原子力発電は2030年以降のベースロード電源として望ましい電源オプションであるとの考えを述べた。

オランダ

政府，脱原子力政策を撤回――ボルセラ発電所，2033年12月まで運転継続へ

オランダ政府は2006年1月10日，国内で唯一運転中のボルセラ原子力発電所（PWR，48万1,000 kW）の運転期間延長（20年）を認可し，運転開始から60年目にあたる2033年12月まで運転を継続すると発表した。バルケネンデ首相率いるキリスト教民主同盟（CDA），自由民主党（VVD），民主66党（D 66）の3党連立政権は2005年9月，連立内閣発足の条件の1つとして2013年の同発電所の閉鎖を定めた合意（2003年5月）を公式に撤回していた。

今回，ボルセラ発電所の運転期間延長の条件として，①運転者のEPZ社が省エネ技術や化石燃料火力の大気汚染防止および炭素隔離技術，バイオマスなどの再生可能エネルギーの開発に2億5,000万ユーロ（3億200万ドル）を投資すること，②同発電所が常にEUや米国，カナダにおける“最も安全な原子力発電所トップ25”入りし，これを維持すべく，5年ごとに独立した専門家チームによる広範な調査を実施すること，③閉鎖期限を迎えた2033年以降，速やかに解体・撤去すること――などが盛り込まれた。

ボルセラ原子力発電所をめぐっては，ゲール環境副大臣（CDA）をはじめとする主要閣僚が2005年2月，地球温暖化防止やエネルギー供給安全保障の観点から，同発電所の運転継続を含めた原子力発電利用について相次いで支持を表明するなど，与党内部で原子力政策の見直しの機運が高まっていた。こうした中， 与党第一党であるCDAが同6月23日，ボルセラ発電所の運転を2013年以降も継続すべきとした報告書「健康，安全で生きがいのある生活に向けて――持続可能な発展に関する投資」（“For a Healthy, Safeand Liveable Life—Investing in Sustainable Development”）を発表。その中で，同発電所の運転期間延長のほか，廃棄物問題の解決など条件付きながらも，原子力発電所の新規建設などが盛り込まれた。

これまで，与党3党のうち，第二党のVVDはボルセラ原子力発電所の運転継続も含めた原子力発電利用については前向きであった。一方，少数与党であるD 66は当初，「ボルセラ原子力発電所の閉鎖については，すでに3党間で合意されている」との態度を表明していたものの，最近になって同発電所に対する補償として電力会社（EPZ社）に支払われる資金を持続可能なエネルギー・プロジェクトに充当することなどを条件に，2013年以降の運転継続を容認する方針を示した。

CDAも連立政権発足時の合意もあり，「2013年のボルセラ原子力発電所閉鎖という基本方針に変わ

りはない」（バルケネンデ首相）としていたが，原子力発電に関する議論の再開については支持していた。

1973年に運転を開始したボルセラ発電所の運転については，これまでも政党間で意見が対立してきた。CDAは94年，当時のSEP社（現EPZ社）に対して発電所の安全性向上を条件に運転継続を認めたものの，その直後に労働党政権が誕生。議会は2003年末の停止を決定した。これを不服とするEPZ社の従業員らの訴えを受けたオランダ高等行政裁判所は2000年，議会の決定を違法と判断。民事裁判所も2002年，早期に閉鎖する法的な根拠はないとする判決を下した。これに対し政府は上訴しないことを決めたため，EPZ社と政府との訴訟は終結していた。

その後，2003年1月の総選挙の結果，同5月にCDA，VVD，D 66の3党からなる第二次バルケネンデ内閣が発足。連立内閣発足の条件の1つとして2013年のボルセラ原子力発電所の閉鎖が合意されていた。

ボルセラ発電所の出力増強を計画

EPZ社は2005年2月3日，ボルセラ発電所の出力増強のため，シーメンス・オランダ社と契約した。契約総額は約4,300万ユーロ。2006年の計画停止期間中にタービン・ローター，タービン・ブレード，気水分離器等の交換が行われ，電気出力が3万kW増強される。

イタリア

ENEL，フラマンビル3号機の建設計画に参画へ

イタリア電力公社（ENEL）とフランス電力公社（EDF）は2005年5月30日，2007年に着工予定のEDFのフラマンビル3号機（欧州加圧水型炉：EPR，160万kW）の建設計画へのENELの資本参加（12.5%）に関する合意覚書（MOU）に調印した。ENELは今後，フランスの原子力市場に参画し，エンジニアの派遣などを通じてイタリアの原子力技術の維持・回復を図る方針。

イタリアは，チェルノブイリ事故の翌年の1987年11月，国民投票の結果（原子力開発の5年間凍結）を受け，同年12月に建設中だったモンタルト・デ・カストロとピエモンテの2つの原子力発電所の建設工事を中止。また，1982年3月に閉鎖されていたガリリアーノ発電所（BWR，16万4,000 kW）に加えて，運転中だったラティナ発電所（GCR，16万kW）が1987年12月，カオルソ発電所（BWR，88万2,000 kW）とトリノ・ベルチェレッセ発電所（PWR，27万kW）が1990年6月にそれぞれ閉鎖され，現在運転中の原子力発電所はない。

こうした中，2005年10月30日付の現地紙Il Sole 24 Oreによれば，A. マッテオーリ環境相は，「原子力発電は（エネルギー供給安全保障および気候変動問題の）解決策となり得るが，新たな原子力発電所の建設には10～15年の期間と超党派の支持が必要」と述べ，将来の原子力発電再開に含みを持たせた。また，将来的な原子力発電所の新規建設にあたっては，技術力および競争力の観点から，（欧州屈指の航空宇宙・防衛産業である）イタリアのフィンメカニカ社（Finmeccanica S.p.A）を中心とした事業主体が考えられるとの見解を示した。S. ベルルスコーニ首相も同1月20日，イタリアは原子力発電オプションを放棄すべきではないと述べるとともに，「2006年の総選挙で再選されれば，原子力発電に関する議論を再開することもあり得る」とし，脱原子力政策の転換の可能性を示唆している。

スウェーデン

バーセベック2号機が強制閉鎖

政府によって2004年12月に閉鎖が決定していたバーセベック2号機（BWR，61万5,000 kW）が2005年5月31日，閉鎖された。同発電所周辺の地元住

民は，政府が環境影響評価を実施せずに原子炉の停止を命じることはスウェーデンの環境法に違反するとして，同機の閉鎖差し止め請求を行なっていたが，スウェーデン最高行政裁判所は申し立てを却下，予定通り閉鎖された。

2号機の閉鎖をめぐっては，少数与党である社会民主党が2004年10月4日，政策上提携関係にある左翼党と野党・中央党との間で，2004年末までとされた同機の閉鎖期限を2005年に決定することで合意。政府はその後，同12月16日に，閉鎖期限を2005年5月31日とすることを正式決定していた。

政府は，2005年の閉鎖を決定した理由として，政府と原子力発電事業者との間で同発電所閉鎖の具体的方策について合意に至らなかったため，としている。1999年に閉鎖された同1号機（BWR，61万5,000 kW）に続き，2号機も政府による強制閉鎖によって幕を閉じることとなった。

スウェーデンでは2002年6月，原子力発電所の段階的廃止に期限を設定せず，ドイツと同様に脱原子力政策の継続について原子力発電事業者との合意を模索する内容を盛り込んだエネルギー政策法が成立している。これに従い政府は同年夏，スウェーデンの国営鉄道当局のトップを務めるB．ビュールント氏を調整役に任命。同氏が電気事業者とバーセベック2号機の閉鎖問題も含め，国内すべての原子力発電所の段階的閉鎖に向けた具体的なスケジュールの交渉を行ない，2004年4月末には正式な報告書を政府に提出する予定となっていた。そしてビュールント氏は同5月10日，産業・雇用・通信省のL．パグロツキー相（当時）に宛てた書簡の中で，同2号機の早期閉鎖問題について，「政府と電力業界が閉鎖スケジュールで合意に達することは到底不可能」と報告した。

野党・中央党，脱原子力政策の転換を示唆

2005年2月4日付のスウェーデンの有力紙『Svenska Dagbladet』によれば，野党中央党のM．オロフソン党首は，「現在，スウェーデンで運転中の原子力発電所は，1基（バーセベック2号機）を除き，安全性に問題がない限り運転を継続すべき」と述べ，同党の脱原子力政策の転換を示唆した。

中央党は，1976年の総選挙直前に原子力発電が政治問題化するきっかけを作った党であり，また最近では政府が決定したバーセベック2号機の強制閉鎖を支持するなど，長年，反原子力の立場を貫いてきた。

スウェーデンでは，穏健党，自由党，キリスト教民主党の中道・右派の野党3党が与党社会民主党政権（左翼党と緑の党が閣外協力）の脱原子力政策に反対しており，2006年9月に予定されている総選挙の結果次第では，中央党を含む中道・右派連合の4党が政権の座につく可能性もあり，スウェーデンの脱原子力政策が変更される可能性もあり得るとの見方も出てきている。

世論調査では，野党4党の支持率が与党3党をわずかながら上回っているほか，社会民主党の支持基盤であるスウェーデン労働組合連合（紙・パルプや鉄鋼業など，電力集約型産業の労組から構成されるスウェーデン最大の労働組合）も社民党政権の脱原子力政策に反対している。

政府，リングハルス1,3号機の出力増強を承認

スウェーデン政府は2005年10月20日，リングハルス社が2004年3月に申請したリングハルス1,3号機（BWR，1号機：86万5,000 kW，3号機：96万5,000 kW）の出力増強計画（1号機：1.5%，3号機：13.5%）を承認した。

スウェーデン原子力施設検査局（SKI）は2004年12月，リングハルス1,3号機の出力増強計画を承認したが，環境裁判所は2005年5月，政府が使用済み燃料と高レベル廃棄物の最終処分計画を承認していないことなどを問題として，出力増強計画に関する司法判断を避け，この決定を政府に委ねる裁定を下していた。

その他，SKIは2005年9月7日，OKG社が申請していたオスカーシャム3号機(BWR，120万5,000 kW)の出力増強計画(熱出力18%アップ)を承認。今後，最終的な政府の承認を待って，改造工事が実施され，2008年にも完了する予定。さらに同年秋，フォルスマルク1～3号機（BWR，1,2号機：100万8,000 kW，3号機：119万kW）を運転するFKA社がSKIに対し，これら3機の出力増強を申請している。

バーセベック2号機閉鎖の補償問題で合意

2005年5月31日に強制閉鎖されたバーセベック2号機（BWR，61万5,000 kW）の補償をめぐり，スウェーデン政府と同機を共同所有するE.ONスウェーデン社（シドクラフト社の親会社）とバッテンフォール社（国営電力）との間で2005年11月10日，政府が両社に総額56億クローナ(約840億円，1クローナ＝約15円）を支払うことで合意した。具体的な補償内容として，政府はバッテンフォール社に対し，直接補償として4年間にわたり41億クローナ，デコミッショニングまでの閉鎖・保守費用として2005年から2017年にかけて15億クローナを支払う。また，E.ONスウェーデン社は，リングハルス社の株式保有率が3.76%引上げられ，29.56%となる。なお，リングハルス社は，1999年にバーセベック1号機（BWR，61万5,000 kW）が閉鎖される際の補償協定に基づき，民営電力のシドクラフト社所有のバーセベック発電所と国営電力のバッテンフォール社所有のリングハルス発電所を統合し設立された新会社。

E.ONスウェーデン社のL．フリティオフ最高経営責任者（CEO）は，今回の合意について，バーセベック2号機の閉鎖は,産業・家庭部門のみならず，環境にも悪影響を与えるとして遺憾の意を表明し，「2号機の閉鎖に伴い，政府補償や環境の質の低下，輸入電力の増加など外部コストを考えれば，今回の合意において誰も勝者はいない」とコメントした。

さらにE.ONスウェーデン社の見解として，早期閉鎖は，スウェーデンの産業競争力を失わせ，温暖化ガス削減目標の達成をより困難にすると指摘，今後も国内の電力需要の増大が予測される中，政府は，世界的な原子力発電見直しの潮流に逆行する決定を下したとして，強い懸念を表明している。

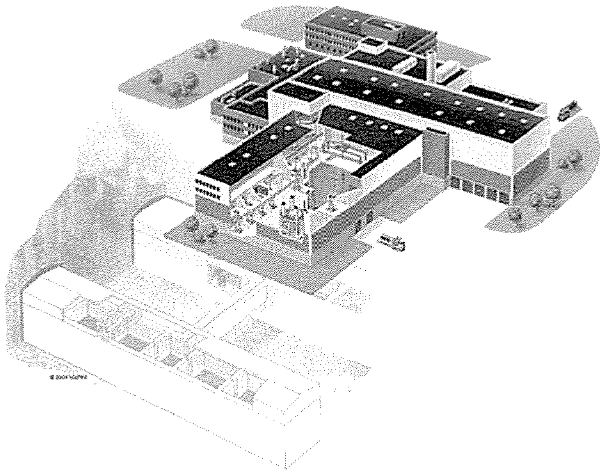
一方，バッテンフォール社は，今回の補償合意について，妥当かつ満足の行く内容である，との声明を発表している。

使用済み燃料のキャニスター封入プラントを建設へ

スウェーデン核燃料廃棄物管理会社（SKB）は2005年5月，使用済み燃料のキャニスター封入プラント（encapsulation plant）をオスカーシャム原子力発電所近くの使用済み燃料集中中間貯蔵施設（CLAB）に隣接して建設することを決定した。2006年にも同プラントの建設認可申請を行なう予定。

スウェーデンの使用済み燃料の処分方針は，再処理せずに，そのまま高レベル放射性廃棄物として処分する直接処分が原則。使用済燃料は，銅–鉄2重構造キャニスター（外部が銅製，内部が鋳鉄製）に封入した後，地下500メートルの結晶質岩盤内に処分される。

SKBは現在，使用済み燃料最終処分場2地点（オスカーシャム，エスタマル）でボーリング調査等の詳細な地質調査を実施しており，今後，2007年までに最終処分場1ヶ所を選定し，2010年の着工，2017年の操業開始をめざしている。



キャニスター封入プラントの完成予想図（出典：SKB）

地元は処分場の受け入れに好意的

世論調査によると，スウェーデン国民の75%が「(規制当局が安全と認めたならば) 使用済み燃料の最終処分は速やかに実施されるべき」と考えていることが明らかになった。これは，スウェーデンの世論調査機関TEMOが，スウェーデン核燃料廃棄物管理会社（SKB）の委託により，全国の16歳以上の1,000人を対象に対面形式で実施したもので，世論調査で，82%が自国での使用済み燃料の処分を支持していることも分かった。

また使用済み燃料の処分場立地に関し，地質調査を受け入れているオスカーシャムとエスタマル両地区でそれぞれ800人を対象に同様の調査を実施したところ，70%以上が処分場の受け入れに好意的なことが明らかになった。一方，全国レベルでは51%が地元での建設に反対と回答している。

SKBのC. テーゲルストローム社長は，「使用済み燃料の最終処分プログラムに対する支持は，最終処分場の地質調査を実施している地域の住民に高い傾向がある。」と分析している。

65% が原子力発電所の早期閉鎖に反対

スウェーデンで実施された世論調査によると，65%が原子力発電所の早期閉鎖に反対していることが明らかになった。一方，「早期閉鎖を支持する」と回答した人は26% だった。

この調査はスウェーデンの世論調査機関TEMOが2005年11月，スウェーデン原子力安全訓練センター（KSU）の委託で2,062人（18歳以上）を対象に実施したもの。

それによると，今後の原子力政策について，「10基の原子力発電所の段階的閉鎖を支持する」と回答した人は，TEMOが同3月に実施した同様の世論調査から7ポイント増え，20% に上昇した。これに対し，38% が「安全性や経済性に問題がない限り，運転を継続する」，24% が「運転を継続し，運転寿命に達したら新規炉で代替する（現状の原子力発電の水準を維持し，必要とあれば新規炉を建設する)」，15% が「原子力発電開発を推進し，さらに新規炉を建設する」と回答。依然，約8割の人が原子力発電を支持している現状が浮き彫りになった(2004年10月にTEMOが実施した同様の調査では，82% の人が原子力発電を支持)。

さらに環境対策での最重要課題について聞いたところ，80% が「CO 2 排出量の削減」，11% が「水力発電所建設の阻止による河川の保護」と回答。「原子力発電の段階的閉鎖」と回答した人の割合はわずか5% だった。

原子力発電税を引き上げへ

スウェーデン政府は2005年12月16日，2006年1月から原子力発電税を約2倍に引き上げることを決定した。これにより，2006年予算には，13億9,000万クローネ（約200億円）が追加され，同税の合計では約30億クローネ（約420億円）に達する見込み。

原子力発電税は，実際の発電電力量ではなく認可出力に基づいて課税される固定税。発電事業者側はかねてより，原子力発電所の経済性を損ねている要因として，原子力発電税の即時撤廃を要求していた。

フィンランド

オルキルオト3号機が着工

テオリスーデン・ボイマ社（TVO）が建設を進めているオルキルオト3号機（EPR＝PWR，グロス電気出力170万kW）で2005年8月12日，コンクリートの打設が行われ，同機は正式に着工した。また同9月12日にはP．リッポネン前首相臨席の下，セレモニーが行われた。フランスのフラマトムANP社が原子炉系統，ドイツのシーメンス社がタービン系統を供給し，2009年の運転開始をめざす。

セレモニーに出席したリッポネン氏は，世界の最近のエネルギー情勢を踏まえ，エネルギーの多様化を図っていくことが重要であり，フィンランドが欧州のエネルギー政策にとって有益なモデルになるだろうと述べるとともに，次期エネルギー白書で国内における原子力発電の一層の拡大の必要性が盛り込まれるとの見通しを示した。

TVOの社長兼最高経営責任者のP．シーモラ氏は，約30年前の初号機建設から現在に至るまで，フィンランドの電力消費量は約3倍にも膨れ上がり，今後も緩やかな上昇傾向が続くと指摘。電力は同国の競争力を維持し高めるために不可欠であり，原子力発電所のさらなる拡大が必要であると主張した。

こうしたなかフィンランド政府は同12月，新しいエネルギー白書を原則決定し，その中で，いかなる電力形態も排除しないとしながらも，再生可能エネルギーの拡大を提案する一方で，大方の予想に反して原子力に関する明確な言及を避けた。


オルキルオト3号機の建設現場

オルキルオト2号機，出力増強

テオリスーデン・ボイマ社（TVO）は2005年11月9日，オルキルオト2号機（BWR，89万kW）の高圧蒸気タービンの交換を行い，電気出力2万kW分が出力増強されて89万kW（グロス出力）になったと発表した。

交換作業は，大規模なバックフィット作業中に仏アルストム社が実施した。総工費は3,500万ユーロ。またに，同1号機(同)のタービン交換が，来年(2006年）にも行われる予定。

ポーランド

初の原子力発電所の建設計画を了承

ポーランド政府は2005年1月4日，2005～2025年のエネルギー政策を閣議決定し，同国初となる原子力発電所の建設計画を了承した。

ポーランドでは5年毎に，向こう20年のエネルギー政策を見直している。前回の2000年に策定されたエネルギー政策（2000～2020年）では，原子力発電のオプションは明記されていなかった。しかし，今回策定されたエネルギー政策では，「エネルギー多様化と温室効果ガス排出量削減の観点から原子力発電所の建設は妥当だが，資金確保やパブリック・アクセプタンスに要する時間を考慮すれば原子力発電所の運開は2021～2025年頃になる」と明記されている。

チェコ

計画中のテメリン3,4号機のスケールアップを検討

貿易・産業省のM. ペシナ次官は2005年5月22日，プラハで開催されたチェコ電力（CEZ）とFORATOM（欧州原子力産業会議）主催の会議“The Energy For Life”で講演し，テメリン原子力発電所に増設が計画されている3,4号機の出力について，これまでの60万kW級から140万～150万kW級にスケールアップする方針を検討していることを明らかにした。

ペシナ次官によると，スケールアップの理由として，再生可能エネルギーのエネルギーミックスに占める割合は将来的に見ても小さいと予測されることや温暖化ガス排出削減目標の達成，などを挙げている。また同氏は，原子力発電拡大により，チェコはエネルギー供給の自立を図り，2030～2040年頃には電力輸出国になることが可能，との見通しを示した。

貿易・産業省は2003年6月，今後30年間の同国のエネルギー戦略として，①ホワイト（現行のエネルギー政策を維持），②グリーン（褐炭生産量を制限，再生可能エネルギーを助成，2基の原子力発電所を新規建設），③ブラック（石炭輸入を拡大），④レッド（天然ガス輸入を拡大），⑤ブルー（原子力発電所建設を促進），⑥イエロー（原子力発電所建設を大幅に促進）――の6つのエネルギー・シナリオを策定。その後，チェコ環境省などによる評価を経て，2004年3月には，国産エネルギー利用の拡大と2030年を目標とした60万kW級の原子力発電所（炉型未定）2基の建設を骨子とするシナリオが政府により承認されている。

スロバキア

公営電力の66％をイタリア電力公社へ売却

スロバキア政府とイタリア電力公社（ENEL）は2005年2月17日，スロバキア政府が全株保有しているスロバキア電力（SE）の株式66％をENELへ売却することで合意に達し，売却契約に調印した。売却額は，8億4,000万ユーロ（10億米ドル）で，イタリアが海外で行う買収の中でも最大規模となった。

契約では，①ENELは2005年6月末までに，建設中のモホフチェ3,4号機（VVER-440/213，各44万kW）を完成させるための投資計画を提出する，②スロバキア政府はボフニチェ1,2号機（VVER-440/230，各44万kW）のデコミッショニングに関する法律を整備する――の2つが条件になっている。

こうした中，スロバキア政府は同8月14日，ENELがSEの発電設備容量拡大に730億コルナ（23億ドル）を投じることなどが盛り込まれた戦略投資計画に合意。P. ルスコ経済相によると，うち大部分の600億コルナ（19億ドル）がモホフチェ3,4号機の建設資金に充てられるほか，年内にも両機の建設を再開し，完成には約4年かかる，との見通しを示した。

運転中のボフニチェ1,2号機は，スロバキアのEU加盟と引き換えに，それぞれ2006年と2008年に早期閉鎖されることが決定している。スロバキアは，両機以外にも旧式の石炭火力発電所を閉鎖する予定で，経済省のエネルギー政策案によると，2009年には深刻な電力不足に陥ると予想されていることから，モホフチェ3,4号機が完成するまで，火力発電所の出力増強や電力輸入などでしのぐ必要がある。

また，建設中のモホフチェ3,4号機は，1987年に着工されたが，1992年に資金難から建設が中断。その後2000年からIAEAの勧告に従って維持管理作業が行われている。2002年に外部のコンサルタント会社が実施したフィジビリティ・スタディは，両機は安全性・経済性ともに問題がないと結論付け，建設を再開するよう勧告している。

ハンガリー

パクシュ発電所の出力増強を計画

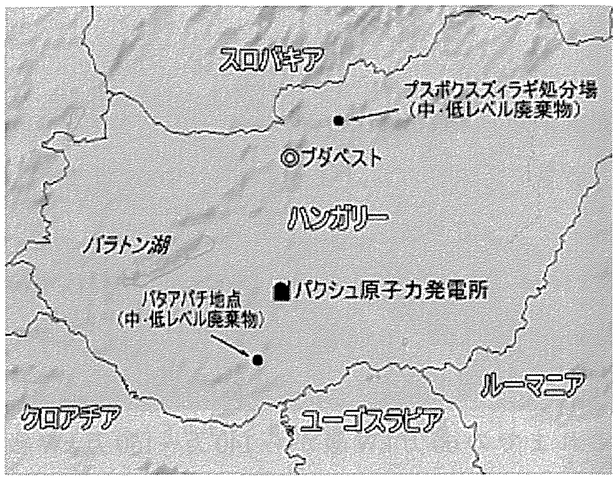
ハンガリー原子力庁（HAEA）は2005年6月16日，2014年までを見据えたパクシュ原子力発電所の長期戦略の一環として，1～4号機（旧ソ連型PWR＝VVER，1号機：46万7,000 kW，2号機：46万8,000 kW，3号機：46万kW，4号機：47万1,000 kW）の出力を合計15万kW（8%）増強する計画を明らかにした。

出力増強は，効率改善と新型燃料集合体の導入で実施され，4号機が2006～2007年，1号機が2007～2008年，2号機と3号機が2008～2009年にかけて行われる。長期戦略の中では出力増強のほかに，パクシュ発電所の20年間の運転期間延長も検討されている。なお，ハンガリー議会は2005年11月にこうした内容の長期戦略を原則支持した。パクシュ発電所の当初の設計寿命は30年で，いずれも2012年から2017年にかけて運転寿命に達する。運転期間延長の最終決定が下されるのは，2006年～2007年頃になる見通し。

中・低レベル放射性廃棄物処分場の建設を承認

ハンガリー議会は2005年11月21日，賛成339，反対4（棄権8）の賛成多数で同国南部のウベグタ（Uveghuta）地方のバタアパチ（Bataapati）地点への中・低レベル放射性廃棄物処分場の建設を原則承認した。

ハンガリー原子力庁（HAEA）は2004年3月，ハンガリー地質調査所による地質学的な適性評価およびサイト特性調査の結果，処分場の建設候補サイトとして，花崗岩質で丘陵/森林地域のバタアパチ地点が適していると発表，国営の廃棄物管理会社であるPuram社が掘削作業を開始した。さらに2005年7月には地元で住民投票が行われ，投票の結果，処分場建設が認められた。同処分場は，2008年に完成する見通しである。



ハンガリーの中・低レベル廃棄物処分場

ブルガリア

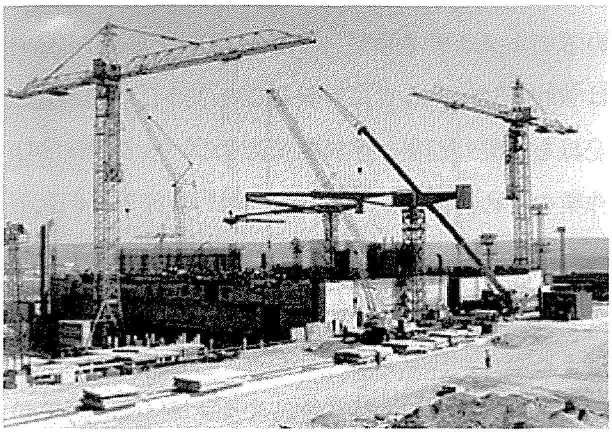
ベレネ発電所の建設再開で入札開始

ブルガリア電力公社（NEK）は2005年7月19日，建設工事が中断しているベレネ原子力発電所（PWR，100万kW級×2基）の建設再開計画に対し，①ロシアのアトムストロイエクスポルト社と仏フラマトムANP社②チェコのSKODA PRAHA社と米シティバンク，伊ウニクレディト，チェコのコメルチニ銀行――の2つのコンソーシアムが入札したと発表した。両コンソーシアムは共に，既存の機器をそのまま流用することを提案している。なお，運転開始は1号機が2011年，2号機が2013年を予定している。

欧州連合（EU）加盟を目指すブルガリア政府は同4月7日，EUから2006年までの閉鎖を要求されているコズロドイ3,4号機（VVER-440/230＝旧ソ連型PWR，各44万kW）の代替電源として，ベレネ原子力発電所の建設計画の再開（総額：25億ユーロ）を正式に承認。同5月10日には同発電所を所有するNEKが，建設再開に向け国際入札の手続きに着手していた。政府は今後，同プラントを所有・運営する新会社を設立し，少なくとも株式51%を握る考え。また，G. パルバノフ大統領はこのほど，隣国マケドニアに対し，同発電所の建設に5億9,000万ドルを投資する見返りとして，（マケド

ニアに）電力融通を行う共同建設案を提示した。

ベレネ発電所は1984年に建設が開始されたが，住民の反対や資金難，また耐震面での問題などから1990年以降，建設工事が中断されていた。なお，1号機の工事進捗率は約65％である。


建設が中断されているベレネ原子力発電所（出典：NEK）

コズロドイ3,4号機の閉鎖に議会が異論

コズロドイ原子力発電所のI. イワノフ所長は2005年10月18日，議会エネルギー委員会との合同会合で，2006年までに閉鎖が予定されているコズロドイ3,4号機（VVER−440/230，各44万kW）の閉鎖に伴い同発電所の発電コストが56％上昇する恐れがあるとの見解を示した。

同所長は，発電コスト上昇の主な要因として，唯一運転継続が認められているコズロドイ5,6号機（VVER−1000/V−320，各100万kW）のアップグレード費用の借入金返済があると指摘。さらに同3,4号機の閉鎖により，国内だけでなく（ブルガリアが電力輸出をしている）バルカン半島の電力需給が逼迫する可能性があると指摘した。3,4号機の閉鎖時期についてイワノフ氏は，「代替電源であるベレネ原子力発電所（PWR，100万kW級×2基）の建設時期を考慮して決定すべき」としている。

エネルギー委員会の委員からは，「新政権（2005年8月誕生の社会党政権）は，コズロドイ3,4号機の早期閉鎖を違法とした2003年3月の最高行政裁判所の裁定を考慮すべき」とする意見が出されたほか，バルカン地域のエネルギー供給安全保障の観点から，両機の閉鎖時期の見直しが提起された。

ブルガリア政府と欧州委員会（EC）は1999年11月，ブルガリアの欧州連合（EU）加盟への条件としてコズロドイ1〜4号機の閉鎖で基本合意。1,2号機については，2002年12月31日閉鎖されたが，現在，運転中の5,6号機と合わせて電力の約42％を供給する3,4号機が閉鎖されれば，電力価格上昇だけでなく，電力輸入国に転落する可能性も懸念されている。

こうしたなか，ECは2005年11月，ブルガリアのEU加盟に向けての進捗状況をまとめた年次報告の中で，欧州議会がECに対し，安全性や代替電源の確保状況などを考慮しつつ，3,4号機の閉鎖時期について柔軟に検討するよう申し入れていることを明らかにしている。

リトアニア

3基目となる新規原発の建設計画が浮上

リトアニアのV. アダムクス大統領は2005年10月4日，国内における原子力発電利用を堅持するともに，イグナリナ1,2号機(RBMK−1500，150万kW×2基）に続く3基目の原子力発電所の新規建設に早急に着手すべきと語った。一方，A. ブラザウスカス首相は同6日，2004年12月末に閉鎖されたイグナリナ1号機の代替電源として，新規原子力発電所の建設に関する可能性調査を開始したことを明らかにした。2006年初めにも基礎的調査を終え，2015〜2017年の建設をめざすとしている。リトアニア共和国議会（セイマス）も同10月29日のエネルギー決議の中で，新規建設への投資を支持，政府に対し具体的な原子力発電開発計画を打ち出すよう求めるなど，今後も原子力発電国としての地位を堅持すべき，としている。さらに同国では，エストニアやポーランドと共同で原子力発電所を建設する動きも出てきている。

リトアニア政府は2004年12月31日，欧州連合（EU）が安全面での問題を理由に閉鎖を求めていたイグナリナ1号機を予定通り閉鎖。旧ソ連型の軽水冷却黒鉛減速炉（RBMK）である同発電所については，リトアニアの2004年でのEU加盟と引き換えに閉鎖することが決まっており，2009年にも同2号機の閉鎖が予定されている。リトアニア議会が発表した試算によると，同発電所の閉鎖に伴う費用は，415億リタ（146億ドル）に達する。

しかし，リトアニア唯一の原子力発電所であるイグナリナ発電所は同国の総発電電力量の約80%を供給する主力電源であることから，1号機の閉鎖によってリトアニアの電力供給と経済に深刻な影響が生じるとみられている。また，リトアニアはラトビア，エストニア，ベラルーシなど周辺諸国に電力を輸出しており，近隣諸国の電力供給への影響も懸念されている。なお，イグナリナ2号機は2005年9月3日から定期検査のため約1ヶ月間停止。その間，リトアニアは（電力の）不足分を火力発電とロシア等からの電力輸入で賄った。

使用済み燃料貯蔵施設の建設で契約

イグナリナ発電所は2005年1月12日，ドイツのGNS社とRWE NUKEM社からなるコンソーシアムと，使用済み燃料乾式貯蔵施設の設計および建設で契約した。総工費は9,270万ユーロで，使用済み燃料18,000体の貯蔵が可能。第1フェーズとして3,500体の貯蔵施設が2008年9月に竣工する予定だ。

同施設はイグナリナ発電所のデコミ計画の一環として建設され，資金は欧州復興開発銀行（EBRD）が運営するイグナリナ国際廃炉支援基金（IIDFS）から拠出される。IIDFSは2000年にイグナリナ発電所の閉鎖の支援を目的に設立され，欧州委員会（EC），EU加盟8カ国，ノルウェー，ポーランドからの拠出金で構成されている。

独立国家共同体（CIS）

アルメニア

アルメニア2号機，最長連続運転記録を達成

アルメニア経済省によると，同国で唯一稼動しているアルメニア2号機（VVER-440，40万8,000 kW）は2005年9月30日，最長となる360日の連続運転記録を達成した後，燃料装荷およびバックフィット作業のため計画停止した。（同機は同11月14日，営業運転再開。）また発電所サイト内にある使用済み燃料乾式貯蔵施設が，2000年には許容量を超えたことから，仏コジェマ社が近く，同施設の拡張工事に向けて安全解析作業に着手する予定である。

アルメニア原子力発電所は，第一世代の旧ソ連型軽水炉（VVER-440）2基から構成されていた。1号機は1977年10月，2号機は1980年5月にそれぞれ運転を開始。80年代には国内の全電力の3～4割を供給していたが，1988年の大地震を契機に原子力発電所の閉鎖論が高まった結果，両基とも閉鎖に追い込まれた。その後90年代に入り，ソ連の崩壊やアゼルバイジャン紛争などによって深刻なエネルギー危機に陥ったため，運転再開の要望が強まり，ロシアなどの支援・協力を得て，2号機だけが1995年11月に運転を再開した。

なお，アルメニア政府と欧州連合（EU）は，代替電源の確保を条件にアルメニア2号機の閉鎖で合意に達していたが，同機は電力の約4割を供給する主力電源であり，閉鎖に伴う代替電源の確保や廃炉問題などで折り合いがつかず，早期閉鎖が難航している。今回の当会議のアンケート調査に対するアルメニア経済省の回答によると，2005年6月23日，「経済発展におけるエネルギー部門の開発戦略（案）」を承認，エネルギーの自立やエネルギー安全保障の確立をめざし，今後，革新炉の導入なども視野に入れた原子力発電開発に注力する方針を打ち出している。

ウクライナ

フメルニツキ2号機，営業運転開始

ウクライナで建設中のフメルニツキ2号機(VVER−1000，出力100万kW)が2005年9月7日，営業運転を開始した。同機は，2004年10月に送電を開始したロブノ4号機（VVER−1000，出力100万kW）とともに，閉鎖されたチェルノブイリ原子力発電所（80万kW×1基，100万kW×3基：2000年末までに全基閉鎖）の代替電源開発プロジェクトとして建設され，「K2R4プロジェクト」と呼ばれている。

使用済み燃料乾式貯蔵施設の建設で契約

エネルゴアトム社は2005年12月26日，ロブノ，フメルニツキ，サウスウクライナの3つの原子力発電所から発生する使用済み燃料の集中中間貯蔵施設の建設で，米国のホルテック・インターナショナルと建設契約（設計，許認可手続きなど含む）を締結した。契約総額は1億5,000万ドル。建設予定地はチェルノブイリ周辺の非汚染地域で，操業開始は2008年を予定している。当初の使用済み燃料の貯蔵能力は，VVER−1000の使用済み燃料を2,500本，VVER−440では1,100本をそれぞれ収容することができ，100年間の貯蔵が可能。なお，同施設の操業により，ロシアへの使用済み燃料の返還作業は2009年に中止される見込み。

2030年までに原子力発電設備容量を2,000万kWに拡大へ

エネルゴアトム総裁のY. ネダシュコフスキ氏は2005年6月，燃料およびエネルギー開発見通しに関する議会のヒアリングで，2008年から100〜150万kW規模の新規原子力発電所の建設に着手する計画を述べるとともに，炉型の選定など国際入札を行う方針を明らかにした。

ウクライナは，ベースロード電源として，原子力発電設備容量を現在の約1,200万kWから2030年までに2,000万kWに拡大する計画で，今後も原子力シェアを45%前後に維持したい意向。また燃料・エネルギー省のI. プラチコフ大臣によれば，最初の2基（フメルニツキ・サイトが有力）は2015年までに運転を開始し，それ以降は2020年までに運開する見通しを示している。なお3基目以降の建設候補サイトとして，ロブノ，南ウクライナが挙がっている。

K2R4プロジェクトへの融資で決着

ウクライナのV. ユシチェンコ大統領は2005年9月20日，フメルニツキ2号機（VVER−1000，出力100万kW）とロブノ4号機（VVER−1000，出力100万kW）の安全性改善のための欧州原子力共同体（EURATOM）と欧州復興開発銀行（EBRD）からの借款協定に署名した。EURATOMから8,300万ドル，EBRDから4,200万ドルが国営原子力発電会社エネルゴアトム社に融資される。両ユニットの安全性改善作業は，2007年に完了する予定。

フメルニツキ2号機とロブノ4号機の建設は，閉鎖されたチェルノブイリ原子力発電所（80万kW×1基，100万kW×3基：2000年末までに全基閉鎖）の代替電源開発プロジェクトで，「K2R4プロジェクト」と呼ばれている。

旧ソ連時代の1986年に発生したチェルノブイリ4号機の事故を受け，同4号機に加えて，2号機が1991年10月，1号機が1998年11月にそれぞれ運転を停止した。しかし，電力供給確保のため3号機はその後も運転を続けていた。このため安全性を懸念する主要先進7カ国（G7）は3号機の早期閉鎖を要求し，G7とウクライナは1995年12月，2000年内に同機を閉鎖する見返りに，G7が代替電源確保のための資金援助を行うことを骨子とした覚書に調印。ウクライナは代替電源としてK2R4プロジェクトを提案し，資金難により建設が中断していた両機の建設再開への援助を求め，G7側もこれに大

筋で合意した。

その後，L. クチマ大統領が2000年6月にチェルノブイリ3号機を年内に閉鎖することを正式に発表。これを受けて欧州委員会（EC）は同年9月，K2R4プロジェクトに対し，欧州原子力共同体（EURATOM）および欧州復興開発銀行（EBRD）による融資計画を承認した。EBRDは同年12月，ウクライナに対し条件付きで2億1500万ドルの融資を決定。EURATOMを代表する欧州委員会も12月に5億8,500万ドルの融資を行うことに承認した。

しかし，その後EBRDが，2000年12月に出した融資条件に加えてさらに細かい追加条件を持ち出したため，ウクライナは反発。このためEBRDは，状況が整った時点でウクライナ側と新たに議論を開始するとして，2001年11月，融資の決定を見送った。EBRDによるK2R4プロジェクトへの融資金額自体は小さいが，EBRDが調整役を務めていることもあり，EURATOMを含む他の融資機関もEBRDの決定に歩調を合わせたため，K2R4プロジェクトへの融資計画は中断することになった。

一方，EBRDとの協議と並行して交渉を続けていたウクライナとロシアは2001年10月，フメルニツキ2号機とロブノ4号機を，ロシアからの融資と建設協力を得て完成させることに合意。両国は12月に合意文書に調印し，2002年6月に1億4,400万ドルの融資契約に調印。フメルニツキ2号機とロブノ4号機の建設作業が再開された。

こうした中で，ウクライナとEBRDの融資条件の緩和に関する再交渉もスタートし，ウクライナとEURATOM，EBRDの3者は2004年7月，K2R4プロジェクトに対する融資でようやく調印にこぎつけた。

カザフスタン

2010年までに世界最大のウラン産出国をめざす

カザフスタンの国営ウラン開発会社，カザトムプロムは2005年11月，今後の世界的なウラン需要増を睨み，2010年までに世界最大のウラン産出国をめざす計画を明らかにした。

カザトムプロムは，年間約4,000トンのウランを産出しており，総額6億6,000万ドルを投じて新規鉱山の開発や既存鉱山の拡充を図り，今後5年間で生産量を15,000トンに拡大する方針。

同国の主なウラン輸出先は，中国や日本，韓国，アメリカ。なお，カザトムプロムは，住友商事・関西電力と合弁会社を設立し，ウランの採掘や精製を行う計画を明らかにしているほか，CNNC（中国）やKHNP（韓国）とも共同開発プロジェクト実施に向け協議を進めている。

ロシア

カリーニン3号機が営業運転開始

カリーニン3号機（VVER−1000，100万kW）は2005年11月8日，営業運転を開始し，ロシアで運転中の原子力発電所は31基となった。

ロシア連邦原子力庁（ROSATOM）は2005年2月8日，ロストフ（ボルゴドンスク）2号機（VVER−1000，100万kW），バラコボ5号機（同），カリーニン4号機（同）の3基の原子力発電所を2010年までに運転開始することを定めた命令書にルミャンツェフ長官（当時）が署名したことを明らかにした。バラコボ5号機は建設再開，カリーニン4号機は再計画入りとなる。運開予定はロストフ2号機が2008年，バラコボ5号機とカリーニン4号機が2010年となっている。なお，建設中（2004年末時点で建設工事進捗率が70%）のクルスク5号機（RBMK−1000）は，運開予定が当初計画の2006年から2014年に延期されている。

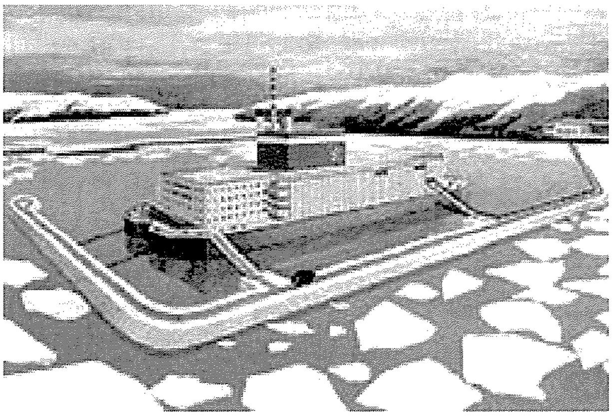
浮遊型原子力発電所の建設を決定

ロシア連邦原子力庁（ROSATOM）は2005年9月8日，世界初となる海上浮遊型原子力発電所の建

設を決定した。同炉は2006年に白海沿岸のセヴェロドヴィンスク市（アルハンゲリスク州）にあるセブマッシュ・プリドプリヤチェ造船所で着工される予定で，資金調達などが順調に進めば，4〜5年で運転を開始できる見通しである。

海上浮遊型原子力発電所は原子力砕氷船用の舶用炉KLT-40Sを2基搭載したバージ型（タグボートで曳航・繋留）で電気出力が7万kW。総工費は約2億ドルで，発電コストは1kWhあたり5〜6セント程度とみられている。設計寿命は40年間，運転サイクルが36ヶ月で，4運転サイクル（12年）ごとにドック入りして大規模改修が行われる。

初号機（プロトタイプ）はセブマッシュ・プリドプリヤチェ造船所に繋留される予定だが，遠隔地電源や海水脱塩用 （日量24万m^{3}の淡水製造も可能）として中国，インドネシア，マレーシアなども海上浮遊型原子力発電所に関心を示しており，ロシアは将来的な輸出（リース方式）も期待している。


海上浮遊型原子力発電所の完成予想図

ロシアはFBR路線を堅持

ロシア連邦原子力庁（ROSATOM）のS. キリエンコ長官は2005年12月14日，「ロシアは世界のFBR技術開発をリードしており，この分野の競争力は高い。次段階として，ベロヤルスク4号機（BN-800，FBR実証炉，80万kW）の建設予算10億ルーブル（約3,500万ドル）を2006年度の連邦予算に計上する」と述べ，FBR路線を堅持する方針を改めて強調した。BN-800の総工費は約460億ルーブル（16億ドル）。ロシアでは，BN-800に続く大型炉BN-1800の開発も計画されている。

ロシア原子力発電公社（ROSENERGOATOM）民営化法案を議会に提出

ロシア原子力発電公社（ROSENERGOATOM）のS. スタニスラフ理事（General Director）は2005年11月8日，ROSENERGOATOM民営化法案が，2005年11月までに連邦政府（経済発展貿易省）の承認を経た上で，2005年末にロシア国家院（下院，State Duma）に提出されると語った。

ROSENERGOATOMの原子力発電所は60%が老朽化しているといわれており，既存の原子炉のリプレイスが緊急の課題となっている。ただ，原子力発電所の新規建設といった巨額の融資を伴う案件に対しては，金融機関が担保や政府の債務保証を要求してくるが，今のところ，国営企業であるROSENERGOATOMは自社の資産（国有財産）の抵当権設定が禁じられており，政府の債務保証も難しい。また，現在，ROSENERGOATOMの新規投資には政府予算が見込めないため，老朽炉のリプレイスは資金面で手詰まり状態となっている。ROSENERGOATOMが民営化されれば，核燃料や核物質を除く資産の一部を金融機関に担保とすることが可能となり，旧型炉のリプレイスの資金が調達しやすくなると期待されている。

AREVAとTENEXがシベリアへのウラン再転換工場の建設契約

仏AREVA社とロシアのテクスナブエクスポルト社（TENEX）は2005年5月2日，シベリアへのウラン再転換工場の設計，機器供給，建設管理，試験運転，運転訓練および保守に関する契約（契約額：5,000万ユーロ）に調印した。濃縮工場から発生する劣化六フッ化ウラン（UF_6）からウラン酸化物（U_3O_8）への脱フッ化プラントで，契約期間は2009年

末まで。

AREVA 社は世界で唯一のウラン脱フッ化プラントを 1984 年からピエラテ（仏ドローム県）で操業しており，TENEX は AREVA 社から技術移転することで，化学的に安定した酸化物の形状でウランを貯蔵できるようになるとともに，副産物として得られるフッ酸を化学工業に販売することができる。

E-4. Current Status of Japan

Tohoku Electric Power's Higashidori-1 NPS Commissioned Dec. 8

The Higashidori-1 NPS (BWR, 1,100 MW) of the Tohoku Electric Power Co. in Higashidori Village, Aomori Prefecture, was commissioned on December 8, 2005, marking it the first nuclear reactor in Aomori, and the country's 54 th nuclear power plant since January 2005, when the Chubu Electric Power Co. commissioned its Hamaoka-5 NPS (ABWR=Advanced Boiling Water Reactor, 1,380 MW). With its four units, including Higashidori-1, Tohoku Electric Power's nuclear generating capacity has reached 3,274 MW, about 20% of its total generating capacity, and now accounts for about 30% of its total generated electricity.

The plan for Higashidori-1 was submitted to the former Electric Power Development Coordination Council (EPDCC) in July 1996, and the unit's construction began in December 1998. On January 24, 2005, the reactor achieved its first criticality, and after a smooth period of trial operation, it was connected to the grid on March 9 that same year. Preparation is now being made for construction, to begin in or after FY 2011, of the Higashidori-2 NPS (ABWR, 1,385 MW), to be commissioned in or after FY 2016.

Shika-2 Connected to the Grid

On July 4, 2005, generators were connected to the grid at Shika-2 NPS (ABWR, 1,358 MW) of the Hokuriku Electric Power Co., thereby beginning trial operation. After testing at the level of 20% electric output, output is being increased step by step and various tests and inspections are being carried out at each stage. The loading of fuel had commenced on April 26, 2005, and on May 26 that same year, the unit achieved its first criticality. Commercial operation is expected to begin in March 2006.

The plan for the Shika-2 was submitted to the then Electric Power Development Coordination Council (EPDCC) in 1997. Construction was launched in August 1999. It is the company's first ABWR, the fourth in Japan; the most recent being the Hamaoka-5 NPS (1,380 MW), which began commercial operation on January 18, 2005. When Shika-2 enters service, it will have the second largest single unit capacity of any operational reactor in Japan, after Hamaoka-5.

Construction Begins on Shimane-3 NPS

Construction of the Shimane-3 NPS (ABWR, 1,373 MW) of the Chugoku Electric Power Co. began on December 22, 2005, upon receipt of approval the construction work plan by the Ministry of Economy, Trade and Industry's Nuclear and Industrial Safety Agency (NISA). The company will carry out preparatory work, including development of land for the planned site, with the aim of beginning major construction work (excavation for the foundation of the reactor building) in December 2006.

The unit will be the company's third nuclear plant, and the nation's fifth ABWR, joining Tokyo Electric Power Co.'s Kashiwazaki-Kariwa-6 and -7 NPSs (1,356 MW each), Chubu Electric Power Co.'s Hamaoka-5 NPS (1,380 MW), all now in operation, and Hokuriku Electric Power Co.'s Shika-2 NPS (1,358 MW), under construction. When Shimane-3 is commissioned, the nuclear generating capacity of the company will increase from 8% to 16% of its total generating capacity, and total nuclear generated electricity will go from 11% to 30%. Commercial operation is expected in December 2011. Total construction expenses are about ¥400 billion.

Second Public Hearing Held for Ohma NPS

On October 19, 2005, the Nuclear Safety Commission (NSC) held its second public hearing on the Ohma NPS (ABWR, 1,383 MW), which the Electric Power Development Co. (EPDC or J-Power) plans to build in Ohma Town, Aomori Prefecture. Questions and comments were raised about the safety of loading MOX (uranium-plutonium mixed oxide) fuel, seismic measures and nuclear emergency preparedness. At the hearing, representatives of the Nuclear and Industrial Safety Agency (NISA) attempted to reply to each question, and sought the understanding of the public.

The first nuclear power plant of EPDC, the unit will also be Japan's first "full MOX" ABWR — i.e., fully loaded with MOX fuel in the entire core. Construction is scheduled for launch in August 2006, and commercial operation in March 2012.

Fukushima-I-1 NPS Restarted

On July 13, 2005, Tokyo Electric Power Co.'s Fukushima-I-1 NPS (BWR, 460 MW) returned to service after a suspension of about three years. With the restart, all 17 of TEPCO's nuclear units are again in operation following a series of scandals that began with revelation in August 2002 of falsified self-inspection records.

Basic Agreement Concluded on Cooperation in Siting MOX Fuel Fabrication Plant

Regarding the plan to build a MOX fuel fabrication plant in Rokkasho Village, Aomori Prefecture, the prefecture, the village and Japan Nuclear Fuel Ltd. (JNFL) signed on April 19, 2005, a basic cooperation agreement on siting the plant. The next day, JNFL submitted an application for permission to carry out the business to the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI).

Fabrication capacity of the plant will be a maximum of 130 tons annually. Construction costs are put at ¥120 billion. Construction will start in April 2007, with operation expected in April 2012.

Aomori Prefecture Agrees to Site Interim Storage Facility for Spent Fuel

On October 19, 2005, Governor Shingo Mimura of Aomori Prefecture officially accepted a request to cooperate in siting an interim storage facility for spent fuel jointly planned by Tokyo Electric Power Co. (TEPCO) and Japan Atomic Power Company (JAPC) in Mutsu City. The four parties — Aomori, Mutsu, TEPCO and JAPC — then concluded an agreement ensuring removal of the spent fuel at the end of the storage period (50 years).

New Company Established for Interim Storage Facility

On November 21, 2005, the Tokyo Electric Power Co. (TEPCO) and Japan Atomic Power Co. (JAPC) established a new company called the "Recyclable Fuel Storage Company (RFS)" to build, operate and manage an interim storage facility for spent fuel, in Mutsu City, Aomori Prefecture. The company will be capitalized at ¥3 billion, 80% of which will be provided by TEPCO and the rest by JAPC. Over the coming year, RFS will conduct environmental investigations, boring, and other activities, expecting to file with the government an application to engage in the business around the spring of 2007.

Storage capacity of the "recyclable fuel storage center in Mutsu" (as the interim spent fuel storage facility project is called) will be up to 5,000 tons (4,000 tons from TEPCO and 1,000 tons from JAPC), with construction expenses expected to be ¥100 billion. The period of storage will be 50 years; a consideration of where to remove the spent fuel after then will begin prior to the 40 th year of service. The center is expected to be operational by 2010.

MOX-Fuel Use Program Takes Step Forward

Pursuant to a Cabinet decision in 1997, the Japanese electric power industry had aimed at loading MOX fuel in 16 to 18 light water reactors by FY 2010, starting with Tokyo Electric Power Co.'s Fukushima-I-3 NPS (BWR, 784 MW) and Kashiwazaki-Kariwa-3 NPS (BWR, 1,100 MW), and Kansai Electric Power Co.'s Takahama-3 and-4 NPSs (PWRs, 870 MW each). That plan, however, was set back significantly, partially because of the JCO criticality accident, MOX-fuel data falsification by BNFL, and the revelation of falsified data on self-inspections by TEPCO.

Against this backdrop, the Ministry of Economy, Trade and Industry's Nuclear and Industrial Safety Agency (NISA) issued an approval on September 7, 2005, to change a reactor installation for the MOX-use program of the Kyushu Electric Power Co. at its Genkai-3 NPS (PWR, 1,180 MW). According to the plan, a maximum of 48 MOX fuel assemblies will be loaded as part of replacement fuel, and will account for up to one-fourth of the entire core. Hereafter, the company will seek to implement the program by FY 2010, obtaining agreement from the local community. In October 2005, the government (the Ministry of Economy, Trade and Industry) held a "Symposium on Use of MOX Fuel" in Genkai Town, Saga Prefecture, discussing the need to use MOX fuel and its safety.

Elsewhere in the MOX-use program, a safety examination is currently being carried out at Shikoku Electric Power Co.'s Ikata-3 NPS (PWR, 890 MW). Chugoku Electric Power Co., on September 12, submitted petitions to local parties — Shimane Prefecture and Matsue City — for their preliminary consent to its program to use MOX fuel at its Shimane-2 NPS (BWR, 820 MW). And on September 13, Chubu

Electric Power Co. conveyed to Shizuoka Prefecture and Omaezaki City its position on MOX use at its Hamaoka-4 NPS (BWR, 1,137 MW). Efforts by the electric power companies toward MOX-use implementation are once again on the rise.

Monju Case Over: Government Wins Reversal in Final Appeal

On May 30, 2005, the Supreme Court ruled in favor of the government in the final appeal of an administrative lawsuit initiated by local residents seeking to invalidate the original "permission to install a reactor", which had been issued to the predecessor of the Japan Nuclear Cycle Development Institute (JNC) for its prototype fast breeder reactor (FBR) Monju. The Chief Justice, speaking for the court, reversed a decision by the Nagoya High Court, which had ruled the original issuance invalid, saying there had been "no error or omission existed that cannot be overlooked in a safety examination to prevent accidents." This final reversal was a total victory for the government.

The issue before the court was the appropriateness of the method of the safety examination used when the government granted permission to install the reactor. Regarding measures to deal with sodium leakage in the secondary cooling system, the decision points out that the "basic design" is subject to a safety examination. It then says there was nothing unreasonable about the government's judgment that the thickness of the floor liner — intended to prevent sodium from directly contacting the concrete — was not part of the basic design, but instead belonged to the "detailed design". In regard to a possible rupture of steam generator (SG) tubes and the analytical conditions for the safety evaluation, the Supreme Court declared that they were "not inappropriate in light of scientific knowledge at the time." Similarly, in regard to analysis of core decay, the Court said that there was "nothing unreasonable" in the safety examination.

In March 2000, the Fukui District Court, the court of first instance, rejected the claims of the local residents against Monju. In January 2003, however, the Kanazawa Branch of the Nagoya High Court, the court of second instance, recognized error and illegality in the safety examination by the government, and invalidated the original "permission to install a reactor."

Monju Remodeling Begins

On September 1, 2005, the then Japan Nuclear Cycle Development Institute (JNC) (now the Japan Atomic Energy Agency (JAEA)) commenced full-scale remodeling work on the prototype fast breeder reactor (FBR) Monju (280 MW), toward resumption of operations. JAEA, succeeding JNC, will continue its strengthening of safety measures such as those to prevent leakage, and complete work around early 2007. Thereafter, it will implement various tests, including confirmation of abilities and soundness, over a period of a year or so. If everything goes smoothly and agreement is reached with the local community, Monju is expected to resume operation in FY 2007 (February 2008).

Operation of Monju has been suspended since the sodium leakage in December 1995. After a safety examination by the government was completed in January 2004, Fukui Prefecture officially agreed in February 2005 to the start of remodeling work. JNC then began preparatory work in early March.

JNC and JAERI Are Now JAEA

As part of the government's administrative and financial reform program, the Japan Nuclear Cycle Development Institute (JNC) and the Japan Atomic Energy Research Institute (JAERI) were officially merged on October 1, 2005, into the Japan Atomic Energy Agency (JAEA). JAEA is now Japan's sole organization integrating the entire process of nuclear development, from basic research to project-based applications. With about 4,400 employees and a total FY 2005 budget of ¥191.1 billion, the new JAEA is also Japan's largest independent administrative entity. Its president is Mr. Yuichi Tonozuka. The head office is in Tokai Village, Ibaraki Prefecture, and there are ten research and development bases, in Horonobe, Mutsu, Tokai, Oarai, Naka, Takasaki, Tono, Tsuruga, Kansai and Ningyo-Toge.

Fundamental Principles for Nuclear Policy Program Consolidated

On September 29, 2005, the Atomic Energy Commission's panel drafting the new long-term nuclear program consolidated a set of "Fundamental Principles for the Nuclear Policy Program" (formerly known as the Long-Term Program for Nuclear Research, Development and Utilization) and proposed them to the AEC. On October 11, the AEC agreed, and the principles were approved by the Cabinet on the 14th. The panel was established in June 2004, and met a total of 33 times. Based on the draft of the principles, public meetings were held to hear people's opinions in five cities — Aomori, Fukushima, Saga, Fukui and Tokyo. The principles were finalized taking those views into account.

The fundamental principles hold firm to the current nuclear fuel cycle line, based on spent fuel reprocessing, and call for the nuclear share of total generated electricity to be maintained at least the current 30-40 % after 2030 — clearly defining the role of nuclear power. Included are that talks on a second reprocessing plant following the Rokkasho Reprocessing Plant begin around 2010, and that commercial use of FBRs commence around 2050.

Two Nuclear Bills Passed

On May 13, two nuclear-related bills — one for a new back-end law (covering external reservation of funds) and the other pertaining to revision on the Reactor Regulation Law (regarding physical protection, etc.)— were passed at the Upper House plenary session and became law.

The new back-end law (officially called the "Law on Reserving and Managing a Fund for the Repro cessing, Etc., of Spent Nuclear Fuel from Nuclear Power Plants") requires electric power companies to deposit funds necessary for reprocessing externally at an independent entity, Radioactive Waste Management Funding and Research Center (RWMC), and empowers the head of the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI) to designate and oversee such independent entity. Hereafter, electric power companies will submit their reprocessing programs to the government. The government will then notify each company of the amount to be deposited, based on which the companies will reserve the necessary funds.

The Reactor Regulation Law was revised to strengthen physical protection of nuclear materials at nuclear-related facilities, to introduce a clearance system whereby extremely low level radioactive waste of 0.01 Sv/year or less can be recycled, and to enhance regulation of the decommissioning of reactors and the like.

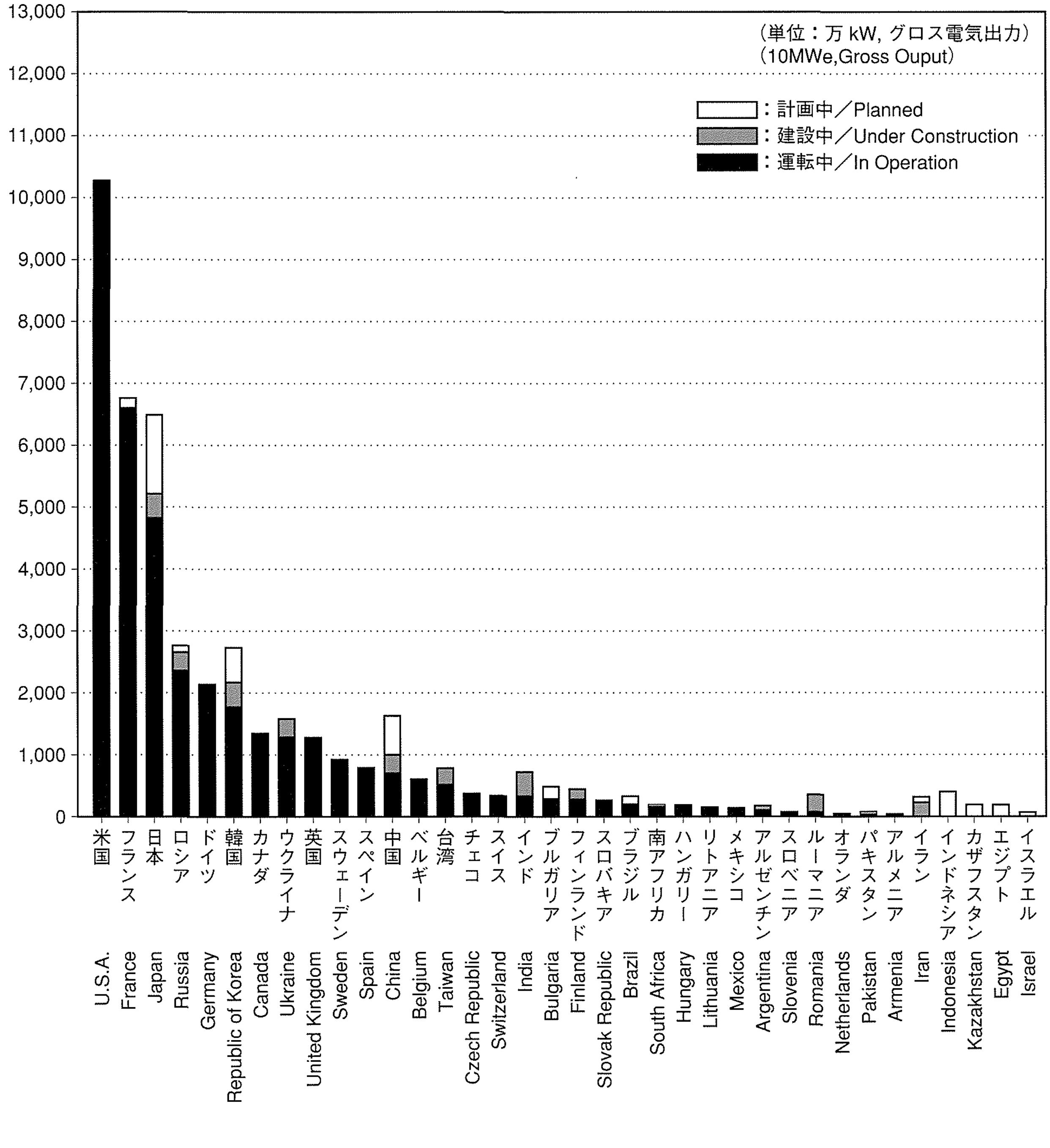
Deregulation of Electricity Market Enters Third Stage

On April 1, 2005, the deregulated segment of the retail electric power market was expanded from the current contracted-for high-voltage electricity (500 kW or more) to the entire market of high-voltage electricity (50 kW or more), including small factories. As a result, the portion of all customers covered by deregulation (in terms of total electricity demand) brings now to 63%, from 26% in the first phase, when partial deregulation was enacted in March 2000. Full deregulation will be addressed after April 2007, based on the choices made by power users and other factors.

5. 世界の原子力発電設備容量

Generating Capacity of Nuclear Power Plants in the World

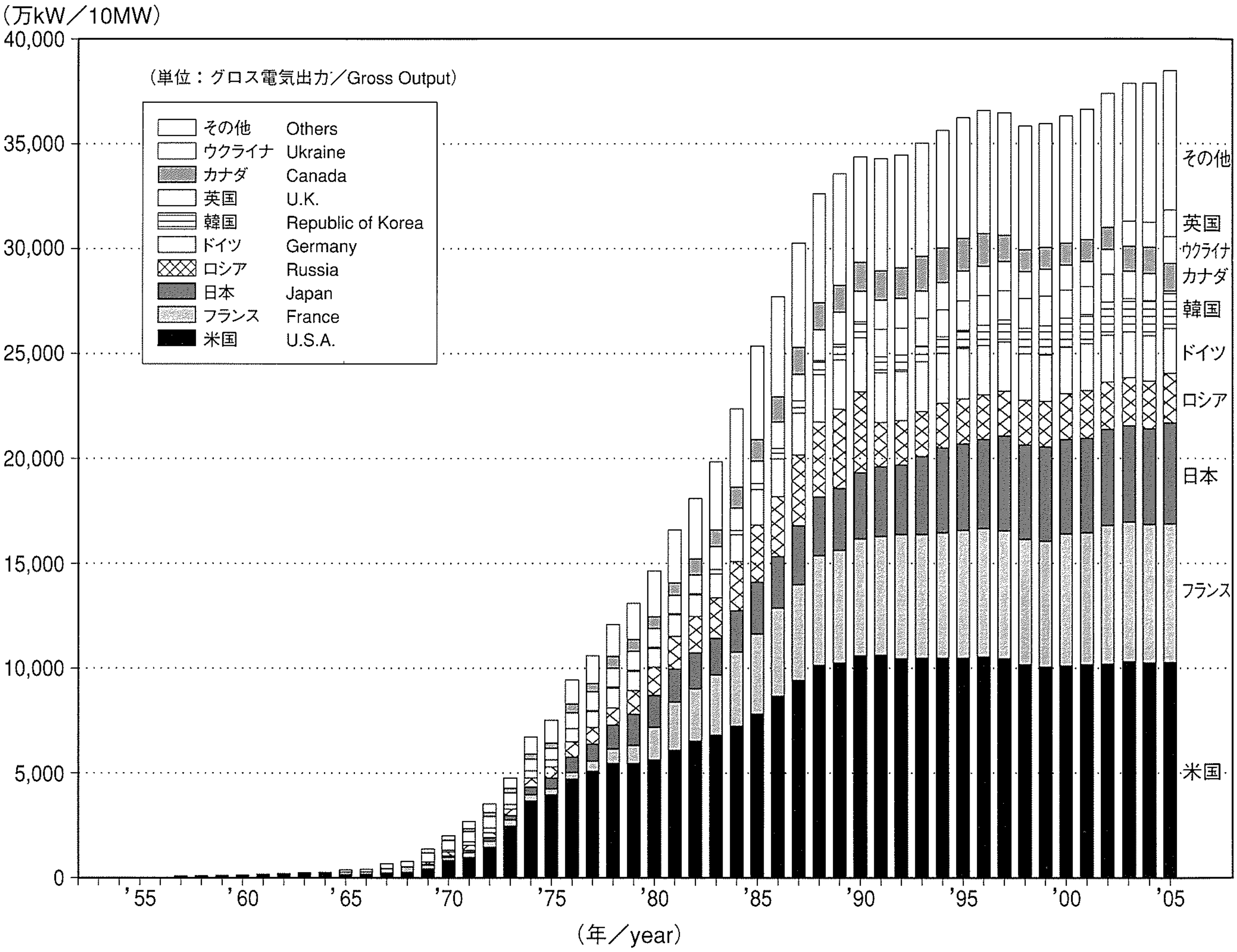
(2005 年 12 月 31 日現在)
—As of December 31, 2005—



6. 世界の運転中原子力発電所の設備容量推移

Trends of Generating Capacity of Operating Nuclear Power Plants in the World

(2005 年 12 月 31 日現在)
—As of December 31, 2005—

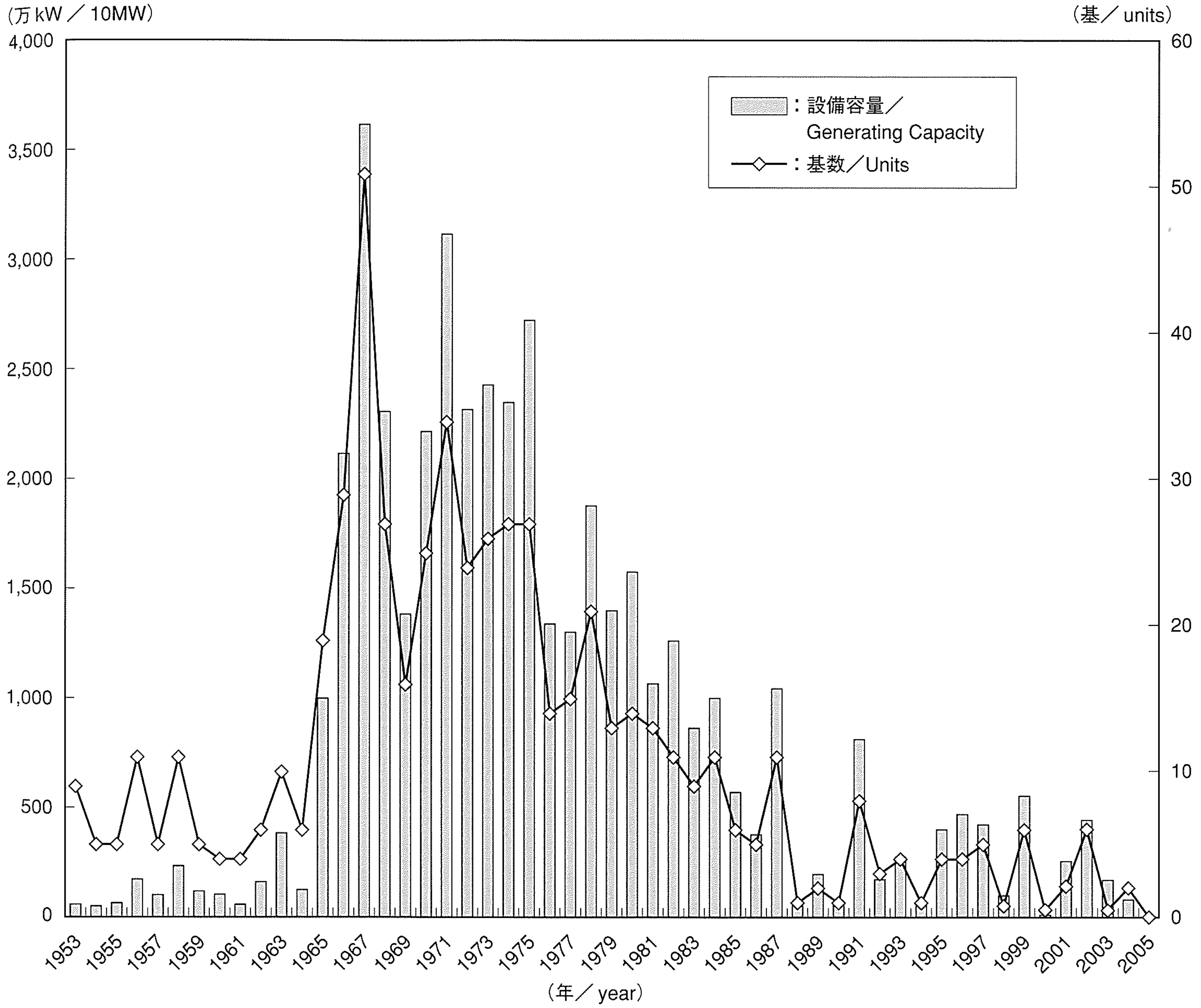


注：1991年までのロシアのデータは旧ソ連のデータに基づく。
Note：Data of Russia through 1991 are based on data of ex.-U.S.S.R.

7. 世界の原子力発電所の発注数推移

Trends of Nuclear Power Plants Orders in the World

(2005年12月31日現在)
—As of December 31, 2005—



8. 世界の原子力発電設備容量の推移

Trends of Generating Capacity of Nuclear Power Plants in the World

（単位：万 kW，グロス電気出力／10 MWe, Gross Output）

暦年末 Year	運転中/OP 出力/Output	運転中/OP Units	建設・計画中/UC・PL 出力/Output	建設・計画中/UC・PL Units	合計/Total 出力/Output	合計/Total Units	Country・Region
1966	967.404	67	4,363.88	90	5,331.284	157	20
1967	1,133.452	72	7,405.722	123	8,539.174	195	19
1968	1,260.208	77	9,517.6892	146	10,777.8972	223	20
1969	1,564.2248	85	11,298.306	159	12,862.5308	244	25
1970	2,146.746	94	13,206.622	177	15,353.368	271	27
1971	2,804.691	108	17,722.234	222	20,526.925	330	29
1972	3,719.7638	124	22,157.4248	252	25,877.1886	376	29
1973	5,032.245	147	33,390.468	364	38,422.713	511	38
1974	7,092.315	162	42,399.04	453	49,491.355	615	43
1975	7,916.115	173	47,133.46	505	55,049.575	678	45

暦年末 Year	運転中/OP 出力/Output	運転中/OP Units	建設中/UC 出力/Output	建設中/UC Units	発注済み/On Order 出力/Output	発注済み/On Order Units	計画中/PL 出力/Output	計画中/PL Units	合計/Total 出力/Output	合計/Total Units	Country・Region
1976	9,442.315	186	21,197.06	227	12,393.4	114	16,847.88	182	59,880.655	709	44
1977	10,607.955	201	23,078.6	242	10,324.1	95	17,255.5	177	61,266.155	715	41
1978	12,096.955	218	23,921.1	248	7,902.7	73	17,172.5	176	61,093.255	715	43
1979	13,105.555	228	22,878.2	237	6,027.7	57	14,328.7	142	56,340.155	664	41
1980	14,652.055	247	22,787.5	233	4,593.8	44	14,745.6	149	56,778.955	673	41
1981	16,592.74	266	23,514.8	243	3,954.0	40	14,702.2	143	58,763.74	692	41
1982	18,096.36	281	21,999.9	229	1,323.8	16	13,666.5	131	55,086.56	657	39
1983	19,850.86	302	20,585.2	210	1,003.8	13	13,490.2	134	54,930.06	659	39
1984	22,361.2	324	18,964.6	195	653.7	7	12,273.6	121	54,253.1	647	37

暦年末 Year	運転中/OP 出力/Output	運転中/OP Units	建設中/UC 出力/Output	建設中/UC Units	計画中/PL 出力/Output	計画中/PL Units	合計/Total 出力/Output	合計/Total Units	Country・Region
1985	25,357.2	351	16,857.0	176	13,001.1	130	55,215.3	657	38
1986	27,697.5	376	14,693.1	153	12,189.0	124	54,579.6	653	37
1987	30,276.8	400	13,192.6	138	9,336.7	95	52,803.5	633	35
1988	32,616.8	420	10,691.0	118	9,064.3	88	52,372.1	626	35
1989	33,568.1	425	9,121.0	102	7,515.8	75	50,404.9	602	35
1990	34,363.6	426	8,058.9	91	6,713.4	65	49,135.9	582	33
1991	34,280.2	421	7,601.8	84	6,075.0	62	47,957.0	567	33
1992	34,465.0	421	7,432.3	81	5,549.7	58	47,447.0	560	36
1993	35,022.1	420	6,369.7	72	4,385.7	54	45,777.5	546	37
1994	35,634.0	425	5,669.6	66	5,057.0	59	46,360.6	550	36
1995	36,232.1	432	4,372.8	51	4,232.6	57	44,837.5	540	38
1996	36,569.4	434	3,869.7	46	4,279.6	58	44,718.7	538	36
1997	36,469.7	429	3,526.1	43	3,916.8	51	43,912.6	523	37
1998	35,849.0	422	3,806.8	46	3,448.8	46	43,104.6	514	37
1999	35,942.5	425	4,356.3	49	2,741.3	40	43,040.1	514	37
2000	36,334.3	430	4,143.6	43	3,133.8	41	43,611.7	514	36
2001	36,628.6	432	4,127.1	43	2,660.4	35	43,416.1	510	36
2002	37,372.7	436	3,469.6	39	2,536.0	27	43,378.3	502	36
2003	37,628.6	434	3,128.4	36	2,792.3	28	43,549.3	498	35
2004	37,920.7	434	2,805.2	33	3,972.3	38	44,698.2	505	36
2005	38,505.4	439	3,140.5	36	4,006.0	39	45,651.9	514	36

注：1）1973 年以前は 1 万 kW 以上の発電炉を対象としている。
2）1974 年以降は 3 万 kW 以上の発電炉を対象としている。
3）1966 年の数値は，1967 年 2 月現在。

Notes：1）The survey covered units of 10 MWe or more before 1973.
2）The survey covered units of 30 MWe or more after 1974.
3）The figure of 1966 was recorded as of February of 1967.

9. 世界の原子力発電所の運転経験（原子炉・年）

Accumulated Experience of Nuclear Power Plants in the World（Reactor・Years）

2005年12月31日現在
As of December 31, 2005

	国・地域	運転中の原子炉 Reactor in Operation		閉鎖原子炉 Closed−down Reactor		合計 Total		Country ・Region
		原子炉・年 Reactor・Years	基数 Units	原子炉・年 Reactor・Years	基数 Units	原子炉・年 Reactor・Years	基数 Units	
1	米国	2,666	103	387	23	3,053	126	U.S.A.
2	フランス	1,132	59	200	11	1,332	70	France
3	英国	611	23	718	21	1,329	44	UK
4	日本	1,115	54	56	2	1,171	56	Japan
5	ロシア	760	31	84	4	844	35	Russia
6	ドイツ	402	17	211	15	613	32	Germany
7	カナダ	450	18	22	2	472	20	Canada
8	スウェーデン	261	10	52	2	313	12	Sweden
9	ウクライナ	247	14	51	4	298	18	Ukraine
10	韓国	255	20	0	0	255	20	Republic of Korea
11	インド	232	15	0	0	232	15	India
	スペイン	214	9	18	1	232	10	Spain
13	ベルギー	178	7	0	0	178	7	Belgium
14	スイス	150	5	0	0	150	5	Switzerland
15	台湾	142	6	0	0	142	6	Taiwan
16	ブルガリア	78	4	55	2	133	6	Bulgaria
17	スロバキア	106	6	6	1	112	7	Slovak Republic
18	フィンランド	103	4	0	0	103	4	Finland
19	チェコ	81	6	0	0	81	6	Czech Republic
20	ハンガリー	80	4	0	0	80	4	Hungary
21	イタリア	0	0	76	4	76	4	Italy
22	オランダ	32	1	28	1	60	2	Netherlands
23	中国	54	9	0	0	54	9	China
24	アルゼンチン	53	2	0	0	53	2	Argentina
25	南アフリカ	41	2	0	0	41	2	South Africa
26	パキスタン	38	2	0	0	38	2	Pakistan
27	リトアニア	18	1	19	1	37	2	Lithuania
28	アルメニア	19	1	9	1	28	2	Armenia
29	ブラジル	26	2	0	0	26	2	Brazil
	メキシコ	26	2	0	0	26	2	Mexico
	カザフスタン	0	0	26	1	26	1	Kazakhstan
32	スロベニア	23	1	0	0	23	1	Slovenia
33	ルーマニア	9	1	0	0	9	1	Romania
合計		9,602	439	2,018	96	11,620	535	Total

10. 炉型別の原子力発電設備容量（運転中）

World Nuclear Capacity by Reactor Type（In Operation）

2005年12月31日現在，万kW，グロス電気出力
as of December 31, 2005, 10 MWe, Gross Output

	炉型 / 国・地域	加圧水型* 軽水炉(PWR)		沸騰水型** 軽水炉(BWR)		重水炉 (HWR)		軽水冷却黒鉛減速炉(LWGR)		ガス炉 (GCR, AGR)		高速炉 (FR)		合計 Total		Reactor / Country Region
		出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	
1	米国	6,910.4	69	3,364.1	34									10,274.5	103	U.S.A
2	フランス	6,588.0	58									14.0	1	6,602.0	59	France
3	日本	1,936.6	23	2,885.6	31									4,822.2	54	Japan
4	ロシア	1,159.4	15	6.2	1			1,130.0	14			60.0	1	2,355.6	31	Russia
5	ドイツ	1,472.3	11	664.8	6									2,137.1	17	Germany
6	韓国	1,493.7	16			277.9	4							1,771.6	20	Korea
7	カナダ					1,342.3	18							1,342.3	18	Canada
8	ウクライナ	1,281.8	14											1,281.8	14	Ukraine
9	英国	125.8	1							1,153.5	22			1,279.3	23	UK
10	スウェーデン	284.0	3	637.1	7									921.1	10	Sweden
11	スペイン	632.9	7	155.8	2									788.7	9	Spain
12	中国	555.8	7			144.0	2							699.8	9	China
13	ベルギー	605.0	7											605.0	7	Belgium
14	台湾	190.2	2	324.2	4									514.4	6	Taiwan
15	チェコ	372.2	6											372.2	6	Czech Republic
16	スイス	178.0	3	159.2	2									337.2	5	Switzerland
17	インド			32.0	2	299.0	13							331.0	15	India
18	ブルガリア	288.0	4											288.0	4	Bulgaria
19	フィンランド	102.0	2	176.0	2									278.0	4	Finland
20	スロバキア	264.0	6											264.0	6	Slovak Republic
21	ブラジル	200.7	2											200.7	2	Brazil
22	南アフリカ	189.0	2											189.0	2	South Africa
23	ハンガリー	186.6	4											186.6	4	Hungary
24	リトアニア							150.0	1					150.0	1	Lithuania
25	メキシコ			136.4	2									136.4	2	Mexico
26	アルゼンチン					100.5	2							100.5	2	Argentina
27	スロベニア	70.7	1											70.7	1	Slovenia
28	ルーマニア					70.6	1							70.6	1	Romania
29	オランダ	48.1	1											48.1	1	Netherlands
30	パキスタン	32.5	1			13.7	1							46.2	2	Pakistan
31	アルメニア	40.8	1											40.8	1	Armenia
32	イラン															Iran
33	インドネシア															Indonesia
34	カザフスタン															Kazakhstan
35	エジプト															Egypt
36	イスラエル															Israel
	合　計	25,208.5	266	8,541.4	93	2,248.0	41	1,280.0	15	1,153.5	22	74.0	2	38,505.4	439	Total

*ロシア型PWR（VVER）を含む
Including Russian type PWR（VVER）

**ABWRを含む
Including Advanced BWR

11. 炉型別の原子力発電設備容量（建設中）

World Nuclear Capacity by Reactor Type（Under Construction）

2005 年 12 月 31 日現在，万 kW，グロス電気出力
as of December 31, 2005, 10 MWe, Gross Output

炉型 / 国・地域		加圧水型* 軽水炉(PWR)		沸騰水型** 軽水炉(BWR)		重水炉 (HWR)		軽水冷却黒鉛減速炉(LWGR)		高速炉 (FR)		合計 Total		Reactor Type / Country Region
		出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	
1	米国													U.S.A
2	フランス													France
3	日本	91.2	1	273.1	2					28.0	1	392.3	4	Japan
4	ロシア	200.0	2					100.0	1			300.0	3	Russia
5	ドイツ													Germany
6	韓国	400.0	4									400.0	4	Korea
7	カナダ													Canada
8	ウクライナ	300.0	3									300.0	3	Ukraine
9	英国													UK
10	スウェーデン													Sweden
11	スペイン													Spain
12	中国	300.0	3									300.0	3	China
13	ベルギー													Belgium
14	台湾			270.0	2							270.0	2	Taiwan
15	チェコ													Czech Republic
16	スイス													Switzerland
17	インド	200.0	2			142.0	5			50.0	1	392.0	8	India
18	ブルガリア													Bulgaria
19	フィンランド	170.0	1									170.0	1	Finland
20	スロバキア													Slovak Republic
21	ブラジル													Brazil
22	南アフリカ													South Africa
23	ハンガリー													Hungary
24	リトアニア													Lithuania
25	メキシコ													Mexico
26	アルゼンチン					74.5	1					74.5	1	Argentina
27	スロベニア													Slovenia
28	ルーマニア					282.4	4					282.4	4	Romania
29	オランダ													Netherlands
30	パキスタン	30.0	1									30.0	1	Pakistan
31	アルメニア													Armenia
32	イラン	229.3	2									229.3	2	Iran
33	インドネシア													Indonesia
34	カザフスタン													Kazakhstan
35	エジプト													Egypt
36	イスラエル													Israel
	合 計	1,920.5	19	543.1	4	498.9	10	100.0	1	78.0	2	3,140.5	36	Total

*ロシア型 PWR（VVER）を含む
Including Russian type PWR（VVER）

**ABWR を含む
Including Advanced BWR

12. 炉型別の原子力発電設備容量（計画中）

World Nuclear Capacity by Reactor Type（Planned）

2005 年 12 月 31 日現在，万 kW，グロス電気出力
as of December 31, 2005, 10 MWe, Gross Output

	炉型 / 国・地域	加圧水型* 軽水炉(PWR)		沸騰水型** 軽水炉(BWR)		重水炉 HWR		軽水冷却黒鉛減速炉(LWGR)		高速炉 FR		高温ガス冷却炉(HTGR)		合計 Total		Reactor Type / Country Region
		出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	出力 Output	基数 Units	
1	米国															U.S.A
2	フランス	160.0	1											160.0	1	France
3	日本	307.6	2	965.9	7									1,273.5	9	Japan
4	ロシア	107.0	2											107.0	2	Russia
5	ドイツ															Germany
6	韓国	560.0	4											560.0	4	Korea
7	カナダ															Canada
8	ウクライナ															Ukraine
9	英国															UK
10	スウェーデン															Sweden
11	スペイン															Spain
12	中国	630.0	7											630.0	7	China
13	ベルギー															Belgium
14	台湾															Taiwan
15	チェコ															Czech Republic
16	スイス															Switzerland
17	インド															India
18	ブルガリア	200.0	2											200.0	2	Bulgaria
19	フィンランド															Finland
20	スロバキア															Slovak Republic
21	ブラジル	130.9	1											130.9	1	Brazil
22	南アフリカ											11.0	1	11.0	1	South Africa
23	ハンガリー															Hungary
24	リトアニア															Lithuania
25	メキシコ															Mexico
26	アルゼンチン															Argentina
27	スロベニア															Slovenia
28	ルーマニア															Romania
29	オランダ															Netherlands
30	パキスタン															Pakistan
31	アルメニア															Armenia
32	イラン	88.0	2											88.0	2	Iran
33	インドネシア	400.0	4											400.0	4	Indonesia
34	カザフスタン	192.0	3											192.0	3	Kazakhstan
35	エジプト	187.2	2											187.2	2	Egypt
36	イスラエル	66.4	1											66.4	1	Israel
	合　計	3,029.1	31	965.9	7	0.0	0	0.0	0	0.0	0	11.0	1	4,006.0	39	Total

*ロシア型 PWR（VVER）及び APWR，EPR を含む
Including Russian type PWR（VVER），Advanced PWR and European Pressurized Water Reactor（EPR）

**ABWR を含む
Including Advanced BWR

13. 世界の MOX 利用の現状

Status of MOX Use in the World

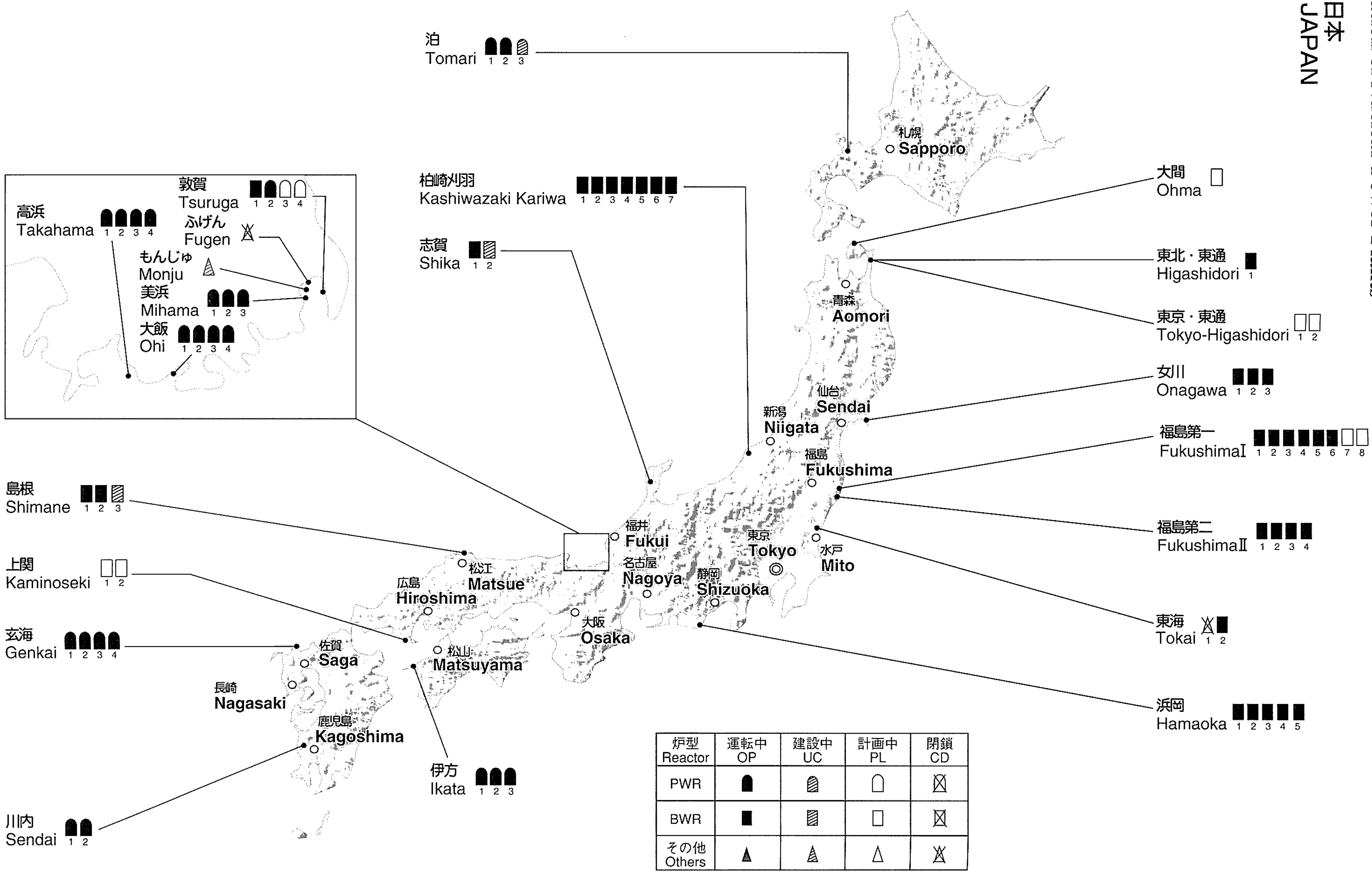
2005 年 12 月 31 日現在
As of December 31, 2005

国名	原子力発電所	炉型 (Reactor Type)	グロス出力(MW) (Gross Output)	装荷開始 (Start of Loading)	装荷体数(2004 年末時点) (Cumulative Number of MOX Fuel Assemblies As of the End of 2004)	Plant Name
ベルギー (Belgium)	チアンジュ 2 号機	PWR	1055	1995		Tihange-2
	ドール 3 号機	PWR	1056	1995		Doel-3
フランス (France)	フェニックス	FBR	140	1973*	2,300 in total	Phénix
	サンローラン・デゾー B 1 号機	PWR	956	1987		St.Laurent-Des-Eaux-B 1
	サンローラン・デゾー B 2 号機	PWR	956	1988		St.Laurent-Des-Eaux-B 2
	グラブリーヌ 3 号機	PWR	951	1989		Gravelines-3
	グラブリーヌ 4 号機	PWR	951	1989		Gravelines-4
	ダンピエール 1 号機	PWR	937	1990		Dampierre-1
	ダンピエール 2 号機	PWR	937	1993		Dampierre-2
	ルブレイエ 2 号機	PWR	951	1994		Le Blayais-2
	トリカスタン 2 号機	PWR	955	1996		Tricastin-2
	トリカスタン 3 号機	PWR	955	1996		Tricastin-3
	トリカスタン 1 号機	PWR	955	1997		Tricastin-1
	トリカスタン 4 号機	PWR	955	1997		Tricastin-4
	グラブリーヌ 1 号機	PWR	951	1997		Gravelines-1
	ルブレイエ 1 号機	PWR	951	1997		Le Blayais-1
	ダンピエール 3 号機	PWR	937	1998		Dampierre-3
	グラブリーヌ 2 号機	PWR	951	1998		Gravelines-2
	ダンピエール 4 号機	PWR	937	1998		Dampierre-4
	シノン B 4 号機	PWR	954	1998		Chinon-B 4
	シノン B 2 号機	PWR	954	1999		Chinon-B 2
	シノン B 3 号機	PWR	954	1999		Chinon-B 3
	シノン B 1 号機	PWR	954	2000		Chinon-B 1
ドイツ (Germany)	オブリッヒハイム[1]	PWR	357	1972	78	Obrigheim
	ネッカー 1 号機	PWR	840	1982	32	Necker-1
	ウンターベーザー	PWR	1410	1984		Unterweser
	グラーフェンラインフェルト	PWR	1345	1985		Grafenrheinfeld
	フィリップスブルグ 2 号機	PWR	1458	1988	160	Philippsburg-2
	グローンデ	PWR	1430	1988		Grohnde
	ブロックドルフ	PWR	1440	1988		Brokdorf
	グンドレミンゲン C 号機	BWR	1344	1995	232	Gundremmingen-C
	グンドレミンゲン B 号機	BWR	1344	1996	372	Gundremmingen-B
	イザール 2 号機	PWR	1475	1998		Isar-2
	ネッカー 2 号機	PWR	1400	1998	60	Necker-2
	エムスラント	PWR	1400	装荷認可(Licensed)		Emsland
インド (India)	タラプール 1 号機	BWR	160	1994		Tarapur TAPS-1
	タラプール 2 号機	BWR	160	1995		Tarapur TAPS-2
ロシア (Russia)	ベロヤルスク 3 号機(BN-600)	FBR	600	2003		Beloyarsk-3
スイス (Switzerland)	ベツナウ 1 号機	PWR	380	1978		Beznau-1
	ベツナウ 2 号機	PWR	380	1984		Beznau-2
	ゲスゲン	PWR	1020	1997	112	Gösgen
	ライプシュタット	BWR	1220	装荷認可(Licensed)		Leibstadt
	ミューレベルグ	BWR	372	装荷認可(Licensed)		Mühleberg
スウェーデン (Sweden)	オスカーシャム 1 号機	BWR	465	装荷認可(Licensed)		Oskarshamn-1
	オスカーシャム 2 号機	BWR	630	装荷認可(Licensed)		Oskarshamn-2
	オスカーシャム 3 号機	BWR	1205	装荷認可(Licensed)		Oskarshamn-3
米国 (U.S.A)	カトーバ 1 号機	PWR	1205	2005[2]		Catawba-1
日本 (Japan)	ふげん[3]	ATR	165	1981		Fugen
	もんじゅ	FBR	280	1994*		Monju
	高浜 3 号機	PWR	870	装荷認可(Licensed)		Takahama-3
	高浜 4 号機	PWR	870	装荷認可(Licensed)		Takahama-4
	福島第一 3 号機	BWR	784	装荷認可(Licensed)		Fukushima I -3
	柏崎刈羽 3 号機	BWR	1100	装荷認可(Licensed)		Kashiwazaki Kariwa-3
	玄海 3 号機	PWR	1180	装荷認可(Licensed)		Genkai-3

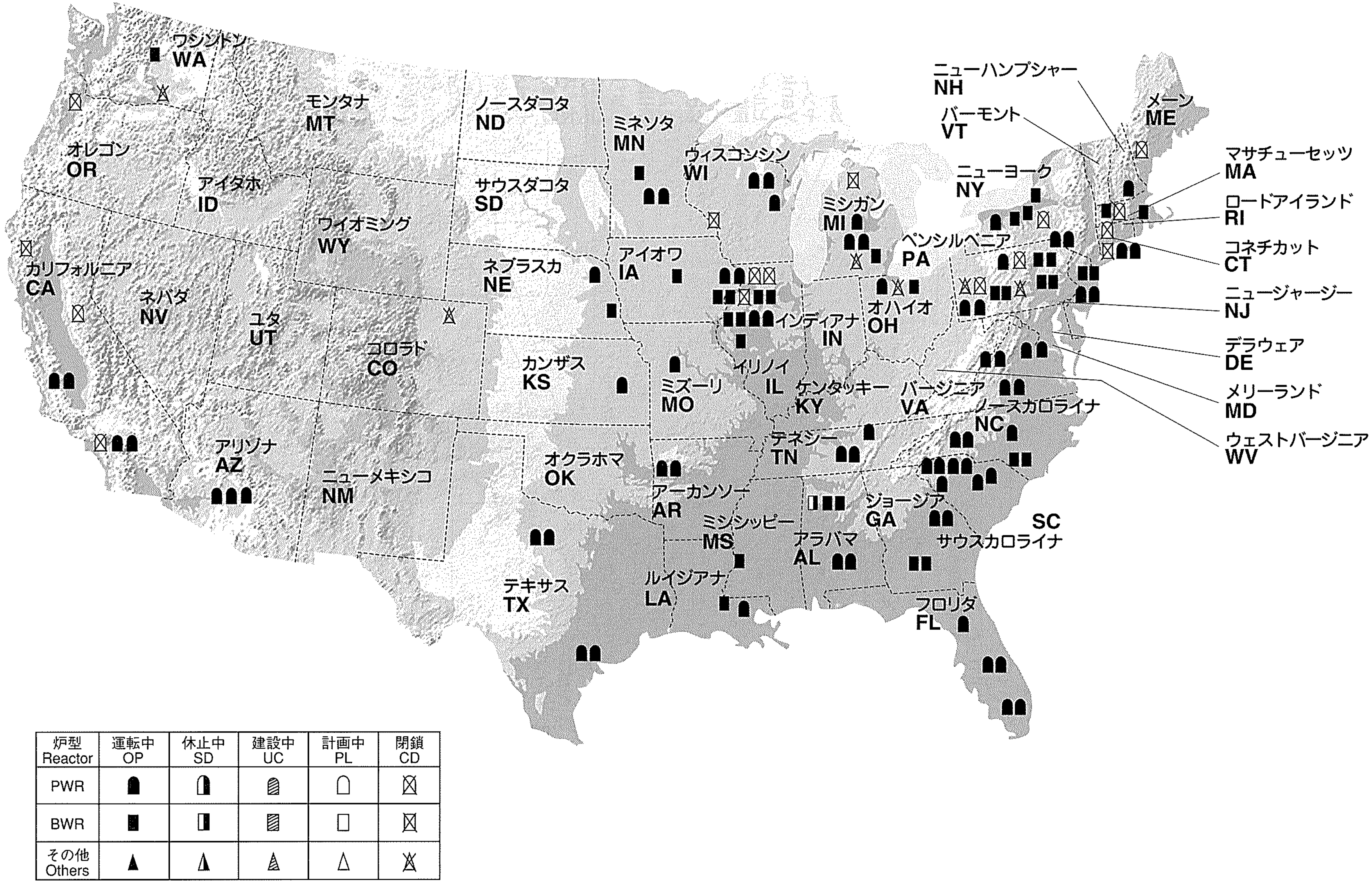
*初臨界(First Criticality)
1 : 2005 年 5 月 11 日，閉鎖(CD)
2 : 2005 年春，4 体の燃料集合体が装荷された。装荷年数は，約 4 年の予定。
3 : 2003 年 3 月 29 日，閉鎖(CD)

14. 原子力発電所の立地点 Location of Nuclear Power Plants

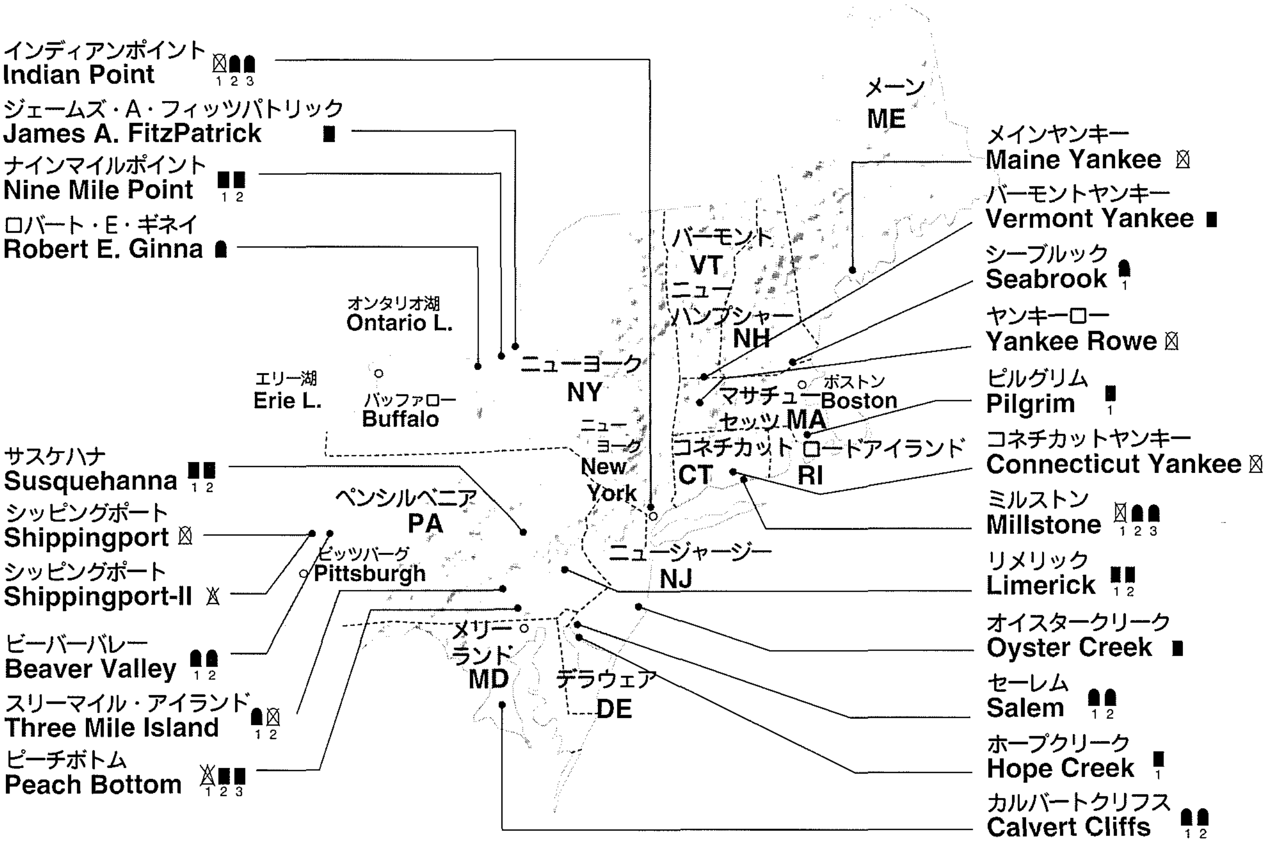
1) 日本 JAPAN



2）米国の原子力発電所 U.S.A.

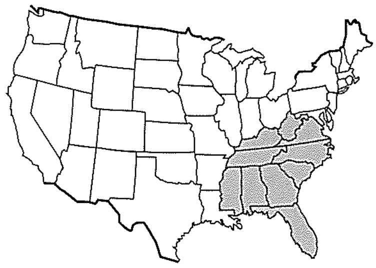


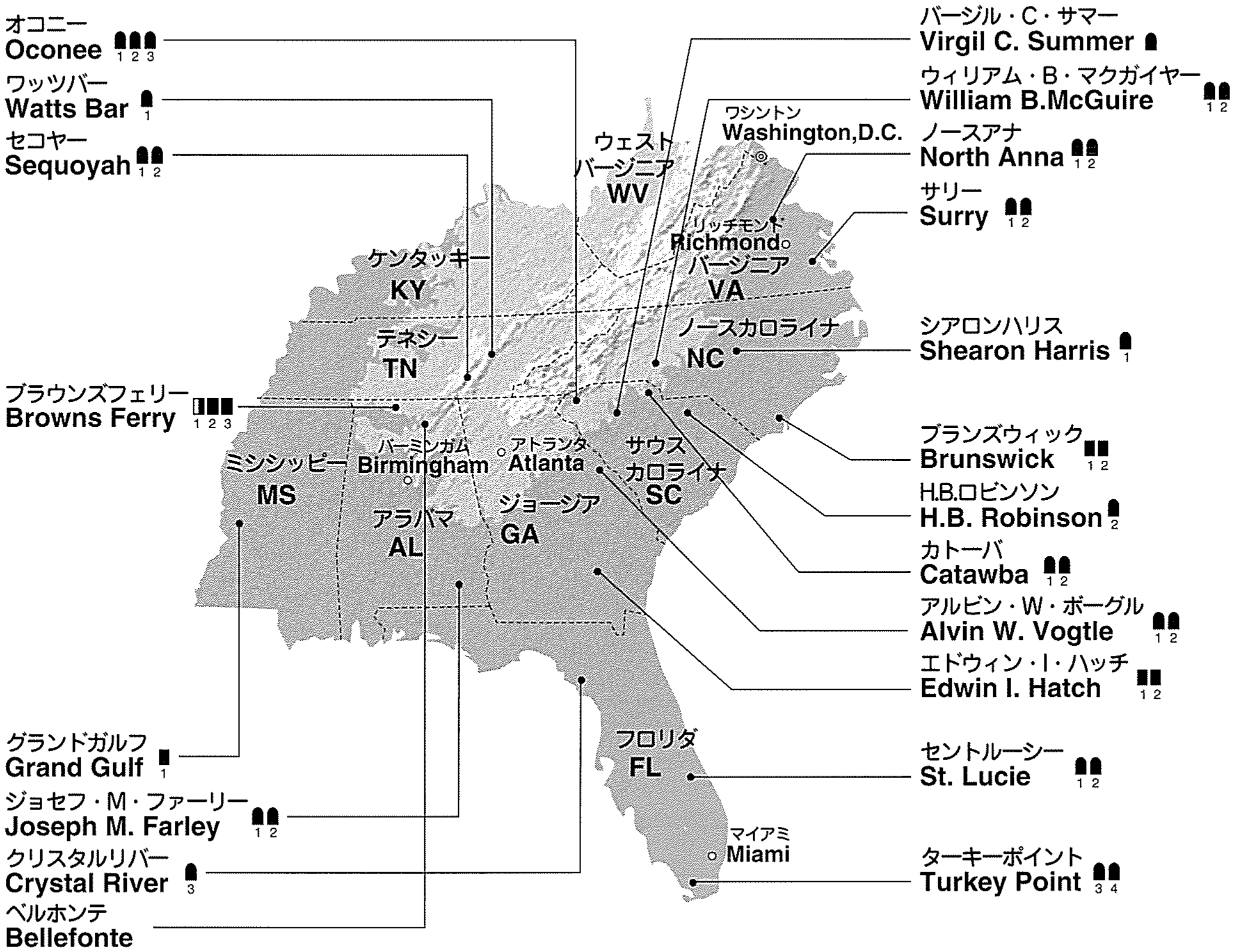
2)-1　米国北東部
North East Region（U.S.A.）



炉型 Reactor	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR				
BWR				
その他 Others				

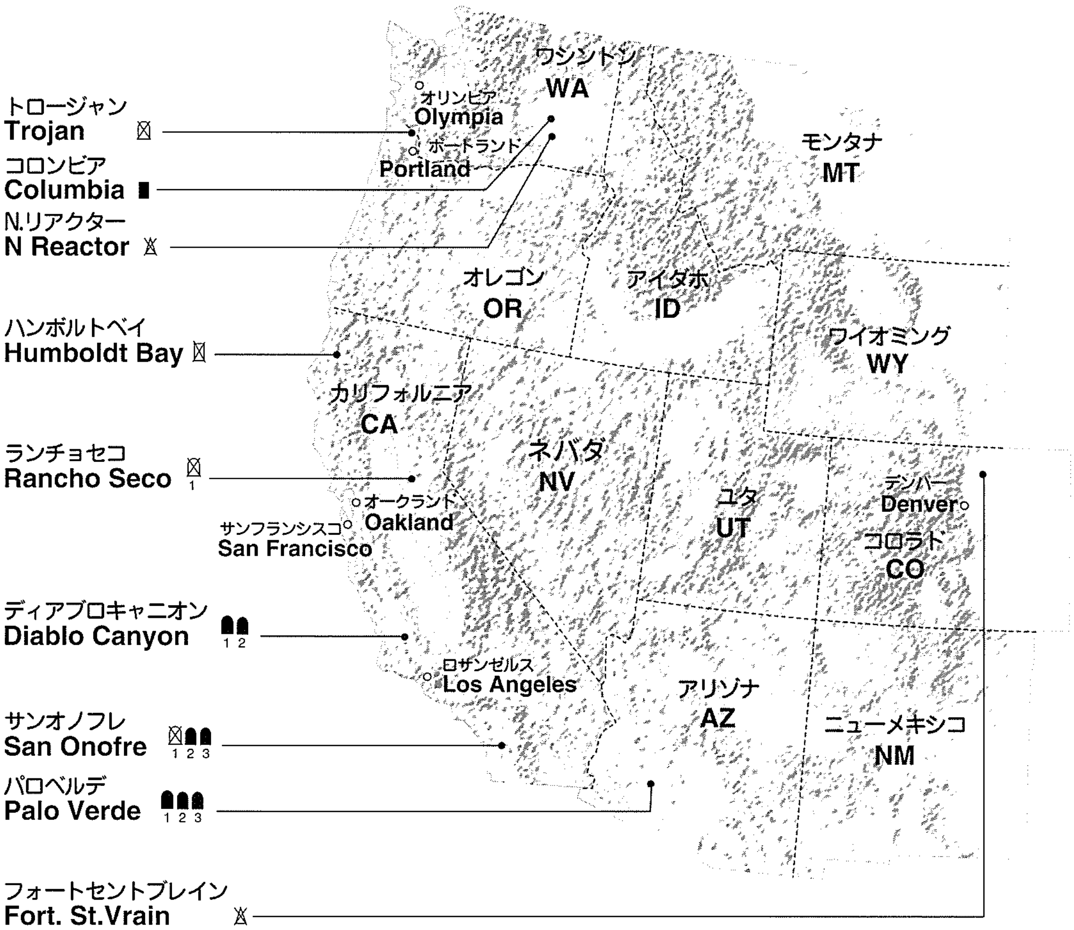
2)-2 米国南東部
South East Region (U.S.A.)





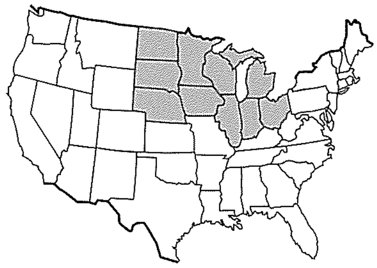
炉型 Reactor	運転中 OP	休止中 SD	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR					
BWR					
その他 Others					

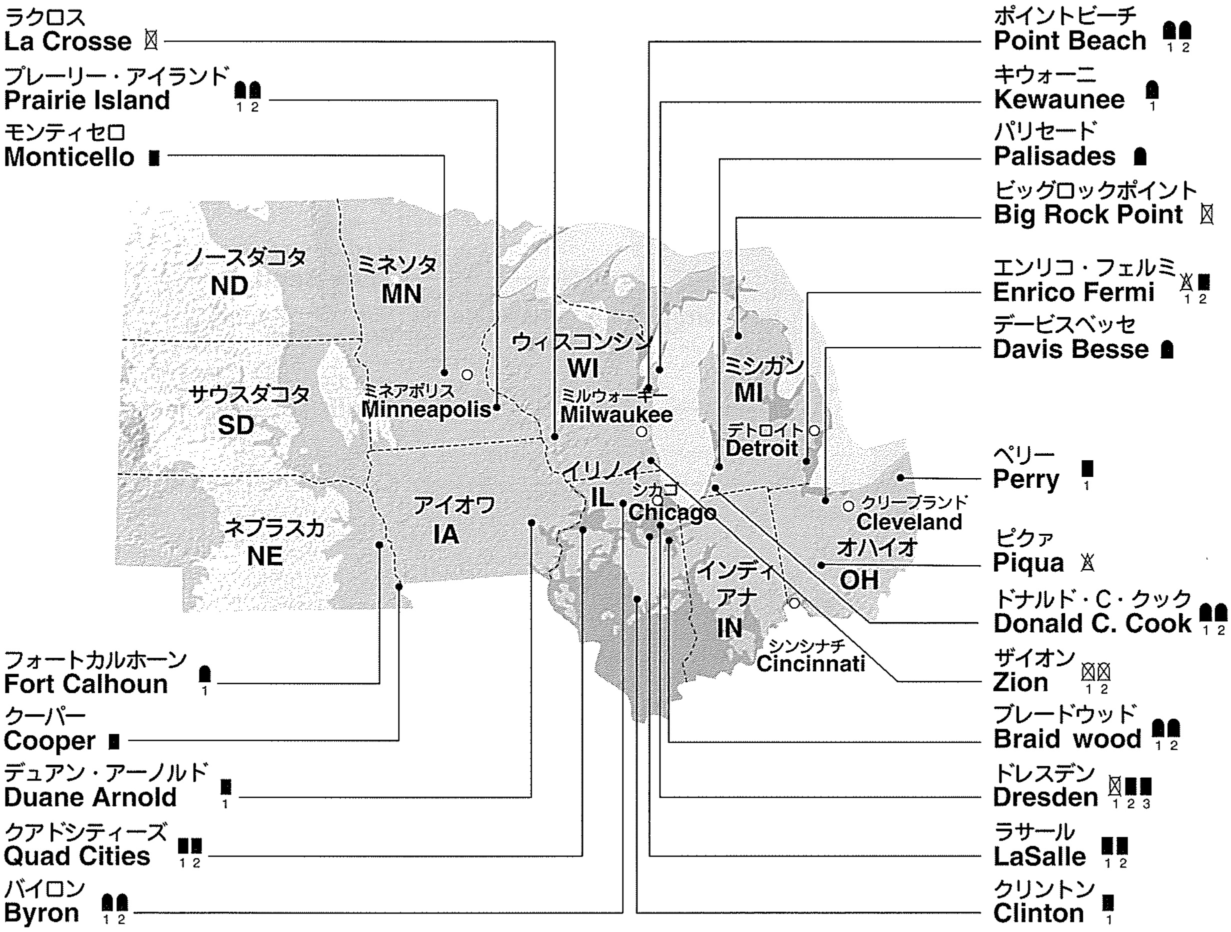
2)-3 米国西部地域 West Region (U.S.A.)



炉型 Reactor	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR	■	▨	□	☒
BWR	■	▨	□	☒
その他 Others	▲	◬	△	☒

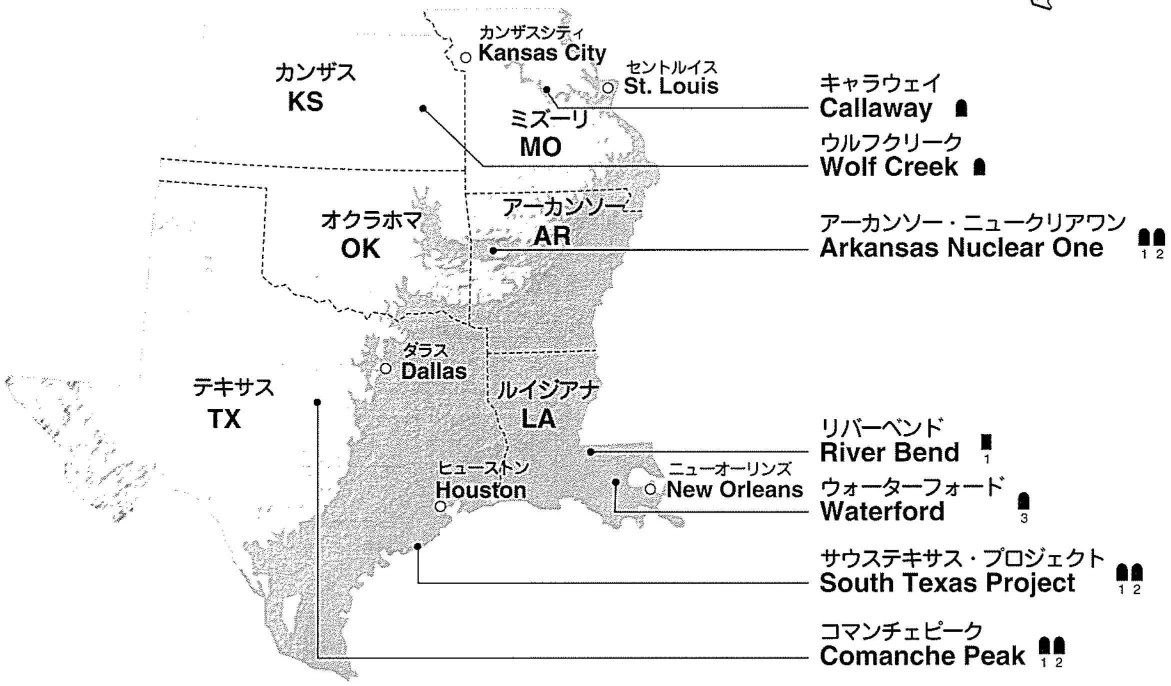
2)-4 米国中部北地域
North Central Region (U.S.A.)



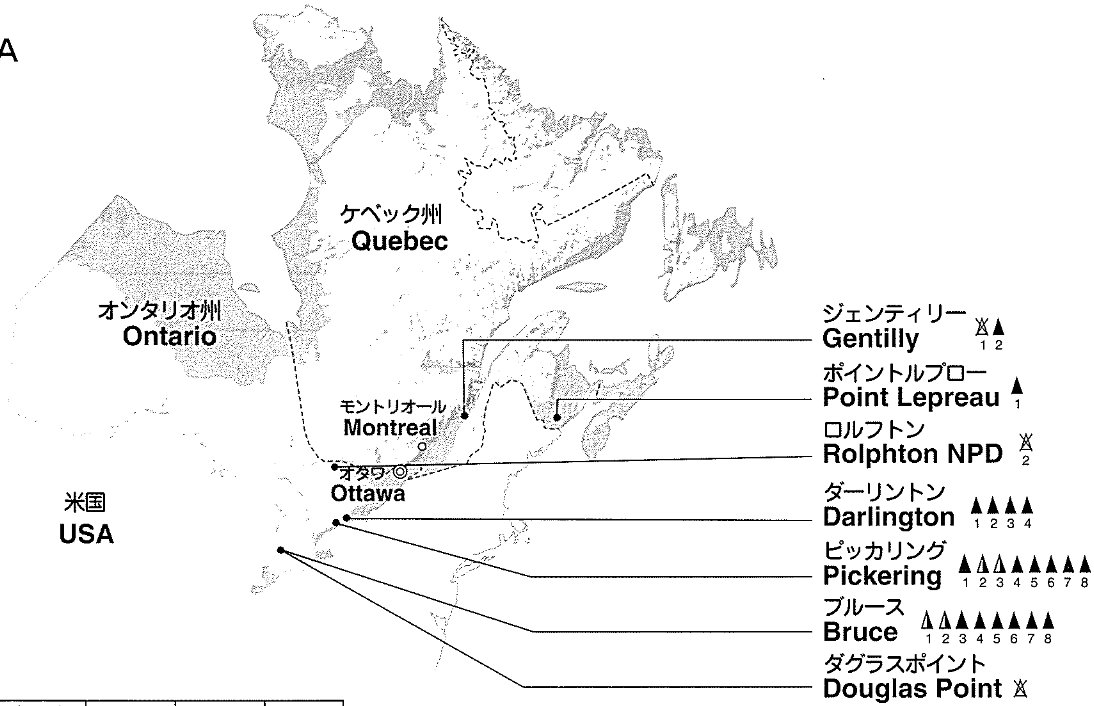


炉型 Reactor	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR	●	◍	◯	☒
BWR	■	▨	□	☒
その他 Others	▲	◬	△	☒

2)-5 米国中部南地域
South Central Region (U.S.A.)

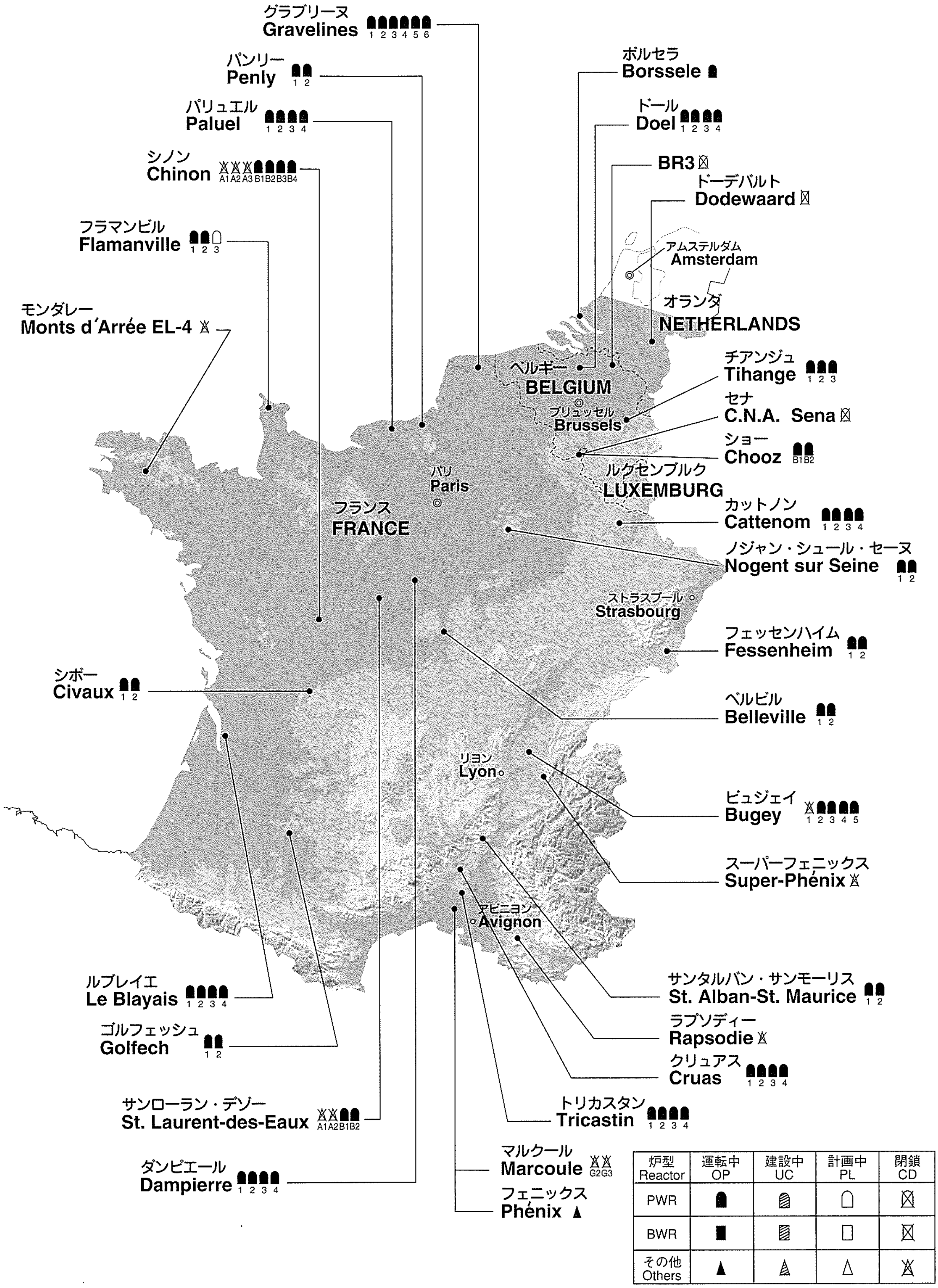


3) カナダ
CANADA

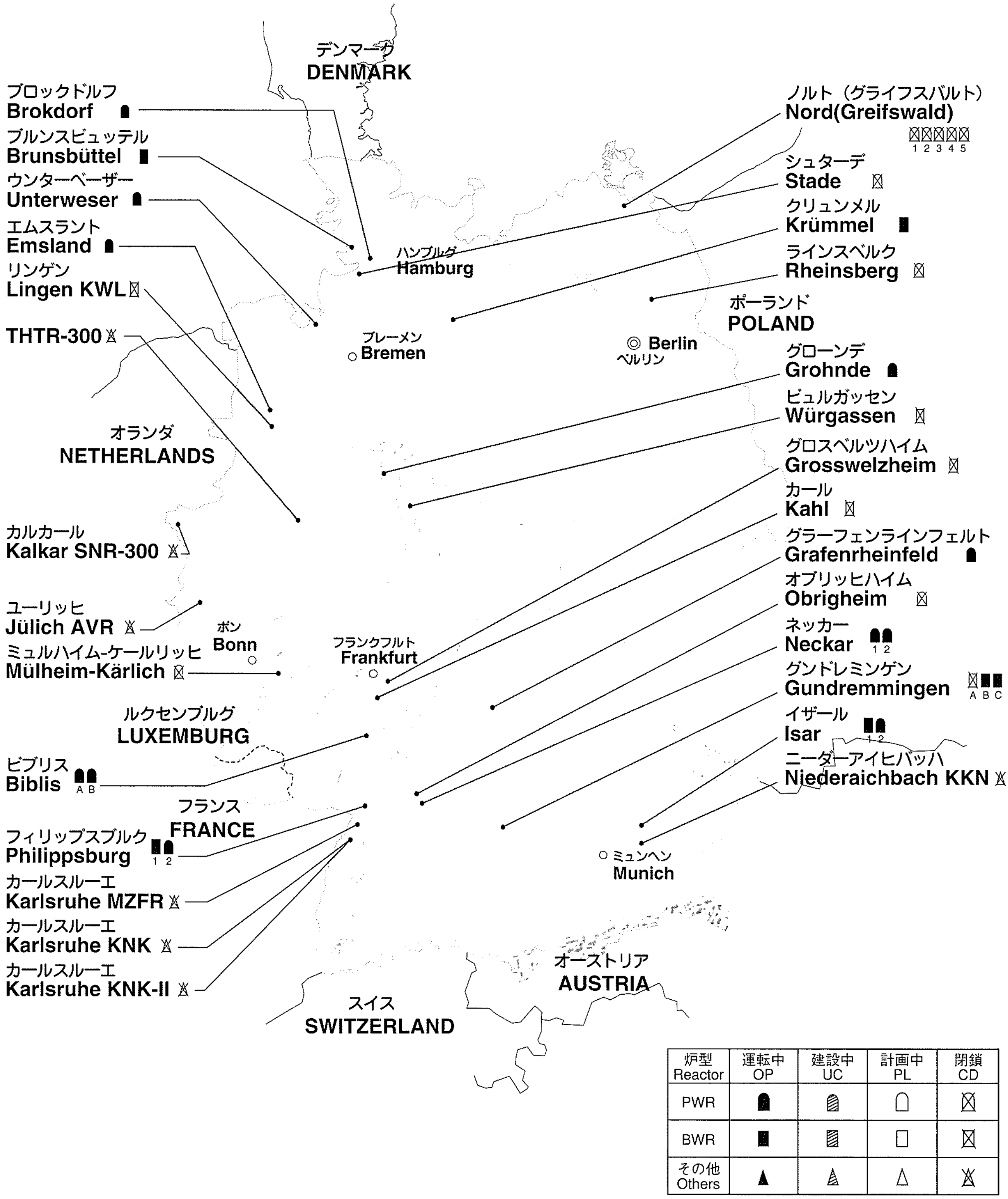


炉型 Reactor	運転中 OP	休止中 SD	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR					
BWR					
その他 Others					

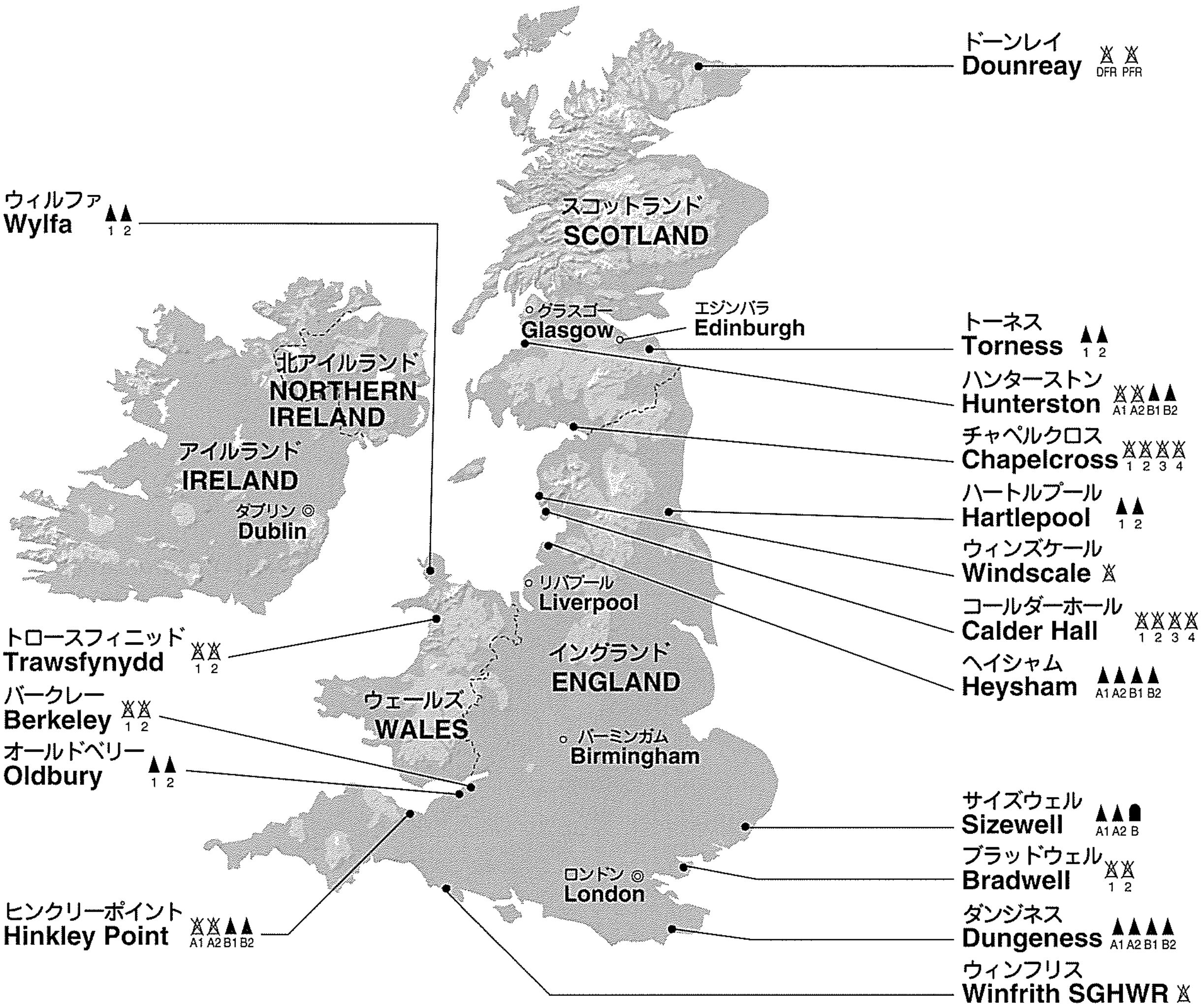
4) フランス, ベネルクス三国
FRANCE, BENELUX



5) ドイツ
GERMANY

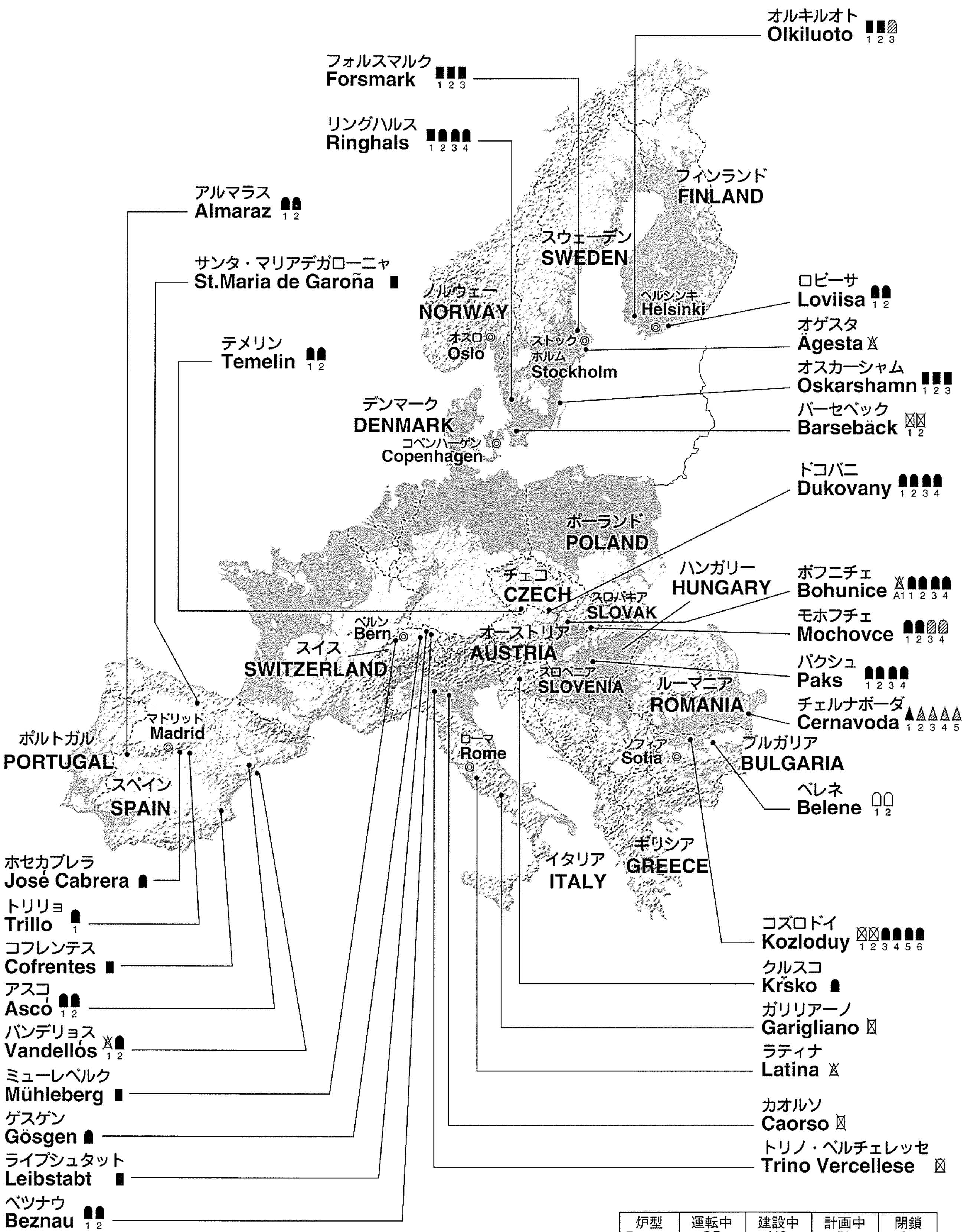


6）英国
UNITED KINGDOM

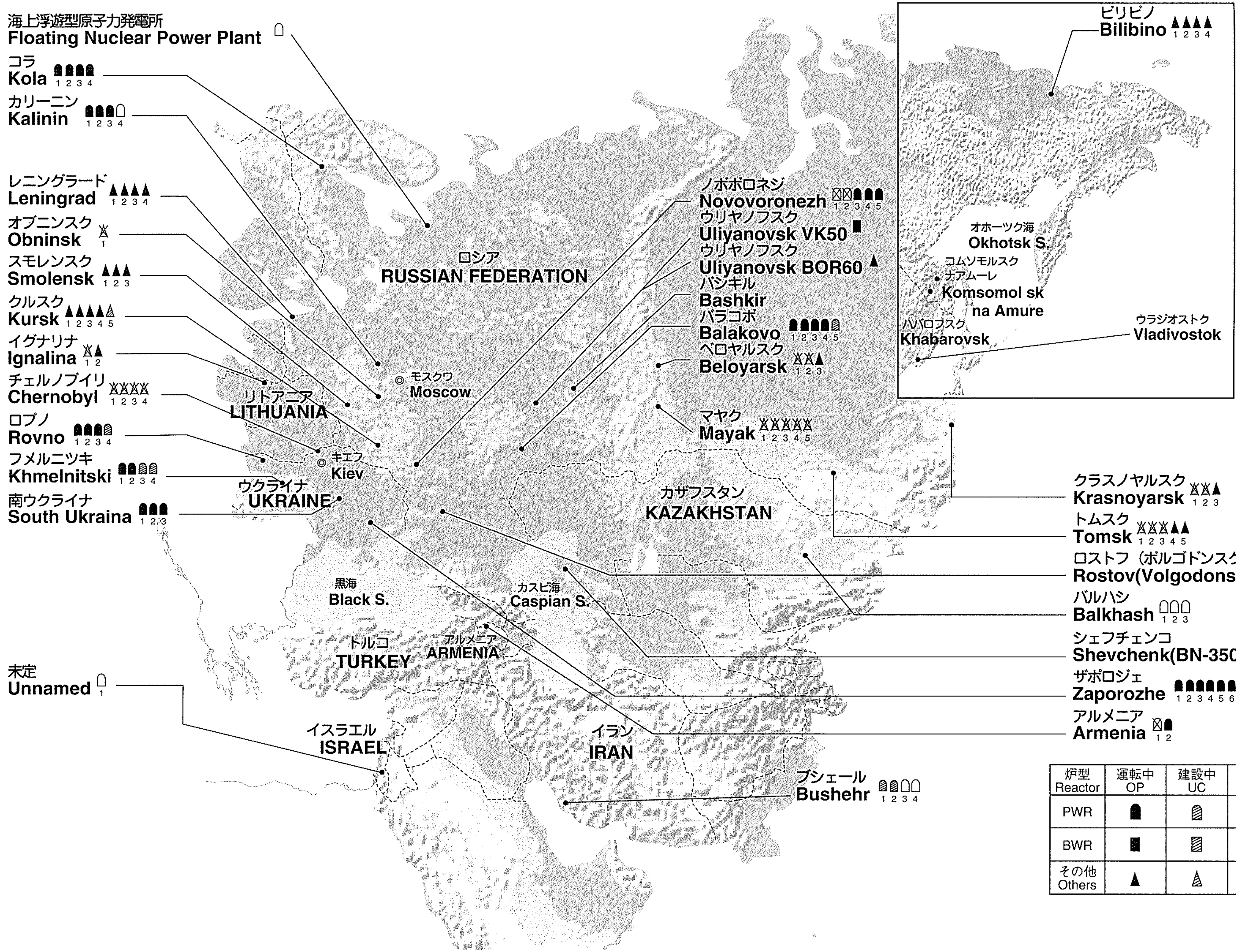


炉型 Reactor	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR	●	◍	◯	⊠
BWR	■	▨	□	⊠
その他 Others	▲	◬	△	⊠

7）その他欧州諸国
OTHER EUROPEAN COUNTRIES

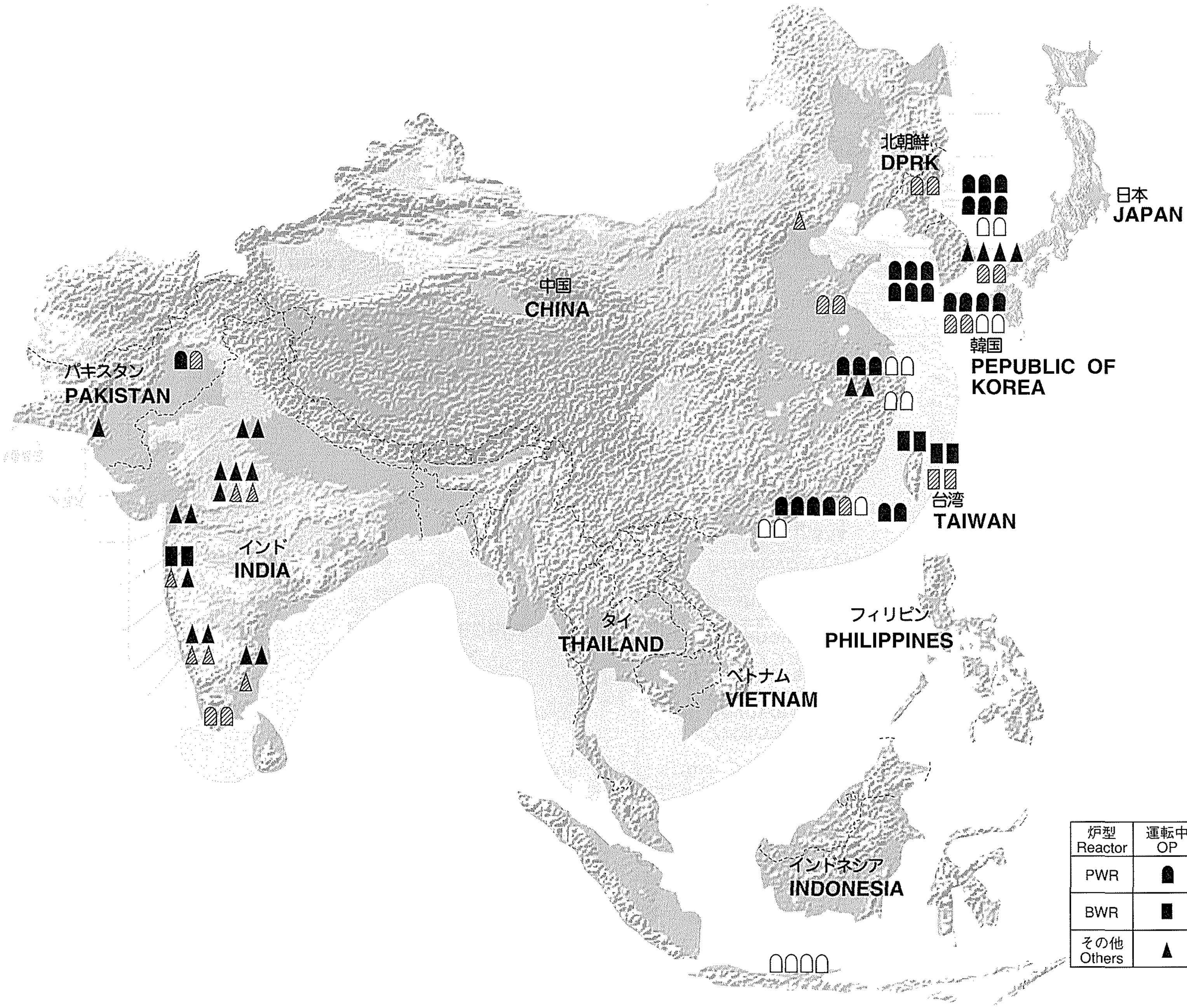


炉型 Reactor	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR	▲	▨	◯	☒
BWR	■	▨	□	☒
その他 Others	▲	◬	△	☒



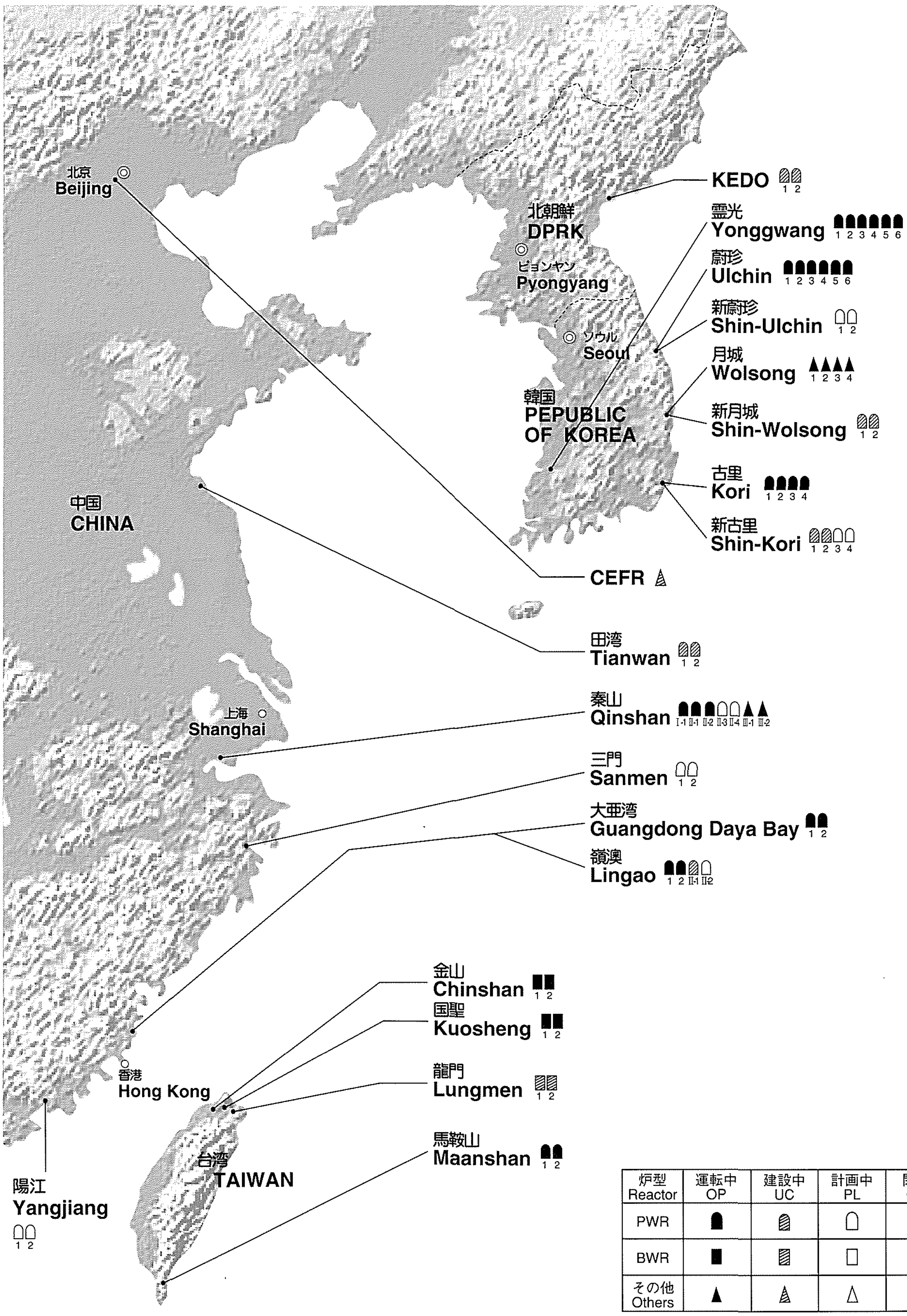
炉型 Reactor	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR				
BWR				
その他 Others				

9) アジア ASIA



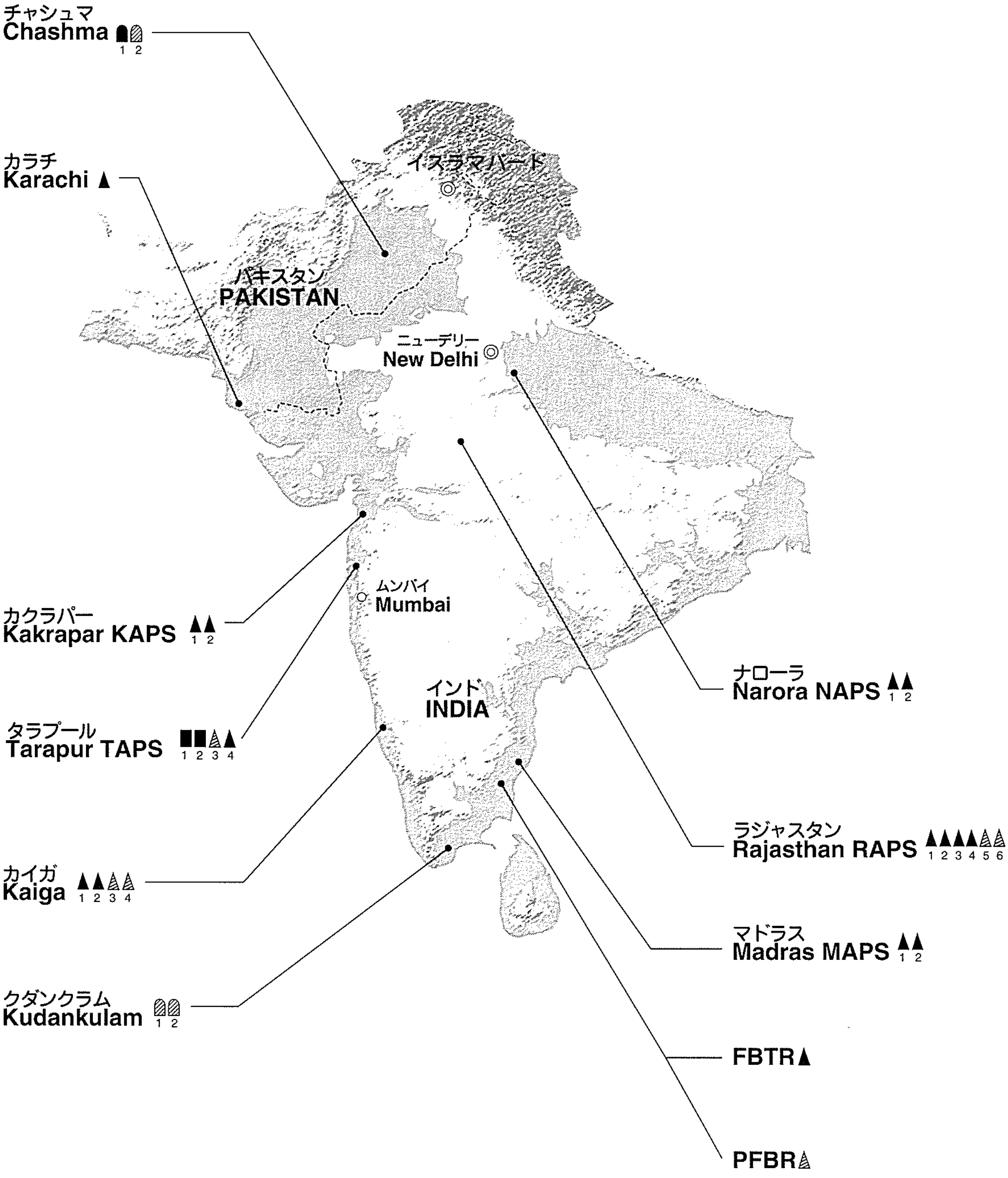
炉型 Reactor	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR				
BWR				
その他 Others				

9)-1　アジア東部
East Region（Asia）



炉型 Reactor	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR				
BWR				
その他 Others				

9)-2 アジア西部
West Region (Asia)

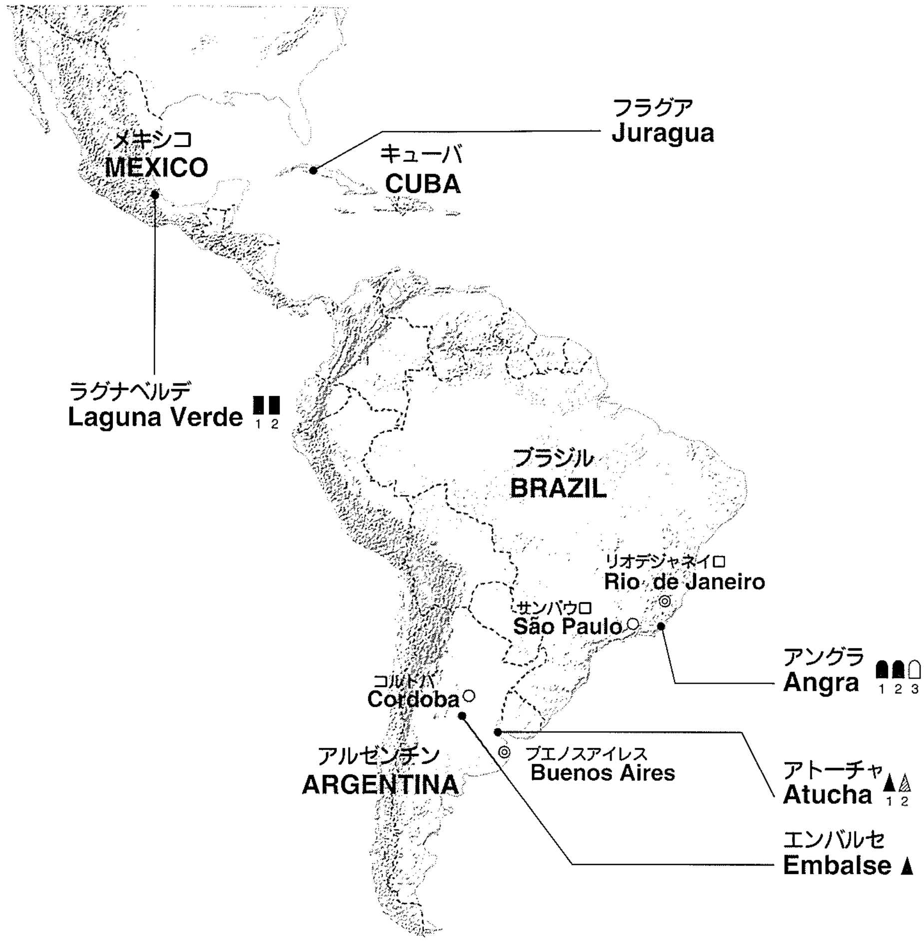


炉型 Reactor	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR				
BWR				
その他 Others				

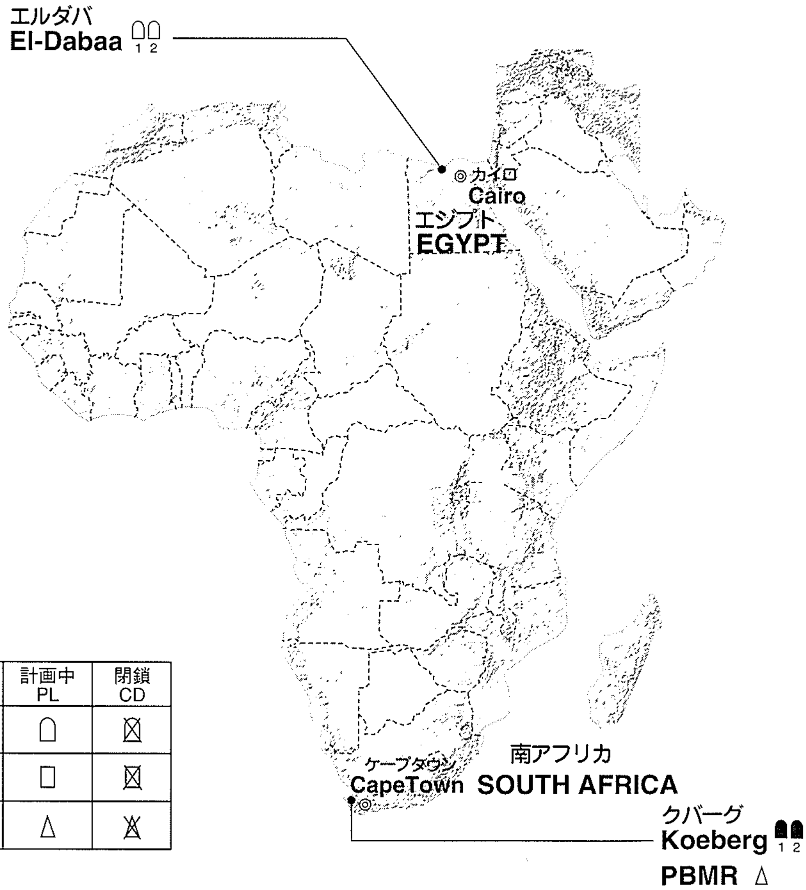
9)-3 東南アジア地域
Southeast Asia

炉型 Reactor	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR				
BWR				
その他 Others				

10）中南米
CENTRAL AMERICA, SOUTH AMERICA



11）アフリカ
AFRICA



炉型 Reactor	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	閉鎖 CD
PWR				
BWR				
その他 Others				

15. 世界の原子力発電所一覧表
Nuclear Power Plants in the World

(2005 年 12 月 31 日現在)
—As of December 31, 2005—

国・地域	状況	発電所	電気出力(万kW) ネット	グロス	炉型	発注	着工	コンクリート打設	臨界	送電開始	営業運転	所有者
日本	運転中	福島第一-1	43.9	46.0	BWR	1966	1966.12	1967.7.25	1970.10.10	1970.11.17	1971.3.26	東京電力
	運転中	福島第一-2	76.0	78.4	BWR	1968	1969.5	1969.6.9	1973.5.10	1973.12.24	1974.7.18	東京電力
	運転中	福島第一-3	76.0	78.4	BWR	1970	1970.10	1970.12.28	1974.9.6	1974.10.26	1976.3.27	東京電力
	運転中	福島第一-4	76.0	78.4	BWR	1972	1972.9	1973.2.12	1978.1.28	1978.2.24	1978.10.12	東京電力
	運転中	福島第一-5	76.0	78.4	BWR	1972	1971.12	1972.5.22	1977.8.26	1977.9.22	1978.4.18	東京電力
	運転中	福島第一-6	106.7	110.0	BWR	1972	1973.5	1973.10.26	1979.3.9	1979.5.4	1979.10.24	東京電力
	運転中	福島第二-1	106.7	110.0	BWR	1976	1975.11	1976.3.16	1981.6.17	1981.7.31	1982.4.20	東京電力
	運転中	福島第二-2	106.7	110.0	BWR	1978	1979.2	1979.5.25	1983.4.26	1983.6.23	1984.2.3	東京電力
	運転中	福島第二-3	106.7	110.0	BWR	1980	1980.12	1981.3.23	1984.10.18	1984.12.14	1985.6.21	東京電力
	運転中	福島第二-4	106.7	110.0	BWR	1980	1980.12	1981.5.28	1986.10.24	1986.12.17	1987.8.25	東京電力
	運転中	玄海-1	52.9	55.9	PWR	1969	1971.3	1971.9	1975.1.28	1975.2.14	1975.10.15	九州電力
	運転中	玄海-2	52.9	55.9	PWR	1976	1976.6	1977.2	1980.5.21	1980.6.3	1981.3.30	九州電力
	運転中	玄海-3	112.7	118.0	PWR	1985	1985.8	1988.6	1993.5.28	1993.6.15	1994.3.18	九州電力
	運転中	玄海-4	112.7	118.0	PWR	1985	1985.8	1992.7	1996.10.23	1996.11.12	1997.7.25	九州電力
	運転中	浜岡-1	51.5	54.0	BWR	1971	1971.3	1971.6.10	1974.6.20	1974.8.13	1976.3.17	中部電力
	運転中	浜岡-2	80.6	84.0	BWR	1977	1974.3	1974.6.14	1978.3.28	1978.5.4	1978.11.29	中部電力
	運転中	浜岡-3	105.6	110.0	BWR	1982	1982.11	1983.4.18	1986.11.21	1987.1.20	1987.8.28	中部電力
	運転中	浜岡-4	109.2	113.7	BWR	1989	1989.2	1989.10.13	1992.12.2	1993.1.27	1993.9.3	中部電力
	運転中	浜岡-5	132.5	138.0	ABWR	1999	1999.3.19	2000.6	2004.3.23	2004.4.30	2005.1.18	中部電力
	運転中	伊方-1	53.8	56.6	PWR	1973	1973.6	1973.9	1977.1.29	1977.2.17	1977.9.30	四国電力
	運転中	伊方-2	53.8	56.6	PWR	1977	1978.2	1978.8	1981.7.31	1981.8.19	1982.3.19	四国電力
	運転中	伊方-3	84.6	89.0	PWR	1991	1986.11	1990.10.1	1994.2.23	1994.3.29	1994.12.15	四国電力
	運転中	柏崎刈羽-1	106.7	110.0	BWR	1979	1978.12	1980.6.5	1984.12.12	1985.2.13	1985.9.18	東京電力
	運転中	柏崎刈羽-2	106.7	110.0	BWR	1984	1983.10	1985.11.18	1989.11.30	1990.2.8	1990.9.28	東京電力
	運転中	柏崎刈羽-3	106.7	110.0	BWR	1987	1987.7	1989.3.7	1992.10.19	1992.12.8	1993.8.11	東京電力
	運転中	柏崎刈羽-4	106.7	110.0	BWR	1987	1988.2	1990.3.5	1993.11.1	1993.12.21	1994.8.11	東京電力
	運転中	柏崎刈羽-5	106.7	110.0	BWR	1984	1983.10	1985.6.20	1989.7.20	1989.9.12	1990.4.10	東京電力
	運転中	柏崎刈羽-6	131.5	135.6	ABWR	1991	1991.9	1992.11.3	1995.12.18	1996.1.29	1996.11.7	東京電力
	運転中	柏崎刈羽-7	131.5	135.6	ABWR	1991	1992.2	1993.7.1	1996.11.1	1996.12.17	1997.7.2	東京電力
	運転中	美浜-1	32.0	34.0	PWR	1967	1967.8	1967.2	1970.7.29	1970.8	1970.11.28	関西電力
	運転中	美浜-2	47.0	50.0	PWR	1968	1968.12	1968.5	1972.4.10	1972.4	1972.7.25	関西電力
	運転中	美浜-3	78.0	82.6	PWR	1972	1972.7	1972.8	1976.1.28	1976.2	1976.12.1	関西電力
	運転中	大飯-1	112.0	117.5	PWR	1972	1972.10	1972.10	1977.12.2	1977.12	1979.3.27	関西電力
	運転中	大飯-2	112.0	117.5	PWR	1972	1972.11	1972.12	1978.9.14	1978.10	1979.12.5	関西電力
	運転中	大飯-3	112.7	118.0	PWR	1987	1987.5	1987.10	1991.5.17	1991.6	1991.12.18	関西電力
	運転中	大飯-4	112.7	118.0	PWR	1987	1987.5	1988.6	1992.5.28	1992.6	1993.2.2	関西電力
	運転中	女川-1	49.8	52.4	BWR	1972	1979.12	1980.6	1983.10.18	1983.11.18	1984.6.1	東北電力

発電所	運転者	主契約者	アーキテクトエンジニア	供給者 原子炉系統	圧力容器	炉心構造物	燃料	蒸気系統	タービン	土建工事	設備利用率(%)	発電電力量(MWh)	備考
福島第一-1	東京電力	GE	EBASCO	GE/GETSCO	GE/GETSCO/東芝/石播	GE/GETSCO	GE/GNF-J	GE/GETSCO	GE/GETSCO	鹿島/五洋/間/前田/熊谷/GE	22.7	915,283	
福島第一-2	東京電力	GE/東芝	EBASCO	GE/東芝	GE/GETSCO/東芝/石播	GE	GE/GNF-J・NFI	GE/東芝 GETSCO	GE/東芝 GETSCO	鹿島/熊谷	52.3	3,589,430	
福島第一-3	東京電力	東芝	東芝	東芝	東芝/石播	東芝	東芝/GNF-J・NFI	東芝	東芝	熊谷/鹿島	77.4	5,316,057	
福島第一-4	東京電力	日立	日立	日立	日立/バブ日立	日立	日立/GNF-J・NFI	日立	日立	鹿島/五洋/間/前田/熊谷	23.0	1,579,722	
福島第一-5	東京電力	東芝	東芝	東芝	東芝/石播	東芝	東芝/GNF-J・NFI	東芝	東芝	熊谷/鹿島/五洋	42.5	297,779	
福島第一-6	東京電力	GE/東芝	EBASCO	GE/東芝	GE/GETSCO/東芝/石播	GE	GE/GNF-J	GE/東芝/GETSCO	GE/GETSCO	鹿島/熊谷/間/前田/五洋	85.8	8,272,213	
福島第二-1	東京電力	東芝	東芝	東芝	東芝/石播	東芝	東芝/GNF-J・NFI	東芝	東芝	鹿島/五洋/間/前田/熊谷	61.3	5,904,683	
福島第二-2	東京電力	日立	日立	日立	日立/バブ日立	日立	日立/GNF-J・NFI	日立	日立	鹿島/五洋/間/前田/熊谷	81.9	7,889,359	
福島第二-3	東京電力	東芝	東芝	東芝	東芝/石播	東芝	東芝/GNF-J・NFI	東芝	東芝	鹿島/大林/五洋/前田	4.1	390,470	
福島第二-4	東京電力	日立	日立	日立	日立/バブ日立	日立	日立/GNF-J・NFI	日立	日立	清水/竹中	58.0	5,591,040	
玄海-1	九州電力	三菱重工業	三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF/NFI	三菱重工業	三菱重工業	大林/五洋/前田	71.3	3,489,990	
玄海-2	九州電力	三菱重工業	三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF/NFI	三菱重工業	三菱重工業	大林/前田	81.2	3,976,001	
玄海-3	九州電力	三菱重工業	三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF/NFI	三菱重工業	三菱重工業	共同企業体	87.2	9,018,755	
玄海-4	九州電力	三菱重工業	三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF/NFI	三菱重工業	三菱重工業	共同企業体	86.2	8,908,163	
浜岡-1	中部電力	東芝	東芝	東芝	東芝(石播)	東芝	GNF-J/NFI	東芝/日立	日立	熊谷/白石工事/竹中/鹿島/間/佐藤	0	0	
浜岡-2	中部電力	東芝/日立	東芝/日立	東芝	東芝(石播)	東芝	GNF-J/NFI	日立	日立	熊谷/白石工事/竹中/鹿島/佐藤	0	0	
浜岡-3	中部電力	東芝/日立	東芝/日立	東芝	東芝(石播)	東芝	GNF-J/NFI	日立	日立	鹿島/白石工事/熊谷/竹中/清水/間/佐藤/前田	62.8	6,054,349	
浜岡-4	中部電力	東芝/日立	東芝/日立	東芝	東芝(石播)	東芝	GNF-J/NFI	日立	日立	鹿島/白石工事/熊谷/竹中/清水/間/佐藤/前田	100.4	9,996,123	
浜岡-5	中部電力	東芝/日立	東芝	東芝	東芝/石播	東芝	GNF-J	日立	日立	鹿島/竹中/清水	101.9	11,740,500	
伊方-1	四国電力	三菱重工業	四国電力/三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF/NFI	三菱重工業	三菱重工業	大成	90.7	4,499,379	
伊方-2	四国電力	三菱重工業	四国電力/三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF/NFI	三菱重工業	三菱重工業	大成	67.3	3,337,447	
伊方-3	四国電力	三菱重工業	四国電力/三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF/NFI	三菱重工業	三菱重工業	奥村/間/西松/大成	89.4	6,969,673	
柏崎刈羽-1	東京電力	東芝	東芝	東芝	東芝/石播	東芝	東芝/GNF-J・NFI	東芝	東芝	鹿島/五洋/間/前田ほか19社	34.2	3,294,900	
柏崎刈羽-2	東京電力	東芝	東芝	東芝	東芝/石播	東芝	東芝/GNF-J・NFI	東芝	東芝	鹿島/熊谷/大成/前田ほか7社	69.5	6,696,430	
柏崎刈羽-3	東京電力	東芝	東芝	東芝	東芝/石播	東芝	東芝/GNF-J	東芝	東芝	共同企業体	65.8	6,337,660	
柏崎刈羽-4	東京電力	日立	日立	日立	日立/バブ日立	日立	日立/GNF-J	日立	日立	共同企業体	78.0	7,511,510	
柏崎刈羽-5	東京電力	日立	日立	日立	日立/バブ日立	日立	日立/GNF-J・NFI	日立	日立	五洋/間/清水/竹中ほか20社	74.4	7,168,910	
柏崎刈羽-6	東京電力	東芝/GE/日立	東芝	東芝	GE/東芝/日立/石播	GE	GE/GNF-J	日立	GE	鹿島/清水/間/竹中	96.7	11,490,834	
柏崎刈羽-7	東京電力	日立/GE/東芝	日立	日立	GE/東芝/日立/バブ日立	GE	GE/GNF-J	東芝	GE	清水/竹中/前田	69.5	8,259,968	
美浜-1	関西電力	WH/三菱原子力	関西電力/GILBERT	WH	ABB CE	WH	WH	WH/三菱重工業	三菱重工業	大林/前田/熊谷	42.7	1,272,103	
美浜-2	関西電力	三菱原子力	関西電力/三菱原子力	WH	三菱重工業	WH	WH	三菱重工業	三菱重工業	大林/前田/熊谷	85.1	3,726,836	
美浜-3	関西電力	三菱商事	関西電力/三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF	三菱重工業	三菱重工業	間/竹中	0	0	
大飯-1	関西電力	WH/三菱商事	関西電力/GILBERT	WH	三菱重工業	WH	WH	三菱重工業	三菱重工業	大林/熊谷	73.5	7,561,798	
大飯-2	関西電力	WH/三菱商事	関西電力/GILBERT	WH	三菱重工業	WH	WH	三菱重工業	三菱重工業	大林/熊谷	70.4	7,246,474	
大飯-3	関西電力	三菱重工業	関西電力/三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF	三菱重工業	三菱重工業	大林/竹中/大成/熊谷/鹿島/国土/前田/間	78.9	8,156,929	
大飯-4	関西電力	三菱重工業	関西電力/三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF	三菱重工業	三菱重工業	大林/竹中/大成/熊谷/鹿島/国土/前田/間	99.9	10,324,221	
女川-1	東北電力	東芝	東芝	東芝	石播	東芝	GNF-J/NFI	東芝	東芝	鹿島/前田/五洋	43.8	2,010,024	

国・地域	状況	発電所	電気出力(万kW)		炉型	発注	着工	コンクリート打設	臨界	送電開始	営業運転	所有者	運転者	主契約者	アーキテクトエンジニア	供給者							設備利用率(%)	発電電力量(MWh)	備考
			ネット	グロス												原子炉系統	圧力容器	炉心構造物	燃料	蒸気系統	タービン	土建工事			
日本	運転中	女川-2	79.6	82.5	BWR	1989	1989.8	1991.4	1994.11.2	1994.12.23	1995.7.28	東北電力	東北電力	東芝	東芝	東芝	石播	東芝	東芝/GNF-J	東芝	東芝	鹿島/前田/五洋	27.1	1,958,721	
	運転中	女川-3	79.6	82.5	BWR	1997	1996.9	1998.1	2001.4.26	2001.5.30	2002.1.30	東北電力	東北電力	東芝/日立	東芝	東芝	石幡	東芝	東芝/GNF-J	日立	日立	鹿島/前田/五洋	63.0	4,555,463	
	運転中	東通-1	105.3	110.0	BWR	1999	1998.12.24	2000.8	2005.1.24	2005.3.9	2005.12.8	東北電力	東北電力	東芝	東芝	東芝	石播	東芝	GNF-J	東芝	東芝	鹿島/大林/五洋	100.0	633,596	
	運転中	川内-1	84.6	89.0	PWR	1978	1979.1	1979.12	1983.8.25	1983.9.16	1984.7.4	九州電力	九州電力	三菱重工業	三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF/NFI	三菱重工業	三菱重工業	大成/飛島/前田	95.5	7,444,934	
	運転中	川内-2	84.6	89.0	PWR	1981	1981.5	1981.10	1985.3.18	1985.4.5	1985.11.28	九州電力	九州電力	三菱重工業	三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF/NFI	三菱重工業	三菱重工業	共同企業体	90.1	7,024,345	
	運転中	志賀-1	50.5	54.0	BWR	1988	1988.12	1989.7.1	1992.11.20	1993.1.12	1993.7.30	北陸電力	北陸電力	日立	日立	日立	日立	日立	GNF-J/NFI	日立	日立	鹿島/前田/佐藤/清水/熊谷/東洋/五洋/大豊/真柄/大林	95.1	4,498,485	
	運転中	島根-1	43.9	46.0	BWR	1966	1970.2	1970.7.2	1973.6.1	1973.12.2	1974.3.29	中国電力	中国電力	日立	日立	日立	日立(バブ日立)	日立	GNF-J/NFI	日立	日立	鹿島/大成/五洋/前田/熊谷	61.9	2,494,046	
	運転中	島根-2	79.1	82.0	BWR	1984	1984.7	1985.2.2	1988.5.25	1988.7.11	1989.2.10	中国電力	中国電力	日立	日立	日立	バブ日立	日立	GNF-J	日立	日立	鹿島/清水/奥村	85.6	6,148,078	
	運転中	高浜-1	78.0	82.6	PWR	1970	1970.4	1970.4	1974.3.14	1974.3	1974.11.14	関西電力	関西電力	WH/三菱商事	関西電力/GILBERT	WH/三菱重工業	三菱重工業	WH/三菱重工業	MNF	三菱重工業	三菱重工業	前田/間/大成	90.6	6,558,426	
	運転中	高浜-2	78.0	82.6	PWR	1970	1971.2	1971.3	1974.12.20	1975.1	1975.11.14	関西電力	関西電力	三菱商事	関西電力/三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF	三菱重工業	三菱重工業	前田/間/大成	91.0	6,581,005	
	運転中	高浜-3	83.0	87.0	PWR	1981	1980.11	1980.12	1984.4.17	1984.5	1985.1.17	関西電力	関西電力	三菱商事	関西電力/三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF	三菱重工業	三菱重工業	竹中/大林/大成/間/前田/熊谷	78.0	5,944,967	
	運転中	高浜-4	83.0	87.0	PWR	1981	1980.11	1981.3	1984.10.11	1984.11	1985.6.5	関西電力	関西電力	三菱商事	関西電力/三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF	三菱重工業	三菱重工業	竹中/大林/大成/間/前田/熊谷	90.1	6,866,886	
	運転中	東海-2	105.6	110.0	BWR	1971	1973.6	1973.10	1978.1.18	1978.3.13	1978.11.28	日本原電	日本原電	GE/日立/清水	EBASCO	GE(格納容器内)	GE	GE	GE/NFI	GE(格納容器内)	GE	清水/鹿島	56.6	5,452,824	
	運転中	泊-1	55.0	57.9	PWR	1984	1984.8	1985.4.18	1988.11.16	1988.12.6	1989.6.22	北海道電力	北海道電力	三菱重工業	三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF	三菱重工業	三菱重工業	大成/清水/大林/鹿島/戸田/間/五洋/佐藤/飛島	100.3	5,085,602	
	運転中	泊-2	55.0	57.9	PWR	1984	1984.8	1985.6.13	1990.7.25	1990.8.27	1991.4.12	北海道電力	北海道電力	三菱重工業	三菱原子力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF/NFI	三菱重工業	三菱重工業	大成/清水/大林/鹿島/戸田/間/五洋/佐藤/飛島	88.4	4,482,520	
	運転中	敦賀-1	34.1	35.7	BWR	1965	1966.4	1966.11	1969.10.3	1969.11.16	1970.3.14	日本原電	日本原電	GE	EBASCO	GE	B&W/日立	GE/日立	GE/NFI	GE	GE/東芝	竹中/熊谷	85.4	2,669,488	
	運転中	敦賀-2	111.5	116.0	PWR	1982	1982.4	1982.11	1986.5.28	1986.6.19	1987.2.17	日本原電	日本原電	三菱重工業	–	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	MNF/NFI	三菱重工業	三菱重工業	大林/清水/竹中/熊谷/飛島/前田/間	79.2	8,046,519	
	建設中	もんじゅ	–	28.0	FBR	1984	1985.10	1986.5	1994.4.5	1995.8.29	–	原研機構	原研機構	東芝/日立/富士/三菱重工	高速炉エンジニアリング	東芝/日立/富士/三菱重工	三菱重工業	三菱重工業/東芝/日立	原研機構	東芝/日立	東芝	大林/大成/鹿島/前田/熊谷/青木/東亜/五洋			
	建設中	志賀-2	130.4	135.8	ABWR	1999	1999.8.27	2001.8.20	2005.5.26	2005.7.4	2006.3.15	北陸電力	北陸電力	日立	日立	日立	日立	日立	GNF-J	日立	日立	鹿島/前田/佐藤/熊谷/五洋/大豊/清水/大林/東洋/戸田/真柄			工事進捗率99.6%
	建設中	泊-3	86.6	91.2	PWR	2003	2003.11	2004.11	–	–	2009.12	北海道電力	北海道電力	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	三菱重工業	–	三菱重工業	三菱重工業	大成/鹿島/前田			工事進捗率49.2%
	建設中	島根-3	–	137.3	ABWR	–	2005.12	–	–	–	2011.12	中国電力	中国電力	–	–	–	–	–	–	–	–	–			工事進捗率7.8%
	計画中	上関-1	–	137.3	ABWR	–	FY 2009	–	–	–	FY 2014	中国電力	中国電力	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	計画中	上関-2	–	137.3	ABWR	–	FY 2012	–	–	–	FY 2017	中国電力	中国電力	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	計画中	大間	–	138.3	ABWR	–	2006.8	–	–	–	2012.3	電源開発	電源開発	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	計画中	敦賀-3	–	153.8	APWR	–	2007.5	–	–	–	2014.3	日本原電	日本原電	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	計画中	敦賀-4	–	153.8	APWR	–	2007.5	–	–	–	2015.3	日本原電	日本原電	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	計画中	福島第一-7	–	138.0	ABWR	–	2008.4	–	–	–	2012.10	東京電力	東京電力	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	計画中	福島第一-8	–	138.0	ABWR	–	2008.4	–	–	–	2013.10	東京電力	東京電力	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	計画中	東京・東通-1	–	138.5	ABWR	–	FY 2008	–	–	–	FY 2014	東京電力	東京電力	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	計画中	東京・東通-2	–	138.5	ABWR	–	FY 2010以降	–	–	–	FY 2016以降	東京電力	東京電力	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	閉鎖	ふげん(原型炉)	–	16.5	ATR	1967	1970.12	1972.5	1978.3.20	1978.7.29	1979.3.20	原研機構	サイクル機構	5グループ	サイクル機構	日立	日立	日立	NFI/サイクル機構	東芝	東芝	前田/熊谷/鹿島			閉鎖 2003.3.29
	閉鎖	東海-1	15.9	16.6	GCR	1959	1960.1	1961.3	1965.5.4	1965.11.10	1966.7.25	日本原電	日本原電	GEC/SC	GEC	GEC	富士電機	富士電機	BNFL	川崎重工業	GEC	清水/鹿島			閉鎖 1998.3.31
	閉鎖	動力試験炉(JPDR-Ⅱ)	1.2	1.2	BWR	–	1960.12	–	1963.8.22	1963.10.26	–	原研機構	日本原研	GE	EBASCO	GE	GE/日立	GE	GE	GE	GE/東芝	GE/EBASCO			閉鎖 1982.12.9

	Plant status	Plant name	Output (10 MWe) Net	Output (10 MWe) Gross	Type of reactor	Date of order	Date of construction start	Date of concrete placing	Date of initial criticality	Date of grid connection	Date of commercial operation	Owner
	OP	FUKUSHIMA I-1	43.9	46.0	BWR	1966	1966.12	1967.7.25	1970.10.10	1970.11.17	1971.3.26	TEPCO
	OP	FUKUSHIMA I-2	76.0	78.4	BWR	1968	1969.5	1969.6.9	1973.5.10	1973.12.24	1974.7.18	TEPCO
	OP	FUKUSHIMA I-3	76.0	78.4	BWR	1970	1970.10	1970.12.28	1974.9.6	1974.10.26	1976.3.27	TEPCO
	OP	FUKUSHIMA I-4	76.0	78.4	BWR	1972	1972.9	1973.2.12	1978.1.28	1978.2.24	1978.10.12	TEPCO
	OP	FUKUSHIMA I-5	76.0	78.4	BWR	1972	1971.12	1972.5.22	1977.8.26	1977.9.22	1978.4.18	TEPCO
	OP	FUKUSHIMA I-6	106.7	110.0	BWR	1972	1973.5	1973.10.26	1979.3.9	1979.5.4	1979.10.24	TEPCO
	OP	FUKUSHIMA II-1	106.7	110.0	BWR	1976	1975.11	1976.3.16	1981.6.17	1981.7.31	1982.4.20	TEPCO
	OP	FUKUSHIMA II-2	106.7	110.0	BWR	1978	1979.2	1979.5.25	1983.4.26	1983.6.23	1984.2.3	TEPCO
	OP	FUKUSHIMA II-3	106.7	110.0	BWR	1980	1980.12	1981.3.23	1984.10.18	1984.12.14	1985.6.21	TEPCO
	OP	FUKUSHIMA II-4	106.7	110.0	BWR	1980	1980.12	1981.5.28	1986.10.24	1986.12.17	1987.8.25	TEPCO
	OP	GENKAI-1	52.9	55.9	PWR	1969	1971.3	1971.9	1975.1.28	1975.2.14	1975.10.15	Kyushu EPCO
	OP	GENKAI-2	52.9	55.9	PWR	1976	1976.6	1977.2	1980.5.21	1980.6.3	1981.3.30	Kyushu EPCO
	OP	GENKAI-3	112.7	118.0	PWR	1985	1985.8	1988.6	1993.5.28	1993.6.15	1994.3.18	Kyushu EPCO
	OP	GENKAI-4	112.7	118.0	PWR	1985	1985.8	1992.7	1996.10.23	1996.11.12	1997.7.25	Kyushu EPCO
	OP	HAMAOKA-1	51.5	54.0	BWR	1971	1971.3	1971.6.10	1974.6.20	1974.8.13	1976.3.17	Chubu EPCO
	OP	HAMAOKA-2	80.6	84.0	BWR	1977	1974.3	1974.6.14	1978.3.28	1978.5.4	1978.11.29	Chubu EPCO
	OP	HAMAOKA-3	105.6	110.0	BWR	1982	1982.11	1983.4.18	1986.11.21	1987.1.20	1987.8.28	Chubu EPCO
	OP	HAMAOKA-4	109.2	113.7	BWR	1989	1989.2	1989.10.13	1992.12.2	1993.1.27	1993.9.3	Chubu EPCO
Japan	OP	HAMAOKA-5	132.5	138.0	ABWR	1999	1999.3.19	2000.6	2004.3.23	2004.4.30	2005.1.18	Chubu EPCO
	OP	IKATA-1	53.8	56.6	PWR	1973	1973.6	1973.9	1977.1.29	1977.2.17	1977.9.30	Shikoku EPCO
	OP	IKATA-2	53.8	56.6	PWR	1977	1978.2	1978.8	1981.7.31	1981.8.19	1982.3.19	Shikoku EPCO
	OP	IKATA-3	84.6	89.0	PWR	1991	1986.11	1990.10.1	1994.2.23	1994.3.29	1994.12.15	Shikoku EPCO
	OP	KASHIWAZAKI KARIWA-1	106.7	110.0	BWR	1979	1978.12	1980.6.5	1984.12.12	1985.2.13	1985.9.18	TEPCO
	OP	KASHIWAZAKI KARIWA-2	106.7	110.0	BWR	1984	1983.10	1985.11.18	1989.11.30	1990.2.8	1990.9.28	TEPCO
	OP	KASHIWAZAKI KARIWA-3	106.7	110.0	BWR	1987	1987.7	1989.3.7	1992.10.19	1992.12.8	1993.8.11	TEPCO
	OP	KASHIWAZAKI KARIWA-4	106.7	110.0	BWR	1987	1988.2	1990.3.5	1993.11.1	1993.12.21	1994.8.11	TEPCO
	OP	KASHIWAZAKI KARIWA-5	106.7	110.0	BWR	1984	1983.10	1985.6.20	1989.7.20	1989.9.12	1990.4.10	TEPCO
	OP	KASHIWAZAKI KARIWA-6	131.5	135.6	ABWR	1991	1991.9	1992.11.3	1995.12.18	1996.1.29	1996.11.7	TEPCO
	OP	KASHIWAZAKI KARIWA-7	131.5	135.6	ABWR	1991	1992.2	1993.7.1	1996.11.1	1996.12.17	1997.7.2	TEPCO
	OP	MIHAMA-1	32.0	34.0	PWR	1967	1967.8	1967.2	1970.7.29	1970.8	1970.11.28	Kansai EPCO
	OP	MIHAMA-2	47.0	50.0	PWR	1968	1968.12	1968.5	1972.4.10	1972.4	1972.7.25	Kansai EPCO
	OP	MIHAMA-3	78.0	82.6	PWR	1972	1972.7	1972.8	1976.1.28	1976.2	1976.12.1	Kansai EPCO
	OP	OHI-1	112.0	117.5	PWR	1972	1972.10	1972.10	1977.12.2	1977.12	1979.3.27	Kansai EPCO
	OP	OHI-2	112.0	117.5	PWR	1972	1972.11	1972.12	1978.9.14	1978.10	1979.12.5	Kansai EPCO
	OP	OHI-3	112.7	118.0	PWR	1987	1987.5	1987.10	1991.5.17	1991.6	1991.12.18	Kansai EPCO
	OP	OHI-4	112.7	118.0	PWR	1987	1987.5	1988.6	1992.5.28	1992.6	1993.2.2	Kansai EPCO
	OP	ONAGAWA-1	49.8	52.4	BWR	1972	1979.12	1980.5	1983.10.18	1983.11.18	1984.6.1	Tohoku EPCO

Status : OP (in operation, or operable)

Operator	Main contractor	Architect engineer	Suppliers: Reactor system	Reactor vessel	Incore structure	Fuel fabrication	Steam raising	Turbine generator	Civil works	Capacity factor(%)	Generated electricity (MWh)	Remarks
TEPCO	GE	EBASCO	GE/GETSCO	GE/GETSCO/Toshiba (IHI)	GE/GETSCO	GE/GNF-J	GE/GETSCO	GE/GETSCO	(various)	22.7	915,283	
TEPCO	GE/Toshiba	EBASCO	GE/Toshiba	GE/GETSCO/Toshiba (IHI)	GE	GE/GNF-J・NFI	GE/Toshiba/GETSCO	GE/Toshiba/GETSCO	Kajima/Kumagai	52.3	3,589,430	
TEPCO	Toshiba	Toshiba	Toshiba	Toshiba/IHI	Toshiba	Toshiba/GNF-J・NFI	Toshiba	Toshiba	Kumagai/Kajima	77.4	5,316,057	
TEPCO	Hitachi	Hitachi	Hitachi	Hitachi/BHK	Hitachi	Hitachi/GNF-J・NFI	Hitachi	Hitachi	(various)	23.0	1,579,722	
TEPCO	Toshiba	Toshiba	Toshiba	Toshiba/IHI	Toshiba	Toshiba/GNF-J・NFI	Toshiba	Toshiba	(various)	42.5	297,779	
TEPCO	GE/Toshiba	EBASCO	GE/Toshiba	GE/GETSCO/Toshiba (IHI)	GE	GE/GNF-J	GE/Toshiba/GETSCO	GE/GETSCO	(various)	85.8	8,272,213	
TEPCO	Toshiba	Toshiba	Toshiba	Toshiba/IHI	Toshiba	Toshiba/GNF-J・NFI	Toshiba	Toshiba	(various)	61.3	5,904,683	
TEPCO	Hitachi	Hitachi	Hitachi	Hitachi/BHK	Hitachi	Hitachi/GNF-J・NFI	Hitachi	Hitachi	(various)	81.9	7,889,359	
TEPCO	Toshiba	Toshiba	Toshiba	Toshiba/IHI	Toshiba	Toshiba/GNF-J・NFI	Toshiba	Toshiba	(various)	4.1	390,470	
TEPCO	Hitachi	Hitachi	Hitachi	Hitachi/BHK	Hitachi	Hitachi/GNF-J・NFI	Hitachi	Hitachi	Shimizu/Takenaka	58.0	5,591,040	
Kyushu EPCO	MHI	MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF/NFI	MHI	MHI	(various)	71.3	3,489,990	
Kyushu EPCO	MHI	MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF/NFI	MHI	MHI	Ohbayashi/Maeda	81.2	3,976,001	
Kyushu EPCO	MHI	MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF/NFI	MHI	MHI	(various)	87.2	9,018,755	
Kyushu EPCO	MHI	MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF/NFI	MHI	MHI	(various)	86.2	8,908,163	
Chubu EPCO	Toshiba	Toshiba	Toshiba	Toshiba (IHI)	Toshiba	GNF-J	Toshiba/Hitachi	Hitachi	(various)	0.0	0	
Chubu EPCO	Toshiba/Hitachi	Toshiba/Hitachi	Toshiba	Toshiba (IHI)	Toshiba	GNF-J/NFI	Hitachi	Hitachi	(various)	0.0	0	
Chubu EPCO	Toshiba/Hitachi	Toshiba/Hitachi	Toshiba	Toshiba (IHI)	Toshiba	GNF-J/NFI	Hitachi	Hitachi	(various)	62.8	6,054,349	
Chubu EPCO	Toshiba/Hitachi	Toshiba/Hitachi	Toshiba	Toshiba (IHI)	Toshiba	GNF-J/NFI	Hitachi	Hitachi	(various)	100.4	9,996,123	
Chubu EPCO	Toshiba/Hitachi	Toshiba	Toshiba	Toshiba/IHI	Toshiba	GNF-J	Hitachi	Hitachi	(various)	101.9	11,740,500	
Shikoku EPCO	MHI	Shikoku EPCO/MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF/NFI	MHI	MHI	Taisei	90.7	4,499,379	
Shikoku EPCO	MHI	Shikoku EPCO/MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF/NFI	MHI	MHI	Taisei	67.3	3,337,447	
Shikoku EPCO	MHI	Shikoku EPCO/MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF/NFI	MHI	MHI	(various)	89.4	6,969,673	
TEPCO	Toshiba	Toshiba	Toshiba	Toshiba/IHI	Toshiba	Toshiba/GNF-J・NFI	Toshiba	Toshiba	(various)	34.2	3,294,900	
TEPCO	Toshiba	Toshiba	Toshiba	Toshiba/IHI	Toshiba	Toshiba/GNF-J・NFI	Toshiba	Toshiba	(various)	69.5	6,696,430	
TEPCO	Toshiba	Toshiba	Toshiba	Toshiba/IHI	Toshiba	Toshiba/GNF-J	Toshiba	Toshiba	(various)	65.8	6,337,660	
TEPCO	Hitachi	Hitachi	Hitachi	Hitachi/BHK	Hitachi	Hitachi/GNF-J	Hitachi	Hitachi	(various)	78.0	7,511,510	
TEPCO	Hitachi	Hitachi	Hitachi	Hitachi/BHK	Hitachi	Hitachi/GNF-J・NFI	Hitachi	Hitachi	(various)	74.4	7,168,910	
TEPCO	Toshiba/GE/Hitachi	Toshiba	Toshiba	GE/Toshiba/Hitachi	GE	GE/GNF-J	Hitachi	GE	(various)	96.7	11,490,834	
TEPCO	Hitachi/GE/Toshiba	Hitachi	Hitachi	GE/Toshiba/Hitachi	GE	GE/GNF-J	Toshiba	GE	(various)	69.5	8,259,968	
Kansai EPCO	WH/MAPI	Kansai EPCO/Gilbert	WH	ABB CE	WH	WH	WH/MHI	MHI	(various)	42.7	1,272,103	
Kansai EPCO	MAPI	Kansai EPCO/MAPI	WH	MHI	WH	WH	MHI	MHI	(various)	85.1	3,726,836	
Kansai EPCO	MSK	Kansai EPCO/MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF	MHI	MHI	Hazama/Takenaka	0	0	
Kansai EPCO	WH/MSK	Kansai EPCO/Gilbert	WH	MHI	WH	WH	MHI	MHI	Ohbayashi/Kumagai	73.5	7,561,798	
Kansai EPCO	WH/MSK	Kansai EPCO/Gilbert	WH	MHI	WH	WH	MHI	MHI	Ohbayashi/Kumagai	70.4	7,246,474	
Kansai EPCO	MHI	Kansai EPCO/MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF	MHI	MHI	(various)	78.9	8,156,929	
Kansai EPCO	MHI	Kansai EPCO/MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF	MHI	MHI	(various)	99.9	10,324,221	
Tohoku EPCO	Toshiba	Toshiba	Toshiba	IHI	Toshiba	GNF-J・NFI	Toshiba	Toshiba	(various)	43.8	2,010,024	

	Plant status	Plant name	Output (10 MWe) Net	Gross	Type of reactor	Date of order	Date of construction start	Date of concrete placing	Date of initial criticality	Date of grid connection	Date of commercial operation*	Owner
Japan	OP	ONAGAWA-2	79.6	82.5	BWR	1989	1989.8	1991.4	1994.11.2	1994.12.23	1995.7.28	Tohoku EPCO
	OP	ONAGAWA-3	79.6	82.5	BWR	1997	1996.9	1998.1	2001.4.26	2001.5.30	2002.1.30	Tohoku EPCO
	OP	TOHOKU / HIGASHI-DORI-1	105.3	110.0	BWR	1999	1998.12.24	2000.8	2005.1.24	2005.3.9	2005.12.8	Tohoku EPCO
	OP	SENDAI-1	84.6	89.0	PWR	1978	1979.1	1979.12	1983.8.25	1983.9.16	1984.7.4	Kyushu EPCO
	OP	SENDAI-2	84.6	89.0	PWR	1981	1981.5	1981.10	1985.3.18	1985.4.5	1985.11.28	Kyushu EPCO
	OP	SHIKA-1	50.5	54.0	BWR	1988	1988.12	1989.7.1	1992.11.20	1993.1.12	1993.7.30	Hokuriku EPCO
	OP	SHIMANE-1	43.9	46.0	BWR	1966	1970.2	1970.7.2	1973.6.1	1973.12.2	1974.3.29	Chugoku EPCO
	OP	SHIMANE-2	79.1	82.0	BWR	1984	1984.7	1985.2.2	1988.5.25	1988.7.11	1989.2.10	Chugoku EPCO
	OP	TAKAHAMA-1	78.0	82.6	PWR	1970	1970.4	1970.4	1974.3.14	1974.3	1974.11.14	Kansai EPCO
	OP	TAKAHAMA-2	78.0	82.6	PWR	1970	1971.2	1971.3	1974.12.20	1975.1	1975.11.14	Kansai EPCO
	OP	TAKAHAMA-3	83.0	87.0	PWR	1981	1980.11	1980.12	1984.4.17	1984.5	1985.1.17	Kansai EPCO
	OP	TAKAHAMA-4	83.0	87.0	PWR	1981	1980.11	1981.3	1984.10.11	1984.11	1985.6.5	Kansai EPCO
	OP	TOKAI-2	105.6	110.0	BWR	1971	1973.6	1973.10	1978.1.18	1978.3.13	1978.11.28	JAPC
	OP	TOMARI-1	55.0	57.9	PWR	1984	1984.8	1985.4.18	1988.11.16	1988.12.6	1989.6.22	Hokkaido EPCO
	OP	TOMARI-2	55.0	57.9	PWR	1984	1984.8	1985.6.13	1990.7.25	1990.8.27	1991.4.12	Hokkaido EPCO
	OP	TSURUGA-1	34.1	35.7	BWR	1965	1966.4	1966.11	1969.10.3	1969.11.16	1970.3.14	JAPC
	OP	TSURUGA-2	111.5	116.0	PWR	1982	1982.4	1982.11	1986.5.28	1986.6.19	1987.2.17	JAPC
	UC	MONJU	-	28.0	FBR	1984	1985.10	1986.5	1994.4.5	1995.8.29	-	JAEA
	UC	SHIKA-2	130.4	135.8	ABWR	1999	1999.8.27	2001.8.20	2005.5.26	2005.7.4	2006.3.15	Hokuriku EPCO
	UC	TOMARI-3	86.6	91.2	PWR	2003	2003.11	2004.11	-	-	2009.12	Hokkaido EPCO
	UC	SHIMANE-3	-	137.3	ABWR	-	2005.12	-	-	-	2011.12	Chugoku EPCO
	PL	KAMINOSEKI-1	-	137.3	ABWR	-	FY 2009	-	-	-	FY 2014	Chugoku EPCO
	PL	KAMINOSEKI-2	-	137.3	ABWR	-	FY 2012	-	-	-	FY 2017	Chugoku EPCO
	PL	OHMA	-	138.3	ABWR	-	2006.8	-	-	-	2012.3	EPDC
	PL	TSURUGA-3	-	153.8	APWR	-	2007.5	-	-	-	2014.3	JAPC
	PL	TSURUGA-4	-	153.8	APWR	-	2007.5	-	-	-	2015.3	JAPC
	PL	FUKUSHIMA I-7	-	138.0	ABWR	-	2008.4	-	-	-	2012.10	TEPCO
	PL	FUKUSHIMA I-8	-	138.0	ABWR	-	2008.4	-	-	-	2013.10	TEPCO
	PL	TOKYO / HIGASHI-DORI-1	-	138.5	ABWR	-	FY 2008	-	-	-	FY 2014	TEPCO
	PL	TOKYO / HIGASHI-DORI-2	-	138.5	ABWR	-	In/after FY 2010	-	-	-	In/after FY 2016	TEPCO
	CD	FUGEN	-	16.5	ATR	1967	1970.12	1972.5	1978.3.20	1978.7.29	1979.3.20	JAEA
	CD	TOKAI-1	15.9	16.6	GCR	1959	1960.1	1961.3	1965.5.4	1965.11.10	1966.7.25	JAPC
	CD	JPDR-II	1.2	1.2	BWR	-	1960.12	-	1963.8.22	1963.10.26	-	JAEA

Status : OP (in operation, or operable), UC (under construction), PL (planned), CD (closed down)

* Japanese fiscal year (FY) : from April to March

Operator	Main contractor	Architect engineer	Suppliers: Reactor system	Reactor vessel	Incore structure	Fuel fabrication	Steam raising	Turbine generator	Civil works	Capacity factor(%)	Generated electricity (MWh)	Remarks
Tohoku EPCO	Toshiba	Toshiba	Toshiba	IHI	Toshiba	Toshiba/GNF-J	Toshiba	Toshiba	(various)	27.1	1,958,721	
Tohoku EPCO	Toshiba/Hitachi	Toshiba	Toshiba	IHI	Toshiba	Toshiba/GNF-J	Hitachi	Hitachi	(various)	63.0	4,555,463	
Tohoku EPCO	Toshiba	Toshiba	Toshiba	IHI	Toshiba	GNF-J	Toshiba	Toshiba	(various)	100.0	633,596	
Kyushu EPCO	MHI	MHI	MHI	MHI	MHI	MNF/NFI	MHI	MHI	(various)	95.5	7,444,934	
Kyushu EPCO	MHI	MHI	MHI	MHI	MHI	MNF/NFI	MHI	MHI	(various)	90.1	7,024,345	
Hokuriku EPCO	Hitachi	Hitachi	Hitachi	Hitachi/BHK	Hitachi	GNF - J / NFI	Hitachi	Hitachi	(various)	95.1	4,498,485	
Chugoku EPCO	Hitachi	Hitachi	Hitachi	Hitachi/BHK	Hitachi	GNF - J / NFI	Hitachi	Hitachi	(various)	61.9	2,494,046	
Chugoku EPCO	Hitachi	Hitachi	Hitachi	BHK	Hitachi	GNF-J	Hitachi	Hitachi	(various)	85.6	6,148,078	
Kansai EPCO	WH/MSK	Kansai EPCO/Gilbert	WH/MHI	MHI	WH/MHI	MNF	MHI	MHI	(various)	90.6	6,558,426	
Kansai EPCO	MSK	Kansai EPCO/MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF	MHI	MHI	(various)	91.0	6,581,005	
Kansai EPCO	MSK	Kansai EPCO/MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF	MHI	MHI	(various)	78.0	5,944,967	
Kansai EPCO	MSK	Kansai EPCO/MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF	MHI	MHI	(various)	90.1	6,866,886	
JAPC	GE/Hitachi/Shimizu	EBASCO	GE	GE	GE	GE/NFI	GE	GE	Shimizu/Kajima	56.6	5,452,824	
Hokkaido EPCO	MHI	MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF	MHI	MHI	(various)	100.3	5,085,602	
Hokkaido EPCO	MAPI	MAPI	MHI	MHI	MHI	MNF/NFI	MHI	MHI	(various)	88.4	4,482,520	
JAPC	GE	EBASCO	GE	B&W/Hitachi	GE/Hitachi	GE/NFI	GE	GE/Toshiba	Takenaka/Kumagai	85.4	2,669,488	
JAPC	MHI	-	MHI	MHI	MHI	MNF/NFI	MHI	MHI	(various)	79.2	8,046,519	
JAEA	Toshiba/Hitachi/Fuji/MHI	FBEC	Toshiba/Hitachi/Fuji/MHI	MHI	MHI/Toshiba/Hitachi	JAEA	Toshiba/Hitachi	Toshiba	(various)			
Hokuriku EPCO	Hitachi	Hitachi	Hitachi	Hitachi	Hitachi	GNF-J	Hitachi	Hitachi	(various)			C-99.6%
Hokkaido EPCO	MHI	MHI	MHI	MHI	MHI	-	MHI	MHI	(various)			C-49.2%
Chugoku EPCO	-	-	-	-	-	-	-	-	-			C-7.8%
Chugoku EPCO	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
Chugoku EPCO	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
EPDC	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
JAPC	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
JAPC	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
TEPCO	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
TEPCO	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
TEPCO	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
TEPCO	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
JNC	(various)	JNC	Hitachi	Hitachi	Hitachi	NFI/JNC	Toshiba	Toshiba	(various)			CD 2003.3.29
JAPC	GEC/SC	GEC	GEC	Fuji	Fuji	BNFL	KHI	GEC	Shimizu/Kajima			CD 1998.3.31
JAERI	GE	EBASCO	GE	GE/Hitachi	GE	GE	GE	GE/Toshiba	GE/EBASCO			CD 1982.12.9

国・地域	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output (10 MWe)	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
アルゼンチン Argentina	OP	ATUCHA-1	33.5	35.7	PHWR	1968	1968.6	1974.1.13	1974.6.24	NASA	NASA
	OP	EMBALSE	60.0	64.8	CANDU	1973	1974.4	1983.3.13	1984.1.20	NASA	NASA
	UC	ATUCHA-2	69.2	74.5	PHWR	1980.5	1981.6	–	–	NASA	NASA
アルメニア Armenia	OP	ARMENIA-2	37.5	40.8	PWR	1970	1970	1980.1.5	1980.5.3	'MOE	ANPP
	CD	ARMENIA-1	37.5	40.8	PWR	1968	1969	1976.12.22	1977.10.6	'MOE	ANPP
ベルギー/Belgium	OP	DOEL-1	39.2	41.2	PWR	1968	1969.7	1974.7.18	1975.2.15	ELECTRABEL	ELECTRABEL
	OP	DOEL-2	39.2	41.2	PWR	1968	1971.9	1975.8.4	1975.12.1	ELECTRABEL	ELECTRABEL
	OP	DOEL-3	100.6	105.6	PWR	1974	1975.1	1982.6.14	1982.10.1	ELECT-SPE	ELECTRABEL
	OP	DOEL-4	98.5	104.1	PWR	1975	1978.12	1985.3.31	1985.7.1	ELECT-SPE	ELECTRABEL
	OP	TIHANGE-1	96.2	100.9	PWR	1968	1970.6	1975.2.21	1975.9	ELECT-EDF	ELECTRABEL
	OP	TIHANGE-2	100.8	105.5	PWR	1974	1976.4	1982.10.5	1983.6.6	ELECTRABEL-SPE	ELECTRABEL
	OP	TIHANGE-3	101.5	106.5	PWR	1975	1978.11	1985.6.5	1985.9.1	ELECTRABEL-SPE	ELECTRABEL
	CD	BR 3	1.0	1.1	PWR	1955	1957	1962.8.29	1962.10.10	CEN	CEN
ブラジル Brazil	OP	ANGRA-1	62.6	65.7	PWR	1969	1971.5	1982.3.13	1985.1.1	ETN	ETN
	OP	ANGRA-2	127.5	135.0	PWR	1975	1976.5	2000.7.14	2001.2.1	ETN	ETN
	PL	ANGRA-3	122.9	130.9	PWR	1975	–	–	Mid of	ETN	ETN
ブルガリア/Bulgaria	OP	KOZLODUY-3	40.8	44.0	PWR	1972	1973.10	1980.12.4	1981.1.20	Ministry of Energy	Kozloduy NPP plc
	OP	KOZLODUY-4	40.8	44.0	PWR	1972	1973.10	1982.4.25	1982.6.20	Ministry of Energy	Kozloduy NPP plc
	OP	KOZLODUY-5	95.3	100.0	PWR	1979	1980.7.9	1987.11.5	1988.12.23	Ministry of Energy	Kozloduy NPP plc
	OP	KOZLODUY-6	95.3	100.0	PWR	1979	1982.4.1	1991.5.29	1993.12.30	Ministry of Energy	Kozloduy NPP plc
	PL	BELENE-1	–	100.0*3	PWR	–	–	–	2011	'NEK	–
	PL	BELENE-2	–	100.0*3	PWR	–	–	–	2013	'NEK	–
	CD	KOZLODUY-1	40.8	44.0	PWR	1968	1970.4	1974.6.30	1974.10.28	Ministry of Energy	Kozloduy NPP plc
	CD	KOZLODUY-2	40.8	44.0	PWR	1968	1970.4	1975.8.22	1975.11.10	Ministry of Energy	Kozloduy NPP plc
カナダ/Canada	★SD	BRUCE-1（A）	76.9	80.5	CANDU	1969.5	1971.6	1976.12.17	1977.9.1	OPG	BP
	★SD	BRUCE-2（A）	76.9	80.5	CANDU	1969.5	1970.12	1976.7.27	1977.9.1	OPG	BP
	OP	BRUCE-3（A）	76.9	80.5	CANDU	1969.5	1972.7	1977.11.28	1978.2.1	OPG	BP
	OP	BRUCE-4（A）	76.9	80.5	CANDU	1969.5	1972.9	1978.12.10	1979.1.18	OPG	BP
	OP	BRUCE-5（B）	79.0	84.0	CANDU	1975.9	1978.6	1984.11.15	1985.3.1	OPG	BP
	OP	BRUCE-6（B）	79.0	84.0	CANDU	1975.9	1978.1	1984.5.29	1984.9.14	OPG	BP
	OP	BRUCE-7（B）	79.0	84.0	CANDU	1975.9	1979.5	1986.1.7	1986.4.10	OPG	BP
	OP	BRUCE-8（B）	79.0	84.0	CANDU	1975.9	1979.8	1987.2.15	1987.5.22	OPG	BP
	OP	DARLINGTON-1	87.8	93.4	CANDU	1978.6	1982.4	1990.10.29	1992.11.14	OPG	OPG
	OP	DARLINGTON-2	87.8	93.4	CANDU	1978.6	1981.9	1989.11.5	1990.10.9	OPG	OPG
	OP	DARLINGTON-3	87.8	93.4	CANDU	1978.6	1984.9	1992.11.9	1993.2.14	OPG	OPG
	OP	DARLINGTON-4	87.8	93.4	CANDU	1978.6	1985.7	1993.3.13	1993.6.14	OPG	OPG

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖），★集計外

発電所 Plant name	主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers: 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
ATUCHA-1	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	RUHRSTAHL	SIEMENS (KWU)	CONUAR	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	IMPRESIT	68.19		
EMBALSE	AECL/ ITAL	AECL/ ITAL	AECL	C.VICKERS	AECL	CONUAR	B&W	ANSALDO	IMP/ SIDECO	83.23		Co-60 生産（Co-60 production）
ATUCHA-2	SIEMENS (KWU)	ENACE	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)/GHH	SIEMENS (KWU)	CONUAR	SIEMENS (KWU)/GHH	SIEMENS (KWU)	CNEA/ SIEMENS(KWU)			
ARMENIA-2	OKB Gidropress	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTZ	ARM	76.2	12	SD 1989.3.18 RE 1995.11.5 VVER-440（V-270）*1
ARMENIA-1	OKB Gidropress	ATEP	MTM	MTM	MTM		MTM	KHTZ	ARM			CD 1989.2.25 VVER-440（V-270）*1
DOEL-1	ACECOWEN	TRACTEBEL	ACECOWEN	ACECOWEN	ACECOWEN	FANP	CMI/MC	TOSI/COP/ACEC	EF			
DOEL-2	ACECOWEN	TRACTEBEL	ACECOWEN	ACECOWEN	ACECOWEN	FANP	CMI/MC	TOSI/COP/ACEC	EF			
DOEL-3	FRAMACECO	TRACTEBEL	FRAMACECO	CMI/FRAM	WH/FRAM/ ACEC	FANP	SIEMENS (KWU)	AA/ BELFORT	AMGC			
DOEL-4	ACECOWEN	TRACTEBEL	ACECOWEN	ACECOWEN	ACECOWEN	ENUSA	CMI	BBC/CEM	TVBB			
TIHANGE-1	ACLF	EDF/ TRACT.	ACLF	CL	CL/FRAM	FANP	MHI	ALSTOM/ JS	Astrobel-Batiments etc.	80.82	20.5	
TIHANGE-2	FRAMACECO	TRACTEBEL	FRAMACECO	COP/ FRAM	FRAMATOME	ABB/ FANP	CMI	ALSTOM/ ACEC	Astrobel-Batiments etc.	89.35	16.5	
TIHANGE-3	ACECOWEN	TRACTEBEL	ACECOWEN	ACECOWEN	ACECOWEN	FANP	CMI	ALSTOM/ ACEC	Astrobel-Batiments etc.	97.93		
BR 3	G&H	BEN	COP/WH	B&W	WH/COP	BN/FBFC	FABRICOM	WH/ACEC	AUXELTRA			CD 1987.6.30
ANGRA-1	WH	G&H	WH	B&W	WH	WH	WH	WH	CNO	64.8	12	
ANGRA-2	SIEMENS (KWU)	NUCLEN	SIEMENS (KWU)	GHH	VOEST	INB	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	CONSAG	51.8	12	
ANGRA-3	SIEMENS (KWU)	ETN	SIEMENS (KWU)	GHH	VOEST	INB	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	CONSAG			建設中断*2
KOZLODUY-3	AEE	ATEP	OKB Gidropress	IZORSK	Kurchatov Institute	TVEL-NZHK	OKB Gidropress	Kharkov/ Electrosila	Ministry of Energy	84.04	11	VVER-440（V-230）
KOZLODUY-4	AEE	ATEP	OKB Gidropress	IZORSK	Kurchatov Institute	TVEL-NZHK	OKB Gidropress	Kharkov/ Electrosila	Ministry of Energy	77.54	13	VVER-440（V-230）
KOZLODUY-5	AEE	ATEP	OKB Gidropress	IZORSK	Kurchatov Institute	TVEL-NZHK	OKB Gidropress	Kharkov/ Electrosila	Ministry of Energy	67,22	13	VVER-1000（V-320）
KOZLODUY-6	AEE	ATEP	OKB Gidropress	IZORSK	Kurchatov Institute	TVEL-NZHK	OKB Gidropress	Kharkov/ Electrosila	Ministry of Energy	74.62	12	VVER-1000（V-320）
BELENE-1	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
BELENE-2	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
KOZLODUY-1	AEE	ATEP	OKB Gidropress	IZORSK	Kurchatov Institute	TVEL-NZHK	OKB Gidropress	Kharkov/ Electrosila	Ministry of Energy			VVER-440（V-230） CD 2002.12.31
KOZLODUY-2	AEE	ATEP	OKB Gidropress	IZORSK	Kurchatov Institute	TVEL-NZHK	OKB Gidropress	Kharkov/ Electrosila	Ministry of Energy			VVER-440（V-230） CD 2002.12.31
BRUCE-1（A）	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD			SD 1996.10.17
BRUCE-2（A）	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD			SD 1995.10.8
BRUCE-3（A）	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD			2004.1.8 営業運転再開*4
BRUCE-4（A）	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD			2003.11.28 営業運転再開*4
BRUCE-5（B）	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	GE CAN	ONT HYD			
BRUCE-6（B）	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	GE CAN	ONT HYD			
BRUCE-7（B）	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	GE CAN	ONT HYD			
BRUCE-8（B）	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	GE CAN	ONT HYD			
DARLINGTON-1	ONT HYD	OH/AECL	AECL	DB-S	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	ABB	ONT HYD	96.06		
DARLINGTON-2	ONT HYD	OH/AECL	AECL	DB-S	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	ABB	ONT HYD	79.05		
DARLINGTON-3	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	ABB	ONT HYD	98.70		
DARLINGTON-4	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ ZPI	B&W	ABB	ONT HYD	85.61		

*1 耐震性を考慮した V-230 の改良型，Advanced V-230 incorporated aseismic design
*2 Construction suspended
*3 100 万 kW 級と仮定，Accounted as 1,000 MWe class
*4 Date of return of commercial operation

国・地域	状況	発電所	電気出力(万kW) ネット	グロス	炉型	発注	着工	臨界	営業運転	所有者	運転者	主契約者	アーキテクトエンジニア	供給者 原子炉系統	圧力容器	炉心	燃料	蒸気系統	タービン	土建工事	設備利用率(%)	運転サイクル期間（月）	備考
カナダ/Canada	OP	GENTILLY-2	74.1	79.3	CANDU	1973	1974.4	1982.9.11	1983.9.30	HYD QUEBEC	HYD QUEBEC	HYD QUEBEC	HYD QUEBEC	AECL	DOMINION	CB&C	GE CAN/ZPI	B&W	GE	HYD QUEBEC	81.1		
	OP	PICKERING-1（A）	51.5	54.2	CANDU	1965.5	1966.6	1971.2.25	1971.7.29	OPG	OPG	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD	92.69		2005.11.3 営業運転再開*1
	★SD	PICKERING-2（A）	51.5	54.2	CANDU	1965.5	1966.9	1971.9.15	1971.12.30	OPG	OPG	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD			SD 1997.12.29
	★SD	PICKERING-3（A）	51.5	54.2	CANDU	1967.6	1967.12	1972.4.24	1972.6.1	OPG	OPG	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD			SD 1997.12.27
	OP	PICKERING-4（A）	51.5	54.2	CANDU	1967.6	1968.5	1973.5.16	1973.6.17	OPG	OPG	ONT HYD	OH/AECL	AECL	MVICKERS	(VARIOUS)	GE CAN/ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD	66.45		2005 運転認可延長承認*2
	OP	PICKERING-5（B）	51.6	54.0	CANDU	1974.6	1974.11	1982.10.23	1983.5.10	OPG	OPG	ONT HYD	OH/AECL	AECL	DB-S	(VARIOUS)	GE CAN/ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD	52.63		
	OP	PICKERING-6（B）	51.6	54.0	CANDU	1974.6	1975.10	1983.10.15	1984.2.1	OPG	OPG	ONT HYD	OH/AECL	AECL	DB-S	(VARIOUS)	GE CAN/ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD	63.34		
	OP	PICKERING-7（B）	51.6	54.0	CANDU	1974.6	1976.3	1984.10.22	1985.1.1	OPG	OPG	ONT HYD	OH/AECL	AECL	DB-S	(VARIOUS)	GE CAN/ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD	97.83		
	OP	PICKERING-8（B）	51.6	54.0	CANDU	1974.6	1976.9	1985.12.17	1986.2.28	OPG	OPG	ONT HYD	OH/AECL	AECL	DB-S	(VARIOUS)	GE CAN/ZPI	B&W	PARS TG	ONT HYD	93.60		
	OP	POINT LEPREAU-1	63.5	68.0	CANDU	1974	1975.3	1982.7.25	1983.2.1	NBPC	NBPC	NBPC	NBPC/AECL	AECL	MVICKERS	CB&C	GE CAN/ZPI	B&W	PARSONS	NBPC			
	CD	DOUGLAS POINT	20.6	21.8	CANDU	1960	1961	1966.11.15	1968.9.26	AECL	ONT HYD	ONT HYD	OH/AECL	AECL	VV	DB	B&W	ML	AEI	ONT HYD			CD 1984.5.4
	CD	GENTILLY-1	25.0	26.0	CANDU-B	1965	1966.9	1970.11.12	1972.1	AECL	HYD QUEBEC	HYD QUEBEC	HQ/AECL	AECL	VV	–	WECAN	B&W	BBC	HYD Q/SNC			CD 1978.5.
	CD	ROLPHTON NPD-2	2.1	2.5	CANDU	1957	1958	1962.4.11	1962.10.1	AECL/OH	ONT HYD	GE CAN	GE CAN/OH	GE CAN	AECL	GE CAN/WH	GE CAN	B&W	AEI	ONT HYD			CD 1987.8.1
中国/China	OP	GUANGDONG DAYA BAY-1（広東 大亜湾）	94.4	98.4	PWR	1986.4	1987.8.7	1993.7.28	1994.2.1	GNIC/HKNIC	GNPJVC	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	FANP/CNNC	FRAMATOME	ALSTOM	HCCM			
	OP	GUANGDONG DAYA BAY-2（広東 大亜湾）	94.4	98.4	PWR	1986.4	1988.4.7	1994.1.21	1994.5.7	GNIC/HKNIC	GNPJVC	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	FANP/CNNC	FRAMATOME	ALSTOM	HCCM			
	OP	LINGAO-1（嶺澳）	95.0	99.0	PWR	1995.10	1997.5.15	2002.2.4	2002.5.28	CGNPC/GNIC	LANPC	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	CNNC	FRAMATOME	ALSTOM	HX-CBS			
	OP	LINGAO-2（嶺澳）	95.0	99.0	PWR	1995.10	1997.11.28	2002.8.27	2003.1.8	CGNPC/GNIC	LANPC	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	CNNC	FRAMATOME	ALSTOM	HX-CBS			
	OP	QINSHAN-Ⅰ-1（秦山）	27.9	31.0	PWR	1981.11.14	1985.3.21	1991.10.31	1994.4.1	CNNC	QNPC	–	CNNC	CNNC	MHI	Shanghai No.1 MachineToolworks	YFP	SHBW	Shanghai Turbine Company	CNI 22			
	OP	QINSHAN-Ⅱ-1（秦山）	61.0	65.0	PWR	1993	1996.6.2	2001.12.28	2002.4.18	CNNC	NPQJVC	CNNC	CNNC	–	MHI	–	–	–	–	–			
	OP	QINSHAN-Ⅱ-2（秦山）	61.0	65.0	PWR	1994	1997.4.1	2004.2.25	2004.5.3	CNNC	NPQJVC	CNNC	CNNC	–	SHBW	–	–	–	–	–			
	OP	QINSHAN-Ⅲ-1（秦山）	64.9	72.0	CANDU	1997.2.12	1998.6.8	2002.9.21	2002.12.31	CNNC	TQNPC	AECL	BECHTEL	AECL	ALSTOM Canada	ALSTOM	AECL/CHINA	AECL/DOOSAN	HITACHI	HXCC/CNI 22			
	OP	QINSHAN-Ⅲ-2（秦山）	64.9	72.0	CANDU	1997.2.12	1998.9.25	2003.4.29	2003.7.24	CNNC	TQNPC	AECL	BECHTEL	AECL	ALSTOM Canada	ALSTOM	AECL/CHINA	AECL/DOOSAN	HITACHI	HXCC/CNI 22			VVER-1000（type-91）
	UC	LINGAO-Ⅱ-1（嶺澳）	–	100.0	PWR	–	2005.12.15	–	2010.12	CGNPC	CGNPC	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	UC	TIANWAN-1（田湾）	98.9	100.0	PWR	1997.12.20	1999.10.20	2005.12.20	2006.10	CNNC	JNPC	ASE	–	–	–	–	–	–	–	–			VVER-1000（type-91） 2005.10.23 送電開始*3
	UC	TIANWAN-2（田湾）	98.9	100.0	PWR	1997.12.20	2000.9.20	2006	2007	CNNC	JNPC	ASE	–	–	–	–	–	–	–	–			
	★UC	China Experimental Fast Reactor (CEFR, 中国高速実験炉)	2.0	2.5	FBR	1987	2000.5	2009	–	CNNC	CIAE	–	–	–	–	–	–	–	–	–			CEFR：China Experimental Fast Reactor
	PL	LINGAO-Ⅱ-2（嶺澳）	–	100.0	PWR	–	–	–	2011.8	CGNPC	CGNPC	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	PL	QINSHAN-Ⅱ-3（秦山）	–	65.0	PWR	–	2006.3.28	2010.11	2011.3	CNNC	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	PL	QINSHAN-Ⅱ-4（秦山）	–	65.0	PWR	–	2007.1	2011.9	2012.1	CNNC	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	PL	SANMEN-1（三門）	–	100.0*3	PWR	–	2007	–	2011	CNNC	SNPC	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	PL	SANMEN-2（三門）	–	100.0*3	PWR	–	2007	–	–	CNNC	SNPC	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	PL	YANGJIANG-1（陽江）	–	100.0*3	PWR	–	–	–	–	CGNPC	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	PL	YANGJIANG-2（陽江）	–	100.0*3	PWR	–	–	–	–	CGNPC	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
チェコ Czech Republic	OP	DUKOVANY-1	42.0	44.0	PWR	1977.6	1978.7	1985.2.12	1985.5.3	CEZ	CEZ	SKODA	ESL	SKODA	SKODA	SKODA	AEE	SKODA	SKODA	PRUMYSLOVE	93.3	12	VVER-440（V-213）
	OP	DUKOVANY-2	42.0	44.0	PWR	1977.6	1978.7	1986.1.23	1986.3	CEZ	CEZ	SKODA	ESL	SKODA	SKODA	SKODA	AEE	SKODA	SKODA	PRUMYSLOVE	93	12	VVER-440（V-213）
	OP	DUKOVANY-3	42.0	44.0	PWR	1977.11	1978.9	1986.11.10	1986.12	CEZ	CEZ	SKODA	ESL	SKODA	SKODA	SKODA	AEE	SKODA	SKODA	PRUMYSLOVE	90	12	VVER-440（V-213）
	Plant status	Plant name	Net Output (10 MWe)	Gross	Type of reactor	Date of order	Date of construction start	Date of initial criticality	Date of commercial operation	Owner	Operator	Main contractor	Architect engineer	Suppliers: Reactor system	Reactor vessel	Incore structure	Fuel fabrication	Steam raising	Turbine generator	Civil works	Capacity factor(%)	Operating cycle lengths (months)	Remarks

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖），★集計外

＊1 Date of return of commercial operation
＊2 Approved license renewal
＊3 Date of grid connection

国・地域	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output(10 MWe)	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator	主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 原子炉系統 Suppliers Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
チェコ Czech Republic	OP	DUKOVANY-4	42.0	44.0	PWR	1977.11	1979.6	1987.4	1987.10	CEZ	CEZ	SKODA	ESL	SKODA	SKODA	SKODA	AEE	SKODA	SKODA	PRUMYSLOVE	93	12	VVER-440（V-213）
	OP	TEMELIN-1	91.2	98.1	PWR	1982.10	1983.7	2000.10.11	2004.10.11	CEZ	CEZ	SKODA	ESL	SKODA	SKODA	SKODA	WH	SKODA	SKODA	VODNI S.	66.8	12	VVER-1000（V-320）
	OP	TEMELIN-2	91.2	98.1	PWR	1982.10	1983.7	2002.5.31	2004.10.11	CEZ	CEZ	SKODA	ESL	SKODA	SKODA	SKODA	WH	SKODA	SKODA	VODNI S.	61	12	VVER-1000（V-320）
北朝鮮 Democratic People's Republic of Korea	★UC	KEDO－1	–	100.0	PWR	1999.12.15	2002.8	–	–	KEDO*	(DPRK)	KEPCO	KOPEC	DOOSAN/WH/MHI	DOOSAN/WH/MHI	DOOSAN	KNFC	DOOSAN	HITACHI/TOSHIBA/DOOSAN	ICG			建設中断*1
	★UC	KEDO－2	–	100.0	PWR	1999.12.15	2002.8	–	–	KEDO*	(DPRK)	KEPCO	KOPEC	DOOSAN/WH/MHI	DOOSAN/WH/MHI	DOOSAN	KNFC	DOOSAN	HITACHI/TOSHIBA/DOOSAN	ICG			建設中断*1
エジプト Egypt	PL	EL-DABAA-1	90.0	93.6	PWR	–	–	–	–	NPPA	NPPA	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
	PL	EL-DABAA-2	90.0	93.6	PWR	–	–	–	–	NPPA	NPPA	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
フィンランド/Finland	OP	LOVIISA-1	48.8	51.0	PWR	1970	1971.5	1977.1.21	1977.5.9	FORTUM	FORTUM	AEE	IVO	AEE	AEE	AEE	AEE	AEE	AEE	IVO			VVER-440（V-213）*2
	OP	LOVIISA-2	48.8	51.0	PWR	1971.6	1972.8	1980.10.17	1981.1.5	FORTUM	FORTUM	AEE	IVO	AEE	AEE	AEE	AEE	AEE	AEE	IVO			VVER-440（V-213）*2
	OP	OLKILUOTO-1	84.0	87.0	BWR	1972.10	1974.2	1978.7.21	1979.10.10	TVO	TVO	AA	AA	AA	UDDCOMB	AA	FANP	ASL	ASL	ATOMIRAKEN	98.3	12	
	OP	OLKILUOTO-2	86.0	89.0	BWR	1974.9	1975.8	1979.10.13	1982.7.1	TVO	TVO	AA	AA	AA	UDDCOMB	AA	AA	ASL	ASL	JUKOLA	94.0	12	
	UC	OLKILUOTO-3	160.0	170.0	PWR	2003.12.18	2005.8.12		2009	TVO	TVO	FRAMATOME ANP-SIEMENS	FRAMATOME ANP	FRAMATOME ANP	FRAMATOME ANP	FRAMATOME ANP	FRAMATOME ANP	FRAMATOME ANP	SIEMENS				EPR*3
フランス/France	OP	BELLEVILLE-1	131.0	136.3	PWR	1981.2	1981	1987.9.9	1988.6.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	GTM	98.77	18	(注) フランスでは，多数の発電所で負荷追従運転を実施。In France, many units perform load following mode.
	OP	BELLEVILLE-2	131.0	136.3	PWR	1981.12	1981	1988.5.25	1989.1.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	GTM	86.90	18	
	OP	BUGEY-2	91.0	94.5	PWR	1971.12	1971	1978.4.20	1979.3.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	CL	CL	FANP	CL	ALSTOM	BOUYGUES	86.74	18	
	OP	BUGEY-3	91.0	94.5	PWR	1972.12	1973	1978.8.31	1979.3.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	CL	CL	FANP	CL	ALSTOM	BOUYGUES	82.31	18	
	OP	BUGEY-4	88.0	91.7	PWR	1973.9	1974	1979.2.17	1979.7.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	BOUYGUES	83.97	18	
	OP	BUGEY-5	88.0	91.7	PWR	1974.5	1975	1979.7.15	1980.1.3	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	BOUYGUES	98.85	18	
	OP	CATTENOM-1	130.0	136.2	PWR	1979.12	1979	1986.10.24	1987.4.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	CEM	SB/DUMEZ	89.12	18	
	OP	CATTENOM-2	130.0	136.2	PWR	1980.9	1980	1987.8.7	1988.2.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SB/DUMEZ	87.87	18	
	OP	CATTENOM-3	130.0	136.2	PWR	1982.11	1982	1990.2.16	1991.2.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SB/DUMEZ	89.23	18	
	OP	CATTENOM-4	130.0	136.2	PWR	1984.5	1984	1991.5.12	1992.1.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SB/DUMEZ	98.32	18	
	OP	CHINON-B 1	90.5	95.4	PWR	1977.4	1977	1982.10.28	1984.2.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	SIEMENS (KWU)	ALSTOM	GTM	84.49	12	
	OP	CHINON-B 2	90.5	95.4	PWR	1977.7	1977	1983.9.23	1984.8.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	SIEMENS (KWU)	ALSTOM	GTM	88.00	12	
	OP	CHINON-B 3	90.5	95.4	PWR	1981.6	1981	1986.9.18	1987.3.4	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	GTM	79.10	12	
	OP	CHINON-B 4	90.5	95.4	PWR	1982.2	1982.2	1987.10.13	1988.4.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	GTM	71.15	12	
	OP	CHOOZ-B 1	150.0	156.0	PWR	1984.7	1984	1996.7.25	2000.5.15	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	BOUYGUES	70.47	12	
	OP	CHOOZ-B 2	150.0	156.0	PWR	1987.1	1985	1997.3.10	2000.9.29	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	BOUYGUES	84.06	12	
	OP	CIVAUX-1	149.5	156.1	PWR	1991	1988	1997.11.21	2002.1.29	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	FOUGEROLLE	76.26	12	
	OP	CIVAUX-2	149.5	156.1	PWR	1993.1	1991	1999.11.27	2002.4.23	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	FOUGEROLLE	75.92	12	
	OP	CRUAS-1	91.5	95.6	PWR	1978.7	1978.7	1983.4.2	1984.4.2	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CB	71.08	12	
	OP	CRUAS-2	91.5	95.6	PWR	1978.12	1978	1984.8.1	1985.4.1	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CB	85.81	12	
	OP	CRUAS-3	91.5	95.6	PWR	1979.6	1979	1984.4.9	1984.9.10	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CB	88.28	12	
	OP	CRUAS-4	91.5	95.6	PWR	1979.12	1979	1984.10.1	1985.2.11	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CB	81.64	12	
	OP	DAMPIERRE-1	89.0	93.7	PWR	1974.9	1975	1980.3.15	1980.9.10	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CM/BC	85.19	12	
	OP	DAMPIERRE-2	89.0	93.7	PWR	1975.5	1975	1980.12.5	1981.2.16	EDF	EDF	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CM/BC	76.34	12	

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖），★集計外
＊ KEDO が暫定的に所有。完成後北朝鮮に引き渡し
Temporary owner, to be turned over to DPRK on completion

＊1 Construction suspended
＊2 計装制御システムは西側製，I&C system was supplied by western company.
＊3 欧州加圧水型炉　European Pressurized Water Reactor

国・地域 Country	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output (10 MWe)	電気出力(万kW) グロス Gross Output (10 MWe)	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
フランス/France	OP	DAMPIERRE-3	89.0	93.7	PWR	1975.11	1976.11	1981.1.25	1981.5.27	EDF	EDF
	OP	DAMPIERRE-4	89.0	93.7	PWR	1976.10	1976	1981.8.5	1981.11.20	EDF	EDF
	OP	FESSENHEIM-1	88.0	92.0	PWR	1970.11	1971.7	1977.3.7	1977.12.30	EDF	EDF
	OP	FESSENHEIM-2	88.0	92.0	PWR	1971.11	1972	1977.6.27	1978.4.1	EDF	EDF
	OP	FLAMANVILLE-1	133.0	138.2	PWR	1979.7	1979	1985.9.29	1986.12.1	EDF	EDF
	OP	FLAMANVILLE-2	133.0	138.2	PWR	1980.6	1980	1986.6.12	1987.3.9	EDF	EDF
	OP	GOLFECH-1	131.0	136.3	PWR	1983.11	1983	1990.4.24	1991.2.1	EDF	EDF
	OP	GOLFECH-2	131.0	136.3	PWR	1986.3	1986	1993.5.21	1994.3.4	EDF	EDF
	OP	GRAVELINES-1	91.0	95.1	PWR	1974.6	1974	1980.2.21	1980.11.25	EDF	EDF
	OP	GRAVELINES-2	91.0	95.1	PWR	1975.2	1974	1980.8.2	1980.12.1	EDF	EDF
	OP	GRAVELINES-3	91.0	95.1	PWR	1975.9	1975	1980.11.30	1981.6.1	EDF	EDF
	OP	GRAVELINES-4	91.0	95.1	PWR	1976.6	1976	1981.5.31	1981.10.1	EDF	EDF
	OP	GRAVELINES-5	91.0	95.1	PWR	1979.12	1979.12	1984.8.5	1985.1.15	EDF	EDF
	OP	GRAVELINES-6	91.0	95.1	PWR	1980.9	1980	1985.7.21	1985.10.25	EDF	EDF
	OP	LE BLAYAIS-1	91.0	95.1	PWR	1976.6	1977	1981.5.20	1981.12.1	EDF	EDF
	OP	LE BLAYAIS-2	91.0	95.1	PWR	1977.7	1977	1982.6.27	1983.2.1	EDF	EDF
	OP	LE BLAYAIS-3	91.0	95.1	PWR	1977.12	1978	1983.7.29	1983.11.14	EDF	EDF
	OP	LE BLAYAIS-4	91.0	95.1	PWR	1977.12	1978	1983.5.1	1983.10.1	EDF	EDF
	OP	NOGENT SUR SEINE-1	131.0	136.3	PWR	1981.9	1981	1987.9.12	1988.2.24	EDF	EDF
	OP	NOGENT SUR SEINE-2	131.0	136.3	PWR	1982.7	1982	1988.10.4	1989.5.1	EDF	EDF
	OP	PALUEL-1	133.0	138.2	PWR	1977.7	1977	1984.5.13	1985.12.1	EDF	EDF
	OP	PALUEL-2	133.0	138.2	PWR	1977.11	1978	1984.8.11	1985.12.1	EDF	EDF
	OP	PALUEL-3	133.0	138.2	PWR	1978.8	1978	1985.8.7	1986.2.1	EDF	EDF
	OP	PALUEL-4	133.0	138.2	PWR	1980.3	1980	1986.3.29	1986.6.1	EDF	EDF
	OP	PENLY-1	133.0	138.2	PWR	1983.8	1983	1990.4.1	1990.12.1	EDF	EDF
	OP	PENLY-2	133.0	138.2	PWR	1985.4	1985	1992.1.10	1992.11.1	EDF	EDF
	OP	PHENIX	13.0	14.0	FBR	1967	1968	1973.8.31	1974.2	CEA/EDF	CEA/EDF
	OP	ST.ALBAN-ST. MAURICE-1	133.5	138.1	PWR	1979.5	1979	1985.8.4	1986.5.1	EDF	EDF
	OP	ST.ALBAN-ST. MAURICE-2	133.5	138.1	PWR	1980.4	1980	1986.6.7	1987.3.1	EDF	EDF
	OP	ST.LAURENT-DES-EAUX-B 1	91.5	95.6	PWR	1976.3	1976	1981.1.4	1983.8.1	EDF	EDF
	OP	ST.LAURENT-DES-EAUX-B 2	91.5	95.6	PWR	1976.12	1976	1981.5.12	1983.8.1	EDF	EDF
	OP	TRICASTIN-1	91.5	95.5	PWR	1974.4	1974.11	1980.2.21	1980.12.1	EDF	EDF
	OP	TRICASTIN-2	91.5	95.5	PWR	1974.12	1974	1980.7.22	1980.12.1	EDF	EDF
	OP	TRICASTIN-3	91.5	95.5	PWR	1975.7	1975	1980.11.29	1981.5.11	EDF	EDF
	OP	TRICASTIN-4	91.5	95.5	PWR	1975.12	1975	1981.5.31	1981.11.1	EDF	EDF
	PL	FLAMANVILLE-3		160.0	PWR	–	End of 2007	–	Mid of 2012	EDF	EDF

状況略語：OP（運転中）、SD（休止中）、UC（建設中）、PL（計画中）、CD（閉鎖）

Plant name	主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers: 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
DAMPIERRE-3	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CM/BC	86.49	12	(注) フランスでは、多数の発電所で負荷追従運転を実施。 In France, many units perform load following mode.
DAMPIERRE-4	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CM/BC	88.67	12	
FESSENHEIM-1	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	CL	ALSTOM	CB	75.38	18	
FESSENHEIM-2	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	CL	ALSTOM	CB	87.61	18	
FLAMANVILLE-1	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SGE	85.64	18	
FLAMANVILLE-2	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SGE	89.11	18	
GOLFECH-1	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	FOUGEROLLE	78.73	18	
GOLFECH-2	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	FOUGEROLLE	99.19	18	
GRAVELINES-1	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SGE	84.55	12	
GRAVELINES-2	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SGE	88.21	12	
GRAVELINES-3	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SGE	78.93	12	
GRAVELINES-4	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SGE	82.20	12	
GRAVELINES-5	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	FANP	SIEMENS (KWU)	ALSTOM	SGE	84.01	12	
GRAVELINES-6	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SGE	84.30	12	
LE BLAYAIS-1	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SB/DUMEZ	87.72	12	
LE BLAYAIS-2	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	SB/DUMEZ	84.96	12	
LE BLAYAIS-3	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	SIEMENS (KWU)	ALSTOM	SB/DUMEZ	80.27	12	
LE BLAYAIS-4	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	SIEMENS (KWU)	ALSTOM	SB/DUMEZ	71.55	12	
NOGENT SUR SEINE-1	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CB	76.47	18	
NOGENT SUR SEINE-2	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CB	77.20	18	
PALUEL-1	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	CEM/ALSTOM	CM/BC	98.39	18	
PALUEL-2	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	CEM/ALSTOM	CM/BC	65.28	18	
PALUEL-3	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	CEM/ALSTOM	CM/BC	76.92	18	
PALUEL-4	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	CEM/ALSTOM	CM/BC	93.34	18	
PENLY-1	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CM/BC	79.06	18	
PENLY-2	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CM/BC	84.78	18	
PHENIX	(VARIOUS)	CEA/EDF/GAAA	CEA/EDF/GAAA	CL/NEYRPIC	CL/CNIM	CEA	STEIN	CEM	SGE	72.00	9	Since 1993, reactor power downrated.
ST.ALBAN-ST. MAURICE-1	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	BOUYGUES	88.64	18	
ST.ALBAN-ST. MAURICE-2	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	BOUYGUES	70.60	18	
ST.LAURENT-DES-EAUX-B 1	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	GTM	69.53	12	
ST.LAURENT-DES-EAUX-B 2	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	GTM	78.63	12	
TRICASTIN-1	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CB	85.36	12	
TRICASTIN-2	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CB	82.60	12	
TRICASTIN-3	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CB	90.44	12	
TRICASTIN-4	FRAMATOME	EDF	FRAMATOME	FRAMATOME	CL	FANP	FRAMATOME	ALSTOM	CB	88.80	12	
FLAMANVILLE-3	–	–	–	–	–	–	–	–	–			EPR[*1]

*1 欧州加圧水型炉 European Pressurized Water Reactor

国・地域	状況	発電所	電気出力(万kW)		炉型	発注	着工	臨界	営業運転	所有者	運転者	主契約者	アーキテクトエンジニア	供給者							設備利用率(%)	運転サイクル期間(月)	備考
			ネット	グロス										原子炉系統	圧力容器	炉心	燃料	蒸気系統	タービン	土建工事			
フランス/France	CD	BUGEY-1	54.0	55.5	GCR	1965	1965	1972.3.21	1972.7	EDF	EDF	(VARIOUS)	EDF	(VARIOUS)	CITRA	PECH/CEA/SOCALTRA	CERCA	B&W	RATEAU/JS	DUMEZ			CD 1994.5.27
	CD	C.N.A.SENA	30.5	32.0	PWR	1960	1962	1966.10.18	1967.4.3	EDF	EDF	AFW	G&H/SPIE	ACECO/FRAM	CL	CL	FBFC	COP	RATEAU/CL	SGE/CITRA			CD 1991.10
	CD	CHINON-A 1	7.0	8.4	GCR	1956	1957	1963.6.14	1964.2	EDF	EDF	(VARIOUS)	EDF/CEA	(VARIOUS)	LEVIVIER	–	CEA	–	ALSTOM	GTM			CD 1973.6
	CD	CHINON-A 2	21.0	23.0	GCR	1957	1958	1966.8.18	1965.2	EDF	EDF	(VARIOUS)	EDF/CEA	(VARIOUS)	LEVIVIER	PECH/CEA	CEA	B&W	ALSTOM	GTM			CD 1973.7.1
	CD	CHINON-A 3	36.0	37.5	GCR	1959	1960	1966.3.1	1968.3	EDF	EDF	(VARIOUS)	EDF	(VARIOUS)	GTM/RHENA	PECH/CEA/SFAC	CERCA	FCB	ALSTOM/JS	GTM			CD 1990.6.15
	CD	MARCOULE-G 2	3.6	4.0	GCR	1955	1956.3	1958.7.26	1959.4	CEA/EDF	CEA/EDF	SACM	SACM	SACM	CITRA/SFAC	SFAC/PECH	SICN/CERCA	B&W	RATEAU/ALSTOM	CITRA			CD 1980.2.1
	CD	MARCOULE-G 3	3.6	4.0	GCR	1955	1956.3	1959.6.19	1960.5	CEA/EDF	CEA/EDF	SACM	SACM	SACM	CITRA/SFAC	SFAC/PECH	SICN/CERCA	B&W	RATEAU/ALSTOM	CITRA			CD 1984.7.1
	CD	MONTSD'ARREEEL-4	7.0	7.7	HWGCR	1962	1962	1966.12.23	1967.10	CEA/EDF	CEA/EDF	CEA/EDF	INTERATOM	CEA	CAFL	SUDA	CERCA	SULZER/STE	CEM	CB			CD 1985.7.31
	CD	ST.LAURENT-DES-EAUX-A 1	39.0	40.5	GCR	1963	1963	1969.1.6	1969.6	EDF	EDF	(VARIOUS)	EDF	(VARIOUS)	GTM	CEA/PECH	CEA	STEIN	ALSTOM	GTM			CD 1990.4.1
	CD	ST.LAURENT-DES-EAUX-A 2	45.0	46.5	GCR	1966	1966	1971.7.4	1971.11	EDF	EDF	(VARIOUS)	EDF	(VARIOUS)	GTM	CEA/PECH	CEA	GECEN	ALSTOM	GTM			CD 1992.5.27
	CD	SUPER-PHENIX (CREYS-MALVILLE)	117.0	124.0	FBR	1977.4	1977.5	1985.9.7	1986.1.14	EDF	EDF	NOVA-TOME/NIRA	NERSA/EDF	NOVA-TOME/NIRA	NEYRPIC/NIRA	NEYRPIC/NIRA	COGEMA	CL	AMN	FCAPH			CD 1998.12.30
ドイツ/Germany	OP	BIBLIS-A	114.6	122.5	PWR	1969.6.13	1970.1	1974.7.16	1975.2.26	RWE	RWE	SIEMENS (KWU)/HOCH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	GHH	VOEST	FANP	B&W	SIEMENS (KWU)	HOCH	72.7	16	
	OP	BIBLIS-B	124.0	130.0	PWR	1971.8.31	1972.2	1976.3.25	1977.1.31	RWE	RWE	SIEMENS (KWU)/HOCH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	GHH	VOEST	FANP	BALCKE/GHH	SIEMENS (KWU)	HOCH	64.2	16	
	OP	BROKDORF	137.0	144.0	PWR	1975.6	1981.2	1986.10.8	1986.12.22	EKK/HEW	EKK	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	UDDCOMB	VOEST	FANP	UDDCOMB	SIEMENS (KWU)	ARGE/KBR			
	OP	BRUNSBUTTEL	77.1	80.6	BWR	1970.3	1970.4	1976.6.22	1977.2.9	HEW/EKK	KKB	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	AEG	RDM/TERNI	FIAT/TERNI	KRT	–	SIEMENS (KWU)	ARGE/KKB			
	OP	EMSLAND	132.9	140.0	PWR	1982.7.22	1982.8.4	1988.4.14	1988.6.20	RWE/EKK	KLE	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	GHH	SIEMENS (KWU)	FANP	GHH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)			
	OP	GRAFENRHEINFELD	127.5	134.5	PWR	1975.1	1975.1	1981.12.9	1982.6.17	EKK	EKK	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	UDDCOMB	VOEST	FANP	GHH	SIEMENS (KWU)	ARGE/KKG			
	OP	GROHNDE	136.0	143.0	PWR	1975.6	1976.6	1984.8.31	1985.2.1	EKK/GKW	KWG	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	JSW/GHH/VOEST	VOEST	FANP	JSW/GHH/VOEST	SIEMENS (KWU)	ARGE/KWG			
	OP	GUNDREMMINGEN B	128.4	134.4	BWR	1974.2	1976.7.20	1984.3.9	1984.7.19	RWE/EKK	KGG	SIEMENS (KWU)/HOCH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	UDDCOMB	VOEST	FANP	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	HOCH	91.96	12	
	OP	GUNDREMMINGEN C	128.8	134.4	BWR	1974.2	1976.7.20	1984.10.26	1985.1.18	RWE/EKK	KGG	SIEMENS (KWU)/HOCH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	UDDCOMB	VOEST	FANP	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	HOCH	89.30	12	
	OP	ISAR-1	87.8	91.2	BWR	1971.11	1972.5	1977.11.20	1979.3.21	EKK/EOB	EKK	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	AEG	BREDA	VOEST	KRT	AEG	SIEMENS (KWU)	ARGE/KKI			
	OP	ISAR-2	140.0	147.5	PWR	1980.3	1982.8	1988.1.15	1988.4.9	EKK/EOB/SWM	EKK	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	GHH	VOEST	FANP	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	ARGE/KKI			
	OP	KRUMMEL	126.0	131.6	BWR	1972.7	1974.1	1983.9.14	1984.3.28	HEW/EKK	KKK	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	BREDA	BBR	FANP	–	SIEMENS (KWU)	ARGE			
	OP	NECKAR-1	78.5	84.0	PWR	1971.11	1972.1	1976.5.26	1976.12.1	EnBW/*	GKN	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	KLOCKNER/GHH	VOEST	FANP	GHH	SIEMENS (KWU)	ARGE			
	OP	NECKAR-2	130.4	140.0	PWR	1982.12	1984.1	1988.12.29	1989.4.15	EnBW/*	GKN	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	GHH	VOEST	FANP	GHH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)/ARGE			
	OP	PHILIPPSBURG-1	89.0	92.6	BWR	1970.9	1971.2	1979.3.9	1980.3.26	EnBW	EnBW	SIEMENS (KWU)/HOCH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	RDM/BREDA	FIAT	FANP	AEG	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)/ARGE	74.54	12	
	OP	PHILIPPSBURG-2	135.8	145.8	PWR	1975.6	1977.7	1984.12.13	1985.4.18	EnBW	EnBW	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	GHH	VOEST	FANP	GHH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)/ARGE	88.76	12	
	OP	UNTERWESER	134.5	141.0	PWR	1971	1972.8	1978.9.16	1979.9.6	EKK	EKK	SIEMENS (KWU)/HOCH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	KLOCKNER/GHH	VOEST	FANP	BREDA	SIEMENS (KWU)	ARGE/KKU			
	CD	GROSSWELZHEIM	2.2	2.5	BWR	1964	1965	1969.10.14	1970.7	GFKV	HBG	AEG	AEG	AEG	KLOCKNER	KRT	KRT	BALCKE	AEG	ALSTOM			CD 1971.4.8
	CD	GUNDREMMINGEN A	23.7	25.2	BWR	1962	1962	1966.8.14	1967.4	KRB	KGG	AEG/HOCH	AEG/HOCH	GE	GW/RUHRST	GE/RDM	GE	GE	AEG	HOCH			CD 1980.1.8
	CD	JULICH AVR	1.3	1.5	HTGR	1959	1960	1966.8.26	1969.5.9	AVR	AVR	BBK	BBK	BBK	KRUPP	SIGRI	UCC/NUKEM	VKW	BBC	KRUPP			CD 1988.12
	CD	KAHL	1.5	1.6	BWR	1958.6	1958.6	1960.11.13	1961.11	RWE	VAK	AEG	AEG	GE	MANNESMANN	GE	GE	GHH	AEG	HOCH			CD 1985.11.25
	CD	KARLSRUHE KNK	2.0	2.1	SCTR	1966	1966	1971.8.20	1972.1	GFKV	KBG	INTERATOM	INTERATOM	INTERATOM	MAN	INTERATOM	KRT	DURR	AEG	ARGE/KNK			CD 1974.8
	CD	KARLSRUHE KNK-Ⅱ	1.9	2.1	FBR	1973.8	1975.5	1977.10.1	1979.3	KFK	KBG	INTERATOM	INTERATOM	INTERATOM	MAN	INTERATOM	ALKEM/RBU	DURR	AEG	ARGE/KNK			CD 1991.8.23
	CD	KARLSRUHE MZFR	5.1	5.8	PHWR	1961	1962	1965.9.29	1966.12	KFK	KBG	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	KLOCKNER	KLOCKNER	RBU	GHH/KAHLE/BALCKE	SIEMENS (KWU)	BAUUNION/SIEMENS(KWU)/HOCH			CD 1984.5.6
	CD	LINGEN KWL	24.0	25.2	BWR	1963	1964	1968.1.31	1968.10	KWL	KWL	AEG	AEG/HOCH	AEG	RUHRSTAHL	AEG	KRT	ATLAS	AEG	HOCH			CD 1979.3
	Plant status	Plant name	Net	Gross	Type of reactor	Date of order	Date of construction start	Date of initial criticality	Date of commercial operation	Owner	Operator	Main contractor	Architect engineer	Reactor system	Reactor vessel	Incore structure	Fuel fabrication	Steam raising	Turbine generator	Civil works	Capacity factor(%)	Operating cycle lengths (months)	Remarks
			Output(10 MWe)											Suppliers									

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖）

国・地域	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output (10 MWe)	電気出力(万kW) グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
ドイツ/Germany	CD	MULHEIM-KARLICH	121.9	130.2	PWR	1973.1.9	1975.1.16	1986.3.1	1987.8.1	RWE	RWE
	CD	NIEDERAICHBACH KKN	10.0	10.6	HWGCR	1964	1966	1972.12.17	1974	KFK	KFK
	CD	NORD（GREIFSWALD）-1	36.5	44.0	PWR	1967	1967	1973.12.2	1974.7.11	TREUHAND	ENG
	CD	NORD（GREIFSWALD）-2	36.5	44.0	PWR	1967	1967	1974.12.2	1975.4.16	TREUHAND	ENG
	CD	NORD（GREIFSWALD）-3	40.8	44.0	PWR	1973.4	1973	1977.10.6	1978.5.3	TREUHAND	ENG
	CD	NORD（GREIFSWALD）-4	40.8	44.0	PWR	1973.4	1974	1979.7.22	1979.10.31	TREUHAND	ENG
	CD	NORD（GREIFSWALD）-5	40.8	44.0	PWR	1978	1980	1989.3.26	1990	TREUHAND	ENG
	CD	OBRIGHEIM	34.0	35.7	PWR	1964	1965	1968.9.22	1969.4.1	EnBW	KWO
	CD	RHEINSBERG	7.0	8.0	PWR	1956	1960.1	1966.3.11	1966.10.10	TREUHAND	ENG
	CD	STADE	63.0	67.2	PWR	1967	1967	1972.1.8	1972.5.19	EKK/HEW	EKK
	CD	THTR-300	29.6	30.8	HTGR	1971	1971.5	1983.9.13	1987.6.1	HKG	HKG
	CD	WURGASSEN	64.0	67.0	BWR	1967	1968	1971.10.22	1972	EKK	EKK
ハンガリー Hungary	OP	PAKS-1	43.7	46.7	PWR	1967	1974.8	1982.12.14	1983.8.10	MVMRT	PART
	OP	PAKS-2	44.1	46.8	PWR	1967	1974.8	1984.8.26	1984.11.14	MVMRT	PART
	OP	PAKS-3	43.3	46.0	PWR	1967	1979.10	1986.9.15	1986.12.1	MVMRT	PART
	OP	PAKS-4	44.4	47.1	PWR	1967	1979.10	1987.8.9	1987.11.1	MVMRT	PART
インド/India	OP	KAIGA-1	20.2	22.0	PHWR	1987.6.30	1989.9.1	2000.9.26	2000.11.16	NPCIL	NPCIL
	OP	KAIGA-2	20.2	22.0	PHWR	1987.6.30	1989.12.1	1999.9.24	2000.3.16	NPCIL	NPCIL
	OP	KAKRAPARKAPS-1	20.2	22.0	PHWR	1981.7.15	1984.12.1	1992.9.3	1993.5.6	NPCIL	NPCIL
	OP	KAKRAPARKAPS-2	20.2	22.0	PHWR	1981.7.15	1985.4.1	1995.1.8	1995.9.1	NPCIL	NPCIL
	OP	MADRASMAPS-1	15.5	17.0	PHWR	1967.12.20	1971.1.1	1983.7.2	1984.1.27	NPCIL	NPCIL
	OP	MADRASMAPS-2	20.2	22.0	PHWR	1971.5.14	1972.10.1	1985.8.12	1986.3.21	NPCIL	NPCIL
	OP	NARORANAPS-1	20.2	22.0	PHWR	1974.1.4	1976.12.1	1989.3.12	1991.1.1	NPCIL	NPCIL
	OP	NARORANAPS-2	20.2	22.0	PHWR	1974.1.4	1977.11.1	1991.10.24	1992.7.1	NPCIL	NPCIL
	OP	RAJASTHANRAPS-1	9.0	10.0	PHWR	1964.6.30	1965.8.1	1972.8.11	1973.12.16	DAE	NPCIL
	OP	RAJASTHANRAPS-2	18.7	20.0	PHWR	1967.12.4	1968.8.1	1980.10.8	1981.4.1	NPCIL	NPCIL
	OP	RAJASTHANRAPS-3	20.2	22.0	PHWR	1986.11.25	1990.2.1	1999.12.24	2000.6.1	NPCIL	NPCIL
	OP	RAJASTHANRAPS-4	20.2	22.0	PHWR	1986.11.25	1990.10.1	2000.11.3	2000.12.23	NPCIL	NPCIL
	OP	TARAPURTAPS-1	15.0	16.0	BWR	1963.6.22	1964.10.1	1969.2.1	1969.10.28	NPCIL	NPCIL
	OP	TARAPURTAPS-2	15.0	16.0	BWR	1963.6.22	1964.10.1	1969.2.28	1969.10.28	NPCIL	NPCIL
	OP	TARAPURTAPS-4	49.0	54.0	PHWR	1991.1.24	2000.3.8	2005.3.6	2005.9.12	NPCIL	NPCIL
	★OP	FBTR	1.1	1.3	FBR	1971	1972	1985	1997	DAE	DAE
	UC	KAIGA-3	20.2	22.0	PHWR	2001.5.18	2002.3.30	2006.12.31	2007.3.31	NPCIL	NPCIL
	UC	KAIGA-4	20.2	22.0	PHWR	2001.5.18	2002.5.10	2007.6.30	2007.9.30	NPCIL	NPCIL
	UC	KUDANKULAM-1	91.7	100.0	PWR	2001.12.7	2002.3.31	2007.9.30	2007.12.31	NPCIL	NPCIL
	UC	KUDANKULAM-2	91.7	100.0	PWR	2001.12.7	2002.7.4	2008.9.30	2008.12.31	NPCIL	NPCIL

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖），★集計外

発電所 Plant name	主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
MULHEIM-KARLICH	BBC/BBR	BBC	BBR	B&W	VOEST	BBR	B&W	BBC	HOCH			CD 2000.10.9
NIEDERAICHBACH KKN	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	THYSSEN	SIEMENS (KWU)	NUKEM/SIEMENS(KWU)	B&W	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)/HOCH			CD 1974.7.31
NORD（GREIFSWALD）-1	AEE	-	AEE	-	-	-	-	-	-			CD 1990.12.18 VVER-440（V-230）
NORD（GREIFSWALD）-2	AEE	-	AEE	-	-	-	-	-	-			CD 1990.2.15 VVER-440（V-230）
NORD（GREIFSWALD）-3	AEE	-	AEE	-	-	-	-	-	-			CD 1990.2.28 VVER-440（V-230）
NORD（GREIFSWALD）-4	AEE	-	AEE	-	-	-	-	-	-			CD 1990.6.1 V 230 VVER-440（V-230）
NORD（GREIFSWALD）-5	AEE	-	SKODA	SKODA	SKODA	-	-	SKODA	-			CD 1990.11.29 V 213 VVER-440（V-213）
OBRIGHEIM	SIEMENS (KWU)/HOCH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	KLOCKNER	KLOCKNER	FANP	SIEMENS (KWU)/GHH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)/ARGE	29.1		CD 2005.5.11
RHEINSBERG	AEE	-	AEE	-	-	-	-	-	-			CD 1990.6.1
STADE	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	KLOCKNER	NERATOOM	FANP	GHH	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)			CD 2003.11.14
THTR-300	BBC/HRB NUKEM	BBC/HRB	HRB	GE＊	BN/RBU ALKEM	NUKEM	SULZER	BBC	BBC/HRB NUKEM			CD 1989.9.29
WURGASSEN	SIEMENS (KWU)	AEG	AEG	GHH	MAN	KRT	DEMAG	AEG	HOCH			CD 1995.9
PAKS-1	AEE	ERBE	AEE	SKODA	SKODA	AEE	AEE	AEE/GVM	EROT/ERBE	92.15	12	VVER-440（V 213）
PAKS-2	AEE	ERBE	AEE	SKODA	SKODA	AEE	AEE	AEE/GVM	EROT/ERBE	75.29	12	VVER-440（V 213）
PAKS-3	AEE	ERBE	AEE	SKODA	SKODA	AEE	AEE	AEE/GVM	EROT/ERBE	80.94	12	VVER-440（V 213）
PAKS-4	AEE	ERBE	AEE	SKODA	SKODA	AEE	AEE	AEE/GVM	EROT/ERBE	90.06	12	VVER-440（V 213）
KAIGA-1	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	BHEL	BHEL	L&T(ECC)	69.2		
KAIGA-2	(Various)	NPCIL	NPCIL	GRE	DAE	DAE	BHEL	BHEL	L&T(ECC)	86.4		
KAKRAPARKAPS-1	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	ENSA	BHEL	HCC	65.7		
KAKRAPARKAPS-2	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	MANGHH	BHEL	HCC	73.8		
MADRASMAPS-1	(Various)	NPCIL	NPCIL	L&T	DAE	DAE	L&T	BHEL	L&T(ECC)			2003年8月から定格出力増強等のため停止中＊1
MADRASMAPS-2	(Various)	NPCIL	NPCIL	L&T	DAE	DAE	BHEL	BHEL	L&T(ECC)	85.0		
NARORANAPS-1	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	BHEL	BHEL	HCC	74.9		
NARORANAPS-2	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	BHEL	BHEL	HCC	71.1		
RAJASTHANRAPS-1	AECL	AECL/DAE MENG	AECL/DAE MENG	CGE	AECL	CWC/DAE	MLW	EE	HCC			
RAJASTHANRAPS-2	AECL	AECL/DAE MENG	AECL/DAE MENG	L&T	AECL	CWC/DAE	L&T	EE	HCC	79.0		
RAJASTHANRAPS-3	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	BHEL	BHEL	HCC	87.3		
RAJASTHANRAPS-4	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	BHEL	BHEL	HCC	84.6		
TARAPURTAPS-1	GE	BECHTEL	GE	ABBCE	GE	GE	GE	GE	BECHTEL	100.7	20	
TARAPURTAPS-2	GE	BECHTEL	GE	ABBCE	GE	GE	GE	GE	BECHTEL	93.7	20	
TARAPURTAPS-4	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	BHEL	BHEL	L&T/ECC	70.2		
FBTR	IGCAR	IGCAR/DCL	RRC/CEA	BHEL	DAE	RMD-B/NFC	BHEL	BHEL	L&T(ECC)			
KAIGA-3	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	L&T/BHEL	TA	GAMMON			
KAIGA-4	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	L&T/BHEL	TA	GAMMON			
KUDANKULAM-1	ASE	ASE	ASE	ASE	ASE	ASE	ASE	ASE	(Various)			VVER-1000
KUDANKULAM-2	ASE	ASE	ASE	ASE	ASE	ASE	ASE	ASE	(Various)			VVER-1000

＊1 Outage for power uprating since August, 2003

国・地域	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output(10 MWe)	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
インド/India	UC	PFBR	47.0	50.0	FBR	2004.5.28	2004.10.23	September 2010	–	DAE	BHAVINI
	UC	RAJASTHANRAPS-5	20.2	22.0	PHWR	2002.4.12	2002.9.18	2007.5.31	2007.8.31	NPCIL	NPCIL
	UC	RAJASTHANRAPS-6	20.2	22.0	PHWR	2002.4.12	2003.1.20	2007.11.30	2008.2.28	NPCIL	NPCIL
	UC	TARAPURTAPS-3	49.0	54.0	PHWR	1991.1.24	2000.5.12	2006.7.31	2007.1.31	NPCIL	NPCIL
インドネシア Indonesia	PL	Unnamed-1	–	100.0*1	PWR	–	–	–	–	–	–
	PL	Unnamed-2	–	100.0*1	PWR	–	–	–	–	–	–
	PL	Unnamed-3	–	100.0*1	PWR	–	–	–	–	–	–
	PL	Unnamed-4	–	100.0*1	PWR	–	–	–	–	–	–
イラン/Iran	UC	BUSHEHR-1	91.5	100.0	PWR	1975	1976.7	2006	2006	AEOI	AEOI
	UC	BUSHEHR-2	119.6	129.3	PWR	1975	1976.7	–	–	AEOI	AEOI
	PL	BUSHEHR-3	41.0	44.0	PWR	–	–	–	–	AEOI	AEOI
	PL	BUSHEHR-4	41.0	44.0	PWR	–	–	–	–	AEOI	AEOI
イスラエル Israel	PL	UNNAMED-1	60.0	66.4	PWR	–	–	–	–	IEC	IEC
イタリア/Italy	CD	CAORSO	86.0	88.2	BWR	1970.3	1970.8	1977.12.31	1981.12.1	ENEL	ENEL
	CD	GARIGLIANO	15.4	16.4	BWR	1958.9	1959.11	1963.6.5	1964.6.23	ENEL	ENEL
	CD	LATINA	15.3	16.0	GCR	1958.8	1958.11	1962.12.27	1964.1.1	ENEL	ENEL
	CD	TRINO VERCELLESE	26.0	27.0	PWR	1956.12	1961.7	1964.6.21	1965.1.1	ENEL	ENEL
カザフスタン Kazakhstan	PL	BALKHASH-1	–	64.0	PWR	–	–	–	2008	KATEP	KATEP
	PL	BALKHASH-2	–	64.0	PWR	–	–	–	2010	KATEP	KATEP
	PL	BALKHASH-3	–	64.0	PWR	–	–	–	2018	KATEP	KATEP
	CD	SHEVCHENKO（BN-350）	13.5	15.0	FBR	1963	1964.10	1972.11.30	1973.7	MAEK	MAEK
韓国/Republic of Korea	OP	KORI-1（古里）	55.6	58.7	PWR	1970.9	1971.8	1977.6.19	1978.4.29	KHNP	KHNP
	OP	KORI-2（古里）	60.5	65.0	PWR	1976.11	1978.7	1983.4.9	1983.7.25	KHNP	KHNP
	OP	KORI-3（古里）	89.5	95.0	PWR	1978.4	1979.6	1985.1.1	1985.9.30	KHNP	KHNP
	OP	KORI-4（古里）	89.5	95.0	PWR	1978.4	1979.6	1985.10.26	1986.4.29	KHNP	KHNP
	OP	ULCHIN-1（蔚珍）	92.0	95.0	PWR	1980.11	1981.1	1988.2.25	1988.9.10	KHNP	KHNP
	OP	ULCHIN-2（蔚珍）	92.0	95.0	PWR	1980.11	1981.1	1989.2.25	1989.9.30	KHNP	KHNP
	OP	ULCHIN-3（蔚珍）	95.0	100.0	PWR	1991.7	1992.5	1997.12.22	1998.8.11	KHNP	KHNP
	OP	ULCHIN-4（蔚珍）	95.0	100.0	PWR	1991.7	1992.5	1998.12.14	1999.12.31	KHNP	KHNP
	OP	ULCHIN-5（蔚珍）	95.0	100.0	PWR	1996.11	1999.1	2003.11.28	2004.7.29	KHNP	KHNP
	OP	ULCHIN-6（蔚珍）	95.0	100.0	PWR	1996.11	1999.1	2004.12.16	2005.4.22	KHNP	KHNP
	OP	WOLSONG-1（月城）	62.9	67.9	CANDU	1975.1	1977.6	1982.11.21	1983.4.22	KHNP	KHNP
	OP	WOLSONG-2（月城）	65.0	70.0	CANDU	1990.12	1991.10	1997.1.27	1997.7.1	KHNP	KHNP
	OP	WOLSONG-3（月城）	65.0	70.0	CANDU	1992.9	1993.8	1998.2.19	1998.7.1	KHNP	KHNP
	OP	WOLSONG-4（月城）	65.0	70.0	CANDU	1992.9	1993.8	1999.4.10	1999.10.1	KHNP	KHNP
	OP	YONGGWANG-1（靈光）	90.0	95.0	PWR	1979.10	1980.10	1986.1.31	1986.8.25	KHNP	KHNP

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖）

発電所 Plant name	主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間（月） Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
PFBR	(Various)	IGCAR	–	L&T	–	DAE	L&T	–	GAMMON			
RAJASTHANRAPS-5	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	L&T/ BHEL	TA	(Various)			
RAJASTHANRAPS-6	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	L&T/ BHEL	TA	(Various)			
TARAPURTAPS-3	(Various)	NPCIL	NPCIL	WALCH	DAE	DAE	L&T	BHEL	L&T/ECC			
Unnamed-1	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
Unnamed-2	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
Unnamed-3	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
Unnamed-4	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
BUSHEHR-1	ASE		ASE			TENEX	ASE	ASE	ASE			VVER-1000（V 392）
BUSHEHR-2	SIEMENS (KWU)		SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	RBU	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	ASE			VVER-1000
BUSHEHR-3	ASE		ASE	ASE	ASE	TENEX	ASE	ASE	ASE			VVER-440（213 M）
BUSHEHR-4	ASE		ASE	ASE	ASE	TENEX	ASE	ASE	ASE			VVER-440（213 M）
UNNAMED-1	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
CAORSO	AMN/ GETSCO	G&H	AMN/ GETSCO	BREDA	AMN	FN	AMN	AMN/ ASGEN	SOGENE			CD 1990.6
GARIGLIANO	IGEOSA	EBASCO	GE	TEMI	GE	GE/FN	STORK	AMN	ITALSTRADE			CD 1982.3
LATINA	TNPG	TNPG/ AGIP	TNPG	WHESSOE	TNPG	UKAEA	CC NUOVO/AMN	PARSONS/ AMN	TORNO/ MCALPINE			CD 1987.12
TRINO VERCELLESE	WH	G&H	WH	WH	WH	WH/ COREN	WH	TOSI/ MARELLI	RECCHI			CD 1990.6
BALKHASH-1	–	–	–	–	–	–	–	–	–			VVER-640
BALKHASH-2	–	–	–	–	–	–	–	–	–			VVER-640
BALKHASH-3	–	–	–	–	–	–	–	–	–			VVER-640
SHEVCHENKO（BN-350）	–	–	–	–	–	–	–	–	–			CD 1999.4.22
KORI-1（古里）	WH	WH/ GILBERT	WH	WH	WH	WH	WH	GEC	G WIMPEY	85.21	15	
KORI-2（古里）	WH	WH/ GILBERT	WH	WH	WH	WH	WH	GEC	WH/GEC	95.83	15	
KORI-3（古里）	WH	BECHTEL	WH	WH	WH	WH	WH	GEC	HYUNDAI	94.65	18	
KORI-4（古里）	WH	BECHTEL	WH	WH	WH	WH	WH	GEC	HYUNDAI	104.85	18	
ULCHIN-1（蔚珍）	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	KNFC	FANP	ALSTOM	DONG-A/ HANJUNG	103.80	18	
ULCHIN-2（蔚珍）	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	KNFC	FANP	ALSTOM	DONG-A/ HANJUNG	82.99	18	
ULCHIN-3（蔚珍）	HANJUNG	KOPEC/ S&L	HANJUNG/ ABB-CE	HANJUNG	HANJUNG/ ABB-CE	KNFC	HANJUNG	HANJUNG/ GE	DONG-A	92.22	18	韓国標準型炉（KSNP）
ULCHIN-4（蔚珍）	HANJUNG	KOPEC/ S&L	HANJUNG/ ABB-CE	HANJUNG	HANJUNG/ ABB-CE	KNFC	HANJUNG	HANJUNG/ GE	DONG-A	96.15	18	KSNP
ULCHIN-5（蔚珍）	DOOSAN	KOPEC	DOOSAN	DOOSAN	DOOSAN	KNFC	DOOSAN	DOOSAN	DONG-A/ DOOSAN/SAMSUNG	88.32	18	KSNP
ULCHIN-6（蔚珍）	DOOSAN	KOPEC	DOOSAN	DOOSAN	DOOSAN	KNFC	DOOSAN	DOOSAN	DONG-A/ DOOSAN/SAMSUNG	103.73	15	KSNP 2005.1.7 送電開始*2
WOLSONG-1（月城）	AECL	AECL	AECL	AECL	AECL	AECL	AECL	NEI/ PARSON	AECL	77.71	–	
WOLSONG-2（月城）	AECL	AECL/ KOPEC	AECL/ HANJUNG	AECL/ HANJUNG	AECL/ HANJUNG	ZPI	AECL/ HANJUNG	HANJUNG/ GE	HYUNDAI	98.11	–	
WOLSONG-3（月城）	AECL	AECL/ KOPEC	AECL/ HANJUNG	AECL/ HANJUNG	AECL/ HANJUNG	GE CAN	B&W/ HANJUNG	HANJUNG/ GE	DAEWOO	104.49	–	
WOLSONG-4（月城）	AECL	AECL/ KOPEC	AECL/ HANJUNG	AECL/ HANJUNG	AECL/ HANJUNG	GE CAN	B&W/ HANJUNG	HANJUNG/ GE	DAEWOO	98.35	–	
YONGGWANG-1（靈光）	WH	BECHTEL	WH	WH	WH	WH	WH	WH	HYUNDAI	103.80	18	

*1 100 万 kW 級と仮定，Accounted as 1,000 MWe class
*2 Date of grid connection

国・地域	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output(10 MWe)	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
韓国/Republic of Korea	OP	YONGGWANG-2 (靈光)	90.0	95.0	PWR	1979.10	1980.10	1986.11.11	1987.6.10	KHNP	KHNP
	OP	YONGGWANG-3 (靈光)	95.0	100.0	PWR	1987.4	1989.6	1994.10.13	1995.3.31	KHNP	KHNP
	OP	YONGGWANG-4 (靈光)	95.0	100.0	PWR	1987.4	1989.6	1995.7.7	1996.1.1	KHNP	KHNP
	OP	YONGGWANG-5 (靈光)	95.0	100.0	PWR	1995.3	1996.9	2001.11.24	2002.5.21	KHNP	KHNP
	OP	YONGGWANG-6 (靈光)	95.0	100.0	PWR	1995.3	1996.9	2002.9.1	2002.12.24	KHNP	KHNP
	UC	SHIN-KORI-1 (新古里)	95.0	100.0	PWR	2000.11	2005.1	-	2010.12	KHNP	KHNP
	UC	SHIN-KORI-2 (新古里)	95.0	100.0	PWR	2000.11	2005.1	-	2011.12	KHNP	KHNP
	UC	SHIN-WOLSONG-1 (新月城)	95.0	100.0	PWR	2001.3	2005.10	-	2011.10	KHNP	KHNP
	UC	SHIN-WOLSONG-2 (新月城)	95.0	100.0	PWR	2001.3	2005.10	-	2012.10	KHNP	KHNP
	PL	SHIN-KORI-3 (新古里)	135.0	140.0	APWR	2001.10	-	-	2012.6	KHNP	KHNP
	PL	SHIN-KORI-4 (新古里)	135.0	140.0	APWR	2001.10	-	-	2013.6	KHNP	KHNP
	PL	SHIN−ULCHIN-1 (新蔚珍)	135.0	140.0	APWR	-	-	-	2014.6	-	-
	PL	SHIN−ULCHIN-2 (新蔚珍)	135.0	140.0	APWR	-	-	-	2015.6	-	-
リトアニア Lithuania	OP	IGNALINA-2	130.0	150.0	LWGR	1974	1980.4	1986.12	1987.8.20	[2]MOE	INPP
	CD	IGNALINA-1	130.0	150.0	LWGR	1974	1978.4	1983.10.4	1985.5	[2]MOE	INPP
メキシコ Mexico	OP	LAGUNA VERDE-1	65.4	68.2	BWR	1972	1976.10	1988.11.10	1990.7.29	CFE	CFE
	OP	LAGUNA VERDE-2	65.4	68.2	BWR	1973	1977.6	1994.9.6	1995.4.10	CFE	CFE
オランダ Netherlands	OP	BORSSELE	45.2	48.1	PWR	1969.4	1969.12	1973.3	1973.10.25	EPZ	EPZ
	CD	DODEWAARD	5.5	5.8	BWR	1963.1	1965.1	1968.1	1969.1	SEP	GKN
パキスタン Pakistan	OP	CHASHMA-1	30.0	32.5	PWR	1992.2	1993.8	2000.5.3	2000.9.15	PAEC	PAEC
	OP	KARACHI	12.5	13.7	CANDU	1965	1966.8	1971.8.1	1972.12	PAEC	PAEC
	UC	CHASHMA-2	-	30.0	PWR	2004.5.4	2005.12.28		2011	PAEC	PAEC
ルーマニア Romania	OP	CERNAVODA-1	65.5	70.6	CANDU	1978.10	1982.7	1996.4.16	1996.12.2	SNN	CNE-PROD
	UC	CERNAVODA-2	65.5	70.6	CANDU	1981.7	1983.1	2006.11	2007.4	SNN	CNE-INVEST
	UC	CERNAVODA-3	65.5	70.6	CANDU	-	1984.3	2010	2011	SNN	CNE-INVEST
	UC	CERNAVODA-4	65.5	70.6	CANDU	-	1985.8	-	2015	SNN	CNE-INVEST
	UC	CERNAVODA-5	65.5	70.6	CANDU	-	1987.5	-	2020	SNN	CNE-INVEST
ロシア/Russia	OP	BALAKOVO-1	95.0	100.0	PWR	1978	1980.12.1	1985.12.12	1986.5.23	ROSATOM	REA
	OP	BALAKOVO-2	95.0	100.0	PWR	1978	1981.8.1	1987.10.2	1988.1.18	ROSATOM	REA
	OP	BALAKOVO-3	95.0	100.0	PWR	1982	1982.11.1	1988.12.16	1989.4.8	ROSATOM	REA
	OP	BALAKOVO-4	95.0	100.0	PWR	1984	1984.4.1	1993.3.24	1993.12.22	ROSATOM	REA
	OP	BELOYARSK-3 (BN-600)	56.0	60.0	FBR	1966	1969.1.1	1980.2.26	1981.11.1	ROSATOM	REA
	OP	KALININ-1	95.0	100.0	PWR	1971	1977.2.1	1984.4.10	1985.6.12	ROSATOM	REA
	OP	KALININ-2	95.0	100.0	PWR	1971	1982.2.1	1986.11.25	1987.3.3	ROSATOM	REA
	OP	KALININ-3	95.0	100.0	PWR	1982	1985.10.1	2004.11.26	2005.11.8	ROSATOM	REA
	OP	KOLA-1	41.1	44.0	PWR	1966	1970.5.1	1973.6.26	1973.12.28	ROSATOM	REA

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖）

主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers: 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
WH	BECHTEL	WH	WH	WH	WH	WH	WH	HYUNDAI	91.51	18	
HANJUNG	KOPEC/S&L	HANJUNG/ABB-CE	HANJUNG/ABB-CE	HANJUNG/ABB-CE	KNFC/KAERI/ABB-CE	HANJUNG/ABB-CE	HANJUNG/GE	HYUNDAI	104.14	18	
HANJUNG	KOPEC/S&L	HANJUNG/ABB-CE	HANJUNG/ABB-CE	HANJUNG/ABB-CE	KNFC/KAERI/ABB-CE	HANJUNG/ABB-CE	HANJUNG/GE	HYUNDAI	93.29	18	
DOOSAN	KOPEC/S&L	DOOSAN/WH	DOOSAN	DOOSAN/WH	KNFC	DOOSAN	DOOSAN/GE	HYUNDAI/DAELIM	93.64	18	KSNP
DOOSAN	KOPEC/S&L	DOOSAN/WH	DOOSAN	DOOSAN/WH	KNFC	DOOSAN	DOOSAN/GE	HYUNDAI/DAELIM	94.00	15	KSNP
DOOSAN	KOPEC	DOOSAN	DOOSAN	DOOSAN	KNFC	DOOSAN	DOOSAN	HYUNDAI			OPR 1000=Optimized Power Reactor 1000
DOOSAN	KOPEC	DOOSAN	DOOSAN	DOOSAN	KNFC	DOOSAN	DOOSAN	HYUNDAI			OPR1000
DOOSAN	KOPEC	DOOSAN	DOOSAN	DOOSAN	KNFC	DOOSAN	DOOSAN	DAEWOO			OPR1000
DOOSAN	KOPEC	DOOSAN	DOOSAN	DOOSAN	KNFC	DOOSAN	DOOSAN	DAEWOO			OPR1000
-	-	-	-	-	-	-	-	-			改良型加圧水型炉 (APR1400)
-	-	-	-	-	-	-	-	-			APR1400
-	-	-	-	-	-	-	-	-			APR1400
-	-	-	-	-	-	-	-	-			APR1400
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ROSATOM	90.8	10.7	RBMK-1500
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ROSATOM			RBMK-1500 CD 2004.12.31
GE	CFE/EBASCO	GE	CB&I	GE	GE	GE	MHI	CFE/ICA	85.93	18	
GE	CFE/EBASCO	GE	CB&I	GE	GE	GE	MHI	CFE/ICA	94.81	18	
SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	RDM	BORSIG	FANP	BALCKE	SIEMENS (KWU)	BREDERO	95.90	12	
GKN/GE	GKN	GE/GKN	RDM	RDM	BNFL	VMF	VMF/HOLEC	BAM			CD 1997.3.26
CNNC	CNNC	CNNC	CNNC	CNNC	CNEIC	CNNC	CNNC	CNNC/PAEC			
GE CAN	GE CAN	GE CAN	GE CAN	GE CAN	GE CAN	GE CAN/B&W	Hitachi	GE CAN/M ENG			
AECL/ANSALDO	AECL/ANSALDO	AECL	AECL	AECL	ZPI/FCN	B&W CANADA	AMN/GE	CNE-PROD			CANDU-6
SNN/AECL/ANSALDO	AECL/ANSALDO	AECL	AECL	AECL	FCN	B&W CANADA	GT/GE	CNE-INVEST/ETC.			CANDU-6 2005 C-86%
-	-	AECL	FECNE	-	-	-	-	CNE-INVEST/ETC.			建設中断 Canceled, in preservation ; subject to a future decision.
-	-	AECL	-	-	-	-	-	CNE-INVEST/ETC.			
-	-	AECL	-	-	-	-	-	CNE-INVEST/ETC.			
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-1000 (V-320)
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-1000 (V-320)
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-1000 (V-320)
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-1000 (V-320)
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	LMP	ME			
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-1000 (V-338)
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-1000 (V-338)
-	VNIPIET	-	-	-	ROSATOM	-	-	-			VVER-1000
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-440 (V-230)

国・地域 Country	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output(10 MWe)	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
ロシア/Russia	OP	KOLA-2	41.1	44.0	PWR	1966	1973.1.1	1974.11.30	1975.2.21	ROSATOM	REA
	OP	KOLA-3	41.1	44.0	PWR	1974	1977.4.1	1981.2.7	1982.12.3	ROSATOM	REA
	OP	KOLA-4	41.1	44.0	PWR	1974	1976.8.1	1984.10.7	1984.12.6	ROSATOM	REA
	OP	KRASNOYARSK-3	9.0	10.0	LWGR	-	-	-	1964	ROSATOM	-
	OP	KURSK-1	92.5	100.0	LWGR	1968	1972.6.1	1976.10.25	1977.10.12	ROSATOM	REA
	OP	KURSK-2	92.5	100.0	LWGR	1968	1973.1.1	1978.12.16	1979.8.17	ROSATOM	REA
	OP	KURSK-3	92.5	100.0	LWGR	1974	1978.4.1	1983.8.9	1984.3.30	ROSATOM	REA
	OP	KURSK-4	92.5	100.0	LWGR	1974	1981.5.1	1985.10.31	1986.2.5	ROSATOM	REA
	OP	LENINGRAD-1	92.5	100.0	LWGR	1968	1970.3.1	1973.9.12	1974.11.1	ROSATOM	REA
	OP	LENINGRAD-2	92.5	100.0	LWGR	1968	1970.6.1	1975.5.6	1976.2.11	ROSATOM	REA
	OP	LENINGRAD-3	92.5	100.0	LWGR	1973	1973.12.1	1979.9.17	1980.6.29	ROSATOM	REA
	OP	LENINGRAD-4	92.5	100.0	LWGR	1975	1975.2.1	1980.12.29	1981.8.29	ROSATOM	REA
	OP	NOVOVORONEZH-3	38.5	41.7	PWR	1965	1967.7.1	1971.12.22	1972.6.29	ROSATOM	REA
	OP	NOVOVORONEZH-4	38.5	41.7	PWR	1965	1967.7.1	1972.12.25	1973.3.24	ROSATOM	REA
	OP	NOVOVORONEZH-5	95.0	100.0	PWR	1969	1974.3.1	1980.4.30	1981.2.20	ROSATOM	REA
	OP	ROSTOV（VOLGODONSK）-1	95.0	100.0	PWR	1978	1981.9.1	2001.2.23	2001.12.25	ROSATOM	REA
	OP	SMOLENSK-1	92.5	100.0	LWGR	1971	1975.10.1	1982.9.10	1983.9.30	ROSATOM	REA
	OP	SMOLENSK-2	92.5	100.0	LWGR	1971	1976.6.1	1985.4.9	1985.7.2	ROSATOM	REA
	OP	SMOLENSK-3	92.5	100.0	LWGR	1981	1984.5.1	1989.12.29	1990.10.12	ROSATOM	REA
	OP	TOMSK-4	9.0	10.0	LWGR	1954	1954	1960.1	1964	ROSATOM	-
	OP	TOMSK-5	9.0	10.0	LWGR	1954	1954	1960.1	1965	ROSATOM	-
	OP	ULIYANOVSK（VK-50）	5.0	6.2	BWR	1961	1962	1964.12	1966	ROSATOM	RIAR
★	OP	BILIBINO-1	1.1	1.2	LWGR	1965	1970.1.1	1973.12.11	1974.4.1	ROSATOM	REA
★	OP	BILIBINO-2	1.1	1.2	LWGR	1965	1970.1.1	1974.12.7	1975.2.1	ROSATOM	REA
★	OP	BILIBINO-3	1.1	1.2	LWGR	1965	1970.1.1	1975.12.6	1976.2.1	ROSATOM	REA
★	OP	BILIBINO-4	1.1	1.2	LWGR	1965	1970.1.1	1976.12.12	1977.1.1	ROSATOM	REA
★	OP	ULIYANOVSK（BOR-60）	1.1	1.2	FBR	1963	1965.7	1968.12	1969.12	ROSATOM	RIAR
	UC	BALAKOVO-5	95.0	100.0	PWR	-	2001	-	2010	ROSATOM	REA
	UC	KURSK-5	92.5	100.0	LWGR	-	1985.12.1	-	2014	ROSATOM	REA
	UC	ROSTOV（VOLGODONSK）-2	95.0	100.0	PWR	-	1981.9.1	-	2008	ROSATOM	REA
	PL	KALININ-4	95.0	100.0	PWR	-	-	-	2010	ROSATOM	REA
	PL	Floating Nuclear Power Plant（海上浮遊型原子力発電所）	-	7.0	PWR	-	2006	-	2010－2011	ROSATOM	-
	CD	BELOYARSK-1	10.2	10.8	LWGR	1958	1958.6.1	1963.9	1964.4.26	ROSATOM	REA
	CD	BELOYARSK-2	14.6	16.0	LWGR	1956	1962.1.1	1967.10.10	1969.12.1	ROSATOM	REA
	CD	KRASNOYARSK-1	-	-	LWGR	-	-	-	1958	ROSATOM	-
	CD	KRASNOYARSK-2	-	-	LWGR	-	-	-	1961	ROSATOM	-

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖），★集計外

主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-440（V-230）
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-440（V-213）
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-440（V-213）
-	-	-	-	-	-	-	-	-			電気・蒸気供給*1 electricity and steam supply
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			RBMK-1000
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			RBMK-1000
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			RBMK-1000
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			RBMK-1000
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ROSATOM			RBMK-1000
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ROSATOM			RBMK-1000
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ROSATOM			RBMK-1000
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ROSATOM			RBMK-1000
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-440（V-179）
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-440（V-179）
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			VVER-1000（V-187）
-	ATEP	ROSATOM	ROSATOM	ROSATOM	ROSATOM	-	-	-			VVER-1000（V-320）
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			RBMK-1000
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			RBMK-1000
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			RBMK-1000
-	-	-	-	-	-	-	-	-			電気・蒸気供給*1*2
-	-	-	-	-	-	-	-	-			電気・蒸気供給*1*2
-	-	-	-	-	ROSATOM	-	-	-			
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			電気・蒸気供給*2
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			電気・蒸気供給*2
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			電気・蒸気供給*2
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	KHTP	ME			電気・蒸気供給*2
-	-	-	-	-	ROSATOM	-	-	-			
-	-	-	-	-	-	-	-	-			VVER-1000
-	ATEP	-	-	-	ROSATOM	-	-	-			RBMK-1000
-	-	-	-	-	-	-	-	-			VVER-1000（V-320）
-	-	-	-	-	-	-	-	-			VVER-1000
-	-	-	-	-	-	-	-	-			KLT-40S＝半一体型PWR
-	-	-	-	-	-	-	-	-			CD 1983.1.1
-	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	-	LMP	ME			CD 1990.1.1
-	-	-	-	-	-	-	-	-			CD 1992*1
-	-	-	-	-	-	-	-	-			CD 1992*1

*1 元プルトニウム生産炉 Former plutonium production reactor
*2 Electricity and steam supply

国・地域	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output(10 MWe)	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
ロシア/Russia	CD	MAYAK-1	–	–	LWGR	–	–	–	1948	ROSATOM	–
	CD	MAYAK-2	–	–	LWGR	–	–	–	1951	ROSATOM	–
	CD	MAYAK-3	–	–	LWGR	–	–	–	1951	ROSATOM	–
	CD	MAYAK-4	–	–	LWGR	–	–	–	1951	ROSATOM	–
	CD	MAYAK-5	–	–	LWGR	–	–	–	1952	ROSATOM	–
	CD	NOVOVORONEZH-1	19.7	21.0	PWR	1958	1957.7.1	1963.12.17	1964.12.31	ROSATOM	REA
	CD	NOVOVORONEZH-2	33.6	36.5	PWR	1964	1964.6.1	1969.12.27	1970.4.14	ROSATOM	REA
	CD	OBNINSK	0.5	0.6	LWGR	1951	1951	1954.5	1954.6.27	ROSATOM	IPPE
	CD	TOMSK-1	9.0	10.0	LWGR	1954	1954	1958.9	1955	–	–
	CD	TOMSK-2	9.0	10.0	LWGR	1954	1954	1959.1	1958	ROSATOM	–
	CD	TOMSK-3	9.0	10.0	LWGR	1954	1954	1960.1	1961	ROSATOM	–
スロバキア Slovak Republic	OP	BOHUNICE-1	40.8	44.0	PWR	1973.4	1974.4	1978.11.7	1979.4	SE	SE-EBO
	OP	BOHUNICE-2	40.8	44.0	PWR	1973.4	1974.4	1980.2.8	1980.5	SE	SE-EBO
	OP	BOHUNICE-3	40.8	44.0	PWR	1975.8	1976.12	1984.6.29	1984.11	SE	SE-EBO
	OP	BOHUNICE-4	40.8	44.0	PWR	1975.8	1976.12	1985.5.7	1985.9	SE	SE-EBO
	OP	MOCHOVCE-1	40.8	44.0	PWR	1980	1981.6	1998.6.9	1998.10.29	SE	SE-EMO
	OP	MOCHOVCE-2	40.8	44.0	PWR	1980	1981.6	1999.12.1	2000.4.11	SE	SE-EMO
	★UC	MOCHOVCE-3	40.8	44.0	PWR	–	1987	–	–	SE	SE-EMO
	★UC	MOCHOVCE-4	40.8	44.0	PWR	–	1987	–	–	SE	SE-EMO
	CD	BOHUNICE A-1	11.0	14.4	HWGCR	1958	1958	1972.10	1972.12.25	CPW-SE	SE-VYZ
スロベニア Slovenia	OP	KRSKO	65.5	70.7	PWR	1973.11	1974.12	1981.9.11	1983.1.1	HEP-ELES-GEN	²NEK
南アフリカ South Africa	OP	KOEBERG-1	90.0	94.5	PWR	1976.8	1978	1984.3.14	1984.7.21	ESKOM	ESKOM
	OP	KOEBERG-2	90.0	94.5	PWR	1976.8	1978	1985.7.7	1985.11.9	ESKOM	ESKOM
	PL	PBMR	–	11.0	HTGR	–	2007	–	2010	PBMR	PBMR
スペイン/Spain	OP	ALMARAZ-1	94.4	97.4	PWR	1971.11	1973.5	1981.4.5	1983.9.1	ID/ENDESA/UFG	CNAT
	OP	ALMARAZ-2	95.3	98.3	PWR	1971.11	1973.9	1983.9.19	1984.7.1	ID/ENDESA/UFG	CNAT
	OP	ASCO-1	99.6	103.2	PWR	1973.7	1974.5	1983.6.17	1984.12.10	ENDESA	ANAV
	OP	ASCO-2	99.2	102.7	PWR	1973.7	1975.3	1985.9.11	1986.3.30	ENDESA/ID	ANAV
	OP	COFRENTES	106.4	109.2	BWR	1971.12	1975.9	1984.8.23	1985.3.11	ID	ID
	OP	JOSE CABRERA（ZORITA）	15.3	16.0	PWR	1962	1964.6	1968.6.30	1969.8.13	UFG	UFG
	OP	SANTA MARIA DE GARONA	44.6	46.6	BWR	1962	1966.5	1970.11.5	1971.5.11	NUCLENOR	NUCLENOR
	OP	TRILLO-1	100.0	106.6	PWR	1975	1980.8	1988.5.14	1988.8.6	ID/UFG/HC G NUCLENOR	CNAT
	OP	VANDELLOS-2	104.5	108.7	PWR	1977.3	1981.6	1987.11.14	1988.3.8	ENDESA/ID	ANAV
	CD	VANDELLOS-1	48.0	50.0	GCR	1966.7	1967.7	1972.2.11	1972.7	HIFRENSA	HIFRENSA
スウェーデン Sweden	OP	FORSMARK-1	96.1	100.8	BWR	1970	1971.11	1980.4.23	1980.12.10	FKA	FKA
	OP	FORSMARK-2	95.9	100.8	BWR	1971	1973.11	1980.11.16	1981.7.7	FKA	FKA

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖），★集計外

発電所 Plant name	主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
MAYAK-1	–	–	–	–	–	–	–	–	–			CD 1987.6.16*1
MAYAK-2	–	–	–	–	–	–	–	–	–			CD 1987.5.25*1
MAYAK-3	–	–	–	–	–	–	–	–	–			CD 1990.11.1*1
MAYAK-4	–	–	–	–	–	–	–	–	–			CD 1989.8.12*1
MAYAK-5	–	–	–	–	–	–	–	–	–			CD 1990.7.14*1
NOVOVORONEZH-1	–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	–	KHTP	ME			CD 1988.2.16
NOVOVORONEZH-2	–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	–	KHTP	ME			CD 1990.8.29
OBNINSK	–	–	–	–	–	ROSATOM	–	–	–			CD 2002.4.30
TOMSK-1	–	–	–	–	–	–	–	–	–			CD 1990.8.21*1
TOMSK-2	–	–	–	–	–	–	–	–	–			CD 1990.12*1
TOMSK-3	–	–	–	–	–	–	–	–	–			CD 1992.8.14*1
BOHUNICE-1	AEE/SKODA	ESL	AEE	AEE	AEE	AEE	AEE	SKODA	HYDROSTAV	65.66	12	VVER-440（V-230）
BOHUNICE-2	AEE/SKODA	ESL	AEE	AEE	AEE	AEE	AEE	SKODA	HYDROSTV	79.44	12	VVER-440（V-230）
BOHUNICE-3	SKODA	ESL	SKODA	SKODA	SKODA	AEE	SKODA	SKODA	HYDROSTAV	72.95	12	VVER-440（V-213）*2
BOHUNICE-4	SKODA	ESL	SKODA	SKODA	SKODA	AEE	SKODA	SKODA	HYDROSTAV	79.96	12	VVER-440（V-213）*2
MOCHOVCE-1	SKODA	EGP	SKODA	SKODA	SKODA	AEE	SKODA	SKODA	HYDROSTAV	81	12	VVER-440（V-213）
MOCHOVCE-2	SKODA	EGP	SKODA	SKODA	SKODA	AEE	SKODA	SKODA	HYDROSTAV	90	12	VVER-440（V-213）
MOCHOVCE-3	SKODA	EGP	SKODA	SKODA	SKODA	AEE	SKODA	SKODA	HYDROSTAV			VVER-440（V-213）建設中断*3
MOCHOVCE-4	SKODA	EGP	SKODA	SKODA	SKODA	AEE	SKODA	SKODA	HYDROSTAV			VVER-440（V-213）建設中断*3
BOHUNICE A-1	SKODA	ESL	SKODA	SKODA	SKODA	AEE	SKODA	SKODA/CKD	HYDROSTAV			CD 1979
KRSKO	WH	GILBERT	WH	WH	WH	WH	WH	WH	HGHD	94.8	18	
KOEBERG-1	FRAMATEG	ESKOM	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	FANP	FRAM/AECSA	ALSTOM	SB	74	16	
KOEBERG-2	FRAMATEG	ESKOM	FRAMATOME	FRAMATOME	FRAMATOME	FANP	FRAM/AECSA	ALSTOM	SB	81	16	
PBMR	–	–	–	–	–	–	–	–	–			
ALMARAZ-1	WH	G&H/EA	WH	WH/ABB CE	WH/ABB CE	WH/ENUSA	WH	WH/BAZAN	EYT			
ALMARAZ-2	WH	G&H/EA	WH	WH/ABB CE	WH/ABB CE	WH/ENUSA	WH	WH/BAZAN	EYT			
ASCO-1	WH	BECHTEL/INITEC	WH	WH/ABB CE	WH	ENUSA	SIEMENS/ENSA	WH/BAZAN	NUCEA			
ASCO-2	WH	BECHTEL/INITEC	WH	WH/ABB CE	WH/ABB CE	ENUSA	SIEMENS/ENSA	WH/BAZAN	NUCEA			
COFRENTES	GE	EA	GE	GE	GE	GE/ENUSA	GE	GE	EYT	98.0	24	
JOSE CABRERA（ZORITA）	WH	TECNATOM	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	EYT	88.3	12	CD 2006.4.30
SANTA MARIA DE GARONA	GE	EBASCO	GE	GE	GE	GE	GE	GE	EYT	90.16	24	
TRILLO-1	SIEMENS（KWU）	EA	SIEMENS（KWU）	SIEMENS（KWU）/ENSA	SIEMENS（KWU）/ENSA	FANP	SIEMENS（KWU）/ENSA	SIEMENS（KWU）/BAZAN	ETOCEA			
VANDELLOS-2	WH	BECHTEL/INITEC	WH	WH/ENSA	WH/ENSA	ENUSA	WH/ENSA	MITSUBISHI/BAZAN	VANEA			
VANDELLOS-1	GC	SOCIA	CEA/SFAC	CB	CEA/SFAC	CEA/SICN	ALSTOM/STEIN	ALSTOM/JS	CB			CD 1990.5
FORSMARK-1	AA	VATTENFALL	AA	UDDCOMB	AA	GE/FANP	AA	SL	VATTENFALL			
FORSMARK-2	AA	VATTENFALL	AA	UDDCOMB	AA	AA	AA	SL	VATTENFALL			

＊1 元プルトニウム生産炉 Former plutonium production reactor
＊2 Electricity and steam supply
＊3 Construction suspended

国・地域	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output(10 MWe)	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
スウェーデン/Sweden	OP	FORSMARK-3	118.5	119.0	BWR	1976.6	1979.1	1984.10.26	1985.9.1	FKA	FKA
	OP	OSKARSHAMN-1	46.7	46.5	BWR	1965	1966	1970.12.12	1972.2.6	EOS/FORTUM	OKG
	OP	OSKARSHAMN-2	60.5	63.0	BWR	1969	1970	1974.3.6	1974.11	EOS/FORTUM	OKG
	OP	OSKARSHAMN-3	115.5	120.5	BWR	1976	1980.5	1984.12.29	1985.8.15	EOS/FORTUM	OKG
	OP	RINGHALS-1	84.0	86.5	BWR	1968	1969	1973.8	1976.1	VATTEN-FALL/EOS	RINGHALS
	OP	RINGHALS-2	87.0	91.0	PWR	1968	1970	1974.6	1975.5	VATTEN-FALL/EOS	RINGHALS
	OP	RINGHALS-3	91.5	96.5	PWR	1971	1972.9	1980.7.29	1981.9.9	VATTEN-FALL/EOS	RINGHALS
	OP	RINGHALS-4	91.5	96.5	PWR	1971	1973.11	1982.5.19	1983.11.21	VATTEN-FALL/EOS	RINGHALS
	CD	ÅGESTA	1.0	1.2	PHWR	1956	1957	1963.7.17	1964.3	ATOMENERGI	VATTENFALL
	CD	BARSEBÄCK-1	60.0	61.5	BWR	1969.6	1971.2	1975.1	1975.7	RINGHALS	BARSEBÄCK KRAFT
	CD	BARSEBÄCK-2	60.0	61.5	BWR	1972.6	1973.1	1977.2.20	1977.9	RINGHALS	BARSEBÄCK KRAFT
スイス/Switzerland	OP	BEZNAU-1	36.5	38.0	PWR	1965	1965	1969.6.30	1969.12	NOK	NOK
	OP	BEZNAU-2	36.5	38.0	PWR	1967	1968	1971.10.16	1972.3	NOK	NOK
	OP	GOSGEN	97.0	102.0	PWR	1973	1973	1979.1.20	1979.11.1	KKG	KKG
	OP	LEIBSTADT	116.5	122.0	BWR	1973.12	1975.4	1984.3.9	1984.12.15	KKL	KKL
	OP	MUHLEBERG	35.5	37.2	BWR	1966	1967	1971.3	1972.11	BKW	BKW
台湾/Taiwan	OP	CHINSHAN-1（金山）	60.4	63.6	BWR	1969	1972.2	1977.10.16	1978.12.10	TPC	TPC
	OP	CHINSHAN-2（金山）	60.4	63.6	BWR	1970	1973.8	1978.11.9	1979.7.15	TPC	TPC
	OP	KUOSHENG-1（国聖）	94.8	98.5	BWR	1973	1975.8	1981.2.1	1981.12.28	TPC	TPC
	OP	KUOSHENG-2（国聖）	94.8	98.5	BWR	1973	1975.10	1982.3.26	1983.3.16	TPC	TPC
	OP	MAANSHAN-1（馬鞍山）	89.0	95.1	PWR	1975	1978.5	1984.3.30	1984.7.27	TPC	TPC
	OP	MAANSHAN-2（馬鞍山）	89.0	95.1	PWR	1975	1978.11	1985.2.1	1985.5.18	TPC	TPC
	UC	LUNGMEN-1（龍門）	130.0	135.0	ABWR	1996	1999.3.31	2005.11.1	2009.7.15	TPC	TPC
	UC	LUNGMEN-2（龍門）	130.0	135.0	ABWR	1996	1999.8.30	2006.11.1	2010.7.15	TPC	TPC
ウクライナ/Ukraina	OP	KHMELNITSKI-1	95.0	100.0	PWR	1976	1981.11	1987.12.10	1988.8.13	MTE	ENERGOATOM
	OP	KHMELNITSKI-2	95.0	100.0	PWR	1979	1985.2	2004.8	2005.9.7	MTE	ENERGOATOM
	OP	ROVNO-1	38.1	40.2	PWR	1971	1976.8	1980.12.17	1981.9.21	MTE	ENERGOATOM
	OP	ROVNO-2	37.6	41.6	PWR	1971	1977.10	1981.12.19	1982.7.30	MTE	ENERGOATOM
	OP	ROVNO-3	95.0	100.0	PWR	1979	1981.2	1986.11.11	1987.5.16	MTE	ENERGOATOM
	OP	SOUTH UKRAINE-1	95.0	100.0	PWR	1973	1977.3	1982.12.9	1983.10.18	MTE	ENERGOATOM
	OP	SOUTH UKRAINE-2	95.0	100.0	PWR	1975	1979.10	1984.12.30	1985.4.6	MTE	ENERGOATOM
	OP	SOUTH UKRAINE-3	95.0	100.0	PWR	1980	1985.2	1989.9.1	1989.12.29	MTE	ENERGOATOM
	OP	ZAPOROZHE-1	95.0	100.0	PWR	1978	1980.4	1984.12.7	1985.12.25	MTE	ENERGOATOM
	OP	ZAPOROZHE-2	95.0	100.0	PWR	1980	1981.4	1985.6.28	1986.2.15	MTE	ENERGOATOM
	OP	ZAPOROZHE-3	95.0	100.0	PWR	1980	1982.4	1986.12.4	1986.12.4	MTE	ENERGOATOM
	OP	ZAPOROZHE-4	95.0	100.0	PWR	1980	1984.1	1987.12.15	1987.12.15	MTE	ENERGOATOM

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖）

主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers: 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
AA	VATTENFALL	AA	UDDCOMB	AA	AA/SIEMENS (KWU)	AA	SL	VATTENFALL			
AA	AA	AA	GHH	AA	FANP	AA	SL	ARMERAD-B			
AA	VBB	AA	UDDCOMB	AA	FANP	AA	SL/BBC	ARMERAD-B			
AA	VBB	AA	UDDCOMB	AA	FANP	AA	SL/BBC	BOA			
AA/EE	VATT/G&H	AA	B&W/IHI	AA	AA	AA	WH	VATTENFALL	83	12	
WH/SL	VATTENFALL	WH MONITOR	RDM	WH MONITOR	WH MONITOR	SIEMENS (KWU)	SL/ASEA	VATTENFALL	75	12	
WH	VATTENFALL	WH MONITOR	UDDCOMB	WH MONITOR	WH MONITOR	WH MONITOR	SL	VATTENFALL	90	12	
WH	VATTENFALL	WH MONITOR	UDDCOMB	WH	WH	WH	SL	VATTENFALL	89	12	
ASEA	ATOMENERGI	ATOMENERGI	UDDEHOLMS	ASEA	ATOMENERGI	ASEA	LJUNGSTROM	DISTRID H.			CD 1974.6.2
AA	VBB	AA	UDDCOMB	UDDCOMB	AA/SIEMENS (KWU)	MANNESMANN	SL/ASEA	SKANSKA			CD 1999.12.1
AA	VBB	AA	UDDCOMB	UDDCOMB	AA	MANNESMANN	SL/ASEA	SKANSKA			CD 2005.5.31
WH/BBC	G&H/BBC	WH	SFAC	WH	FANP	FRAMATOME	BBC	ZSCHOKKE			
WH/BBC	G&H/BBC	WH	SFAC	WH	FANP	FRAMATOME	BBC	ZSCHOKKE			
SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SULZER	SULZER	FANP	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)	SIEMENS (KWU)/ARGE	89.5	12	
BBC/GETSCO	BBC/EW	GETSCO	SULZER/RDM	GETSCO	GE/ABB	–	BBC	BBC/EW			
BBC/GETSCO	BBC/E&B/GETSCO	GETSCO	RDM/SULZER	GETSCO	GETSCO	BBC	BBC	E&B	90.6	12	
GE	EBASCO	GE	JSW	GE	FANP	GE	WH	TPC	85.93	18	
GE	EBASCO	GE	JSW	GE	FANP	GE	WH	TPC	85.15	18	
GE	BECHTEL	GE	CB&I	GE	FANP	GE	WH	TPC	97.48	18	
GE	BECHTEL	GE	CB&I	GE	FANP	GE	WH	TPC	80.79	18	
WH	BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	GE	TPC	96.62	18	
WH	BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	GE	TPC	84.14	18	
GE	S&W	GE	–	GE	GE	GE	MHI	TPC			C-63.75%
GE	S&W	GE	–	GE	GE	GE	MHI	TPC			C-63.75%
–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME	82.2	12	VVER-1000（V-320）
–	ATEP	–	–	–	ROSATOM	–	KHTP	–	–	–	VVER-1000（V-320）
OKB GIDROPRESS	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME	71.3	12	VVER-440（V-213）
OKB GIDROPRESS	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME	76.7	12	VVER-440（V-213）
OKB GIDROPRESS	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME	59.0	12	VVER-1000（V-320）
ATOMENERGOSTROYunion	ATEP	MTM	MTM	MTM	TVEL	MTM	KHTP	ME	73.67	11.1	VVER-1000（V-320）
ATOMENERGOSTROYunion	ATEP	MTM	MTM	MTM	TVEL	MTM	KHTP	ME	78.68	11.5	VVER-1000（V-320）
ATOMENERGOSTROYunion	ATEP	MTM	MTM	MTM	TVEL, WH	MTM	LMS	ME	82.27	11.8	VVER-1000（V-320）
–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME	72,54	12	VVER-1000（V-320）
–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME	76.0	12	VVER-1000（V-320）
–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME	75.8	12	VVER-1000（V-320）
–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME	78.9	12	VVER-1000（V-320）

国・地域	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) Output(10 MWe) ネット Net	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
ウクライナ/Ukraina	OP	ZAPOROZHE-5	95.0	100.0	PWR	1983	1985.7	1989.7.20	1989.10.27	MTE	ENERGOATOM
	OP	ZAPOROZHE-6	95.0	100.0	PWR	1983	1986.6	1995.10.6	1996.9.16	MTE	ENERGOATOM
	UC	KHMELNITSKI-3	95.0	100.0	PWR	1983	1986.3	–	–	MTE	ENERGOATOM
	UC	KHMELNITSKI-4	95.0	100.0	PWR	1984	1987.2	–	–	MTE	ENERGOATOM
	UC	ROVNO-4	95.0	100.0	PWR	1983	1986.8	2004.10	2006.1.21	MTE	ENERGOATOM
	CD	CHERNOBYL-1	72.5	80.0	LWGR	1971	1972.6	1977.8.2	1978.5.27	[3]MOE	–
	CD	CHERNOBYL-2	92.5	100.0	LWGR	1971	1973.2	1978.11.17	1979.5.28	[3]MOE	–
	CD	CHERNOBYL-3	92.5	100.0	LWGR	1974	1977.5	1981.6.2	1982.6.8	[3]MOE	–
	CD	CHERNOBYL-4	92.5	100.0	LWGR	1974	1979.4	1983.11.26	1984.3.26	[3]MOE	–
英国/United Kingdom	OP	DUNGENESS A-1	22.5	28.5	GCR	1959	1960	1965.6	1965.9	NDA	Magnox Electric Ltd.
	OP	DUNGENESS A-2	22.5	28.5	GCR	1959	1960	1965	1965.12	NDA	Magnox Electric Ltd.
	OP	DUNGENESS B-1	55.5	57.5	AGR	1965	1966.9	1982.12.23	1985.4.1	BE	BEG
	OP	DUNGENESS B-2	55.5	57.5	AGR	1965	1966.9	1985.12.4	1986.10	BE	BEG
	OP	HARTLEPOOL-1	60.5	65.0	AGR	1968	1968.12	1983.6.24	1986.9	BE	BEG
	OP	HARTLEPOOL-2	60.5	65.0	AGR	1968	1968.12	1984.9.9	1986.12	BE	BEG
	OP	HEYSHAM A-1	57.5	60.0	AGR	1970	1970.12	1983.4.6	1986.9	BE	BEG
	OP	HEYSHAM A-2	57.5	60.0	AGR	1970	1970.12	1984.6.28	1986.12	BE	BEG
	OP	HEYSHAM B-1	62.5	67.0	AGR	1978	1980	1988.6.23	1989.3.29	BE	BEG
	OP	HEYSHAM B-2	62.5	67.0	AGR	1978	1980	1988.11	1989.3.29	BE	BEG
	OP	HINKLEY POINT B-1	61.0	63.5	AGR	1967	1967	1976.2	1976.6	BE	BEG
	OP	HINKLEY POINT B-2	61.0	64.0	AGR	1967	1967	1976.9.24	1977.1	BE	BEG
	OP	HUNTERSTON B-1	59.5	62.3	AGR	1967	1968	1975	1976.6	BE	BEG UK
	OP	HUNTERSTON B-2	59.5	62.3	AGR	1967	1967	1976	1977.5	BE	BEG UK
	OP	OLDBURY-1	21.7	23.0	GCR	1961	1962	1967.8	1968.1	NDA	Magnox Electric Ltd.
	OP	OLDBURY-2	21.7	23.0	GCR	1961	1962	1967.8	1968.1	NDA	Magnox Electric Ltd.
	OP	SIZEWELL A-1	21.0	25.0	GCR	1960	1961	1965.6	1966.1	NDA	Magnox Electric Ltd.
	OP	SIZEWELL A-2	21.0	25.0	GCR	1960	1961	1965.12	1966.3	NDA	Magnox Electric Ltd.
	OP	SIZEWELL B	118.8	125.8	PWR	1987	1987.6	1995.1.31	1995.9.22	BE	BEG
	OP	TORNESS-1	62.5	68.2	AGR	1978	1980.8	1988.1	1989.3	BE	BEG UK
	OP	TORNESS-2	62.5	68.2	AGR	1978	1980.8	1988.9	1989.5.13	BE	BEG UK
	OP	WYLFA-1	49.0	56.5	GCR	1963	1963	1969.11	1971.11	NDA	Magnox Electric Ltd.
	OP	WYLFA-2	49.0	56.5	GCR	1963	1963	1970.9	1972.1	NDA	Magnox Electric Ltd.
	CD	BERKELEY-1	13.8	16.0	GCR	1956	1957	1961.8	1962.6	NDA	BNFL
	CD	BERKELEY-2	13.8	16.0	GCR	1956	1957	1962.3	1962.10	NDA	BNFL
	CD	BRADWELL-1	12.3	12.9	GCR	1956	1957	1961.8	1962.6	NDA	BNFL
	CD	BRADWELL-2	12.3	12.9	GCR	1956	1957	1962.4	1962.11	NDA	BNFL

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖）

発電所 Plant name	主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
ZAPOROZHE-5	–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME	76.1	12	VVER-1000（V-320）
ZAPOROZHE-6	–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME	70.3	12	VVER-1000（V-320）
KHMELNITSKI-3	–	ATEP	–	–	–	ROSATOM	–	KHTP	–			VVER-1000
KHMELNITSKI-4	–	ATEP	–	–	–	ROSATOM	–	KHTP	–			VVER-1000
ROVNO-4	OKB GIDROPRESS	ATEP	–	–	–	ROSATOM	–	KHTP	–			VVER-1000（V-320）
CHERNOBYL-1	–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME			CD 1998.11.30 RBMK-1000
CHERNOBYL-2	–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	–	KHTP	ME			CD 1991.10.11 RBMK-1000
CHERNOBYL-3	–	ATEP	MTM	MTM	MTM	ROSATOM	MTM	KHTP	ME			CD 2000.12.15 RBMK-1000
CHERNOBYL-4	–	–	MTM	–	–	–	–	KHTP	ME			CD 1986.4.26 RBMK-1000
DUNGENESS A-1	TNPG	TNPG	TNPG	WHESSOE	TNPG	Springfields Fuels Ltd.	CC/JT	CAP	MCALPINE	80		
DUNGENESS A-2	TNPG	TNPG	TNPG	WHESSOE	TNPG	Springfields Fuels Ltd.	CC/JT	CAP	MCALPINE	64		
DUNGENESS B-1	NPC	NPC	NPC	BB	FEL	Springfields Fuels Ltd.	ICL/B&W	CAP	BB			2005 運転認可10年延長*1
DUNGENESS B-2	NPC	NPC	NPC	BB	FEL	Springfields Fuels Ltd.	ICL/B&W	CAP	BB			
HARTLEPOOL-1	NPC	NPC	NPC	TWC/B&W	GEC	Springfields Fuels Ltd.	B&W	GEC	TWC			
HARTLEPOOL-2	NPC	NPC	NPC	TWC/B&W	GEC	Springfields Fuels Ltd.	B&W	GEC	TWC			
HEYSHAM A-1	NPC	NPC	NPC	TWC/B&W	GEC	Springfields Fuels Ltd.	B&W	GEC	TWC			
HEYSHAM A-2	NPC	NPC	NPC	TWC/B&W	GEC	Springfields Fuels Ltd.	B&W	GEC	TWC			
HEYSHAM B-1	NNC	NNC	NNC	TWC/B&W	GEC	Springfields Fuels Ltd.	B&W	NEI/B&W	TWC			
HEYSHAM B-2	NNC	NNC	NNC	TWC/B&W	GEC	Springfields Fuels Ltd.	B&W	NEI/B&W	TWC			
HINKLEY POINT B-1	NPC	NPC	NPC	MCALPINE/WHESSOE	NPC	Springfields Fuels Ltd.	CC/JT	AEI/AP	MCALPINE			
HINKLEY POINT B-2	NPC	NPC	NPC	MCALPINE/WHESSOE	NPC	Springfields Fuels Ltd.	CC/JT	AEI/AP	MCALPINE			
HUNTERSTON B-1	NPC	NPC	NPC	MCALPINE/WHESSOE	NPC	Springfields Fuels Ltd.	NEI-NSL	CAP	MCALPINE			
HUNTERSTON B-2	NPC	NPC	NPC	MCALPINE/WHESSOE	NPC	Springfields Fuels Ltd.	NEI-NSL	CAP	MCALPINE			
OLDBURY-1	TNPG	TNPG	TNPG	MCALPINE/WHESSOE	TNPG	Springfields Fuels Ltd.	CC/JT	AEI/CAP	MCALPINE	39		
OLDBURY-2	TNPG	TNPG	TNPG	MCALPINE/WHESSOE	TNPG	Springfields Fuels Ltd.	CC/JT	AEI/CAP	MCALPINE	41		
SIZEWELL A-1	EE/B&W/TWC	EE/B&W/TWC	EE/B&W/TWC	B&W	EE	Springfields Fuels Ltd.	B&W	EE	TWC	94		
SIZEWELL A-2	EE/B&W/TWC	EE/B&W/TWC	EE/B&W/TWC	B&W	EE	Springfields Fuels Ltd.	B&W	EE	TWC	83		
SIZEWELL B	–	CEGB	PPP	FRAMATOME	–	FANP	WH	ALSTOM	JL			
TORNESS-1	NNC	NNC	NNC	MCALPINE/WHESSOE	NNC	Springfields Fuels Ltd.	NEI-NSL	GEC	MCALPINE			
TORNESS-2	NNC	NNC	NNC	MCALPINE/WHESSOE	NNC	Springfields Fuels Ltd.	NEI-NSL	GEC	MCALPINE			
WYLFA-1	EE/B&W/TWC	EE/B&W/TWC	EE/B&W/TWC	TWC/B&W	EE	Springfields Fuels Ltd.	B&W	EE	TWC	67		
WYLFA-2	EE/B&W/TWC	EE/B&W/TWC	EE/B&W/TWC	TWC/B&W	EE	Springfields Fuels Ltd.	B&W	EE	TWC	90		
BERKELEY-1	TNPG	TNPG	TNPG	JT	TNPG	BNFL	JT	AEI	JL/BB			CD 1984.3.31
BERKELEY-2	TNPG	TNPG	TNPG	JT	TNPG	BNFL	JT	AEI	JL/BB			CD 1984.3.31
BRADWELL-1	TNPG	TNPG	TNPG	WHESSOE	TNPG	BNFL	CC	PAR/REYRO	MCALPINE			CD 2002.3.31
BRADWELL-2	TNPG	TNPG	TNPG	WHESSOE	TNPG	BNFL	CC	PAR/REYRO	MCALPINE			CD 2002.3.31

*1 License renewal by 10 years

国・地域	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output (10 MWe)	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
英国/United Kingdom	CD	CALDER HALL-1	4.8	6.0	GCR	1953	1953.8	1956.5	1956.10.17	NDA	BNFL
	CD	CALDER HALL-2	4.8	6.0	GCR	1953	1953.8	1956.12	1957.2	NDA	BNFL
	CD	CALDER HALL-3	4.8	6.0	GCR	1953	1953.8	1958.3	1958.5	NDA	BNFL
	CD	CALDER HALL-4	4.8	6.0	GCR	1953	1953.8	1958.12	1959.4	NDA	BNFL
	CD	CHAPELCROSS-1	4.9	6.0	GCR	1953	1955.10	1958.11	1959.2	NDA	BNFL
	CD	CHAPELCROSS-2	4.9	6.0	GCR	1953	1955.10	1959.6	1959.8	NDA	BNFL
	CD	CHAPELCROSS-3	4.9	6.0	GCR	1953	1955.10	1959.9	1959.12	NDA	BNFL
	CD	CHAPELCROSS-4	4.9	6.0	GCR	1953	1955.10	1959.12	1960.3	NDA	BNFL
	CD	DOUNREAY DFR	1.3	1.5	FBR	–	1955.3	1959.11	1963.7	NDA	UKAEA
	CD	DOUNREAY PFR	23.4	25.0	FBR	1966	1966	1974.3.1	1976.8	NDA	UKAEA
	CD	HINKLEY POINT A-1	23.5	32.1	GCR	1957	1957	1964.5	1965.5	NDA	BNFL
	CD	HINKELY POINT A-2	23.5	32.1	GCR	1957	1957	1965	1965.5	NDA	BNFL
	CD	HUNTERSTON A-1	15.0	16.9	GCR	1956	1957	1963.9	1964.5	NDA	BNFL
	CD	HUNTERSTON A-2	15.0	16.9	GCR	1956	1957	1964.4	1964.9	NDA	BNFL
	CD	TRAWSFYNYDD-1	19.5	23.5	GCR	1958	1959	1964.9	1965.2	NDA	BNFL
	CD	TRAWSFYNYDD-2	19.5	23.5	GCR	1958	1959	1964.12	1965.3	NDA	BNFL
	CD	WINDSCALE (SELLAFIELD)	2.8	3.6	AGR	1958	1958.11	1962.8	1963.2	NDA	UKAEA
	CD	WINFRITH SGHWR	9.2	10.2	SGHWR	1963	1963.5	1967.9	1968.2	NDA	UKAEA
米国/United States America	OP	ALVIN W.VOGTLE-1	114.8	120.1	PWR	1971.9	1974.6	1987.3.9	1987.5.31	'GP/*	SNC
	OP	ALVIN W.VOGTLE-2	114.9	119.9	PWR	1971.9	1974.6	1989.3.28	1989.5.20	'GP/*	SNC
	OP	ARKANSAS NUCLEAR ONE-1	83.6	88.3	PWR	1967.4	1968.12	1974.8.6	1974.12.19	ENTERGY A	ENTERGY N
	OP	ARKANSAS NUCLEAR ONE-2	85.8	89.7	PWR	1970.5	1972.12	1978.12.5	1980.3.26	ENTERGY A	ENTERGY N
	OP	BEAVER VALLEY-1	83.0	89.1	PWR	1967.9	1970.6	1976.5.10	1976.10.1	FE	FENOC
	OP	BEAVER VALLEY-2	83.0	89.1	PWR	1971.9	1974.5	1987.8.4	1987.11.17	FE	FENOC
	OP	BRAIDWOOD-1	121.2	126.0	PWR	1972.9	1975.12	1987.5.30	1988.7.29	EXELON G	EXELON N
	OP	BRAIDWOOD-2	117.6	123.2	PWR	1972.9	1975.12	1988.3.8	1988.10.17	EXELON G	EXELON N
	★OP	BROWNS FERRY-1	106.5	109.8	BWR	1966.6	1967.5	1973.8.17	1974.8.1	TVA	TVA
	OP	BROWNS FERRY-2	111.8	115.5	BWR	1966.6	1967.5	1974.7.20	1975.3.1	TVA	TVA
	OP	BROWNS FERRY-3	111.8	115.5	BWR	1967.6	1968.7	1976.8.8	1977.3.1	TVA	TVA
	OP	BRUNSWICK-1	93.8	96.2	BWR	1968.1	1970.2	1976.10.8	1977.3.18	PROGRESS/ NCEMPA	PROGRESS
	OP	BRUNSWICK-2	90.0	92.5	BWR	1968.1	1970.2	1975.3.20	1975.11.3	PROGRESS/ NCEMPA	PROGRESS
	OP	BYRON-1	119.5	125.6	PWR	1971.4	1975.12	1985.2.2	1985.9.16	EXELON G	EXELON N
	OP	BYRON-2	116.9	122.4	PWR	1971.4	1975.12	1987.1.9	1987.8.21	EXELON G	EXELON N
	OP	CALLAWAY	119.0	124.6	PWR	1973	1976.4	1984.10.2	1984.12.19	AMEREN UE	AMEREN UE
	OP	CALVERT CLIFFS-1	84.5	88.0	PWR	1967.5	1969.7	1974.10.7	1975.5.8	CEG	CEG
	OP	CALVERT CLIFFS-2	84.5	88.0	PWR	1967.5	1969.7	1976.11.30	1977.4.1	CEG	CEG

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖），★集計外

発電所 Plant name	主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers: 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
CALDER HALL-1	TWC ETC.	UKAEA	UKAEA	WHESSOE	UKAEA	BNFL	B&W	CAP	TWC			CD 2003.3.31
CALDER HALL-2	TWC ETC.	UKAEA	UKAEA	WHESSOE	UKAEA	BNFL	B&W	CAP	TWC			CD 2003.3.31
CALDER HALL-3	TWC ETC.	UKAEA	UKAEA	WHESSOE	UKAEA	BNFL	B&W	CAP	TWC			CD 2003.3.31
CALDER HALL-4	TWC ETC.	UKAEA	UKAEA	WHESSOE	UKAEA	BNFL	B&W	CAP	TWC			CD 2003.3.31
CHAPELCROSS-1	MITCHELS.	UKAEA	UKAEA	WHESSOE	UKAEA	BNFL	B&W	CAP	TWC			CD 2004.6.29
CHAPELCROSS-2	MITCHELS.	UKAEA	UKAEA	WHESSOE	UKAEA	BNFL	B&W	CAP	TWC			CD 2004.6.29
CHAPELCROSS-3	MITCHELS.	UKAEA	UKAEA	WHESSOE	UKAEA	BNFL	B&W	CAP	TWC			CD 2004.6.29
CHAPELCROSS-4	MITCHELS.	UKAEA	UKAEA	WHESSOE	UKAEA	BNFL	B&W	CAP	TWC			CD 2004.6.29
DOUNREAY DFR	JT	UKAEA	UKAEA	JT	JT	BNFL	JT	GEC	WHATLIHNGS			CD 1977.3
DOUNREAY PFR	TNPG	UKAEA/ TNPG	UKAEA/ TNPG	B&W	B&W	BNFL	B&W	EE	TWC			CD 1994.3.31
HINKLEY POINT A-1	EE/B&W/ TWC	EE/B&W/ TWC	EE/B&W/ TWC	B&W	EE	BNFL	B&W	EE	TWC			CD 2000.5.23
HINKELY POINT A-2	EE/B&W/ TWC	EE/B&W/ TWC	EE/B&W/ TWC	B&W	EE	BNFL	B&W	EE	TWC			CD 2000.5.23
HUNTERSTON A-1	GEC/SC	GEC/SC	GEC	MB	GEC	BNFL	SC	GEC	MOWLEM			CD 1990.4.1
HUNTERSTON A-2	GEC/SC	GEC/SC	GEC	MB	GEC	BNFL	SC	GEC	MOWLEM			CD 1990.4.1
TRAWSFYNYDD-1	APC	APC	APC	B&W	FEL	BNFL	ICL	RW	NCC			CD 1993.7.20
TRAWSFYNYDD-2	APC	APC	APC	B&W	FEL	BNFL	ICL	RW	NCC			CD 1993.7.20
WINDSCALE (SELLAFIELD)	(VARIOUS)	UKAEA	UKAEA	WHESSOE	UKAEA	BNFL	ICL	EE	UKAEA			CD 1981.4
WINFRITH SGHWR	(VARIOUS)	UKAEA	UKAEA	FEL/JT	FEL/ICL	BNFL	ICL	AEI/RPI	TURRIFF			CD 1990
ALVIN W.VOGTLE-1	WH	SS/ BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	GE	GP			
ALVIN W.VOGTLE-2	WH	SS/ BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	GE	GP			
ARKANSAS NUCLEAR ONE-1	BECHTEL	BECHTEL	B&W	B&W	B&W	FANP	B&W	WH	BECHTEL			
ARKANSAS NUCLEAR ONE-2	BECHTEL	BECHTEL	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	GE	BECHTEL			運転認可延長承認*1 2005.7.1
BEAVER VALLEY-1	WH	S&W	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	S&W			
BEAVER VALLEY-2	WH	S&W	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	S&W			
BRAIDWOOD-1	WH	S&L	WH	B&W	WH	WH	WH	WH	COM ED			
BRAIDWOOD-2	WH	S&L	WH	B&W	WH	WH	WH	WH	COM ED			
BROWNS FERRY-1	GE	TVA	GE	GE	GE	GE	GE	GE	TVA			85年3月以来，休止 shut down since 1985
BROWNS FERRY-2	GE	TVA	GE	GE	GE	GE	GE	GE	TVA			運転認可延長申請*2 2004.1.6
BROWNS FERRY-3	GE	TVA	GE	GE	GE	GE	GE	GE	TVA			
BRUNSWICK-1	GE	UE&C	GE	CB&I	GE	GE	GE	GE	BROWN	94.4	24	運転認可延長申請*2 2004.10.20
BRUNSWICK-2	GE	UE&C	GE	CB&I	GE	GE	GE	GE	BROWN	86.0	24	
BYRON-1	WH	S&L	WH	B&W	WH	WH	WH	WH	COM ED			
BYRON-2	WH	S&L	WH	B&W	WH	WH	WH	WH	COM ED			
CALLAWAY	DANIEL	BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	GE	BECHTEL S&P	73.86	18	
CALVERT CLIFFS-1	ABB CE	BECHTEL	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	GE	BECHTEL			
CALVERT CLIFFS-2	ABB CE	BECHTEL	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	WH	BECHTEL			

＊1 Approved license renewal
＊2 Application of license renewal

国・地域	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output (10 MWe)	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
米国/United States America	OP	CATAWBA-1	112.9	120.5	PWR	1970.12	1974.6	1985.1.7	1985.6.29	DUKE/*	DUKE
	OP	CATAWBA-2	112.9	120.5	PWR	1970.12	1974.6	1986.5.8	1986.8.19	NCMPA/PMPA	DUKE
	OP	CLINTON-1	103.3	106.8	BWR	1973.1	1976.2	1987.2.27	1987.4.24	AmerGen	AmerGen
	OP	COLUMBIA	111.2	115.8	BWR	1971.3	1973.3	1984.1.19	1984.12.13	ENERGY NW	ENERGY NW
	OP	COMANCHE PEAK-1	115.0	116.1	PWR	1972.10	1974.12	1990.4	1990.8.13	TXU	TXU
	OP	COMANCHE PEAK-2	115.0	116.1	PWR	1972.10	1974.12	1993.3.24	1993.8	TXU	TXU
	OP	COOPER	77.8	80.1	BWR	1967.4	1968.6	1974.2.21	1974.7.4	NPPD	NPPD
	OP	CRYSTAL RIVER-3	83.4	88.5	PWR	1967.2	1968.9	1977.1.14	1977.3.13	PROGRESS/SEC/OUC	PROGRESS
	OP	DAVIS BESSE	90.6	91.5	PWR	1968.10	1971.3	1977.8.12	1978.7.31	FE	FENOC
	OP	DIABLO CANYON-1	107.3	112.4	PWR	1966.11	1968.4	1984.4.29	1985.5.7	PG&E	PG&E
	OP	DIABLO CANYON-2	108.7	113.7	PWR	1968.7	1970.12	1985.8.19	1986.3.13	PG&E	PG&E
	OP	DONALD C.COOK-1	99.4	102.0	PWR	1967.7	1969.3	1975.1.18	1975.8.27	I&M	I&M
	OP	DONALD C.COOK-2	106.0	109.0	PWR	1967.7	1969.3	1978.3.10	1978.7.1	I&M	I&M
	OP	DRESDEN-2	87.1	91.2	BWR	1965.2	1966.1	1970.1.7	1970.8.11	EXELON G	EXELON N
	OP	DRESDEN-3	87.1	91.2	BWR	1966.1	1966.10	1971.1.31	1971.10.30	EXELON G	EXELON N
	OP	DUANE ARNOLD-1	53.8	56.5	BWR	1968.3	1970.6	1974.3.23	1975.2.1	AEC/CIPC/CBPC	NMC
	OP	EDWIN I. HATCH-1	86.3	89.8	BWR	1967.12	1969.9	1974.9.12	1975.12.31	[2]GP/*	SNC
	OP	EDWIN I. HATCH-2	87.8	91.6	BWR	1970.2	1972.12	1978.7.4	1979.9.5	[2]GP/*	SNC
	OP	ENRICO FERMI-2	115.0	121.7	BWR	1968.8	1972.9	1985.6.21	1988.1.23	DE	DE
	OP	FORT CALHOUN-1	47.8	50.2	PWR	1966.10	1968.6	1973.8.8	1973.9.26	OPPD	OPPD
	OP	GRAND GULF-1	125.0	130.6	BWR	1972.1	1974.9	1982.8.18	1985.7.1	SERI/SMEPA	ENTERGY N
	OP	H.B.ROBINSON-2	71.0	74.5	PWR	1966.1	1967.4	1970.9.20	1971.3.7	PROGRESS	PROGRESS
	OP	HOPE CREEK-1	106.7	111.7	BWR	1969.8	1974.11	1986.6.28	1986.12.20	PSEG	PSEG
	OP	INDIAN POINT-2	95.5	97.5	PWR	1965.11	1966.10	1973.5.22	1974.8.1	ENTERGY NO	ENTERGY N
	OP	INDIAN POINT-3	99.0	102.3	PWR	1967.4	1969.8	1976.4.6	1976.8.30	ENTERGY NO	ENTERGY N
	OP	JAMES A.FITZPATRICK	80.0	82.9	BWR	1968.8	1970.5	1974.11.17	1975.7.28	ENTERGY NO	ENTERGY N
	OP	JOSEPH M.FARLEY-1	83.3	87.7	PWR	1969.5	1972.8	1977.8.9	1977.12.1	APC	SNC
	OP	JOSEPH M.FARLEY-2	84.2	88.4	PWR	1970.12	1972.8	1981.5.8	1981.7.30	APC	SNC
	OP	KEWAUNEE-1	56.8	59.0	PWR	1967.2	1968.8	1974.3.7	1974.6.16	DOMINION	DOMINION
	OP	LASALLE-1	113.8	119.0	BWR	1970.5	1973.9	1982.6.21	1984.1.1	EXELON G	EXELON N
	OP	LASALLE-2	115.0	119.1	BWR	1970.5	1973.9	1984.3.10	1984.10.19	EXELON G	EXELON N
	OP	LIMERICK-1	115.6	119.6	BWR	1967.10	1974.6	1984.12.22	1986.2.1	EXELON G	EXELON N
	OP	LIMERICK-2	115.6	119.6	BWR	1967.10	1974.6	1989.8.11	1990.1.8	EXELON G	EXELON N
	OP	MILLSTONE-2	87.3	90.8	PWR	1967.12	1970.12	1975.10.17	1975.12.26	DOMINION	DOMINION
	OP	MILLSTONE-3	114.8	120.9	PWR	1972.10	1974.8	1986.1.23	1986.4.23	DOMINION*	DOMINION
	OP	MONTICELLO	54.5	56.9	BWR	1966.4	1967.6	1970.12.10	1971.6.30	XCEL E	NMC

状況略語：OP（運転中）、SD（休止中）、UC（建設中）、PL（計画中）、CD（閉鎖）

主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
WH	DUKE	WH	WH	WH	WH	WH	GE	DUKE	92.79	18	
WH	DUKE	WH	WH	WH	WH	WH	GE	DUKE	102.11	18	
BA	S&L	GE	CB&I	GE	GE	GE	GE	BA			事前サイト許可申請*1 2003.9.25
BECHTEL	B&R	GE	CB&I	GE	ABB CE	–	WH	B&R			
WH	G&H	WH	WH	WH	FANP	WH	AC	BROWN			
WH	G&H	WH	WH	WH	FANP	WH	AC	BROWN			
GE	B&R	GE	ABB CE	GE	GE	GE	WH	B&R			
JONES	GILBERT	B&W	B&W	B&W	FANP	GILBERT	WH	JONES	86.5	24	
BECHTEL	BECHTEL	B&W	B&W	B&W	FANP	B&W	GE	BECHTEL			
WH	PG&EC/BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	PG&EC/BECHTEL			
WH	PG&EC/BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	PG&EC/BECHTEL			
WH	AEPS	WH	ABB CE	WH	WH	WH	GE	AEPS			運転認可延長承認*2 2005.8.30
WH	AEPS	WH	CB&I	WH	WH	WH	BBC	AEPS			
GE	S&L	GE	B&W	GE	FANP	GE	GE	UE&C			
GE	S&L	GE	B&W	GE	FANP	GE	GE	UE&C			
GE	BECHTEL	GE	CB&I	GE	GE	GE	GE	BECHTEL			2006.1 FPL Energy, IP&L（AECの子会社）より買収（Acquisition from IP&L by FPL Energy）
GE	SS/BECHTEL	GE	ABB CE	GE	GE	GE	GE	GP			
GE	SS/BECHTEL	GE	ABB CE	GE	GE	GE	GE	GP			
GE	DE/S&L	GE	GE	GE	GE	GE	GE/EE	DANIEL	91.9	18	
ABB CE	G&H	ABB CE	ABB CE	ABB CE/ANF	WH	ABB CE	GE	G&H/D&R			
BECHTEL	BECHTEL	GE	CB&I	GE	GE	SIEMENS (KWU)	AC	BECHTEL			事前サイト許可申請*1 2003.10.21
WH	EBASCO	WH	ABB CE	WH	FANP	WH	WH	EBASCO	92.8	18	
GE	BECHTEL	GE	Hitachi	GE	GE	GE	GE	BECHTEL			
WH	UE&C	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	UE&C			
WH	UE&C	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	UE&C/WH			
S&W	S&W	GE	ABB CE	GE	GE	GE	GE	S&W			
WH	SS/BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	DANIEL			運転認可延長承認*2 2005.5.12
WH	SS/BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	DANIEL			
WH	PIONEER	WH	ABB CE	WH	FANP	WH	WH	PIONEER	95.5	18	2005.7 WPSCとAEより買収(Acquisition from WPSC and AEC)
GE	S&L	GE	ABB CE	GE	FANP	–	GE	COM ED			
GE	S&L	GE	ABB CE	GE	FANP	–	GE	COM ED			
GE/BECHTEL	BECHTEL	GE	CB&I	GE	GE	GE	GE	BECHTEL			
GE/BECHTEL	BECHTEL	GE	CB&I	GE	GE	GE	GE	BECHTEL			
ABB CE	BECHTEL	ABB CE	ABB CE	ABB CE	FANP	ABB CE	GE	BECHTEL	88.3	18	運転認可延長承認*2 2005.11.28
WH	S&W	WH	ABB CE	WH	WH	WH	GE	S&W	86.4	18	
GE	BECHTEL	GE	CB&I	GE	GE	GE	GE	BECHTEL			運転認可延長申請*3 2005.3.24

*1 Apprication of Early Site Permit (ESP)
*2 Approved license renewal
*3 Apprication of license renewal

米国
United States of America

国・地域	状況	発電所	電気出力(万kW) ネット	グロス	炉型	発注	着工	臨界	営業運転	所有者	運転者
米国/United States America	OP	NINE MILE POINT-1	61.0	63.5	BWR	1963.10	1965.4	1969.9.5	1969.12.1	CEG	CNG
	OP	NINE MILE POINT-2	114.3	116.9	BWR	1971.9	1975.6	1987.5.23	1988.4.5	CEG/LIPA	CNG
	OP	NORTH ANNA-1	92.5	97.1	PWR	1967.10	1971.2	1978.4.5	1978.6.6	DOMINION	DOMINION
	OP	NORTH ANNA-2	91.7	96.3	PWR	1967.10	1971.2	1980.6.12	1980.12.14	DOMINION	DOMINION
	OP	OCONEE-1	84.6	88.7	PWR	1966.6	1967.3	1973.4.19	1973.7.16	DUKE	DUKE
	OP	OCONEE-2	84.6	88.7	PWR	1966.6	1967.3	1973.11.11	1974.9.9	DUKE	DUKE
	OP	OCONEE-3	84.6	89.3	PWR	1967.4	1967.3	1974.9.5	1974.12.16	DUKE	DUKE
	OP	OYSTER CREEK	62.7	65.4	BWR	1963.12	1964.12	1969.5.3	1969.12.1	AmerGen	AmerGen
	OP	PALISADES	79.8	83.0	PWR	1966.1	1967.3	1971.5.24	1971.12.31	CE	NMC
	OP	PALO VERDE-1	124.3	131.0	PWR	1973.10	1976.5	1985.5.25	1986.1.28	APS/*	APS
	OP	PALO VERDE-2	133.5	140.7	PWR	1973.10	1976.5	1986.4.18	1986.9.19	APS/*	APS
	OP	PALO VERDE-3	124.7	131.9	PWR	1973.10	1976.5	1987.10.25	1988.1.8	APS/*	APS
	OP	PEACH BOTTOM-2	114.2	117.4	BWR	1966.8	1968.2	1973.9.16	1974.7.5	EXELON G/ PSEG	EXELON N
	OP	PEACH BOTTOM-3	111.4	114.4	BWR	1966.8	1968.2	1974.8.7	1974.12.23	EXELON G/ PSEG	EXELON N
	OP	PERRY-1	120.5	125.0	BWR	1972.6	1974.5	1986.6.6	1987.11.18	FE	FENOC
	OP	PILGRIM-1	67.0	69.6	BWR	1965.8	1968.8	1972.6.16	1972.12.1	ENTERGY NG	ENTERGY N
	OP	POINT BEACH-1	48.5	50.9	PWR	1966.2	1967.7	1970.11.2	1970.12.21	WEPCo	NMC
	OP	POINT BEACH-2	48.5	50.9	PWR	1967.2	1968.7	1972.5.30	1972.10.1	WEPCo	NMC
	OP	PRAIRIE ISLAND-1	53.0	56.0	PWR	1967.2	1968.6	1973.12.1	1973.12.16	XCEL E	NMC
	OP	PRAIRIE ISLAND-2	53.0	56.0	PWR	1967.6	1968.6	1974.12.17	1974.12.21	XCEL E	NMC
	OP	QUAD CITIES-1	86.6	91.2	BWR	1966.4	1967.2	1971.10.18	1972.8.16	EXELON G/ MAE	EXELON N
	OP	QUAD CITIES-2	87.1	91.2	BWR	1966.7	1967.2	1972.4.26	1972.10.24	EXELON G/ MAE	EXELON N
	OP	RIVER BEND-1	93.4	100.1	BWR	1972.6	1977.3	1985.10.31	1986.6.16	ENTERGY G	ENTERGY N
	OP	ROBERT E.GINNA	48.3	50.7	PWR	1965.8	1966.5	1969.11.9	1970.6.1	CEG	CEG
	OP	SALEM-1	109.0	113.2	PWR	1966.8	1968.9	1976.12.11	1977.6.30	PSEG/ EXELON G	PSEG
	OP	SALEM-2	111.5	115.8	PWR	1967.6	1968.9	1980.8.8	1981.10.13	PSEG/ EXELON G	PSEG
	OP	SAN ONOFRE-2	107.0	112.7	PWR	1970.1	1974.3	1982.7.26	1983.8.18	SCE/*	SCE
	OP	SAN ONOFRE-3	108.0	112.7	PWR	1970.1	1974.3	1983.8.29	1984.4.1	SCE/*	SCE
	OP	SEABROOK-1	115.0	120.0	PWR	1972.6	1976.7	1989.6.13	1990.8.19	FPL E*	FPL E
	OP	SEQUOYAH-1	114.7	118.6	PWR	1968.4	1970.5	1980.7.5	1981.7.1	TVA	TVA
	OP	SEQUOYAH-2	114.2	118.1	PWR	1968.4	1970.5	1981.11.5	1982.6.1	TVA	TVA
	OP	SHEARON HARRIS-1	90.0	96.0	PWR	1971.4	1978.1	1987.1.3	1987.5.2	PROGRESS/ NCEMPA	PROGRESS
	OP	SOUTH TEXAS PROJECT-1	125.0	131.2	PWR	1973.7	1975.9	1988.3.8	1988.8.24	Texas Genco	STPNOC
	OP	SOUTH TEXAS PROJECT-2	125.0	131.2	PWR	1973.7	1975.9	1989.3.12	1989.6.19	Texas Genco	STPNOC
	OP	ST.LUCIE-1	83.9	87.2	PWR	1967.12	1970.7	1976.4.22	1976.12.21	FPL	FPL
	OP	ST.LUCIE-2	83.9	88.2	PWR	1972.11	1977.5	1983.6.2	1983.8.8	FPL/*	FPL
	Plant status	Plant name	Net Output(10 MWe)	Gross	Type of reactor	Date of order	Date of construction start	Date of initial criticality	Date of commercial operation	Owner	Operator

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖）

発電所	主契約者	アーキテクトエンジニア	供給者 原子炉系統	圧力容器	炉心	燃料	蒸気系統	タービン	土建工事	設備利用率(%)	運転サイクル期間(月)	備考
NINE MILE POINT-1	GE	NIMO	GE	GE	GE	GE	GE	GE	S&W/ NIMO			運転認可延長申請*1 2004.5.27
NINE MILE POINT-2	GE	S&W	GE	GE	GE	GE	GE	GE	S&W			
NORTH ANNA-1	WH	S&W	WH	RDM	WH	WH	WH	WH	S&W	99.9	18	事前サイト許可申請*2 2003.9.25
NORTH ANNA-2	WH	S&W	WH	RDM	WH	WH	WH	WH	S&W	91.3	18	
OCONEE-1	B&W	DUKE/ BECHTEL	B&W	B&W	B&W	FANP	B&W	GE	DUKE	90.68	18	
OCONEE-2	B&W	DUKE/ BECHTEL	B&W	B&W	B&W	FANP	B&W	GE	DUKE	89.92	18	
OCONEE-3	B&W	DUKE/ BECHTEL	B&W	B&W	B&W	FANP	B&W	GE	DUKE	97.65	18	
OYSTER CREEK	GE	B&R	GE	ABB CE	ABB CE/ AVERY	GE/FANP	GE	GE	B&R			運転認可延長申請*1 2005.7.22
PALISADES	ABB CE	BECHTEL	ABB CE	ABB CE	ABB CE	FANP	BECHTEL	WH	BECHTEL			運転認可延長申請*1 2005.3.31
PALO VERDE-1	ABB CE/ BECHTEL	BECHTEL	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	GE	BECHTEL			
PALO VERDE-2	ABB CE/ BECHTEL	BECHTEL	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	GE	BECHTEL			
PALO VERDE-3	ABB CE/ BECHTEL	BECHTEL	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	GE	BECHTEL			
PEACH BOTTOM-2	GE/ BECHTEL	BECHTEL	GE	B&W	GE	GE	GE	GE	BECHTEL			
PEACH BOTTOM-3	GE/ BECHTEL	BECHTEL	GE	B&W	GE	GE	GE	GE	BECHTEL			
PERRY-1	GE	GILBERT	GE	CB&I	GE	GE	–	GE	KAISER			
PILGRIM-1	GE	BECHTEL	GE	ABB CE	GE	GE	GE	GE	BECHTEL			運転認可延長申請*1 2006.1.27
POINT BEACH-1	WH	BECHTEL	WH	B&W	WH	WH	WH	WH	BECHTEL			運転認可延長承認*3 2005.12.22
POINT BEACH-2	WH	BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	BECHTEL			
PRAIRIE ISLAND-1	WH	FLUOR	WH	SFAC	WH	WH	WH	WH	NSP			
PRAIRIE ISLAND-2	WH	FLUOR	WH	SFAC	WH	WH	WH	WH	NSP			
QUAD CITIES-1	GE	S&L	GE	B&W	GE	FANP	GE	GE	UE&C			
QUAD CITIES-2	GE	S&L	GE	B&W	GE	FANP	GE	GE	UE&C			
RIVER BEND-1	S&W	S&W	GE	CB&I	GE	GE	–	GE	S&W			
ROBERT E.GINNA	WH	GILBERT	WH	B&W	WH	WH/ANF	WH	WH	BECHTEL			
SALEM-1	UE&C	PSE&G	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	UE&C			
SALEM-2	UE&C	PSE&G	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH/GE	UE&C			
SAN ONOFRE-2	ABB CE	BECHTEL	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	GE	BECHTEL	97.7	22	
SAN ONOFRE-3	ABB CE	BECHTEL	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	GE	BECHTEL	97.7	22	
SEABROOK-1	UE&C	UE&C	WH	ABB CE	WH	WH	WH	GE	UE&C			
SEQUOYAH-1	WH	TVA	WH	RDM	WH	WH	WH	WH	TVA			
SEQUOYAH-2	WH	TVA	WH	RDM	WH	WH	WH	WH	TVA			
SHEARON HARRIS-1	WH	EBASCO	WH	CB&I	WH	FANP	EBASCO	WH	DANIEL	100.6	18	
SOUTH TEXAS PROJECT-1	EBASCO	BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	EBASCO			
SOUTH TEXAS PROJECT-2	EBASCO	BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	EBASCO			
ST.LUCIE-1	ABB CE	EBASCO	ABB CE	ABB CE	ABB CE	FANP	ABB CE	WH	EBASCO			
ST.LUCIE-2	ABB CE	EBASCO	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	WH	EBASCO			
Plant name	Main contractor	Architect engineer	Suppliers: Reactor system	Reactor vessel	Incore structure	Fuel fabrication	Steam raising	Turbine generator	Civil works	Capacity factor(%)	Operating cycle lengths (months)	Remarks

*1 Apprication of license renewal
*2 Apprication of Early Site Permit (ESP)
*3 Approved license renewal

国・地域	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) ネット Net Output (10 MWe)	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
米国/United States America	OP	SURRY-1	81.0	84.2	PWR	1966.10	1968.6	1972.7.1	1972.12.22	DOMINION	DOMINION
	OP	SURRY-2	81.5	84.7	PWR	1966.10	1968.6	1973.3.7	1973.5.1	DOMINION	DOMINION
	OP	SUSQUEHANNA-1	110.0	113.8	BWR	1968.4	1973.11	1982.9.10	1983.6.8	PPL/AE	PPL
	OP	SUSQUEHANNA-2	114.0	117.8	BWR	1968.4	1973.11	1984.5.8	1985.2.12	PPL/AE	PPL
	OP	THREE MILE ISLAND-1	83.5	88.0	PWR	1966.11	1968.5	1974.6.5	1974.9.2	AmerGen	AmerGen
	OP	TURKEY POINT-3	69.3	72.6	PWR	1965.11	1967.4	1972.10.20	1972.12.14	FPL	FPL
	OP	TURKEY POINT-4	69.3	72.6	PWR	1967.4	1967.4	1973.6.11	1973.9.7	FPL	FPL
	OP	VERMONT YANKEE	51.4	54.0	BWR	1966.8	1967.12	1972.3.24	1972.11.30	ENTERGY NO	ENTERGY N
	OP	VIRGIL C.SUMMER	88.5	95.0	PWR	1971.2	1973.3	1982.10.22	1984.1.1	SCE&G/ SCP	SCE&G
	OP	WATERFORD-3	110.4	115.3	PWR	1970.9	1974.11	1985.3.4	1985.9.24	ENTERGY L	ENTERGY N
	OP	WATTS BAR-1	115.8	121.0	PWR	1970.8	1973.1	1996.1.18	1996.5.27	TVA	TVA
	OP	WILLIAM B.MCGUIRE-1	112.9	122.0	PWR	1969.11	1971.4	1981.8.8	1981.12.1	DUKE	DUKE
	OP	WILLIAM B.MCGUIRE-2	112.9	122.0	PWR	1969.11	1971.4	1983.5.8	1984.3.1	DUKE	DUKE
	OP	WOLF CREEK	116.5	121.3	PWR	1973.7	1977.5	1985.5.22	1985.9.3	Westar/ KCP&L/KEP	WCNOC
	CD	BIG ROCK POINT	7.2	7.5	BWR	1959.12	1960.6	1962.9.27	1965.11.1	CE	CE
	CD	CAROLINAS CVTR	1.7	1.9	HWR	1959.1	1960.5	1963.3.30	1963.12.18	CVNPA	CVNPA
	CD	CONNECTICUT YANKEE	57.0	60.0	PWR	1962.12	1964.5	1967.7.24	1968.1.1	CYAP	CYAP
	CD	DRESDEN-1	20.0	21.0	BWR	1955.7	1956.5	1959.10.15	1960.7.4	EXELON G	EXELON N
	CD	EBR-2（実験炉）	1.6	2.0	FBR	-	1957.12	1963.11.11	1965	DOE	ANL
	CD	ELK RIVER	2.2	2.3	BWR	1958.6	1959.12	1962.11.19	1964.7	RCPA/AEC	RCPA
	CD	ENRICO FERMI-1	6.0	6.5	FBR	1955.4	1957.8	1963.8.23	1966.8.5	PRDC	DE
	CD	FORT ST.VRAIN 原型炉	33.0	34.2	HTGR	1965.3	1968.9	1974.1.31	1979.7.1	PSCC	PSCC
	CD	HALLAM	7.5	8.2	SGR	1957.9	1960.7	1962.8.25	1963.11	NPPD	NPPD
	CD	HUMBOLDT BAY	6.8	7.5	BWR	1958.2	1960.11	1963.2.16	1963.8	PG&EC	PG&EC
	CD	INDIAN POINT-1	26.5	28.5	PWR	1955.2	1958.5	1962.8.2	1962.10	ENTERGY N	ENTERGY N
	CD	LA CROSSE	5.3	5.5	BWR	1962.6	1963.3	1967.7.11	1969.11.1	DPC	DPC
	CD	MAINE YANKEE	86.0	90.0	PWR	1967.2	1968.10	1972.10.23	1972.12.28	MYAP	MYAP
	CD	MILLSTONE-1	66.0	68.9	BWR	1965.9	1966.5	1970.10.26	1971.3.1	DOMINION	DOMINION
	CD	N REACTOR	85.0	86.0	LWGR	1958	1959	1963.12	1966.4	DOE	UNC
	CD	PATHFINDER	5.8	6.2	BWR	1957.5	1960.5	1964.3.24	1966.7.25	NSP	NSP
	CD	PEACH BOTTOM-1	4.0	4.2	HTGR	1958.11	1962.2	1966.3.3	1967.6	EXELON G	EXELON N
	CD	PIQUA	1.1	1.2	OMR	1959.6	1960.1	1963.6.10	1963.11.4	CITY P/AEC	CITY P/ AEC
	CD	PUERTO RICO BONUS	1.6	1.7	BWR	1960.1	1960.7	1964.4.13	1964.8.14	PRWRA/AEC	PRWRA/ AEC
	CD	RANCHO SECO-1	91.3	96.6	PWR	1967.8	1969.2	1974.9.16	1975.4.17	SMUD	SMUD
	CD	SAN ONOFRE-1	43.6	45.6	PWR	1963.1	1964.5	1967.6.14	1968.1.1	SCE/SDG&E	SCE
	CD	SHIPPINGPORT	9.0	10.0	PWR	1953.7	1955.4	1957.12.2	1957.12.18	ERDA	DL/ERDA

状況略語：OP（運転中），SD（休止中），UC（建設中），PL（計画中），CD（閉鎖）

主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
WH	S&W	WH	RDM	WH	WH	WH	WH	S&W	96.4	18	
WH	S&W	WH	RDM	WH	WH	WH	WH	S&W	92.7	18	
BECHTEL	BECHTEL	GE	CB&I	GE/CB&I	FANP	BECHTEL	GE	BECHTEL			
BECHTEL	BECHTEL	GE	CB&I	GE/CB&I	FANP	BECHTEL	GE	BECHTEL			
UE&C	GILBERT	B&W	B&W	B&W	FANP	B&W	GE	UE&C			
WH	BECHTEL	WH	B&W	WH	WH	WH	WH	BECHTEL			
WH	BECHTEL	WH	B&W	WH	WH	WH	WH	BECHTEL			
GE	EBASCO	GE	CB&I	RDM	GE	GE	GE	EBASCO			運転認可延長申請*1 2006.1.27
WH	GILBERT	WH	CB&I	WH	WH	WH	GE	DANIEL			
EBASCO	EBASCO	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	WH	EBASCO			
WH	TVA	WH	RDM	WH	WH	WH	WH	TVA			
WH	DUKE	WH	WH	WH	WH	WH	WH	DUKE	93.07	18	
WH	DUKE	WH	WH	WH	WH	WH	WH	DUKE	88.68	18	
WH	BECHTEL/ S&L	WH	ABB CE	WH	WH	WH	GE	DANIEL	86.4	18	
GE	BECHTEL	GE	GE	GE	SIEMENS	GE	GE	BECHTEL			CD 1997.8.29
WH	S&W	WH	-	-	-	-	-	DANIEL			CD 1967.1.1
WH	S&W	WH	ABB CE	B&W.S.S	WH	WH	WH/KWU	S&W			CD 1996.12
GE	BECHTEL	GE	B&W	GE	GE	GE	GE	BECHTEL			CD 1984.8.31
ANL/DBI	FERGUSON	ANL	ANL	ANL	ANL	FERGUSON	GE	-			CD 1994.9
AC	S&L	AC/S&L	PCEC	-	UNC/ MARTIN	A.O. SMITH	ELLIONT	AC			CD 1968.2.1
APDA	CA	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	ABB CE	-	UE&C			CD 1972.11.29
GA	S&L	GA	GA	GA	GA	GA	GE	EBASCO			CD 1989.8.18
AI	BECHTEL	BLH	BLH	BLH	-	BLH	WH	KIEW			CD 1964.9.1
GE	BECHTEL	GE	ABB CE	GE	SIEMENS	GE	GE	BECHTEL			CD 1976.7.2
B&W	CON ED	B&W	B&W	B&W	WH	B&W	WH	CON ED			CD 1974.10.31
AC	S&L	AC/ MAXON	AC	AC	AC	AC	AC	MAXON			CD 1987.4.30
ABB CE	S&W	ABB CE	ABB CE	ABB CE	WH	ABB CE	WH	S&W			CD 1997.8.1
GE	EBASCO	GE	ABB CE	GE	GE	GE	GE	EBASCO			CD 1998.7.17
B&R/ KAISER	B&R/GE	KAISER	ABB CE	GE	UNC	ABB CE	WH	B&R			CD 1988.2.16
AC	PIONEER	AC	AC	AC	AC	AC	-	AC			CD 1967.10.1
GGA	BECHTEL	GGA	BLH	GGA	GGA	GGA/BLH	WH	BECHTEL			CD 1974.11.1
AI	H&N	AI	-	-	-	-	MES	-			CD 1966.1.1
ABB CE	J&M	ABB CE	PCEC	ABB CE	ABB CE	ABB CE	-	MAXON			CD 1968.6.1
BECHTEL	BECHTEL	B&W	B&W	B&W	B&W	B&W	WH	LD			CD 1989.6
WH	BECHTEL	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	BECHTEL			CD 1992.12.1
WH	S&W	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	DRAVO			-

＊1 Apprication of license renewal

国・地域 Country	状況 Plant status	発電所 Plant name	電気出力(万kW) Output(10 MWe) ネット Net	グロス Gross	炉型 Type of reactor	発注 Date of order	着工 Date of construction start	臨界 Date of initial criticality	営業運転 Date of commercial operation	所有者 Owner	運転者 Operator
米国/United States America	CD	SHIPPINGPORT-Ⅱ	5.0	5.2	LWBR	-	-	1977.8.26	1977.12	DOE	DL/DOE
	CD	THREE MILE ISLAND-2	94.3	95.9	PWR	1967.2	1969.11	1978.3.28	1978.12.30	GPU N	GPU N
	CD	TROJAN	113.0	117.8	PWR	1968.11	1971.2	1975.12.15	1976.5.20	P GE/＊	P GE
	CD	YANKEE ROWE	17.5	18.5	PWR	1956.6	1958.5	1960.8.19	1961.7.1	YAE	YAE
	CD	ZION-1	104.0	108.5	PWR	1967.2	1968.12	1973.6.19	1973.12.31	EXELON G	EXELON N
	CD	ZION-2	104.0	108.5	PWR	1967.7	1968.12	1973.12.24	1974.9.17	EXELON G	EXELON N

主契約者 Main contractor	アーキテクトエンジニア Architect engineer	供給者 Suppliers 原子炉系統 Reactor system	圧力容器 Reactor vessel	炉心 Incore structure	燃料 Fuel fabrication	蒸気系統 Steam raising	タービン Turbine generator	土建工事 Civil works	設備利用率(%) Capacity factor(%)	運転サイクル期間(月) Operating cycle lengths (months)	備考 Remarks
WH	S&W	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	DRAVO			CD 1982.10
UE&C	B&R	B&W	B&W	B&W	B&W	B&W	WH	UE&C			CD 1979.3.28
WH	BECHTEL	WH	CB&I	WH	WH	WH	GE	HOFFMAN			CD 1993.1.4
WH	S&W	WH	B&W	B&W	ABB CE	WH	WH	S&W			CD 1992.2.26
WH	S&L	WH	B&W	WH	WH	WH	WH	COM ED			CD 1998.1.15
WH	S&L	WH	ABB CE	WH	WH	WH	WH	COM ED			CD 1998.1.15

16. 略語の説明／Explanation of Abbreviations

1） 原子炉型式／Reactor Types

略語／Abbreviations	正式名称／Full name 日本語／in Japanese	英語／in English
ABWR	改良型沸騰水型炉	Advanced Boiling Water Reactor
AGR	改良型ガス冷却炉	Advanced Gas-cooled Reactor
AHWR	改良型重水炉	Advanced Heavy Water Reactor
APWR	改良型加圧水型炉	Advanced Pressurized Water Reactor
ATR	新型転換炉	Advanced Thermal Reactor
BWR	沸騰水型炉	Boiling Water Reactor
CANDU	カナダ型重水炉ー加圧重水型	Canada Deuterium Uranium Pressurized Heavy Water Reactor
CANDU-B	カナダ型重水炉ー沸騰軽水冷却重水減速型	CANDU-Boiling Light Water Cooled Heavy Water Reactor
EPR	欧州加圧水型炉	European Pressurized Water Reactor
FR（FBR）	高速炉（高速増殖炉）	Fast Reactor（Fast Breeder Reactor）
GCR	ガス冷却炉	Gas Cooled Reactor
HTGR	高温ガス冷却炉	High Temperature Gas-cooled Reactor
HWGCR	重水減速ガス冷却炉	Heavy Water Gas-cooled Reactor
HWR	重　水　炉	Heavy Water Reactor
LMFBR	液体金属冷却高速増殖炉	Liquid Metal Cooled Fast Breeder Reactor
LWBR	軽水冷却増殖炉	Light Water Cooled Breeder Reactor
LWCHWR	軽水冷却重水炉	Light Water Cooled Heavy Water Reactor
LWGR（RBMK）	軽水冷却黒鉛減速炉	Light Water Cooled, Graphite Moderated Reactor
LWR	軽水炉	Light Water Reactor
OMR	有機物減速型炉	Organic Moderated Reactor
PBMR	ペブルベット燃料・モジュール炉	Pebble Bed Modular Reactor
PHWR	加圧重水炉	Pressurized Heavy Water Reactor
PWR	加圧水型炉	Pressurized Water Reactor
SCTR	ナトリウム冷却熱中性子炉	Sodium Cooled Thermal Reactor
SGR	ナトリウム黒鉛炉	Sodium Graphite Reactor
SGHWR	蒸気発生重水炉	Steam Generating Heavy Water Reactor
VVER	ロシア型 PWR	Russian Type PWR

2） 国・地域／Country・Region

AM	ARMENIA	アルメニア	FI	FINLAND	フィンランド	NL	NETHERLANDS	オランダ
AR	ARGENTINA	アルゼンチン	FR	FRANCE	フランス	PK	PAKISTAN	パキスタン
AT	AUSTRIA	オーストリア	GB	GREAT BRITAIN（UK）	英国	PL	POLAND	ポーランド
BE	BELGIUM	ベルギー	HR	CROATIA	クロアチア	RO	ROMANIA	ルーマニア
BG	BULGARIA	ブルガリア	HU	HUNGARY	ハンガリー	RU	RUSSIAN FEDERATION	ロシア連邦
BR	BRAZIL	ブラジル	ID	INDONESIA	インドネシア			
CA	CANADA	カナダ	IL	ISRAEL	イスラエル	SA	SOUTH AFRICA	南アフリカ
CH	SWITZERLAND	スイス	IN	INDIA	インド	SE	SWEDEN	スウェーデン
CN	CHINA	中国	IR	IRAN	イラン	SI	SLOVENIA	スロベニア
CU	CUBA	キューバ	IT	ITALY	イタリア	SK	SLOVAK	スロバキア
CZ	CZECH REPUBLIC	チェコ	JP	JAPAN	日本	TR	TURKEY	トルコ
DE	GERMANY	ドイツ	KR	KOREA（SOUTH）	韓国	TW	TAIWAN	台湾
DK	DENMARK	デンマーク	KZ	KAZAKHSTAN	カザフスタン	UA	UKRAINE	ウクライナ
EG	EGYPT	エジプト	LT	LITHUANIA	リトアニア	US	UNITED STATES	アメリカ合衆国
ES	SPAIN	スペイン	MX	MEXICO	メキシコ			

ACE；Atlantic City Electric Co.（US）
AE；Allegheny Electric Cooperative, Inc.（US）
AEC；Alliant Energy Corporation（US）
AEC；Atomic Energy Commission（US）
AECL；Atomic Energy of Canada, Ltd.（CA）
AEOI；Atomic Energy Organization of Iran（IR）
AEP；American Electric Power Co.（US）
AMEREN UE；Ameren UE（US）
AMERGEN；AmerGen Energy Co, LLC.（Exelon Co. 100%）（US）
ANAV；Associación Nuclear Ascó–Vandellos II, A. I. E.（ES）
ANL；Argonne National Laboratory（US）
ANPP；Arizona Nuclear Power Project（US）
ANPP；Armenia Nuclear Power Plant（AM）
AP；Alabama Power Co.（US）
APS；Arizona Public Service Co.（US）（Arizona Public Service Co. 29.1%, Salt River Project 17.5%, El Paso Electric Co. 15.8%, Public Service Co. of New Mexico 10.2%, Southern California Edison Co. 15.8%, Southern California Public Power Authority 5.9%, Los Angeles Dept. of Water & Power 5.7%）（US）
ATOMENERGI；Atomenergi（SE）
AVR；Arbeitsgemeinschaft Versuchs–Reaktor GmbH（DE）
BATAN；National Nuclear Energy Agency（ID）
BARSEBÄCK KRAFT；Barsebäck Kraft AB（SE）
BE；British Energy plc.（UK）
BEG；British Energy Generation Ltd.（UK）
BG&E；Baltimore Gas & Electric Co.（US）
BHAVINI；Bharatiya Nabhikiya Vidyut Nigam Ltd.（IN）
BKW；BKW FMB Energy Ltd.（CH）
BNFL；British Nuclear Fuels plc.（GB）
BOSTON E；Boston Edison Co.（US）
BP；Bruce Power Inc.（CA）
CBPC；Corn Belt Power Cooperative（US）
CE；Consumers Energy Co.（US）（former Consumers Power Co.）
CEA；Commissariat à l'Énergie Atomique（FR）
CEG；Constellation Energy Group（US）
CEI；Cleveland Electric Illuminating Co.（US）
CEN；Centre d'Etude de l'Énergie Nucléaire（BE）
CEZ；CEZ, a. s.（Czech Power Company）（CZ）
CFE；Comision Federal de Electricidad（MX）
CGNPC；China Guangdong Nuclear Power Holding Corp., Ltd. 中国広東核電集団有限公司（CN）
CHUBU EPCO；Chubu Electric Power Co., Inc.（JP）
CHUGOKU EPCO；Chugoku Electric Power Co., Inc.（JP）
CIAE；China Institute of Atomic Energy 中国原子能科学研究院（CN）
CIPC；Central Iowa Power Cooperative（US）
CITY P；City of Piqua（US）
CNAT；Central Nucleares Almaraz–Trillo, AIE（ES）
CNEA；Comision Nacional de Energia Atomica（AR）
CNE–PROD；Centrala Nuclearoelectrica Cernavoda–Productie, Filiala SNN（Production Branch of SNN for Cernavoda NPP, Unit–1）（RO）
CNE–INVEST；Centrala Nuclearoelectrica Cernavoda–Investitii, Filiala SNN（Projects Branch of SNN for Cernavoda NPP, Unit 2–5）（RO）
CNNC；China National Nuclear Corp. 中国核工業集団公司（CN）
CNV；Central Nuclear Vandellós II A. I. E.（ENHER, HC, FHS, FECSA）（ES）
COM ED；Commonwealth Edison Co.（US）
CON ED；Consolidated Edison Co.（US）
CP&L；Carolina Power & Light Co.（US）
CPW；Czechoslovakia Power Works（SK）
CSE；Compania Sevillana de Electricidad SA（ES）
CVNPA；Carolinas Virginia Nuclear Power Associates, Inc.（US）
CYAP；Connecticut Yankee Atomic Power Co.[Consisting of : Northeast Utilities（Connecticut Light and Power Co. 34.5%, Western Massachusetts Electric Co. 9.5%）, New England Power Co. 15%, Boston Edison Co. 9.5%, United Illuminating Co. 9.5%, Central Maine Power Co. 6%, Public Service Co. of New Hampshire 5%, Cambridge Electric Light Co. 4.5%, Montaup Electric Co. 4.5%, Central Vermont Public Service Corp. 2%]（US）
DAE；Department of Atomic Energy（IN）
DE；Detroit Edison Co.（US）
DL；Duquesne Light Co.（US）
DOE；Department of Energy（US）
DOMINION；Dominion Resources Inc.（US）
DOMINION＊；Dominion Resources Inc. 93.5%, Massachusets Municipal Wholesale Electric Co. 4.8 % Central Vermont Public Service Corp. 1.7%
DPC；Dairyland Power Cooperative（US）
DUKE；Duke Energy Corp.（US）（former Duke Power Co.）
DUKE＊；North Carolina Electric Membership Corp. 56.2%, Duke Energy Corp. 25%, Saluda River Electric Coop. 18.8%
EDF；Electricité de France（FR）
EEA；E. ON Energie AG（DE）
EKK；E. ON Kernkraft GmbH（DE）
ELECTRABEL；Electrabel（BE）
ELECT–SPE；Electrabel–SPE（BE）
ELECT–EDF；Electrabel–EDF（BE）
ELES–GEN；Elektrogospodarstvo Sloveniye（Slovenia Government）（SI）
EnBW；Energie Baden–Wurttemberg AG（DE）
ENDESA；ENDESA Generación S. A.（ES）
ENEL；Ente Nazionale per l'Energia Electrica（IT）
ENERGOATOM；National Nuclear Energy Generating Co.（UA）
ENERGY NW；Energy Northwest（US）
ENG；Energiewerke Nord Greifswald（DE）
ENTERGY A；Entergy Arkansas, Inc.（US）
ENTERGY O；Entergy Operations, Inc.（US）
ENTERGY G；Entergy Gulf States, Inc.（US）
ENTERGY L；Entergy Louisiana, Inc.（US）
ENTERGY N；Entergy Nuclear Inc.（US）
ENTERGY NG；Entergy Nuclear Generation Co.（US）
ENTERGY NO；Entergy Nuclear Operations（US）
EOB；E. ON Bayern AG（DE）
EOS；E. ON Sverige AB（SE）
EPDC；Electric Power Development Co., Ltd.（JP）
EPZ；N. V. Elektriciteits–Produktiemaatschappij Zuid–Nederland（NL）
ERDA；Energy Research & Development Administration（US）
ESKOM；ESKOM（SA）

ETN；ELECTRONUCLEAR–Electrobrás Termonucleares SA, former Furnas Centrais Electricas SA（FCE),(BR)
EXELON G；Exelon Generation Co.（US）
EXELON N；Exelon Nuclear Co.（US）
FE；FirstEnergy Corp.（US）
FECSA；Fuerzas Eléctricas de Cataluña SA（ES）
FENOC；FirstEnergy Nuclear Operating Co.（US）
FKA；Forsmarks Kraftgrupp AB（SE）
FORTUM；Fortum Power and Heat Oy（FI）(former IVO)
FPC；Florida Power Corp.（US）
FPL；Florida Power & Light Co.（US）
FPL＊；Florida Power & Light Co. 85.1%, Florida Municipal Power Agency 8.8%, Orlando Utilities Commission 6.1%（US）
FPL E；FPL Energy, LLC.（US）
FPL E＊；FPL Energy, LLC 88.2%, Massachusets Municipal Wholesale Electric Co. 11.6%, Taunton Electric 0.1%, Hudson Light & Power 0.1%（US）
GFKV；Gesellschaft für Kernforschung Karlsruhe, Versuchsanlagen（DE）
GKN；Gemeinschaftskernkraftwerk Neckar GmbH（DE）
GKN；N. V. Gemeenschappelijke Kernenergiecentrale Nederland（NL）
GKW；Gemeinschaftskraftwerk Weser GmbH（DE）
GNIC；Guangdong Nuclear Investment Co., Ltd. 広東核電投資有限公司（CN）
GNPJVC；Guangdong Nuclear Power Joint Venture Co., Ltd. 広東核電合営有限公司（CN）
GP；Georgia Power Co.（US）
[1]**GP＊**；Georgia Power Co. 45.7%, Oglethorpe Power Corp. 30%, Municipal Electric Authority of Georgia 22.7%, City of Dalton 1.6%（US）
[2]**GP＊**；Georgia Power Co. 50.1%, Oglethorpe Power Corp. 30%, Municipal Electric Authority of Georgia 17.7%, City of Dalton 2.2%（US）
GPU；GPU, Inc. (formed in 1996 from Metropolitan Edison Co., Jersey Central Power & Light Co. and Pennsylvania Electric Co.)（US）
GPU N；GPU Nuclear Inc.（US）
HBG；Heissdampfreaktor Betriebsgesellschaft mbH（DE）
HC G；Hidro Cantabrico Generación S. A.（ES）
HEP；Hrvatska Elektroprivreda（HR）
HEW；Hamburgische Elektricitäts–Werke AG（DE）
HIFRENSA；Hispano Francesa de Energia Nuclear SA（EDF, HC, FECSA, ENHER, FHS）(ES）
HKG；Hochtemperatur–Kernkraftwerk GmbH（DE）
HKNIC；Hong Kong Nuclear Investment Co., Ltd. 香港核電投資有限公司（CN）
HL&P；Houston Lighting & Power Co.（US）
HL&P＊；Houston Lighting & Power Co. 30.8% (Project Manager), The City Public Service Board of San Antonio (CPS) 40%, The City of Austin 16%, Texas Genco Holdings Inc. 13.2%
Hokkaido EPCO；Hokkaido Electric Power Co., Inc.（JP）
Hokuriku EPCO；Hokuriku Electric Power Co., Inc.（JP）
HYD QUEBEC（HQ）；Hydro–Québec（CA）
ID；Iberdrola Generación S. A.（ES）
IEC；Israel Electric Corp.（IL）
IES；IES Industries, Inc.（US）
I&P；Indiana Michigan Power Co.（American Electric Power Co. 100%）（US）
INPP；Ignalina Nuclear Power Plant（LT）
IP；Illinois Power Co.（US）(now known as Ameren IP)
IPPE；Institute of Physics and Power Engineering（RU）
IVO；Imatran Voima Oy（FI）present Fortume Power and Heat Oy（FI）
JAEA；Japan Atomic Energy Agency（JP）
JAERI；Japan Atomic Energy Research Institute（JP）
JAPC；Japan Atomic Power Co., Inc.（JP）
JCP&L；Jersey Central Power & Light Co.（US）
JNC；Japan Nuclear Cycle Development Institute（JP）
JNPC；Jiangsu Nuclear Power Co., Ltd. 江蘇核電有限公司（CN）
Kansai EPCO；Kansai Electric Power Co., Inc.（JP）
KATEP；Kazakh State Corp. of Nuclear Power Industry（KZ）
KBG；Kernkraftwerk Betriebsgesellschaft mbH（DE）
KBR；Kernkraftwerk Brokdorf GmbH（DE）
KCP&L；Kansas City Power & Light Co.（US）
KEDO；Korean Peninsula Energy Development Organization
KEP；Kansas Electric Power Coop.（US）
KEPCO；Korea Electric Power Corp.（KR）
KFK；Kernforschungszentrum Karlsruhe GmbH（DE）
KGB；Kernkraftwerk Gundremmingen Betriebsgesellschaft mbH（DE）
KGG；Kernkraftwerk Gundremmingen GmbH（DE）
KG&E；Kansas Gas & Electric Co.（US）
KHNP；Korea Hydro & Nuclear Power Co., Ltd.（KR）
KKB；Kernkraftwerk Brunsbuttel GmbH（DE）
KKG；Kernkraftwerk Gösgen–Däniken AG（CH）
KKI；Kernkraftwerk Isar GmbH（DE）
KKK；Kernkraftwerk Krümmel GmbH（DE）
KKL；Kernkraftwerk Leibstadt AG（CH）
KKL；Kernkraftwerk Lippe GmbH（DE）
KKM；Kernkraftwerk Mühleberg（CH）
KKS；Kernkraftwerk Stade GmbH（DE）
KLE；Kernkraftwerk Emsland GmbH（DE）
KRB；Kernkraftwerk RWE–Bayernwerk GmbH（DE）
KWG；Kernkraftwerk Graben AG（CH）
KWL；Kernkraftwerk Lingen GmbH（DE）
KWO；Kernkraftwerk Obrigheim GmbH（DE）
Kyushu EPCO；Kyushu Electric Power Co., Inc.（JP）
LANPC；Lingao Nuclear Power Co., Ltd. 嶺澳核電有限公司（CN）
LIPA；Long Island Power Authority（US）
MAE；Mid–American Energy Co.（US）
MAEK；Mangishlak Nuclear Power Plant（KZ）
MAYAK；Industrial Association "MAYAK"（RU）
ME；Magnox Electric, Plc（GB）
MG&E；Madison Gas & Electric Co.（US）
MIB；Ministry of the Basic Industry（CU）
MINATOM；Ministry for Atomic Energy of the Russian Federation（RU）
[1]**MOE**；Ministry of Energy of Republic of Armenia（AM）

[2]**MOE**；Ministry of Economy（LT）
[3]**MOE**；Ministry of Ukraine on Emergencies（UA）
MTE；Ministry of Fuels and Energy of Ukraine（UA）
MVM RT；Magyar Villamos Muvek Rt.（Hungarian Power Companies Ltd.）（HU）
MYAP；Maine Yankee Atomic Power Co. [Consisting of Central Maine Power Co. 38%, New England Power Co. 20%, Northeast Utilities 20%（Connecticut Light and Power Co. 12%, Public Service Co. of New Hampshire 5%, Western Massachusetts Electric Co. 3%）, Bangor Hydro-Electric Co. 7%, Maine Public Service Co. 5%, Cambridge Electric Light Co. 4%, Montaup Electric Co. 4%, Central Vermont Public Service Corp. 2%]（US）
NASA；Nucleoelectrica Argentina S. A.（AR）
NBPC；New Brunswick Electric Power Commission（CA）
NCEMPA；North Carolina Eastern Municipal Power Agency（US）
NCMPA；North Carolina Municipal Power Agency（US）
NDA；Nuclear Decommissiong Authority（UK）
NE；Nuclear Electric plc（GB）
NEC；National Electric Co.（BG）
[1]**NEK**；Natsionalna Elektricheska Kompania EAD（BG）
[2]**NEK**；Nukleana Elektrarna Krsko（Krsko Nuclear Power Plant）（SI）
NERSA；Centrale Nucléaire Europeénne á Neutrons Rapides SA（FR）
NITI；Technological Research and Development Institute（RU）
NIMO；Niagara Mohawk Power Corp.（US）
NMC；Nuclear Management Co.（US）
NOK；Nordostschweizerische Kraftwerke（CH）
NPCIL；Nuclear Power Corporation of India Limited（A Govt. of India Enterprise）（IN）
NPPA；Nuclear Power Plants Authority（EG）
NPPD；Nebraska Public Power District（US）
NPQJVC；Nuclear Power Qinshan Joint Venture Co., Ltd. 秦山核電合営有限公司（CN）
NSP；Northern States Power Co.（US）
NU；Northeast Utilities（CL & P, WME）（US）
NUCLENOR；Nuclenor. S. A.（ES）
NWS；Neckarwerke Stuttgart AG（DE）
NWS＊；Neckarwerke Stuttgart AG 70%, Deutsche Bahn AG 18%, Energie Baden–Württemberg AG 9%, Zementwerk Lauffen–Elektrizitätswerk Heilbronn AG 3%
NYPA；New York Power Authority（US）
NYSEG；New York State Electric & Gas Corp.（US）
ODEC；Old Dominion Electric Coop.（US）
OE；Ohio Edison Co.（US）
OKG；OKG Aktiebolag（SE）
ONT HYD（OH）；Ontario Hydro（CA） divided on April 1, 1999 into a number of successor companies.
OPG；Ontario Power Generation Inc.（CA）
OPPD；Omaha Public Power District（US）
OUC；Orland Utilities Commission（US）
PAEC；Pakistan Atomic Energy Commission（PK）
PA RT；Paksi Atomeromu Rt.（Paks Nuclear Power Plant Ltd.）（HU）
PBMR；Pebble Bed Modular Reactor Company, PBMR（Pty）Ltd.（SA） Shareholders；the South African government, Eskom, Industrial Development Corporation, BNFL
PE；Philadelphia Electric Co.（present PECO）（US）
PECO；PECO Energy Co.（former Philadelphia Electric Co.）（US）
PEKK；PreussenElektra Kernkraft GmbH & Co KG（DE）
PENN E；Pennsylvania Electric Co.（US）
PG&E；Pacific Gas & Electric Co.（US）
P GE；Portland General Electric Co.（US）
P GE＊；Portland General Electric Co., Eugene Water & Electric Board, Pennsylvania Power Co.（US）
PMPA；Piedmont Municipal Power Agency（US）
PPL；Pennsylvania Power & Light Co.（US）
PRDC；Power Reactor Development Co.（US）
PROGRESS；Progress Energy（US）
PRWRA；Puerto Rico Water Resources Authority（US）
PSCC；Public Service Co. of Colorado（US）
PSEG；Public Service Enterprise Group（US）
QNPC；Qinshan Nuclear Power Co. 秦山核電公司（CN）
RCPA；Rural Cooperative Power Association（US）
REA；Rosenergoatom Concern, Russian State Concern for Electricity and Thermal Energy Production at NPPs（RU）
RG&EC；Rochester Gas & Electric Corp.（US）
RIAR；Research Institute for Atomic Reactors（RU）
RINGHALS；Ringhals AB［Vattenfall AB 70%, Sydkraft AB 30%］（SE）
RWE；RWE Power AG（DE）
ROSATOM；Russian Federal Agency on Nuclear Energy（RU）
SCE；Southern California Edison Co.（US）
SCE＊；Southern California Edison Co. 75%, San Diego Gas & Electric Co. 20%, Anaheim Public Utilities Dept 3.2%, Riverside Utilities Dept 1.8%（US）
SCE&G；South Carolina Electric & Gas Co.（US）
SCP；Santee Cooper Power（US）
SCPSA；South Carolina Public Service Authority（US）
SDG&E；San Diego Gas & Electric Co.（US）
SE；Slovenské Elektrárne, a. s.（SK）
SEC；Seminole Electric Coop.（US）
SE–EBO；Nuclear Power Station Bohunice
SE–EMO；Nuclear Power Station Mochovce
SENA；Société d'Energie Nucléaire Franco–Belge des Ardennes（FR）
SEP；N. V. Samenwerkende Elektriciteits–Produktiebedrijv（Dutch Electricity Generating Board）（NL）
SERI；System Energy Resources, Inc.（US）
Shikoku EPCO；Shikoku Electric Power Co., Inc.（JP）
SMEPA；South Mississippi Electric Power Association（US）
SMUD；Sacramento Municipal Utility District（US）
SNC；Southern Nuclear Operating Co.（US）（a part of Southern Co.）
SNL；Scottish Nuclear Limited（GB）
SNN；Societatea Nationala "Nuclearelectrica" S.A.（RO）

SNPC；Sanmen Nuclear Power Co., Ltd. 三門核電公司（CN）
STPNOC；STP Nuclear Operating Co.（US）
SWK；Stadtwerke Karlsruhe GmbH（DE）
SWM；Stadtwerke Munchen（DE）
SYDKRAFT；Sydsvenska Värmekraft AB（SE）
TE；Toledo Edison Co.（US）
TEAS；Türkiye Elektrik Üretim–Iletim A. S.（Turkish Electricity Generation and Transmission Corp.）（TR）
TEPCO；Tokyo Electric Power Co., Inc.（JP）
TEXAS GENCO＊；Texas Genco, LLC. 44%, CPS Energy40%, Austin Energy 16%（US）
Tohoku EPCO；Tohoku Electric Power Co., Inc.（JP）
TPC；Taiwan Power Co.（TW）
TQNPC；the Third Qinshan Nuclear Power Co., Ltd. 秦山第三核電有限公司（CN）
TREUHAND；Treuhandanstalt（DE）
TVA；Tennessee Valley Authority（US）
TVO；Teollisuuden Voima Osakeyhtio（FI）
TXU；TXU Corp., former Texas Utilities Electric Co.（US）
UFG；Unión Fenosa Generación, S. A.（ES）
UKAEA；United Kingdom Atomic Energy Authority（GB）
UNC；UNC Nuclear Industries, Inc.（US）
VAK；Versuchsatomkraftwerk Kahl GmbH（DE）
VATTENFALL；Vattenfall AB（SE）
VEW；Vereinigte Elektrizitätswerke Westfalen AG（DE）
VP；Virginia Power（US）
VYNPC；Vermont Yankee Nuclear Power Corp.（US）
WCNOC；Wolf Creek Nuclear Operating Corp.（Kansas Gas and Electric Co. 47%, Kansas City Power & Light Co. 47%, Kansas Electric Power Coop. 6%）（US）
Westar；Westar Energy, Inc.（US）
WEPCo；Wisconsin Electric Power Co.（US）
WP&L；Wisconsin Power & Light Co.（US）
WPS；Wisconsin Public Service Corp.（US）
YAE；Yankee Atomic Electric Co. [Consisting of Northeast Utilities（Connecticut Light and Power Co. 24.5%, Western Massachusetts Electric Co. 7%）, New England Power Co. 30%, Boston Edison Co. 9.5%, Central Maine Power Co. 9.5%, Public Service Co. of New Hampshire 7%, Montaup Electric Co. 4.5%, Central Vermont Public Service Corp. 3.5%, Commonwealth Electric Co. 2.5%, Cambridge Electric Light Co. 2%]（US）

AA；ASEA-Atom (SE)
former subsidiary company of ASEA (SE), present ABB Atom (CH・SE)
ABA；AB Atomenergi (SE)
ABB；Asea Brown Boveri (CH・SE)
ABB A；ABB Atom (SE)
ABB CE；ABB Combustion Engineering Nuclear Power (US)
ABB R；ABB Reaktor GmbH (DE)
AC；Allis Chalmers Manufacturing Co. (US)
ACEC；Ateliers de Constructions Electriques de Charleroi SA (BE)
ACFC；Ateliers de la Meuse (FR)
ACECOWEN；Association des Ateliers de Charleroi et de Cockerill Ougree Provindence, WNE (BE)
ACLF；ACLF Group (ACECO, CL, Framatome, WENESE, WNE) (BE)
AEA；AEA Technology (GB)
AECSA；Atomic Energy Corporation of South Africa (ZA)
AECL；Atomic Energy of Canada, Ltd. (CA)
AEE；Atomenergoexport (RU)
AEG；Telefunken AG (DE)
AEI；Associated Electric Industries, Ltd. (GB)
AETEA；Agroman/Entrecanales (ES)
AFW；ACEC-Framatome-WH
AGIP；Agip Nucleare SpA (IT)
AI；Atomics International (US)
AKZ；Alphanumerisches Anlagen-Kennzeichnungssystem der Anlagenplaner (DE)
ALKEM；ALKEM GmbH (DE)
ALSTOM；ALSTOM (GB・FR)
(former GEC-ALSTHOM)
AMN；Ansaldo Meccanico Nucleare SpA (IT)
ANF；Advanced Nuclear Fuels Corp. (DE)
ANSALDO；Ansaldo SpA (IT)
APC；Atomic Power Construction (GB)
ARGE；Arge Strahlenschuts (DE)
ARM；Armgidroenergostroy (AM)
ARMERAD B；Armerad Betong (SE)
(present Asea-Brown Boveri)
ASE；Atomstroyexport (RU)
ASEA；Allmänna Svenska Elektriska Aktiebolaget (SE), present ABB (CH・SE)
ASGEN；Ansaldo San Giorgio Compagnia Generale (IT)
ASL；ASEA-STAL (SE)
ATEP；Atomenergoproject (RU)
AUXIESA；Auxini Ingenieria Espanola SA (present Initec, ES)
AVERY；Combustion Engineering Avery (US)
AWNS；ABB Westinghouse Nuclear Service, JV of ABB (CH・SE) and WH (US)
BA；Baldwin Associates (US)
BALCKE；Balcke Durr AG (DE)
BAM；Bataafsche Aanneming Maatschappij NV (NL)
BB；Balfour Beattv & Co. (GB)
B&B；Blount Brothers Construction Corp. (US)
BBC；Brown Boveri et Cie (CH)
BBK；Brown-Boveri-Krupp Reaktorbau GmbH (DE)
BBR；Babcock-Brown Boveri Reaktor GmbH (DE)
BC；Ballot Chagnaud (FR)
BECHTEL (BECH)；Bechtel Corp. (US)
BEN；Bureau d'Etude Nucleaires (BE)
BHEL；Bharat Heavy Electricals Ltd. (IN)
BHK；Babcock Hitachi K. K. (JP)
BLH；Baldwin Lima Hamilton (US)
BN；Belgonucleaire SA (BE)
BNDC；British Nuclear Design & Construction, Ltd. (GB)
BNFL；British Nuclear Fuels plc (GB)
BOA；Byggkonsortiet Oskarshamnsarhctena (SE)
BORSIG；Borsig AG (DE)
BOUYGUES；Bouygues (FR)
B&R；Burns & Roe, Inc. (US)
BRAUN；C. F. Braun & Co. (US)
BREDA；Breda Termomeccanica SpA (IT)
BREDERO；Bredero's Bouwbedrijf Nederland NV (NL)
BROWN；Brown & Root, Inc. (US)
B&V；Black & Veatch (US)
B&W；Babcock & Wilcox Co. (US)
B&W Fuel；B&W Fuel Co., JV of B&W (US), Framatome (FR), COGEMA (FR) and Pechiney (FR)
B&W NS；B&W Nuclear Service Co., JV of Framatome (FR) and B&W (US)
CA；Commonwealth Associates, Inc. (US)
CAN V；Canadian Vickers (CA)
CAP；C. A. Parsons (GB)
CATCO；JV of EDF, Framatome (FR), and WH (US)
CB；Campenon Bernard SA (FR)
CB&C；Chase Brass & Copper, Ltd. (CA)
CBFD；Campenon Bernard, François Delens, CFE, Astrobel (BE)
CB&I；Chicago Bridge and Iron (US)
CC；Clarke Chapman & Co., Ltd. (GB)
CDS；Compagnie des Surchauffeurs (FR)
CE CANADA；Combustion Engineering Canada Inc. (CA)
CEM；Compagnie Electro Mecanique (FR)
CERCA；Cie pour l'Etude et la Realization de Cambustiblles Atomiques (FR)
CFE；Chemin de Fer et Enterprises (BE)
CICAF；Cie Industrielle des Combustibles Atomiques Frittes (FR)
CIMI；Compagnia Italiana Montaggi Industriali SpA (IT)
CITRA；Compagnie Industrielle de Travaux (FR)
CL；Creusot-Loire (FR)
CM；Chantiers Modernes (FR)
CMI；Cockerill Mechanical Industries (former COP) (BE)
CN；Chase Nuclear Ltd. (CA)
CNEA；Comision Nacional de Energia Atomica (AR)
CNE-INVEST；Centrala Nuclearoelectrica Cernavoda-Investitii, Filiala SNN (Projects Branch of SNN for Cernavoda NPP, Unit 2-5) (RU)
CNIM；Constructions Navales et Industrielles de la Méditerranée (FR)
CNI 22；22 nd Construction Corp. (CN)
CNO；Construtora Norberto Oldebrecht (BR)
COGEFRA；Cie Generale Francaise d'Etudes Techniques (FR)
COGEMA；Compagnie Générale des Matières Nucléaires (FR)
COMB；Combustion Engineering, Inc. (US)
present ABB CE
COM ED；Commonwealth Edison Co. (US)
CON ED；Consolidated Edison Co. (US)
CONSAG；Construtora Andrade Gutierrez (BR)
CONUAR；Combustibles Nucleares Argentinos S. A. (AR)
COP(CO)；Cockerill-Ougree-Providence et Espérance Longdoz, S. A. (BE)
COREN；Combustibiliper Reattori Nucleari (IT)
DAE；Department of Atomic Energy (IN)
DANIEL；Daniel Construction Co. (US)
DARCHEM；Darchem (DE)
DB；Dominion Bridge and Engineering (CA)

供給者／Suppliers（D—K）

DBI；Diversified Builders, Inc.（US）
DB-S；Dominion Blidge-Sulzer（CA）
DEMAG；Demag AG（DE）
DINGLERWERK；Dinglerwerk AG（DE）
DOMINION；Dominion Bridge Co.（CA）
DONLEE；Donlee Nuclear（CA）
DOOSAN；Doosan Heavy Industries and Construction Co., Ltd.（KR）
D&R；Durham & Richardson, Inc.（US）
DRAVO；Dravo Corp.（US）
DUMEZ；Dumez（FR）
EA；Empresarios Agrupados（ES）
EBASCO；Ebasco Services, Inc.（US）
E&B；Emch & Berger（CH）
EE；English Electric Co., Ltd.（GB）
EEC；Engineering Construction（IN）
EF；Engema-Franki（BE）
EGP；Energoprojekt Praha（CZ）
EI；Elettronucleare Italiana（IT）
ELECOROBEL（ELECTRO）；Compagnie Générale d'Enterprises Électriques et Industrielles SA（BE）
ELECTROWATT(EW)；Electrowatt Engineering Services, Ltd.（CH）
ENACE；Enace（AR）
ENKA；Enka Insaat Ve Sanayi（TR）
ENSA；Empresa Equipos Nucleares SA（ES）
ENUSA；Emprese Nacional del Uranio SA（ES）
ERBE；Hungarian Co. for Power Plant Investment（HU）
ESCHER-WYSS；Escher-Wyss Ltd.（CH）
ESL；Energoprojekt Skoda Lotep（CZ・SK）
EU；Elin Union AG（AT）
EYT；Entrecanales y Tavora（ES）
FABRICOM；Fabricom SA（BE）
FBEC；FBR Engineering Co., Ltd.（JP）
FBFC；Societé Franco Belge de Fabrication de Combustibiles（FR）
FCB；Fives-Cail Babcock（FR）
FCN；Fabrica Combustibil Nuclear, Pitesti（RO）
FCAPH；Fougerolle Condotte d'Acqua Philipp Holzmann（FR）
FECNE；Fabrica Echipamente Nuclear Bucuresti（RO）
FFL；Fairey Engineering, Ltd.（GB）
FIAT；Fiat Termomeccanica Nucleare e Turbogas SpA（IT）
FLUOR；Fluor Pioneer, Inc.（US）
FN；Fabbricazioni Nucleari SpA（IT）
FOUGEROLLE；Fougerolle（FR）
FRAGEMA；Framatome et Cogema（FR）
FRAMACECO；JV of Framatome（FR），ACEC（BE）and Cockerill（BE）
FRAMATEG；Framatome Entreprise Générale（FR）
FRAMATOME（FRAM）；Framatome et Compagnie（FR）
FANP；Framatome ANP
a new joint venture company owned by Framatome（66%）and Siemens（34%），which has Framatone ANP SAS in France, Framatome ANP GmbH in Germany and Framatome ANP Inc. in U.S.A.
FUJI；Fuji Electric Holdings Co., Ltd.（JP）
FW；Foster Wheeler Co.（GB）
GA；General Atomic Co.（US）
GAAA；Groupement pour les Activités Atomiques et Avancées（FR, present Novatome）
GAMMON；Gammon（IN）
GC；Groupement Constructeurs Francais（FR）
GE；General Electric Co.（US）
GE＊；General Electric Co.（US），KUB, Steinmuller, Darchem（DE）
GEC；General Electric Co.（GB）
GEC ALSTHOM（GEC A）；
GEC ASLTHOM Engineering Systems Ltd, JV of GEC Power System Section（GB）and Alsthom（FR）
(present ALSTOM)
GE CAN；GE Canada（CA）
GECEN；JV of Stein（FR），Alsthom（FR）and Sulzer（CH）
GETSCO；General Electric Technical Services Co.（US）
G&H；Gibbs & Hill, Inc.（US）
GHH；Gutehoffnungshutte AG（DE）
GILBERT；Gilbert Associates, Inc.（US）
GKSS；Gesellschaft für Kernenergieverwerwertung in Schiffbau und Schiffart mbH（DE）
GNF-J；Global Nuclear Fuel-Japan Co.,Ltd.（JP）
GTM；Grands Travaux de Marseille（FR）
GVM；Ganx Electric Works（HU）
HANJUNG；Korea Heavy Industries & Construction Co.（KR）
(present DOOSAN)
HAZAMA；Hazama Corp.（JP）
HCC；Hindustan Construction Co.（IN）
HCCM；HCCM Nuclear Power Construction Joint Venture Company, Ltd. Huaxing Corporation（CN），the Second of China State Construction Engineering Corporation（CN），Campenon Bernard（FR），Maeda Corp.（JP）
HEAVY ELEC；Heavy Electricals, Ltd.（IN）
HGHD；Hidroelektra-Gradis-Hidromontaža-Duro Dakovič（SI）
HITACHI；Hitachi, Ltd.（JP）
HOCHTIEF（HOCH）；Hochtief AG（DE）
HOWALDT Kiel；Howaldtwerke Hamburg und Kiel/Deutsche Werft AG（DE）
HP；Howden-Parsons（CA）
HRB；Hochtemperatur Reaktorbau GmbH（DE）
HXCC；Huaxing Construction Corp.（CN）
ICA；Ingenieros Civiles Asociados（MX）
ICG；Integrated Construction Group（KR）
ICL；International Combustion, Ltd.（GB）
IGCAR；Indira Gandhi Center for Atomic Research（IN）
IGEOSA；International General Electric Operations SA（IT）
IHI；Ishikawajima-Harima Heavy Industries Co., Ltd.（JP）
IMP；Impresit（AR）
INB；Industrias Nucleares Brasileiras（BR）
INB；International Natrium-Brutreaktor-Bau GmbH（DE）
INITEC；Empresa Nacional de Ingenieray Y Tecnologia, SA（ES）
INTERATOM；Internationale Atomreaktorbau GmbH（DE）
IT；Innovative Technologies, JV of WH（US）ABB（CH・SE）
ITALIMPIANTI（ITAL）；
Societa Italiana Impianti SpA（IT）
ITALSTRADE；Italstrade SpA（IT）
IVO；Imatran Voima Oy（FI）
Present Fortum Power and Heat Oy
IZORSK；Izorsk Plant（RU）
JGC；JGC Corp.（JP）
JL；John Laing & Son, Ltd.（GB）
JNFL；Japan Nuclear Fuel Ltd.（JP）
JONES；J. A. Jones Construction Co.
JS；Jeumont-Schneider, Ste de Constructions Electromecaniques（FR）
JSW；Japan Steel Works, Ltd.（JP）
JT；John Thompson, Ltd.（GB）
KAERI；Korea Atomic Energy Research

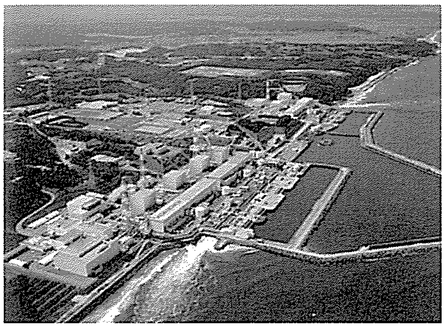
Institute（KR）
KAISER；Kaiser Engineers（US）
KAJIMA；Kajima Corp.（JP）
KATEP；Kazakh National Shareholding Co.（KZ）
KHI；Kawasaki Heavy Industries, Ltd.（JP）
KHTP(Z)；Kharkov Turbine Plant（Zavod）（UA）
KLOCK；Klöckner-Werke AG（DE）
KNFC；Korea Nuclear Fuel Co., Ltd.（KR）
KOPEC；Korea Power Engineering Co., Ltd.（KR）
KRT；Kemreaktorteile GmbH（DE）
KRUPP；Friedrich Krupp GmbH, Maschinenfabriken（DE）
KTP；Kaluga Turbine Plant（RU）
KUMAGAI；Kumagai Gumi Co., Ltd.（JP）
KUS；Krupp Universal Stahlbau（DE）
KWU；Siemens AG KWU Group（DE）
LD；Learall Draro（US）
LES；Louisiana Energy Services
Urenco Ltd.（70.5％）
Westinghouse Electric Co.（19.5％）
US Utilities（Entergy, Duke Energy, Exelon）10％
LEVIER；Levivier, Ste Delattre（IN）
LMP；Leningradsky Metallichesky Plant（RU）
LMS；Leningrad Metal Works（RU）
L&T；Larsen & Toubro（IN）
MAEDA；Maeda Corp.（JP）
MAN；Maschinenfabrik Augsburg Nürnberg AG（DE）
MANGHH；Manghh（DE）
MANNESMANN；Mannesmann AG（DE）
MAPI；Mitsubishi Atomic Power Industries, Inc.（JP）
MARELLI；Marelli, Ercole & Co. SpA（IT）
MAXON；Maxon Construction Co., Inc.（US）
MB；Motherwell Bridge & Engineering（GB）
MCALPINE；McAlpine, Sir Robert & Sons, Ltd.（GB）
ME；Ministry of Energy（Former USSR）
M ENG；Montreal Engineering Co.（CA）
MHI；Mitsubishi Heavy Industries, Ltd.（JP）
MI；Ministry of Industry（RO）
MK；Mellansvensk Kraftgrupp AB（SE）
MLW；MLW Industries（CA）
MME；Mercantile Marine Engineering and Graving Docks Co.（BE）
MMN；Metallurgie et Mecanique Nucleares SA（BE）
MNF；Mitsubishi Nuclear Fuel Co., Ltd.（JP）
MONTECATINI；Montecatini Edison SpA（IT）
MOT-COL；Motor Columbus（CH）
MOWLEM；Mowlem, John & Co., Ltd.（GB）
MSK；Mitsubishi Corp.（JP）
MSZ；Electrostal（RU）
MTE；Ministry of Fuel and Energy of Ukraine（UA）
MTM；Mintyazhmash（RU）
（former Ministry of Heavy Industries）
NCC；Nuclear Civil Constructors（GB）
NEI；Northern Engineering Industries Ltd.（GB）
NEI-NSL；NEI Nuclear Systems Ltd.（GB）
NEI P；NEI Parsons Ltd.（GB）
NERATOOM；Neratoom NV（NL）
NEYRPIC；Neyrpic（FR）
NFI；Nuclear Fuel Industries, Ltd.（JP）
NFS；Nuclear Fuel Services, Inc.（US）
NIMO；Niagara Mohawk Power Corp.（US）
NIRA；Nucleare Italiana Reattori Avanzati SpA（IT）
NNC；National Nuclear Corporation（GB）
NORATOM；Norcontrol A/S（NO）
NOVATOME；Novatome（FR）
NPC；Nuclear Power Co.（GB）
NPCIL；Nuclear Power Corporation of India Limited（IN）
NPI；Nuclear Power International, JV of Framatome（FR）and Siemens（DE）
NUCEA；AUXINI/COPISA/OSHA（ES）
NUCLEN；Nuclen Engenaria（BR）
NUKEM；NUKEM GmbH（DE）
NUMATEC；JV of COGEMA（FR）and SGN（FR）
NUOVO；Nuovo Pignon SpA（IT）
NZHK；Novosibirskii Zapod Himicheskih Koncentrator（RU）
OBAYASHI；Obayashi Corp.（JP）
OKB GIDROPRESS；OKB GIDROPRESS（RU）
ONT HYD（OH）；Ontario Hydro（CA）
PARSONS(PAR)；Parsons, C. A. & Co., Ltd.（GB）
PARS TG；Parsons Turbine Generators Ltd.（CA）
PCEC；Pacific Coast Engineering Co.（US）
PCI；Power Contractors Inc.（US）
PE；Promon Engenharia, S. A.（BR）
PECH；Pechiney（FR）
PECL；Pacific Engineer & Contractors Ltd.（TW）
PHILIPS；NV Philips Gloeilampenfabrieken Werkspoor（NL）
PIONEER；Pioneer Service & Engineering Co.（US）
PKS；Peter Kiewit & Sons, Co.（US）
PPP；PWR Power Project（JV of NNC（GB）and WH（US））
PRUMYSLOVE；Prumyslove stavby（CZ・SK）
PSE & G；Public Service & Gas Co.（US）
RATEAU；Rateau, Ste（FR）
RBU；Reaktor-Brennelement Union GmbH（DE）
RDM；Rotterdamsche Droogdok Mij NV（NL）
RECCHI；Recchi SpA（IT）
REISHOLZ；Reisholz GmbH（DE）
REYROLLE(REYRO)；Reyrolle, A & Co. Ltd.（GB）
RH；Rheinstahl Huttenwerke AG（DE）
RHEINSTAHL；Rheinstahl Henschel AG（DE）
RHENAMECA；Ateliers de Chaudronnerie et de Mecanique du Rhin SA（FR）
RN；Rotterdam Nuclear N. V.（NL）
ROSENBLADS；Rosenblads Patenter AB（SE）
RPL；Reyrolle Parsons, Ltd.（GB）
RUHRSTAHL；Ruhrstahl Apparatebau GmbH（DE）
RVC；Rijnschelde-Verolms and Comprimo（NL）
RW；Richardsons Westgarth, Ltd.（GB）
SACM；Societe Alsacinne de Constructions Mecaniques（FR）
SB；Spie Batignolles（FR）
SC；Simon Carves, Ltd.（GB）
SENER；Sener, SA.（ES）
SFAC；Societe des Forges et Ateliers du Creusot（Usines Schneider）（FR）
SGE；Societe Generale d'Enterprises（FR, present Sogea）
SGI；Societe Generale pour l'Industrie（FR）
SHBW；Shanghai Boiler Works（CN）
SHIMIZU；Shimizu Corp.（JP）
SICN；Societe Industrizell de Combustibles Nucleaires（FR）
SIEMENS（KWU）；Siemens Power Generation Group（DE）
SIEMENS-P；Siemens Power Corp.（DE）
SIGRI；Sigri Electrographit GmbH（DE）

SKODA；Skoda Oborovy Podnik Plezen（CZ）
SKODAEXPORT； Skodaexport Foreign Trade Corporation（CZ）
SL；Stal Laval Turbin AB（present ABB STAL AB, SE）
S&L；Sargent & Lundy Engineers（US）
SNAM PRO.；Snam Progetti SpA（IT）
SNC；Surveyor Nenninger & Chenevert（CA）
SOBELCO；Hamon Sobelco SA（BE）
SOCALTRA；Socaltra-Levivier（FR）
SOCIA；Societe pour l'Industrie Atomique（FR）
SOGEA；Sogea（FR）
SOGENE；Societa Generale per Lavori e Publiche Utilita（IT）
S&P；Sverdrup and Parcel（US）
SR；Stearns-Roger Corp.（US）
SS；Southern Services, Inc.（US）
STAND COS；Standard Construction（US）
STEIN；STEIN Industrie（FR）
STEINMÜLLER；Steinmuller（DE）
STORK；Koninklijke Machinefabriek Gebr. Stork & Co. N. V.（NL）
SUD A；Sud Aviation（FR）
SULZER；Sulzer Brothers, Ltd.（CH）
S&W；Stone & Webster Engineering Corp.（US）
TA；Turbo Atom（UA）
TAISEI；Taisei Corp.（JP）
TAKENAKA；Takenaka Corp.（JP）
TE；Traction-Electricite（BE）
TENEX；Techsnabexport（RU）
TERNI；Societá per l'Industria e l' Electtricitá SpA（IT）
THYSSEN；Rohrenwerke AG（DE）
TNPG；The Nuclear Power Group, Ltd.（GB）
TORNO；Dott. Ing. G. Torno & Co. SpA（IT）
TOSHIBA；Toshiba Corp.（JP）
TOSI(TOS)；Franco Tosi SpA（IT）
TRACTEBEL；Tractebel（BE）
TRACT；Tractebel（BE）
TURRIFF；Turriff Construction Corp., Ltd.（GB）
TVBB；Pieux Franki-Engema-François-Delens-BSL（BE）
TVEL；TVEL Corp.（RU）
TWC；Taylor Woodrow Construction, Ltd.（GB）
UCC；Union Carbide Corp.（US）
UDDCOMB；Uddcomb AB（SE）
UDDEHOLMS；Uddeholms AB（SE）
UEEB；Union des Exploitations Electriquesen Belgiques（BE）
UE&C；United Engineers & Constructors, Inc.（US）
UNC；United Nuclear Corp.（US）
VANEA；AUXINI/COPISA/OSHA（ES）
VBB；VBB AB（SE）
VDM；Vereinigte Deutsche Metallwerke AG（DE）
VKW；Vereinigte Kesselwerke AG（DE）
VMF；Verenigde Maschinefabrieken NV（NL）
VODNIS；Vodni Stavby（CZ・SK）
VOEST；Vereinigte Osterreichische Eisenund Stahlwerke AG（AT）
VV；Versatile Vickers Inc.（CA）
WALCH；Walchandnagar Industries Ltd.（IN）
WECAN；Westinghouse Canada Inc.（CA）
WEDCO；WEDCO Corp.（US）
WENESE；Westinghouse Electric Energy Systems Europe（BE）
WH；Westinghouse Electric Corp.（US）
WHESSOE；Whessoe, Ltd.（GB）
WH Monitor；Westinghouse Monitor AB（SE）
WNE；Westinghouse Nuclear Europe（BE）
YFP；Yibin Nuclear Fuel Element Plant（CN）
ZACHRY；H. B. Zachry Co.（US）
ZAES；Zarubezhatomenergostroy, MINATOM（RU）
ZPI；Zircatec Precision Industries（CA）
ZSCHOKKE；Zschokke, Contrad, Ltd.（CH）

17. 日本の原子力発電所住所録／Directory of Nuclear Power Plants in Japan

Fukushima　I-1, -2, -3, -4, -5, -6

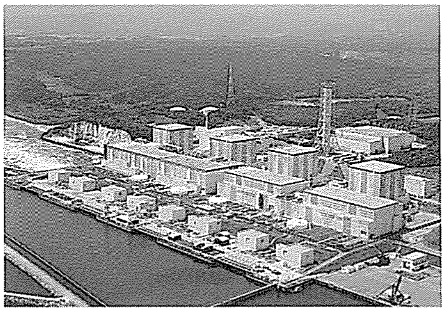
Name : Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Unit-1, -2, -3, -4, -5, -6
Add. : Ohkuma-cho, Futaba-gun, Fukushima 979-1301
Tel. : +81-(0)240-32-2101
Owner : The Tokyo Electric Power Co., Inc. (TEPCO)
Add. : 1-1-3 Uchisaiwai-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011
Tel. : +81-(0)3-3501-8111
URL : http://www.tepco.co.jp



Fukushima I

Fukushima　II-1, -2, -3, -4

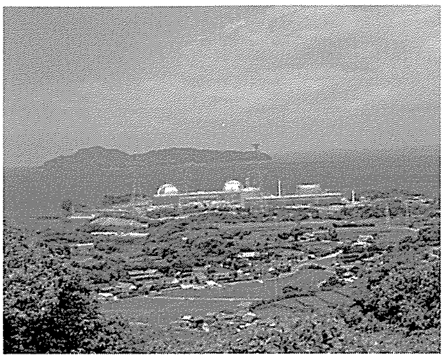
Name : Fukushima Daini Nuclear Power Station Unit-1, -2, -3, -4
Add. : Naraha-cho, Futaba-gun, Fukushima 976-0695
Tel. : +81-(0)240-25-4111
Owner : The Tokyo Electric Power Co., Inc. (see Fukushima I)



Fukushima II

Genkai-1, -2, -3, -4

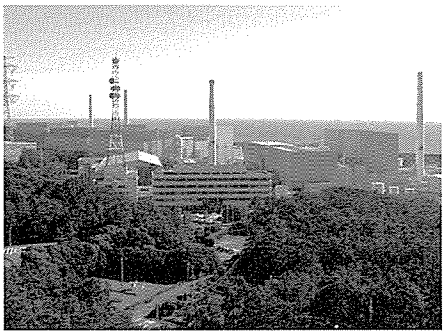
Name : Genkai Nuclear Power Station Unit -1, -2, -3, -4
Add. : Genkai-cho, Higashi-Matsuura-gun, Saga 847-1441
Tel. : +81-(0)955-52-6821
Owner : Kyushu Electric Power Company, Inc.
Add. : 2-1-82 Watanabe-dori, Chuo-ku, Fukuoka-shi, Fukuoka 810-8720
Tel. : +81-(0)92-761-3031
URL : http://www.kyuden.co.jp



Genkai

Hamaoka-1, -2, -3, -4, -5

Name : Hamaoka Nuclear Power Station Unit -1, -2, -3, -4, -5
Add. : Sakura, Omaezaki-shi, Shizuoka 437-1695
Tel. : +81-(0)537-86-3481
Owner : Chubu Electric Power Company, Inc.
Add. : 1 Tohshin-cho, Higashi-ku, Nagoya-shi, Aichi 461-8680
Tel. : +81-(0)52-951-8211
URL : http://www.chuden.co.jp



Hamaoka

Higashidori-1

Name : Higashidori Nuclear Power Station Unit-1
Add. : Higashidori-mura, Shimokita-gun, Aomori 039-4293
Tel. : +81-(0)175-46-2225
Owner : Tohoku Electric Power Co., Inc.
Add. : 1-7-1 Honcho, Aoba-ku, Sendai-shi, Miyagi 980-8550
Tel. : +81-(0)22-225-2111
URL : http://www.tohoku-epco.co.jp

Higashidori

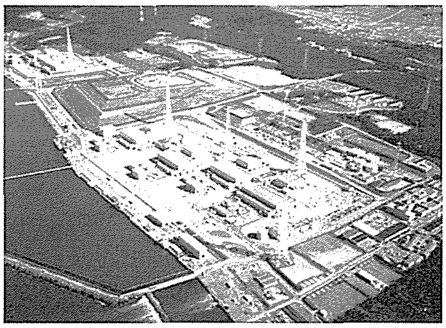
Ikata-1, -2, -3

Name : Ikata Nuclear Power Station Unit-1, -2, -3
Add. : Ikata-cho, Nishiuwa-gun, Ehime 796-0495
Tel. : +81-(0)894-39-0221
Owner : Shikoku Electric Power Company, Inc.
Add. : 2-5 Marunouchi, Takamatsu-shi, Kagawa 760-8573
Tel. : +81-(0)87-821-5061
URL : http://www.yonden.co.jp

Ikata

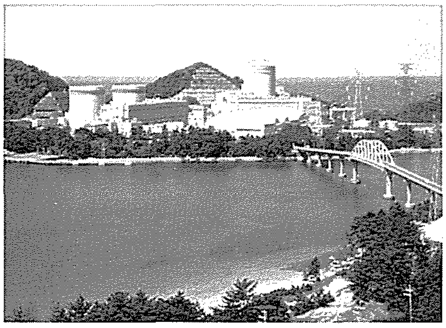
Kashiwazaki Kariwa-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7

Name : Kashiwazaki Kariwa Nuclear Power Station Unit-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7
Add. : Aoyama-cho, Kashiwazaki-shi, Niigata 945-8601
Tel. : +81-(0)257-45-3131
Owner : The Tokyo Electric Power Co., Inc. (see Fukushima)



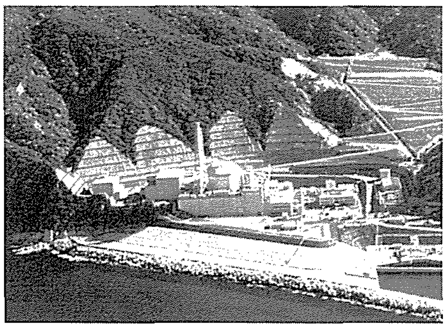
Kashiwazaki Kariwa

Mihama-1, -2, -3
Name : Mihama Power Station Unit-1, -2, -3
Add. : Mihama-cho, Mikata-gun, Fukui 919-1201
Tel. : +81-(0)770-39-1111
Owner : The Kansai Electric Power Co., Inc.
Add. : 3-6-16 Nakanoshima, Kita-ku, Osaka-shi, Osaka 530-8270
Tel. : +81-(0)6-6441-8821
URL : http://www.kepco.co.jp



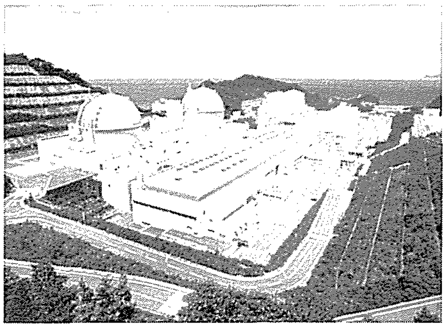
Mihama

Monju
Name : Prototype FBR "Monju"
Add. : Shiraki 2-1, Tsuruga-shi, Fukui 919-1279
Tel. : +81-(0)770-39-1031
Owner : Japan Nuclear Cycle Development Institute (JNC) (see Fugen)



Monju

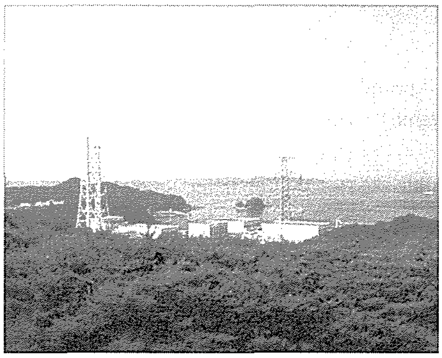
Ohi-1, -2, -3, -4
Name : Ohi Power Station Unit-1, -2, -3, -4
Add. : Ohi-cho, Ohi-gun, Fukui 919-2101
Tel. : +81-(0)770-77-1131
Owner : The Kansai Electric Power Co., Inc. (see Mihama)



Ohi

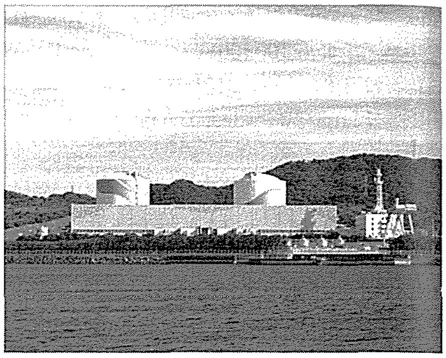
Ohma
Name : Ohma Nuclear Power Station
Add. : Ohma-machi, Shimokita-gun, Aomori 039-4601
Tel. : +81-(0)175-37-2125
Owner : Electric Power Development Co., Ltd. (EPDC)
Add. : 6-15-1 Ginza, Chuo-ku, Tokyo 104-8165
Tel. : +81-(0)3-3546-2211
URL : http://www.jpower.co.jp

Onagawa-1, -2, -3
Name : Onagawa Nuclear Power Station Unit-1, -2, -3
Add. : Onagawa-cho, Oshika-gun, Miyagi 986-2221
Tel. : +81-(0)225-53-3111
Owner : Tohoku Electric Power Co., Inc. (see Higashidori)



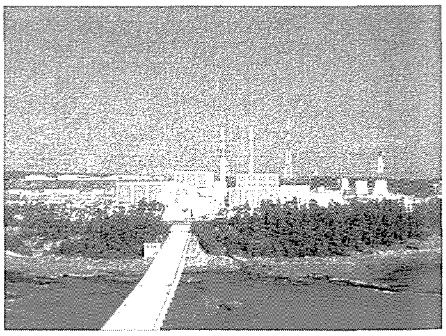
Onagawa

Sendai-1, -2
Name : Sendai Nuclear Power Station Unit-1, -2
Add. : Gumizaki-cho, Satsumasendai-shi, Kagoshima 895-0132
Tel. : +81-(0)996-27-3111
Owner : Kyushu Electric Power Company, Inc. (see Genkai)



Sendai

Shika-1, -2
Name : Shika Nuclear Power Plant Unit-1, -2
Add. : Shika-machi, Hakui-gun, Ishikawa 925-0161
Tel. : +81-(0)767-32-2666
Owner : The Hokuriku Electric Power Co., Inc.
Add. : 15-1, Ushijima-machi, Toyama-shi Toyama 930-8686
Tel. : +81-(0)764-41-2511
URL : http://www.rikuden.co.jp



Shika

Shimane-1, -2
Name : Shimane Nuclear Power Station Unit -1, -2
Add. : Kashima-cho, Matsue-shi, Shimane 690-0393
Tel. : +81-(0)852-82-2220
Owner : The Chugoku Electric Power Company, Inc.

Add. : 4-33 Komachi, Naka-ku, Hiroshima-shi, Hiroshima 730-8701
Tel. : +81-(0)82-241-0211
URL : http://www.energia.co.jp


Shimane

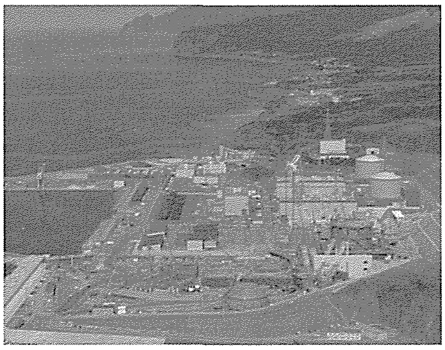
Takahama 1, -2, -3, -4
Name : Takahama Power Station Unit 1, -2, -3, -4
Add. : Takahama-cho, Ohi-gun, Fukui 919-2362
Tel. : +81-(0)770-76-1221
Owner : The Kansai Electric Power Co., Inc. (see Mihama)


Takahama

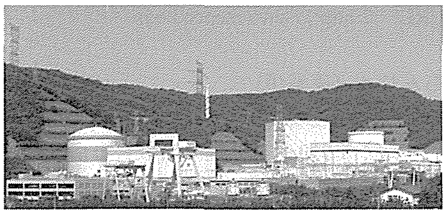
Tokai-1, -2
Name : Tokai Power Station, Tokai No.2 Power Station
Add. : Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki 319-1198
Tel. : +81-(0)29-282-1211
Owner : The Japan Atomic Power Company
Add. : 1-1 Kanda mitoshirocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0053
Tel. : +81-(0)3-4415-5300
URL : http://www.japc.co.jp


Tokai-2

Tomari-1, -2, -3
Name : Tomari Power Station Unit-1, -2, -3
Add. : Tomari-mura, Furuu-gun, Hokkaido 045-0201
Tel. : +81-(0)135-75-3331
Owner : The Hokkaido Electric Power Co., Inc.
Add. : 1 Odori-higashi, Chuo-ku, Sapporo-shi, Hokkaido 060-8677
Tel. : +81-(0)11-251-1111
URL : http://www.hepco.co.jp


Tomari

Tsuruga-1, -2
Name : Tsuruga Power Station Unit-1, -2
Add. : Myojin-cho, Tsuruga-shi, Fukui 914-8555
Tel. : +81-(0)770-26-1111
Owner : The Japan Atomic Power Company (see Tokai)


Tsuruga

日本の原子力発電所住所録

フクシマ
福島第一, −1, −2, −3, −4, −5, −6
名　称：福島第一原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5, 6 号機
所在地：〒979−1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 22
Tel.　：(0240) 32−2101
所有者：東京電力㈱
住　所：〒100−0011
東京都千代田区内幸町 1−1−3
Tel.　：(03) 3501−8111
URL　：http://www.tepco.co.jp

フクシマ
福島第二−1, −2, −3, −4
名　称：福島第二原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機
所在地：〒979−0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作 12
Tel.　：(0240) 25−4111
所有者：東京電力㈱
住　所：前　　掲（福島第一参照）

ゲンカイ
玄海−1, −2, −3, −4
名　称：玄海原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機
所在地：〒847−1441 佐賀県東松浦郡玄海町大字今村字浅湖 4112−1
Tel.　：(0955) 52−6821
所有者：九州電力㈱
住　所：〒810−8720
福岡市中央区渡辺通 2−1−82
Tel.　：(092) 761−3031
URL　：http://www.kyuden.co.jp

ハマオカ
浜岡−1, −2, −3, −4, −5
名　称：浜岡原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5 号機
所在地：〒437−1695
静岡県御前崎市佐倉 5561
Tel.　：(0537) 86−3481
所有者：中部電力㈱
住　所：〒461−8680
愛知県名古屋市東区東新町 1
Tel.　：(052) 951−8211
URL　：http://www.chuden.co.jp

ヒガシドオリ
東　通−1
名　称：東通原子力発電所 1 号機
所在地：〒039−4293 青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下 34−4
Tel.　：(0175) 46−2225
所有者：東北電力㈱
住　所：〒980−8550
宮城県仙台市青葉区本町 1−7−1
Tel.　：(022) 225−2111
URL　：http://www.tohoku-epco.co.jp

イカタ
伊方−1, −2, −3
名　称：伊方発電所 1, 2, 3 号機
所在地：〒796−0495 愛媛県西宇和郡伊方町九町字コチワキ 3−40−3
Tel.　：(0894) 39−0221
所有者：四国電力㈱
住　所：〒760−8573
香川県高松市丸の内 2−5
Tel.　：(087) 821−5061
URL　：http://www.yonden.co.jp

カシワザキカリワ
柏崎刈羽−1, −2, −3, −4, −5, −6, −7
名　称：柏崎刈羽原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7 号機
所在地：〒945−8601
新潟県柏崎市青山町 16−46
Tel.　：(0257) 45−3131
所有者：東京電力㈱
住　所：前　　掲（福島第一参照）

ミハマ
美浜−1, −2, −3
名　称：美浜発電所 1, 2, 3 号機
所在地：〒919−1201 福井県三方郡美浜町丹生 66 号川坂山 5−3
Tel.　：(0770) 39−1111
所有者：関西電力㈱
住　所：〒530−8270
大阪市北区中之島 3−6−16
Tel.　：(06) 6441−8821
URL　：http://www.kepco.co.jp

もんじゅ（原型炉）
名　称：高速増殖炉もんじゅ
所在地：〒919−1279 福井県敦賀市白木 2−1
Tel.　：(0770) 39−1031
所有者：核燃料サイクル開発機構
住　所：前　　掲（ふげん参照）

オオイ
大飯−1, −2, −3, −4
名　称：大飯発電所 1, 2, 3, 4 号機
所在地：〒919−2101 福井県大飯郡大飯町大島 1 字吉見 1−1
Tel.　：(0770) 77−1131
所有者：関西電力㈱
住　所：前　　掲（美浜参照）

オオマ
大間
名　称：大間原子力発電所
所在地：〒039−4601 青森県下北郡大間町大字大間字大間平 20
（建設準備事務所所在地）
Tel.　：(0175) 37−2125
所有者：電源開発㈱
住　所：〒104−8165
東京都中央区銀座 6−15−1
Tel.　：(03) 3546−2211
URL　：http://www.jpower.co.jp

オナガワ
女川−1, −2, −3
名　称：女川原子力発電所 1, 2, 3 号機
所在地：〒986−2221 宮城県牡鹿郡女川町塚浜字前田 1
Tel.　：(0225) 53−3111
所有者：東北電力㈱
住　所：前　　掲（東通参照）

センダイ
川内−1, −2
名　称：川内原子力発電所 1, 2 号機
所在地：〒895−0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山 1765−3
Tel.　：(0996) 27−3111
所有者：九州電力㈱
住　所：前　　掲（玄海参照）

シカ
志賀−1, −2
名　称：志賀原子力発電所 1, 2 号機
所在地：〒925−0161
石川県羽咋郡志賀町赤住 1
Tel.　：(0767) 32−2666
所有者：北陸電力㈱
住　所：〒930−8686
富山県富山市牛島町 15−1
Tel.　：(076) 441−2511
URL　：http://www.rikuden.co.jp

島根-1, -2

名　称：島根原子力発電所 1, 2 号機
所在地：〒690-0393
　　　　島根県松江市鹿島町片句 654-1
Tel.　：(0852)82-2220
所有者：中国電力㈱
住　所：〒730-8701
　　　　広島県広島市中区小町 4-33
Tel.　：(082)241-0211
URL　：http://www.energia.co.jp

高浜-1, -2, -3, -4

名　称：高浜発電所 1, 2, 3, 4 号機
所在地：〒919-2362
　　　　福井県大飯郡高浜町田ノ浦 1
Tel.　：(0770)76-1221
所有者：関西電力㈱
住　所：前　　掲（美浜参照）

東海-1, -2

名　称：東海発電所・東海第二発電所
所在地：〒319-1198
　　　　茨城県那珂郡東海村白方 1-1
Tel.　：(029)282-1211
所有者：日本原子力発電㈱
住　所：〒101-0053 東京都千代田区神田美
　　　　土代町 1 番地 1　美土代ビル
Tel.　：(03)4415-5300
URL　：http://www.japc.co.jp

泊 -1, -2, -3

名　称：泊発電所 1, 2, 3 号機
所在地：〒045-0201 北海道古宇郡泊村大字
　　　　堀株村 726
Tel.　：(0135)75-3331
所有者：北海道電力㈱
住　所：〒060-8677 札幌市中央区大通東 1
Tel.　：(011)251-1111
URL　：http://www.hepco.co.jp

敦賀-1, -2

名　称：敦賀発電所 1, 2 号機
所在地：〒914-8555 福井県敦賀市明神町 1
Tel.　：(0770)26-1111
所有者：日本原子力発電㈱
住　所：前　　掲（東海参照）

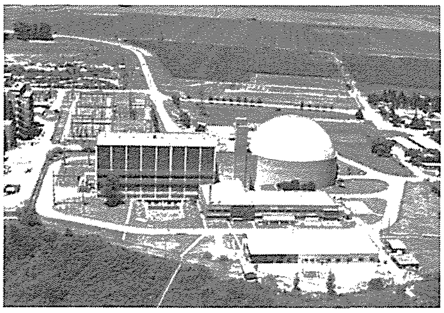
18. 世界の原子力発電所住所録／Directory of Nuclear Power Plants in the World

アルゼンチン，アルメニア，ベルギー，ブラジル
(ARGENTINA，ARMENIA，BELGIUM，BRAZIL)

アルゼンチン
(ARGENTINA)

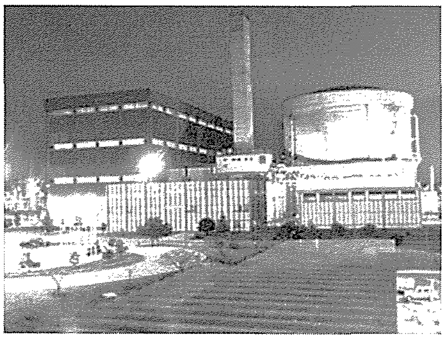
ATUCHA-1, -2
（アトーチャ原子力発電所 1, 2 号機）

Name : Central Nuclear Atucha-1, -2
Location : Lima (Partido de ZARATE y a poco más de 100 km de la Capital Federal)
Mailing Address : Casilla de Correos 20 2806 Lima, Zárate Pcia. de Buenos Aires
Tel. : +54-11-03487-480996
Fax. : +54-11-03487-480996
URL or E-Mail : info@centralatucha.com.ar
Owner : Nucleoeléctrica Argentina S. A. (NASA)
Add. : Arribeños 3619, Buenos Aires 1429
Tel. : +54-11-4701-1643
Fax. : +54-11-4701-0407
URL or E-Mail : info@na-sa.com.ar



EMBALSE
（エンバルセ原子力発電所）

Name : Central Nuclear Embalse
Location : Embalse, Cordoba
Mailing Address : Casilla de Correo N 3 Codigo 5856, Embalse, Cordoba
Tel. : +54-11-03571-422000
Fax. : +54-11-03571-422000
URL or E-Mail : nasaOr 3@itc.com.ar
Owner : NASA (see Atucha)



アルメニア
(ARMENIA)

ARMENIA-1, -2
（アルメニア原子力発電所 1, 2 号機）

Name : Armenia Nuclear Power Plant
Location : Metsamor
Mailing Address : Metsamor Settlement, Armavir marz, 377766, Armenia
Tel. : +3741 2818 80
Fax. : +3741 288085
URL or E-Mail : anpp@anpp.am

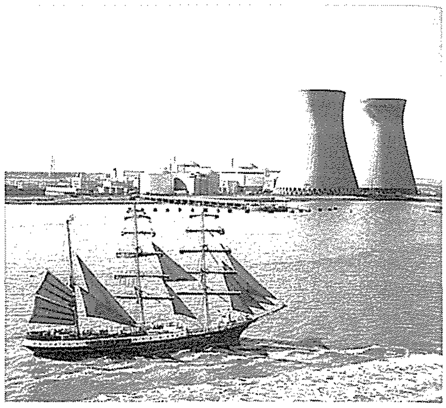
ベルギー
(BELGIUM)

BR 3
（BR 3　原子力発電所）

Name : Centrale BR 3-CEN/SCK
Add. : 200 Boeretang B-2400 Mol
Tel. : +32-14-33-2412
Fax. : +32-14-33-2412
URL or E-Mail :
Owner : Centre d'Etude de l'Energie Nucléaire (CEN/SCK)
Add. : Rue du Moulin à Papier 51, B-1160 Brussels
Tel. : +32-14-33-2111
Fax. : +32-14-31-5021
URL or E-Mail : http://www.sckcen.be

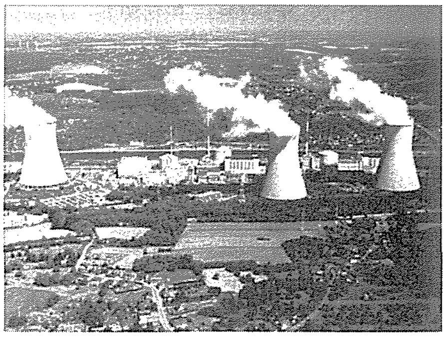
DOEL-1, -2, -3, -4
（ドール原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機）

Name : Kerncentrale Doel-1, -2, -3, -4
Location : Doel (near Antwerp)
Mailing Address : Haven 1800, Scheidemolenstraat, B 9130 Doel
Tel. : +32-3-202-2111
Fax. : +32-3-202-2042
URL or E-Mail :
Operator : Electrabel
Add. : 8, blv d. du Régent B-1000 Brussels
Tel. : +32-2-518-6111
Fax. : +32-2-518-6400, -6554
URL or E-Mail : http://www.electrabel.be



TIHANGE-1, -2, -3
（チアンジュ原子力発電所 1, 2, 3 号機）

Name : Tihange-1, -2, -3
Location : Huy (near Liège)
Mailing Address : Avenue de l'Industrie 1, B-4500 Tihange
Tel. : +32-85-24-3011
Fax. : +32-85-24-3079
URL or E-Mail :
Operator : Electrabel (see Doel)

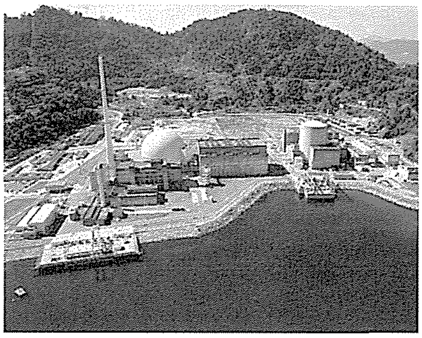


ブラジル
(BRAZIL)

ANGRA-1, -2, -3
（アングラ原子力発電所 1, 2, 3 号機）

Name : Central Nuclear Almirante Alvaro Alberto (CNAAA), NPP's Angra-1, -2, -3
Location : Angra dos Reis, 15 km W of Angra dos Reis town (130 km E of Rio de Janeiro)
Mailing Address : Angra dos Reis, Rio de Janeiro
Tel. : +55-24-3362-9001, 2
Fax. : +55-24-3362-9090
URL or E-Mail : http://www.eletronuclear.gov.br
Owner : ELETRONUCLEAR, Eletrobrás Termonucleares SA (ETN)
Add. : Rua da Candelaria, 65, Centro Rio de Janeiro 20091-020

Tel. ：+55-21-2588-7000
Fax. ：+55-21-2588-7218
URL or E-Mail ：infocip@eletronuclear.gov.br



ブルガリア
(BULGARIA)

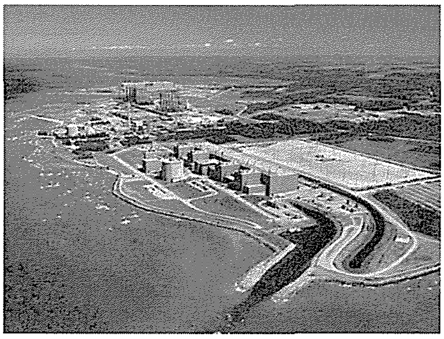
KOZLODUY-1, -2, -3, -4, -5, -6
(コズロドイ原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5, 6 号機)

Name ：Kozloduy NPP
Location ：Kozloduy, Danube
Add. ：Oblast Vratza, 3321 Kozloduy
Tel. ：+359-973-7-2020
Fax. ：+358-973-8-0591
URL or E-Mail ：iyivanov@npp.bg
Owner ：Ministry of Energy
Add. ：1040 Sofia, Triaditca 8
Tel. ：+359-2-980-8378
Fax. ：+359-2-988-5688
URL or E-Mail ：jgeorgiev@doe.bg

カナダ
(CANADA)

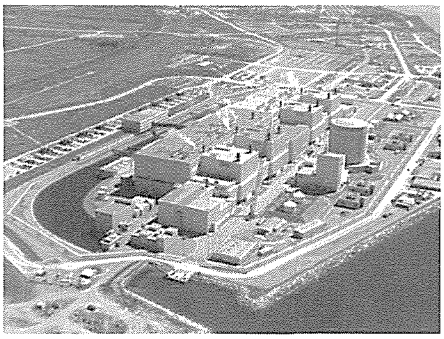
BRUCE-1(A), -2(A), -3(A), -4(A), -5(B), -6(B), -7(B), -8(B)
(ブルース A 原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機
ブルース B 原子力発電所 5, 6, 7, 8 号機)

Name ：Bruce Nuclear Generating Station A Unit-1, -2, -3, -4, Bruce Nuclear Generating Station B Unit-5, -6, -7, -8
Location ：Tiverton, Bruce Country, Ontario (8 km NW of Tiverton)
Mailing Address ：P. O. Box 3000(A), P. O. BOX 4000 (B), Tiverton, Ontario, NOG 2 TO
Tel. ：+1-519-361-2673
Fax. ：+1-519-361-4998
URL or E-Mail ：
Owner ：Ontario Power Generation Inc. (OPG)
Add. ：700 University Ave. Toronto, Ontario M 5 G 1 X 6
Tel. ：+1-416-592-2373
Fax. ：+1-416-592-2373
URL ：http://www.opg.com
E-Mail ：webmaster@opg.com
Operator ：Bruce Power Inc. (BP)
Add. ：BO 662, P. O. Box 3000, Tiverton, Ontario NOG 2TO



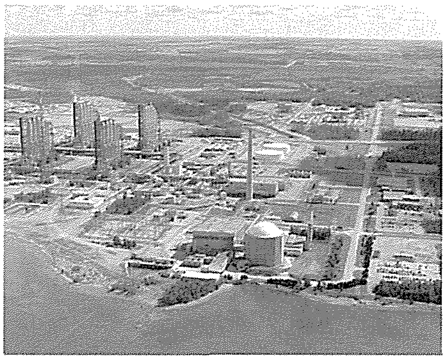
DARLINGTON-1, -2, -3, -4
(ダーリントン原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)

Name ：Darlington Nuclear Generating Station Unit-1, -2, -3, -4
Location ：Bowmanville, Ontario (5 km SW of Bowmanville)
Mailing Address ：P. O. Box 4000 Bowmanville, Ontario LIC 3 WZ
Tel. ：+1-905-623-6670
Fax. ：+1-905-697-7580
URL or E-Mail ：
Owner ：OPG (see Bruce)



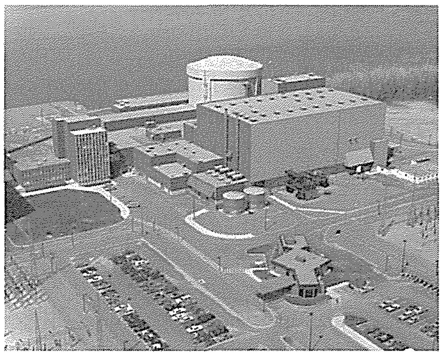
DOUGLAS POINT
(ダグラスポイント原子力発電所)

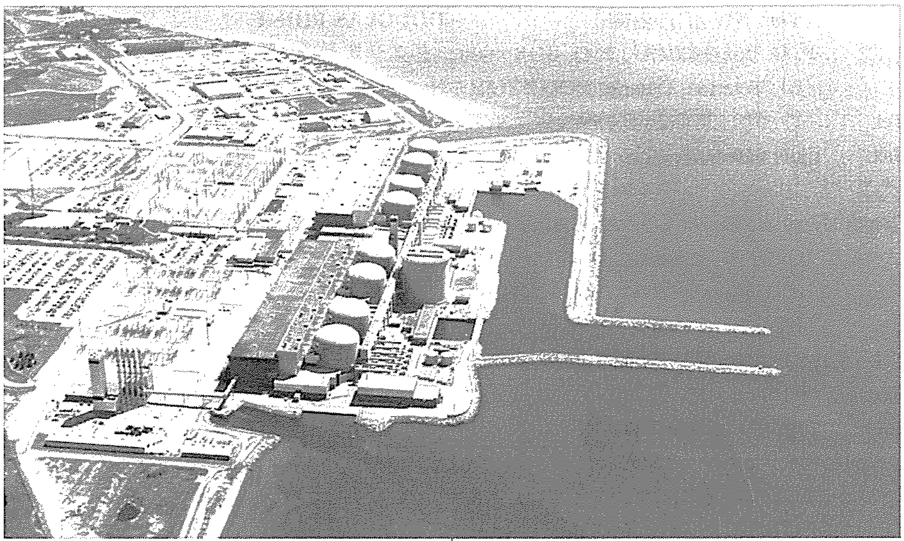
Name ：Douglas Point Nuclear Generating Station
Location ：Tiverton, Ontario
Mailing Address ：Tiverton Ontario NOG 2 TO
Tel. ：+1-519-361-2673
Fax. ：
URL or E-Mail ：



GENTILLY-2
(ジェンティリー原子力発電所 2 号機)

Name ：Centrale Nucléaire Gentilly-2
Location ：Gentilly (Ville de Bécancour)
Mailing Address ：4900 Blvd. Bécancour Gentilly, Québec, G 9 H 3 X 3
Tel. ：+1-819-298-2943
Fax. ：+1-819-298-5181
URL or E-Mail ：
Owner ：Hydro-Québec
Add. ：75 René-Levesque Blvd. W. Montréal, Québec H 2 Z 1 A 4
Tel. ：+1-514-289-2211
Fax. ：+1-514-843-3163
URL or E-Mail ：http://www.hydro.qc.ca





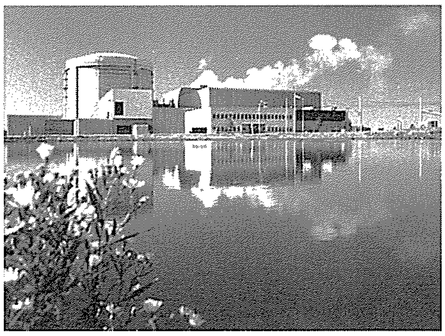
PICKERING（ピッカリング）

PICKERING-1 (A), -2 (A), -3 (A), -4 (A), -5 (B), -6 (B), -7 (B), -8 (B)
（ピッカリングA原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機，ピッカリングB原子力発電所 5, 6, 7, 8 号機）

Name ：Pickering Nuclear Generating Station A Unit-1, -2, -3, -4, Pickering Nuclear Generating Station B Unit-5, -6, -7, -8
Location ：Pickering, Ontario（3 km SW of Ajax, 32 km E of Toronto）
Mailing Address ：P. O. Box 160, Pickering, Ontario, LIV 2 R 5
Tel. ：+1-905-839-1151
Fax. ：+1-905-837-7994
URL or E-Mail ：
Owner ：OPG（see Bruce）
Add. ：（Shown before）

POINT LEPREAU-1
（ポイントルプロー原子力発電所 1 号機）

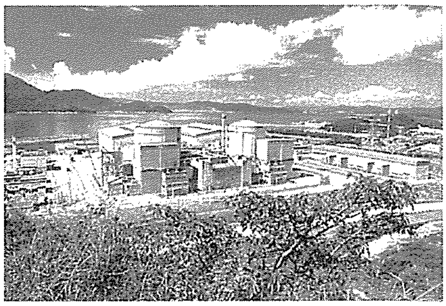
Name ：Point Lepreau Generating Station
Location ：New Brunswick, Charlotte Country（35 miles W of Saint John City）
Mailing Address ：New Brunswick E 0 G 2 H 0
Tel. ：+1-506-659-2220
Fax. ：+1-506-659-6989
URL or E-Mail ：AHadfield@nbpower.com
Owner ：New Brunswick Power Corp.（NBPC）
Add. ：515 King St, Fredericton, New Brunswick E 3 B 4 X 1
Tel. ：+1-506-458-4444
Fax. ：+1-506-458-4390
URL or E-Mail ：



中国
（CHINA）

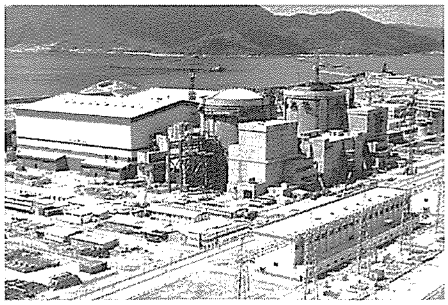
GUANGDONG DAYA BAY-1, -2
（広東（カントン）大亜湾原子力発電所 1, 2 号機）

Name ：Guangdong Daya Bay Nuclear Power Station Unit-1, -2
Location ：About 50 km NE of Hong Kong
Mailing Address ：Bx Bldg., Daya Bay Nuclear Power Station, Shenzhen, Guangdong
Tel. ：+86-755-4473141
Fax. ：+86-755-4473144
URL or E-Mail ：
Operator ：Guangdong Nuclear Power Joint Venture Co. Ltd.（GNPJVC）
Add. ：Nuclear Power Bldg, Central Shennan Road, Shenzhen, Guangdong
Tel. ：+86-755-4473141
Fax. ：+86-755-4473144
URL or E-Mail ：



LINGAO-1, -2, II-1, II-2
（嶺澳（リンアオ）原子力発電所 1, 2, II-1, II-2 号機）

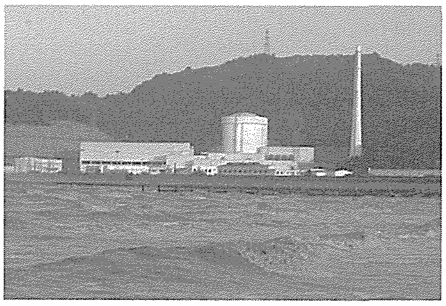
Name ：Lingao Nuclear Power Station Unit-1, -2, II-1, II-2
Location ：Lingao west site（1.2 km away from Guangdong Baya Bay NPS）
Mailing Address ：LA Bldg, Daya Bay, Shenzhen, Guangdong
Tel. ：+86-755-4473141
Fax. ：+86-755-4473144
URL or E-Mail ：
Operator ：Lingao Nuclear Power Company, Ltd.（LANPC）
Add. ：LA Bldg., Lingao Nuclear Power Station, Daya Bay, Shenzhen, Guangdong
Tel. ：+86-755-4473141
Fax. ：+86-755-4473144
URL or E-Mail ：



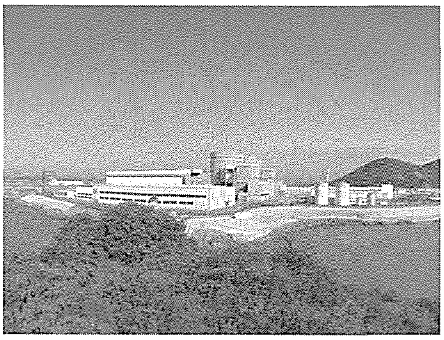
QINSHAN-I-1
（秦山原子力発電所　第 I 期 1 号機）

Name ：Qinshan-1
Location ：about 126 km SW of Shanghai
Mailing Address ：Haiyan County, Zhejiang Province
Tel. ：+86-573-693-3866
Fax. ：+86-573-640-1879
URL or E-Mail ：
Owner ：China National Nuclear Corp.（CNNC）
Add. ：1 Nansanxiang, Sanlihe, Xicheng District, Beijing
Tel. ：+86-10-6851-2211

Fax.　：+86-10-6853-3989
URL or E-Mail　：http://www.cnnc.com.cn/
Operator　：Qinshan Nuclear Power Co.(QNPC)
Add.　：Haiyan County, Zhejiang Province, 314300
Tel.　：+86-573-602-3491
Fax.　：+86-573-602-2772
URL or E-Mail　：

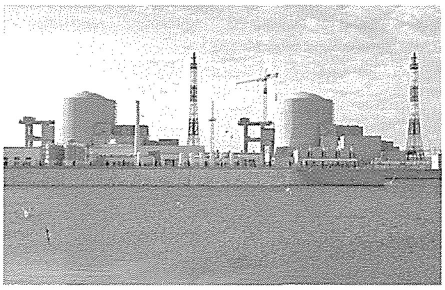


QINSHAN-II-1, -2, -3, -4
（秦山原子力発電所　第 II 期 1, 2, 3, 4 号機）
Name　：Qinshan-2
Location　：Yangliushan, Haiyan County, Zhejiang Province
Mailing Address　：Haiyan County, Zhejiang Province
Tel.　：+86-573-693-1687
Fax.　：+86-573-693-1763
Owner　：CNNC（see Qinshan-I-1）
Operator　：Nuclear Power Qinshan Joint Venture Co.（NPQJVC）



QINSHAN-III-1, -2
（秦山原子力発電所　第 III 期 1, 2 号機）
Name　：Qinshan-3
Location　：Haiyan, about 126 km SW of Shanghai
Mailing Address　：Haiyan County, Zhejiang Province
Tel.　：+86-573-693-2853
Fax.　：+86-573-693-2927
Owner　：CNNC（see Qinshan-I-1）
Operator　：Third Qinshan Nuclear Power Co.（TQNPC）

TIANWAN-1, -2
（田湾原子力発電所 1, 2 号機）
Name　：Tianwan Nuclear Power Station Unit -1, -2
Location　：Gaogongdao Island Lianyungang, Jiangsu Province
Mailing Address　：No.28 Haitang Road, Lianyun District, Lianyungang, Jiangsu Province
Tel.　：+86-518-232-1082
Fax.　：+86-518-232-1095
URL or E-Mail　：
Owner　：CNNC（see Qinshan-I-1）
Operator　：Jiangsu Nuclear Power Co.（JNPC）
Add.　：No.28 Haitang Road, Lianyun Direct, Lianyungang, Jiangsu Province
Tel.　：+86-518-232-1082
Fax.　：+86-518-232-1074
URL or E-Mail　：



チェコ
(CZECH REPUBLIC)

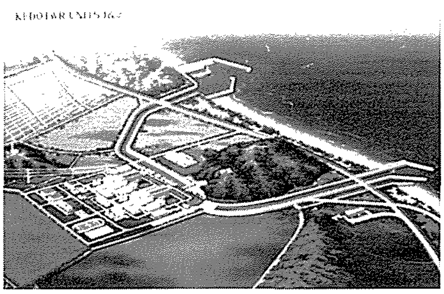
DUKOVANY-1, -2, -3, -4
（ドコバニ原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機）
Name　：CEZ, a. s. Jaderna Elektrarna Dukovany-1, -2, -3, -4
Location　：Dukovany
Mailing Address　：675 50 Dukovany
Tel.　：+420-568-81-1111
Fax.　：+420-568-81-4960
URL or E-Mail　：http://www.cez.cz
Owner　：CEZ, a. s（Czech Power Company）
Add.　：Duhova 2/1444, 14053 Praha 4
Tel.　：+420-2-1104-1111
Fax.　：+420-2-1104-2001
URL or E-Mail　：http://www.cez.cz
CEZ@CEZ.CZ

TEMELIN-1, -2
（テメリン原子力発電所 1, 2 号機）
Name　：CEZ, a. s., Jaderna Elektrarna Temelin-1, -2
Location　：Temelin
Mailing Address　：37305 Temelin
Tel.　：+420-381-10-1111
Fax.　：+420-381-10-2828
URL or E-Mail　：http://www.cez.cz
infocentrum.ete@cez.cz
Owner　：CEZ, a. s.(see Dukovany)

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）
(DEMOCRATIC PEOPLE'S REPUBLIC OF KOREA)

KEDO-1, -2,
（KEDO 原子力発電所 1, 2 号機）
Name　：KEDO-1, -2
Location　：Kumho, South Ham Kyong Province
Mailing Address　：
Tel.　：+1-212-455-0200
Fax.　：+1-212-681-2647
URL or E-Mail　：http://www.kedo.org
Owner　：Korean Peninsula Energy Development Organization（KEDO）
Add.　：600 Third Avenue, 12 th Fl., New York, NY 10016, U.S.A.
Tel.　：+1-212-455-0200

Fax. ：+1-212-681-2647
URL or E-Mail ：



エジプト
(EGYPT)

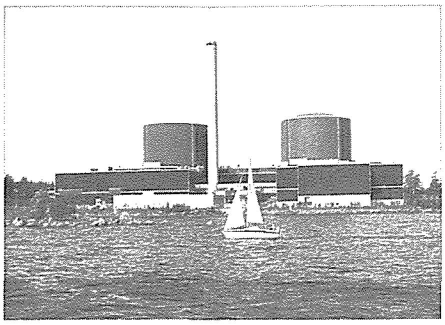
EL-DABAA-1, -2
(エルダバ原子力発電所 1, 2 号機)

Name ：El-Dabaa-1, -2
Location ：160 km W of Alexandria
Mailing Address ：El-Dabaa, Marsqa Matrouk
Tel. ：
Fax. ：
URL or E-Mail ：
Owner ：Nuclear Power Plants Authority (NPPA)
Add. ：P. O. Box 8191, Code No. 11371 Nasar City, Cairo
Tel. ：+20-2-261-6483, -6485
Fax. ：+20-2-261-6476
URL or E-Mail ：

フィンランド
(FINLAND)

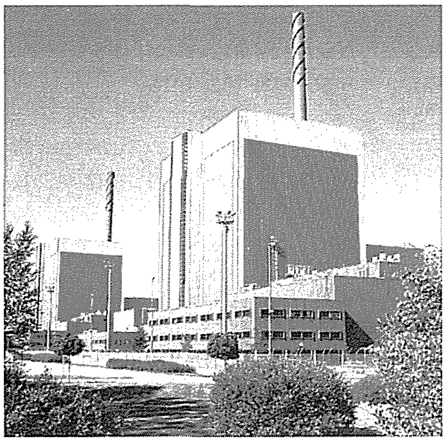
LOVIISA-1, -2
(ロビーサ原子力発電所 1, 2 号機)

Name ：Loviisa Power Station
Location ：15 km SE of Loviisa
Mailing Address ：P. O Box 23, FIN-07901 Loviisa
Tel. ：+358-10-45-5011
Fax. ：+358-10-455-4435
URL or E-Mail ：HAGNUS.HALIN@FORTUM.COM
Owner ：Fortum Power and Heat Oy former Imatran Voima Oy (IVO)
Add. ：Malminkatu 16, Helsinki P. O. Box 40, 00048 Fortum
Tel. ：+358-104511
Fax. ：+358-985516961
URL or E-Mail ：http://www.fortum.com



OLKILUOTO-1, -2, -3
(オルキルオト原子力発電所 1, 2, 3 号機)

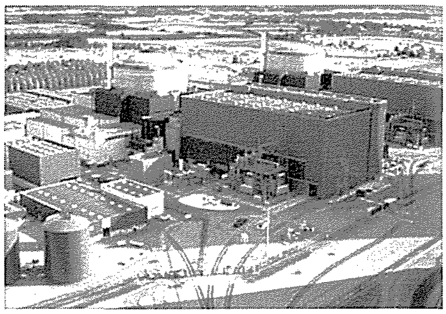
Name ：Olkiluoto Nuclear Power Plant Unit-1, -2, -3
Location ：Eurajoki (25 km to Rauma)
Mailing Address ：Fin-27160 Olkiluoto
Tel. ：+358-2-8381-1
Fax. ：+358-2-8381-2109
URL or E-Mail ：tiedotus@tvo.fi
Owner ：Teollisuuden Voima Oy (TVO)
Add. ：Töölönkatu 4, FIN-00100 Helsinki
Tel. ：+358-9-6180-1
Fax. ：+358-9-6180-2570
URL or E-Mail ：http://www.tvo.fi



フランス
(FRANCE)

BELLEVILLE-1, -2
(ベルビル原子力発電所 1, 2 号機)

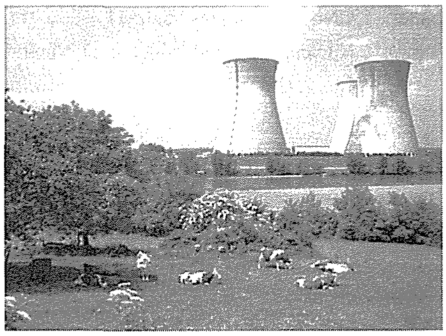
Name ：Centre Nucléaire de Production d'Electricité (CNPE) de Belleville (EDF)
Location ：Belleville-sur-Loire, Cher
Mailing Address ：BP 11, F-18240 Léré
Tel. ：+33-2-4854-5050
Fax. ：+33-2-4854-5060
URL or E-Mail ：
Owner ：Électricité de France (EDF)
Add. ：22/30 avenue de Wagram, F-75382 Paris Cedex 08
Tel. ：+33-1-4042-2222
Fax. ：+33-1-4042-8900
URL or E-Mail ：www.edf.fr



©Médiathèque EDF

BUGEY-1, -2, -3, -4, -5
(ビュジェイ原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5 号機)

Name ：CNPE du Bugey (EDF)
Location ：St. Vulbas, Ain
Mailing Address ：BP 14, F-01366 Camp de la Valbonne Cedex
Tel. ：+33-4-7434-3333
Fax. ：+33-4-7434-7132
URL or E-Mail ：
Owner ：EDF (see Belleville)



©Médiathèque EDF

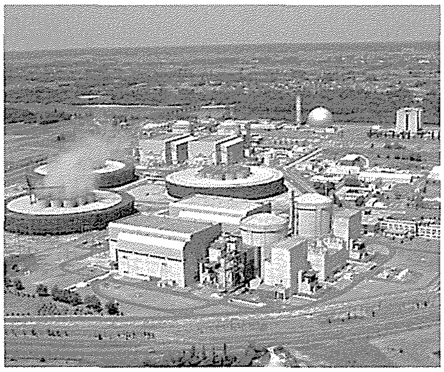
CATTENOM-1, -2, -3, -4
(カットノン原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)

Name ：CNPE de Cattenom (EDF)
Location ：Cattenom, Moselle
Mailing Address ：BP 41, F-57570 Cattenom
Tel. ：+33-3-8251-7000
Fax. ：+33-3-8282-0078
URL or E-Mail ：
Owner ：EDF (see Belleville)

©Médiathèque EDF

CHINON A−1, −2, −3, B−1, −2, −3, −4
(シノン原子力発電所 A−1, 2, 3 号機, B−1, 2, 3, 4 号機)

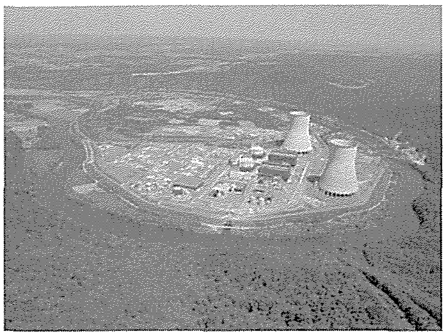
Name : CNPE Chinon (EDF)
Location : Avoine, Indre−et−Loire
Mailing Address : BP 80, F−37420 Avoine
Tel. : +33−2−4798−6060
Fax. : +33−2−4798−7709
URL or E−Mail :
Owner : EDF (see Belleville)



©Médiathèque EDF

CHOOZ B−1, −2
(ショー原子力発電所 B−1, 2 号機)

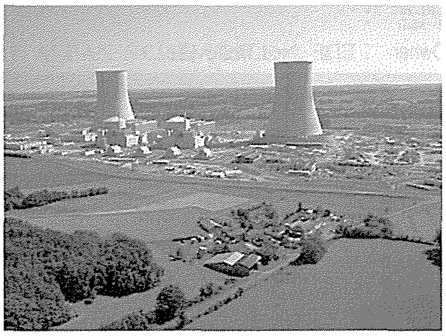
Name : CNPE de Chooz (EDF)
Location : Chooz, Ardennes (5 km upstream from Givet)
Mailing Address : BP 174, F−08600 Givet
Tel. : +33−3−2442−6000
Fax. : +33−3−2442−6180
URL or E−Mail :
Owner : EDF (see Belleville)



©Médiathèque EDF

CIVAUX−1, −2
(シボー原子力発電所 1, 2 号機)

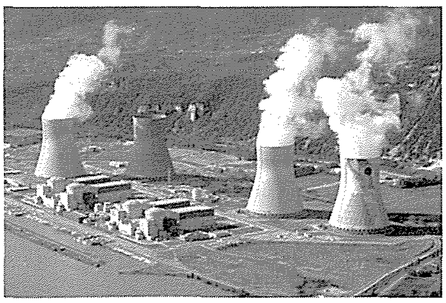
Name : CNPE de Civaux (EDF)
Location : Civaux, Vienne
Mailing Address : BP 64, F−86320 Civaux
Tel. : +33−5−4983−5000
Fax. : +33−5−4983−5001
URL or E−Mail :
Owner : EDF (see Belleville)



©Médiathèque EDF

CRUAS−1, −2, −3, −4
(クリュアス原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)

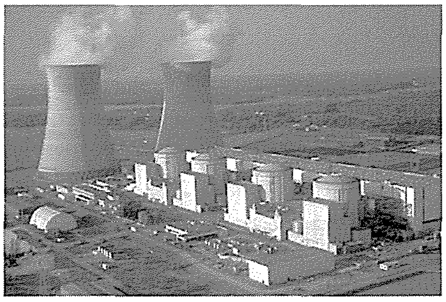
Name : CNPE de Cruas−Meysse (EDF)
Location : Cruas, Ardéche
Mailing Address : BP 30, F−07350 Cruas
Tel. : +33−4−7549−3000
Fax. : +33−4−7551−1143
URL or E−Mail :
Owner : EDF (see Belleville)



©Médiathèque EDF

DAMPIERRE−1, −2, −3, −4
(ダンピエール原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)

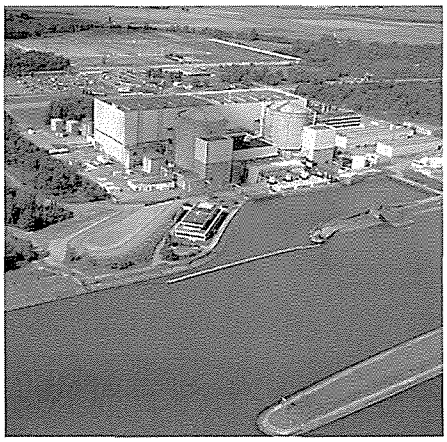
Name : CNPE de Dampierre−en−Burly (EDF)
Location : Dampierre−en−Burly Loire
Mailing Address : BP 18, F−45570 Ouzouer sur Loire
Tel. : +33−2−3829−7070
Fax. : +33−2−3867−6802
URL or E−Mail :
Owner : EDF (see Belleville)



©Médiathèque EDF

FESSENHEIM−1, −2
(フェッセンハイム原子力発電所 1, 2 号機)

Name : CNPE de Fessenheim (EDF)
Location : Fessenheim, Haut Rhin (NE of Mulhouse)
Mailing Address : BP 15, F−68740 Fessenheim
Tel. : +33−3−8983−5000
Fax. : +33−3−8948−6408
URL or E−Mail :
Owner : EDF (see Belleville)

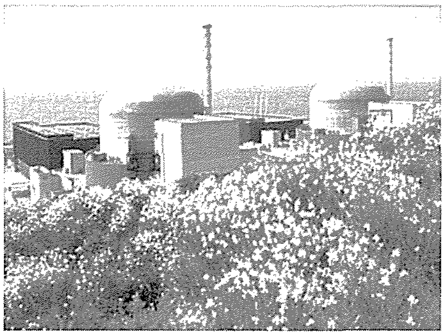


©Médiathèque EDF

FLAMANVILLE−1, −2, −3
(フラマンビル原子力発電所 1, 2 号機)

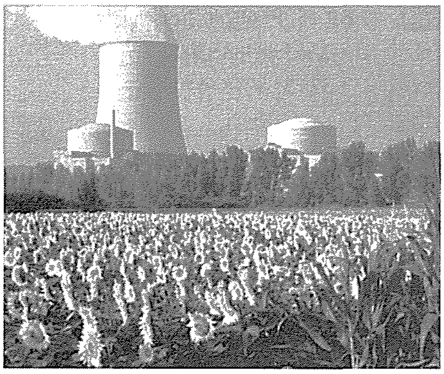
Name : CNPE de Flamanville (EDF)
Location : Flamanville, Manche (21 km SW of Cherbourg)
Mailing Address : BP 4, F−50340 Les Pieux

Tel.　: +33-2-3378-7777
Fax.　: +33-2-3304-1300
URL or E-Mail　:
Owner　: EDF (see Belleville)



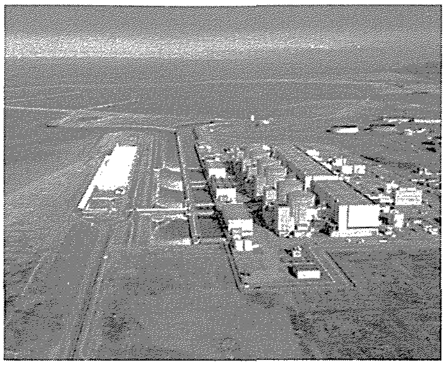
©Médiathèque EDF

GOLFECH-1, -2
(ゴルフェッシュ原子力発電所 1, 2 号機)
Name　: CNPE de Golfech (EDF)
Location　: Golfech, Tarn-et-Garonne
Mailing Address　: BP 24, F-82401 Valence D'agen Cedex
Tel.　: +33-5-6329-3949
Fax.　: +33-5-6329-3950
URL or E-Mail　:
Owner　: EDF (see Belleville)



©Médiathèque EDF

GRAVELINES-1, -2, -3, -4, -5, -6
(グラブリーヌ原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5, 6 号機)
Name　: CNPE de Gravelines (EDF)
Location　: Nord, near Dunkerque
Mailing Address　: BP 149, F-59820 Gravelines
Tel.　: +33-3-2868-4000
Fax.　: +33-3-2868-4208
URL or E-Mail　:
Owner　: EDF (see Belleville)



©Médiathèque EDF

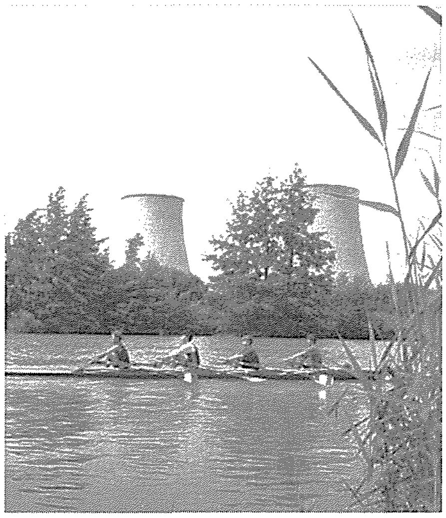
LE BLAYAIS-1, -2, -3, -4
(ルブレイエ原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name　: CNPE du Blayais (EDF)
Location　: Braud-et-St.-Louis, Gironde
Mailing Address　: BP 27, F-33820 St. Ciers Sur-Gironde
Tel.　: +33-5-5733-3333
Fax.　: +33-5-5733-3289
URL or E-Mail　:
Owner　: EDF (see Belleville)

©Médiathèque EDF

MARCOULE-G 2, -G 3
(マルクール原子力発電所 G 2, G 3 号機)
Name　: Centrale de Marcoule
Location　: Marcoule, Iséré (30 km from Avignon)
Mailing Address　: BP 170, F-30200 Bagnols-sur-Céze
Tel.　: +33-6689-5009
Fax.　:
URL or E-Mail　:
Owner　: EDF-CEA (see Belleville)

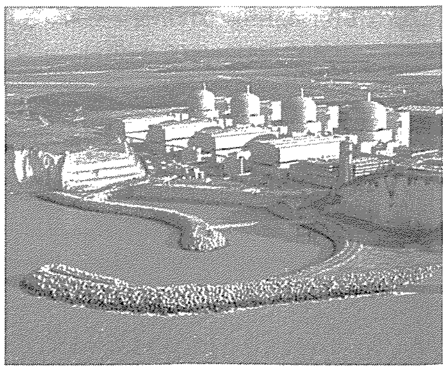
MONTS D'ARRÉE EL-4
(モンダレー原子力発電所 EL-4 号機)
Name　: Centrale de Brennilis
Location　: Monts d'Arrée Brennilis
Mailing Address　: F-29690 Brennilis
Tel.　: +33-2-9899-6900
Fax.　: +33-2-9899-6929
URL or E-Mail　:
Owner　: EDF-CEA (see Belleville)

NOGENT SUR SEINE-1, -2
(ノジャン・シュール・セーヌ原子力発電所 1, 2 号機)
Name　: CNPE de Nogent sur Seine (EDF)
Location　: Nogent sur Seine, Aube
Mailing Address　: BP 62, F-10400 Nogent sur Seine
Tel.　: +33-3-2525-6060
Fax.　: +33-3-2525-6666
URL or E-Mail　:
Owner　: EDF (see Belleville)



©Médiathèque EDF

PALUEL-1, -2, -3, -4
(パリュエル原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name　: CNPE de Paluel (EDF)
Location　: Seine Martime (35 km from Dieppe)
Mailing Address　: BP 48, F-76450 Cany-Barville
Tel.　: +33-2-3557-6666
Fax.　: +33-2-3557-5888
URL or E-Mail　:
Owner　: EDF (see Belleville)

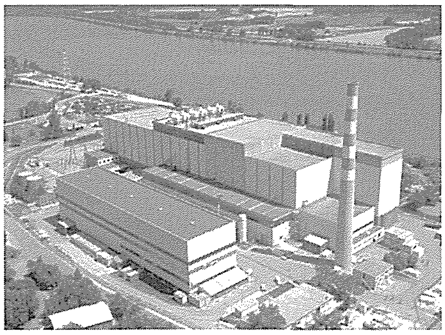


©Médiathèque EDF

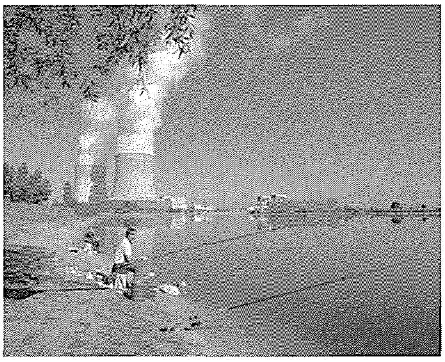
PENLY-1, -2
(パンリー原子力発電所 1, 2 号機)
Name : CNPE de Penly (EDF)
Location : Seine Martine (15 km from Dieppe)
Mailing Address : BP 854, F-76370 Neuville-les-Dieppe
Tel. : +33-2-3540-6000
Fax. : +33-2-3540-6099
URL or E-Mail :
Owner : EDF (see Belleville)


©Médiathèque EDF

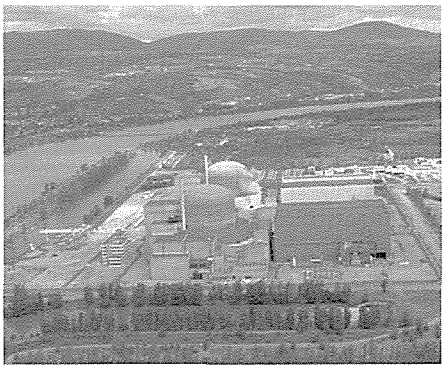
PHÉNIX
(フェニックス原子力発電所)
Name : Centrale Phénix
Location : Codolet, Gard
Mailing Address : B. P. 17171 F-30207 Bagnols-sur-Céze Cedex
Tel. : +33-4-6679-6000
Fax. : +33-4-6690-1594
URL or E-Mail :
Owner : Commissariat à l'Énergie Atomique (CEA)
Add. : CEA/SIEGE (Headquarters) 31-33, rue de la Fédération 75752 Paris cedex 15
Tel. : +33-1-4056-1000



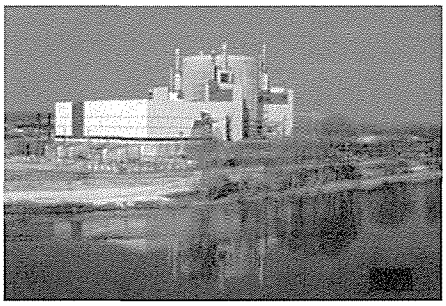
ST. LAURENT-DES-EAUX-A 1, -2, -B 1, 2
(サンローラン・デゾー原子力発電所 A-1, 2 号機, B-1, 2 号機)
Name : CNPE de St. Laurent-des-Eaux (EDF)
Location : St. Laurent-Nouan, Loir et Cher
Mailing Address : BP 42, F-41220 St. Laurent-Nouan
Tel. : +33-2-5444-8484
Fax. : +33-2-5444-8400
URL or E-Mail :
Owner : EDF (see Belleville)


©Médiathèque EDF

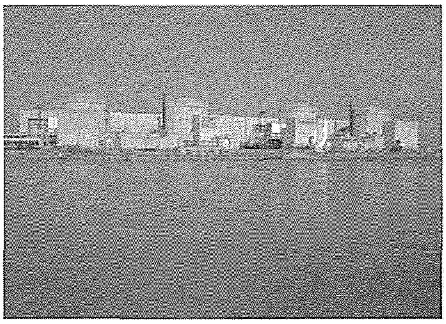
ST. ALBAN-ST. MAURICE-1, -2
(サンタルバン・サンモーリス 1, 2 号機)
Name : CNPE de St. Alban-St. Maurice (EDF)
Location : St. Alban-du-Rhône et St. Maurice l'Exil, Isère
Mailing Address : BP 31, F-38550 St. Maurice l'Exil
Tel. : +33-4-7441-3232
Fax. : +33-4-7441-6981
URL or E-Mail :
Owner : EDF (see Belleville)


©Médiathèque EDF

SUPER-PHÉNIX
(スーパーフェニックス原子力発電所)
Name : Centrale de Creys Malville
Location : Creys near Morestel
Mailing Address : BP 63, 38510 Morestel
Tel. : +33-4-7433-3435
Fax. : +33-4-7433-3437
URL or E-Mail :
Owner : EDF (see Belleville)



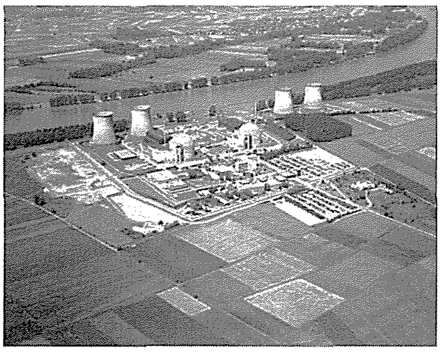
TRICASTIN-1, -2, -3, -4
(トリカスタン原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : CNPE du Tricastin (EDF)
Location : Saint-Paul-Trois-Châteaux, Drôme
Mailing Address : BP 9, F-26130 Saint-Paul-Trois-Chateaux
Tel. : +33-4-7550-3999
Fax. : +33-4-7596-8420
URL or E-Mail :
Owner : EDF (see Belleville)


©Médiathèque EDF

ドイツ
(GERMANY)

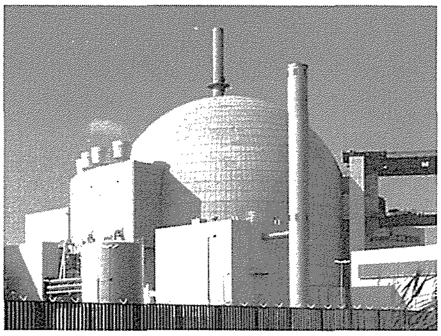
BIBLIS-A, B
(ビブリス原子力発電所 A, B 号機)
Name : Kraftwerk Biblis
Location : Biblis (Rhein), Hessen
Mailing Address : D-68643 Biblis
Tel. : +49-6245-21-4803
Fax. : +49-6245-21-3180
URL or E-Mail : kraftwerk-biblis@kkw.rwe.com
Owner : RWE Power AG
Add. : Huyssenallee 2, D-45128 Essen
Tel. : +49-201-1201
Fax. : +49-201-12-24313
URL or E-Mail : http://www.rwe.com

ドイツ
(GERMANY)



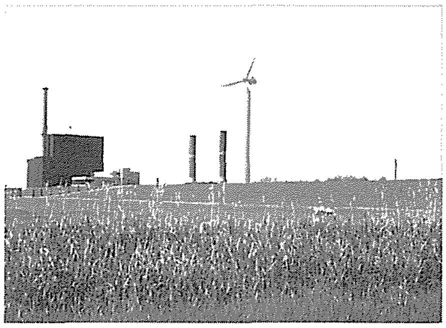
BROKDORF
(ブロックドルフ原子力発電所)

Name : Kernkraftwerk Brokdorf GmbH (KBR)
Location : Brokdorf (Elbe), Schleswig-Holstein
Mailing Address : D-25576 Brokdorf
Tel. : +49-4829-75-2560
Fax. : +49-4829-511
URL or E-Mail :
Owner : E. ON Kernkraft GmbH (EKK) 80%, Hamburgische Electricitäts-Werke AG (HEW) 20%
Add. : Tresckowstrasse 5, D-30457 Hannover
Tel. : +49-511-439-03
Fax. : +49-511-439-2375
URL or E-Mail : http://www.eon-energie.com
Operator : E. ON Kernkraft GmbH (EKK)



BRUNSBÜTTEL
(ブルンスビュッテル原子力発電所)

Name : Kernkraftwerk Brunsbüttel GmbH (KKB)
Location : Brunsbuttel (Elbe), Schleswig-Holstein
Mailing Address : Otto Hahn Strasse, D-25535 Brunsbüttel
Tel. : +49-4852-89-0
Fax. : +49-4852-89-2012
URL or E-Mail : http://www.kkb.de
Owner : Hamburgische Electricitäts-Werke AG (HEW) 66.7%, E. ON Kernkraft GmbH (EKK) 33.3%
Add. : Überseering 12, D-22297 Hamburg
Tel. : +49-40-6396-2421
Fax. : +49-40-6396-3760
URL or E-Mail : http://www.hew.de
Operator : Kernkraftwerk Bunsbüttel GmbH (KKB)
Add. : Otto-Hahn Strasse, D-25535 Bunsbüttel
Tel. : +49-4852-89-0

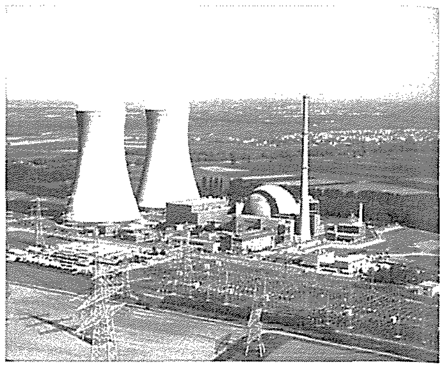


EMSLAND
(エムスラント原子力発電所)

Name : Kernkraftwerk Emsland (KKE)
Location : Lingen, Niedersachsen
Mailing Address : Am Hilgenberg, D-49811 Lingen
Tel. : +49-591-8061612
Fax. : +49-591-806-2849
URL or E-Mail :
Owner : RWE Power AG 87.5%, E. ON Kernkraft GmbH (EKK) 12.5% (see Biblis-A, -B)
Operator : Kernkraftwerk Lippe-Ems GmbH (KLE)
Add. : Am Hilgenberg, D-49811 Lingen
Tel. : +49-591-8061612

GRAFENRHEINFELD
(グラーフェンラインフェルト原子力発電所)

Name : Kernkraftwerk Grafenrheinfeld (KKG)
Location : Grafenrheinfeld (Main), Bayern
Mailing Address : D-97506 Grafenrheinfeld
Tel. : +49-9723-62-2202
Fax. : +49-9723-62-2901
URL or E-Mail :
Owner : E. ON Kernkraft GmbH (EKK) (see Brokdorf)

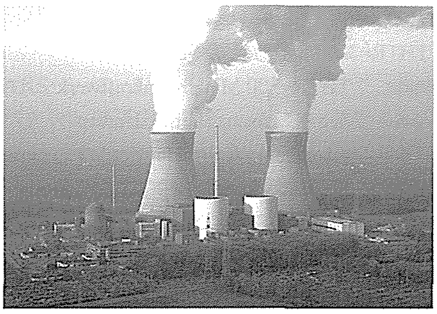


GROHNDE
(グローンデ原子力発電所)

Name : Kernkraftwerk Grohnde (KWG)
Location : Grohnde (Weser), Niedersachsen
Mailing Address : Postfach 1230, D-31857 Emmerthal
Tel. : +49-5155-671
Fax. : +49-5155-67-2399
URL or E-Mail :
Owner : E. ON Kernkraft GmbH (EKK) 50%, Gemeinschaftskraftwerk Weser GmbH (GKW) 50% (see Brokdorf)
Operator : Gemeinschaftskernkraftwerk Grohnde GmbH (KWG)
Add. : D-31857 Emmerthal
Tel. : +49-5155-67-1
Fax. : +49-5155-67-2380

GUNDREMMINGEN-B, -C
(グンドレミンゲン原子力発電所 B, C 号機)

Name : Kernkraftwerk Gundremmingen (KRB) Block-B, -C
Location : Gundremmingen (Donau), Bayern
Mailing Address : Dr. August-Weckesser Strasse 1, D-89355 Gundremmingen
Tel. : +49-8224-78-3720
Fax. : +49-8224-78-2900
Owner : RWE Power AG 75%, E. ON Kernkraft GmbH (EKK) 25% (see Biblis-A, -B)
Operator : Kernkraftwerke Gundremmingen GmbH (KGG)
Add. : Dr. August-Weckesser Strasse 1, D-89355 Gundremmingen
Tel. : +49-8224-78-1
Fax. : +49-8224-78-2900
URL and E-Mail : http://www.kkw-gundremmingen.de
kontakt@kkw-gundremmingen.de

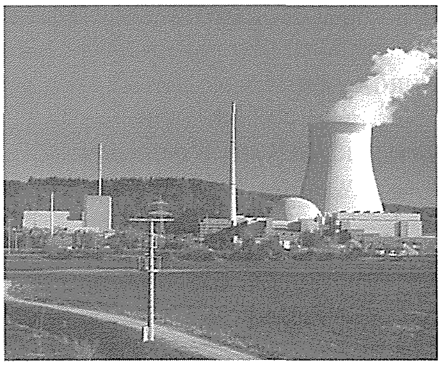


ISAR-1
（イザール原子力発電所1号機）

Name：Kernkraftwerk Isar 1 (KKI-1)
Location：Essenbach, Bayern
Mailing Address：Postfach 1126, D-84049 Essenbach
Tel.：+49-8702-39-0
Fax.：+49-8702-38-4218
URL or E-Mail：
Owner：E. ON Kernkraft GmbH (EKK) 50%, E. ON Bayern AG (EOB) 50%
Operator：E. ON Kernkraft GmbH (EKK) (see Brokdorf)

ISAR-2
（イザール原子力発電所2号機）

Name：Kernkraftwerk Isar 2 (KKI-2)
Location：Essenbach, Bayern
Mailing Address：Postfach 1126, D-84049 Essenbach
Tel.：+49-8702-39-0
Fax.：+49-8702-38-4218
URL or E-Mail：
Owner：E. ON Kernkraft GmbH (EKK) 40%, E. ON Bayern AG (EOB) 35%, Stadtwerke München (SWM) 25%
Operator：E. ON Kernkraft GmbH (EKK) (see Brokdorf)



JÜLICH AVR
（ユーリッヒAVR原子力発電所）

Name：Arbeitsgemeinschaft Versuchsreaktor (AVR)
Location：Jülich, Nord Rhein-Westfalen
Mailing Address：Stettermicher Forst, 5170 Jülich
Tel.：+49-2461-6290
Fax.：+49-2461-629200
URL or E-Mail：
Owner：Arbeitsgemeinschaft Versuchsreaktor AVR GmbH
Add.：Postfach 14 11, D-4000 Düsseldorf
Tel.：+49-211-821-4490
Fax.：+49-211-397394
URL or E-Mail：

KAHL
（カール原子力発電所）

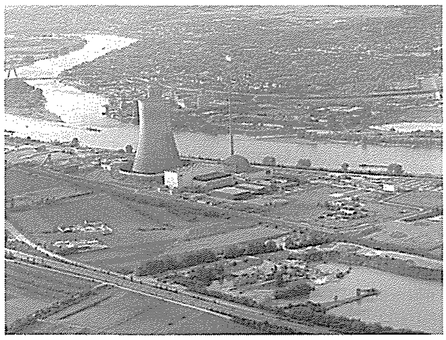
Name：Versuchsatomkraftwerk Kahl
Location：Kahl am Main
Mailing Address：Postfach 6, D-63792 Kahl am Main
Tel.：+49-6188-499-0
Fax.：+49-6188-499-125
URL or E-Mail：http://www.vak.rweenergie.de
Owner：Versuchsatomkraftwerk Kahl GmbH
Add.：Postfach 6, D-63792 Kahl am Main
Tel.：+49-6188-499-0
Fax.：+49-6188-499-125
URL or E-Mail：http://www.vak.rweenergie.de

KRÜMMEL
（クリュンメル原子力発電所）

Name：Kernkraftwerk Krümmel (KKK)
Location：Krümmel (Elbe), Schleswig-Holstein
Mailing Address：Elbuferstrasse 82, D-21502 Geesthacht
Tel.：+49-4152-15-0
Fax.：+49-4152-15-2008
URL or E-Mail：
Owner：Hamburgische Electricitäts-Werke AG (HEW) 50%, E. ON Kernkraft GmbH (EKK) 50% (see Brunsbüttel)
Operator：Kernkraftwerk Krümmel GmbH (KKK)
Add.：Elbuferstrasse 82, D-21502 Geesthacht
Tel.：+49-4152-15-0

MÜLHEIM-KÄRLICH
（ミュルハイム・ケールリッヒ原子力発電所）

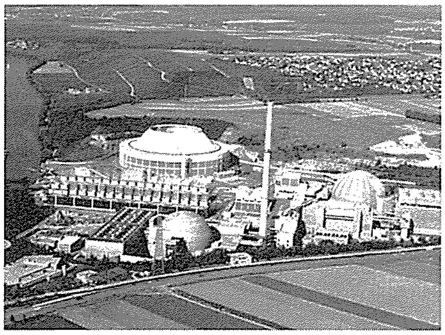
Name：Kernkraftwerk Mülheim-Kärlich (KMK)
Location：Mülheim-Kärlich (Rhein), Rheinland Pfalz
Mailing Address：Postfach 1432, D-56210 Mülheim-Kärlich
Tel.：+49-2637-642456
Fax.：+49-2637-64-2260
URL or E-Mail：
Owner：RWE Power AG (see Biblis-A, -B)



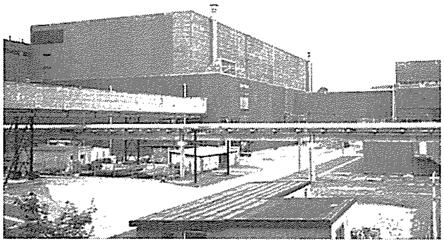
NECKAR I, II
（ネッカー原子力発電所1, 2号機）

Name：EnBW Kernkraft GmbH (GKN) I, II
Location：Neckarwestheim, Baden-Württemberg
Address：Im Steinbruch, D-74382 Neckarwestheim
Tel.：+49-7133-131
Fax.：+49-7133-17645
URL or E-Mail：info@gkn.de
Owner：EnBW Energie Baden-Württemberg AG Deutsche Bahn AG 0.2%, EnBW Kraftwerk AG 98.45%, Zementwerk Lauffen-Elektrizitätswerk Heilbronn AG 1.3%, KWO 0.05%
Add.：Durlache Allee 93 76131 Karlsruhe
Tel.：+49-721-63-14320
Fax.：+49-721-63-12672
URL or E-Mail：http://www.enbw.com
Operator：Kernkraftwerk Neckarwestheim
Mailing Address：Postfach 1162, D-74380 Neckarwestheim
Tel.：+49-7133-13-3297
Fax.：+49-7133-17645
URL or E-Mail：info@gkn.de

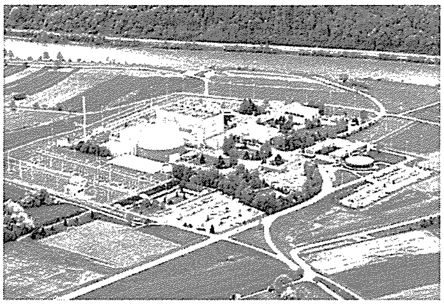
ドイツ
(GERMANY)



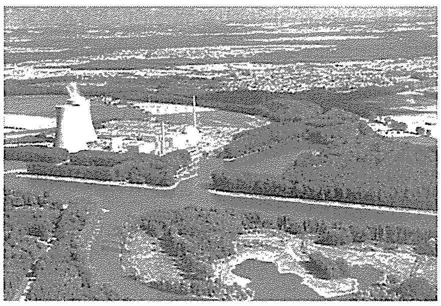
NORD (GREIFSWALD) -1, -2, -3, -4, -5
(ノルト原子力発電所)
Name : Nord (Greifswald)
Location : Lumbin, Nord Greifswald
Mailing Address : DDR-2200 Greifswald
Tel. :
Fax. :
URL or E-Mail :
Operator : VE Kombinat Kernkraftwerke "Bruno Leuschner" Greifswald
Add. : DDR-2200 Greifswald
Tel. :
Fax. :
URL or E-Mail :



OBRIGHEIM
(オブリッヒハイム原子力発電所)
Name : Kernkraftwerk Obrigheim (KWO)
Location : Obrigheim, Baden-Württemberg (30 miles upstream from Heidelberg)
Mailing Address : Kraftwerkstrasse 1, D-74847 Obrigheim am Neckar
Tel. : +49-6261-65496
Fax. : +49-6261-65500
URL or E-Mail : info@kwobrigheim.de
Owner : Energieversorgung Baden-Württemberg AG 100% (EnBW)
Add. : Durlache Allee 93 D 76131 Karlsruhe
Tel. : +49-721-63-14320
Operator : Kernkraftwerk Obrigheim GmbH (KWO)
Add. : Kraftwerkstrasse 1, D-74847 Obrigheim am Neckar
Tel. : +49-6261-65490
Fax. : +49-6261-65500
URL or E-Mail : info@kwobrigheim.de



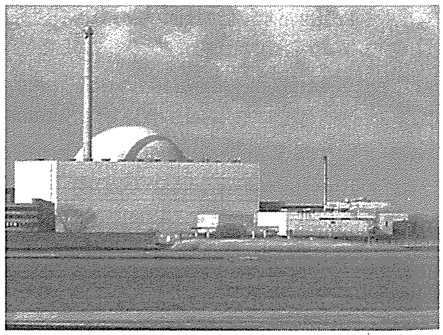
PHILIPPSBURG-1, -2
(フィリップスブルク原子力発電所1, 2号機)
Name : Kernkraftwerk Philippsburg (KKP)
Location : Philippsburg (Rhein), Baden-Württemberg (30 km N of Karlsruhe)
Mailing Address : D-76652 Philippsburg, Postfach 1140
Tel. : +49-7256-950
Fax. :
URL or E-Mail :
Owner : Energie Baden-Württemberg Kraftwerke AG (EnBW) 100% (former Badenwerk AG 50%, Energieversorgung Schwaben AG 50%) (see Obrigheim)



STADE
(シュターデ原子力発電所)
Name : Kernkraftwerk Stade (KKS)
Location : Stade (Elbe), Niedersachsen
Mailing Address : Postfach 1780, D-21657 Bassenfleth
Tel. : +49-4141-77-0
Fax. : +49-4141-70312
URL or E-Mail :
Owner : E. ON Kernkraft GmbH (EKK) 66.7%, HEW 33.3% (see Brokdorf)

THTR-300
(THTR-300原子力発電所)
Name : THTR-300 MW-Kernkraftwerk
Location : Schmehausen, Hamm-Untrop Nordrhein-Westfalen
Mailing Address : Siegenbeckstrasse 10, 4700 Hamm 1
Tel. : +49-2388-320
Fax. : +49-2388-72218
URL or E-Mail :
Owner : Hochtemperatur Kernkraftwerk GmbH (HKG)-Gemeinsames Europäisches Unternehmen
Add. : Siegenbeckstrasse 10, 4700 Hamm 1
Tel. : +49-2388-320
Fax. : +49-2388-72218
URL or E-Mail :

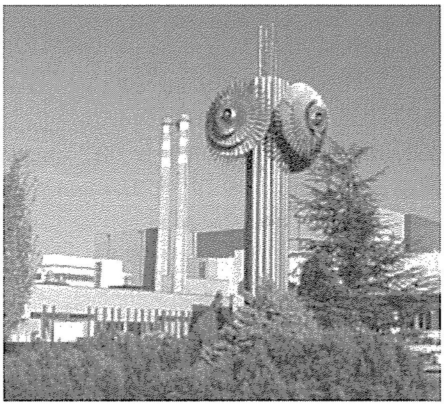
UNTERWESER
(ウンターベーザー原子力発電所)
Name : Kernkraftwerk Unterweser (KKU)
Location : Esenshamm (Weser), Niedersachsen (10 km S of Nordenham, 45 km N of Bremen)
Mailing Address : Postfach 140, D-26932 Stadland
Tel. : +49-4732-801
Fax. : +49-4732-8659, -8661
URL or E-Mail :
Owner : E. ON Kernkraft GmbH (EKK) (see Brokdorf)



WÜRGASSEN
(ビュルガッセン原子力発電所)
Name : Kernkraftwerk Würgassen (KKW)
Location : Würgassen (Weser), Nordrhein-Westfalen
Mailing Address : Postfach 1220, D-37677 Beverungen
Tel. : +49-5273-911
Fax. : +49-5273-38-2350
URL or E-Mail :
Owner : E. ON Kernkraft GmbH (EKK) (see Brokdorf)

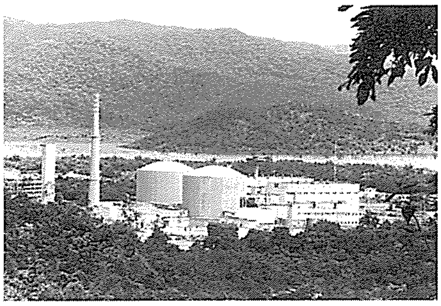
ハンガリー
(HUNGARY)

PAKS-1, -2, -3, -4
(パクシュ原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Paks Nuclear Power Plant Ltd.
Location : Paks, Tolna County (30 km N from Szekszard)
Mailing Address : H-7031 Paks, P. O. Box 71
Tel. : +36-75-508795
Fax. : +36-75-506662
Owner : MVMRT (Hungarian Power Companies Ltd.)
Add. : H-1011 Vámu, 5-7 Budapest
Tel. : +36-1-224-6200
Fax. : +36-1-202-1246
URL or E-Mail : http://www.mvm.hu
Operator : PA RT (Paks Nuclear Power Plant Ltd.)
URL or E-Mail : http://www.npp.hu
www.atomenergia.hu

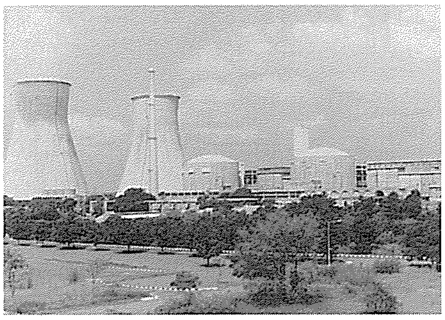


インド
(INDIA)

KAIGA-1, -2, -3, -4
(カイガ原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Kaiga Atomic Power Station Unit-1, -2, -3, -4
Location : Kaiga/Karwar, Karnataka (35 km E of Karwar)
Mailing Address : Karwar, Karnataka-581 400
Tel. : +91-8382-264047/264173
Fax. : +91-8382-264034/25
URL or E-Mail : gntao@npcil.co.in
Owner : Nuclear Power Corp. of India Ltd. (NPCIL)
Add. : 16 th/20 th Floor, Centre No. 1, World Trade Centre, Cuffee Parade, Mumbai-400 005
Tel. : +91-2218-2171/2177
Fax. : +91-2218-0109
URL or E-Mail : http://www.npcil.org

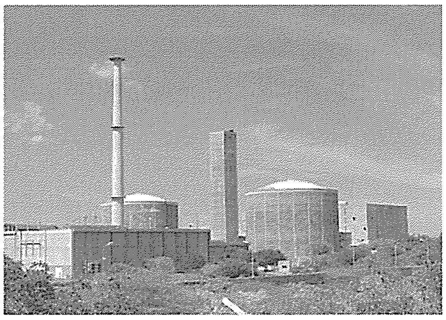


KAKRAPAR KAPS-1, -2
(カクラパー原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Kakurapar Atomic Power Station Unit-1, -2
Location : Kakrapar, Gujarat (60 km of E Surat)
Mailing Address : P. O. Anumala Dist. Surat 394651
Tel. : +91-2626-234233/244
Fax. : +91-2626-234268/266
URL or E-Mail : sktapkire@npcil.co.in
Owner : NPCIL (see Kaiga)



KUDANKULAM-1, -2
(クダンクラム原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Kudankulam Atomic Power Station Unit-1, -2
Location : Kudankulam, Tirunelveli Dist., Tamil Nadu (35 km E of Nagercoil)
Tel. : +91-4637-259893
Fax. : +91-4637-259754
URL or E-Mail : npckpn@vsnl.net
Owner : NPCIL (see Kaiga)

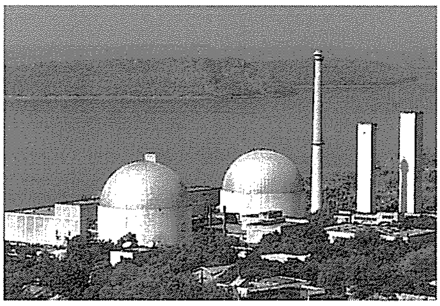
MADRAS MAPS-1, -2
(マドラス原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Madras Atomic Power Station Unit-1, -2
Location : Chengalpattu/Kalpakkam, Tamil Nadu (25 km, SE of Chengalpattu)
Mailing Address : Kalpakkam, Tamil Nadu 603 102
Tel. : +91-4114-280331
Fax. : +91-4114-280314
URL or E-Mail : sdmaps@igcar.ernet.in
Owner : NPCIL (see Kaiga)



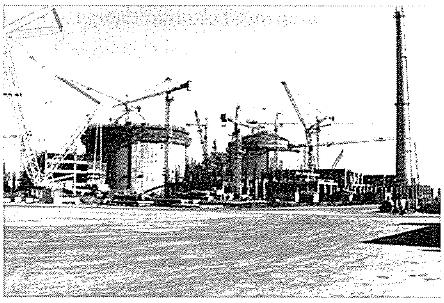
NARORA NAPS-1, -2
(ナローラ原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Narora Atomic Power Station Unit-1, -2
Location : Narora/Bulandshahar, Uttar Pradesh (40 km NE of Aligarh)
Mailing Address : Narora, Uttar Pradesh-202 367
Tel. : +91-5734-222103
Fax. : +91-5734-222114/112
URL or E-Mail : opgoyal@naps.npcil.ernet.in
Owner : NPCIL (see Kaiga)

PFBR
Name : Prototype Fast Breeder Reactor
Location : Indira Gandhi Centre for Atomic Research (IGCAR), Kalpakkam, Tamil Nadu-603102
Tel. : +91-044-27480267
Fax. : +91-044-27480060
URL or E-Mail : dirsec@igcar.ernet.in
Owner : Department of Atomic Energy (DAE)
Add. : Anushakti Bhavan, Chatrapathi Shivaji Maharaj Marg, Mumbai-400001, India
Tel. : +91-22-2202-6823
Fax. : +91-22-2204-8476
URL or E-Mail : http://www.dae.gov.in/

RAJASTHAN RAPS-1, -2, -3, -4, -5, -6
(ラジャスタン原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5, 6 号機)
Name : Rajasthan Atomic Power Station Unit-1, -2, -3, -4, -5, -6
Location : Rawatbhatta/Kota, Rajasthan (42 km SW of Kota)
Mailing Address : P. O. Anushakti, Via Kota, Rajasthan-323 303
Tel. : +91-1475-242101
Fax. : +91-1475-242190/242045
URL or E-Mail : subhashmittal@npciltaps.com
Owner : NPCIL (see Kaiga)

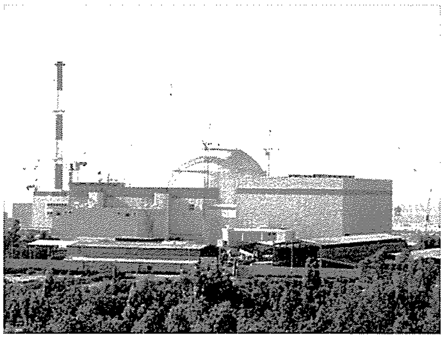


TARAPUR TAPS-1, -2, -3, -4
(タラプール原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Tarapur Atomic Power Station Unit-1, -2, -3, -4
Location : Tarapur, Maharashtra (100 km N of Bombay)
Mailing Address : Boisar, Maharashtra-401 504
Tel. : +91-2525-282003
Fax. : +91-2525-282073
URL or E-Mail : taps@wspl.nrt.in
Owner : NPCIL (see Kaiga)



イラン
(IRAN)

BUSHEHR-1, -2, -3, -4
(ブシェール原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Buchehr Nuclear Power Plant Unit-1, -2, -3, -4
Location : Buchehr, Halileh
Mailing Address : Buchehr
Tel. : +98-771-24727
Fax. :
URL or E-Mail :
Owner : Atomic Energy Organization of Iran (AEOI)
Add. : P. O. Box 14395-1486 Tehran
Tel. : +98-21-22055100-4
Fax. : +98-21-2058907
URL or E-Mail :



イスラエル
(ISRAEL)

UNNAMED-1
——
Name :
Location : Shivta
Owner : Israel Electric Corp., Ltd. (IEC)
Add. : P. O. Box 10 Haifa 31000
Tel. : +972-4-8185129
Fax. : +972-4-8185121
URL or E-Mail :

イタリア
(ITALY)

CAORSO
(カオルソ原子力発電所)
Name : Caorso Nuclear Power Plant
Location : Caorso Piacenza
Mailing Address : Caorso, Piacenza
Tel. : +39-532-82-1196
Fax. : +39-523-81-8469
URL or E-Mail :
Owner : Ente Nazionale per l'Energia Electrica (ENEL)
Add. : Via Giovanni Battista Martini, 3 Roma 00198
Tel. : +39-6-8509-2233
Fax. : +39-523-818469
URL or E-Mail :

LATINA
(ラティナ原子力発電所)
Name : Latina Nuclear Power Plant
Location : Borgo Sabotino del di Latina, Sur Mar Tirreno (80 km S of Roma)
Mailing Address : Borgo Sabotino, Latina
Tel. : +39-773-28016
Fax. : +39-773-28455
URL or E-Mail :
Owner : ENEL (see Caorso)

TRINO VERCELLESE
(トリノ・ベルチェレッセ原子力発電所)
Name : Trino Vercellese Nuclear Power Plant
Location : Vercelli
Mailing Address : Trino Vercellese, Vercelli
Tel. : +39-161-82-8283
Fax. : +39-161-805275
URL or E-Mail :
Owner : ENEL (see Caorso)

カザフスタン
(KAZAKHSTAN)

SHEVCHENKO (BN-350)
(シェフチェンコ原子力発電所)
Name : FBR BN-350
Location : Aktau City (former Shevchenko)
Mailing Address : 466210 Aktau City, Mangistauski Region, Kazakhstan
Tel. : +7-3292-51-5444
Fax. : +7-3292-51-5444
URL or E-Mail :
Owner : Mangishlak Nuclear Power Plant (MAEK)
Add. : 466210 Aktau City, Mangistauski Region, Kazakhstan
Tel. : +7-3272-51-4800
Fax. : +7-3272-51-4364
URL or E-Mail :

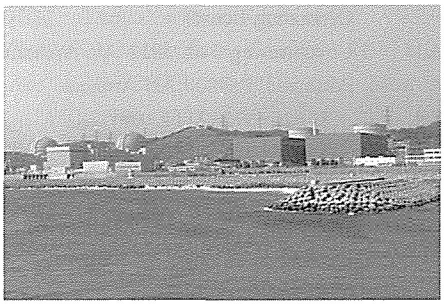
BALKHASH -1, -2, -3
(バルハシ原子力発電所 1, 2, 3 号機)
Name : Balkhash Nuclear Power Plant
Location : Ulken town, Almaty Region
Mailing Address : Bogenbay Batyra St 168, 480012

Almaty City
Tel. : +7-3272-62-5587
Fax. : +7-3272-50-6288
URL or E-Mail : Katepkzt@online.ru
Owner : JSKATEP (Kazakh State Corp. of Nuclear Power Industny)
Add. : Bogenbay Batyra St 168, 480012 Almaty City, Kazakhstan
Tel. : +7-3272-62-5587
Fax. : +7-3272-50-6288
URL or E-Mail : katepkzt@online.ru

韓国
(REPUBLIC OF KOREA)

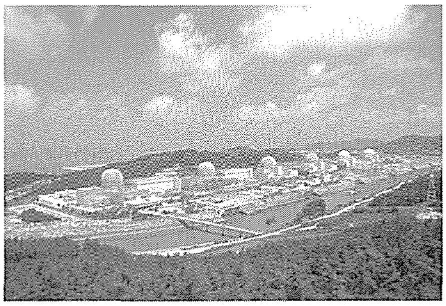
KORI-1, -2, -3, -4
(古里原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Kori Nuclear Power Plant Unit-1, -2, -3, -4
Location : Gijang, Busan
Mailing Address : 216 Ko-Ri, Jangan-Eup, Gijang-Gun, Busan City, 619-711
Tel. : +81-51-726-2114
Fax. : +81-51-726-2999
URL or E-Mail : http://www.khnp.co.kr/kori
Owner : Korea Hydro & Nuclear Power Co. (KHNP) (a new company inaugurated on April 2, 2001 succeeding to KEPCO's nuclear and hydro power sectors)
Add. : 167, Samseong-Dong, Gangnam-Gu, Seoul, 135-791
Tel. : +82-2-3456-2325
Fax. : +82-2-3456-2399
URL or E-Mail : http://www.khnp.co.kr

ULCHIN-1, -2, -3, -4, -5, -6
(蔚珍原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5, 6 号機)
Name : Ulchin Nuclear Power Plant Unit-1, -2, -3, -4, -5, -6
Location : Uljin, Gyeongbuk
Mailing Address : 84-4 Bugu-Ri, Buk-Myeon, Uljin-Gun, Gyeongbuk, 767-701
Tel. : +82-54-785-2114
Fax. : +82-54-785-2999
URL or E-Mail : http://www.khnp.co.kr/ulchin
Owner : KHNP (see Kori)



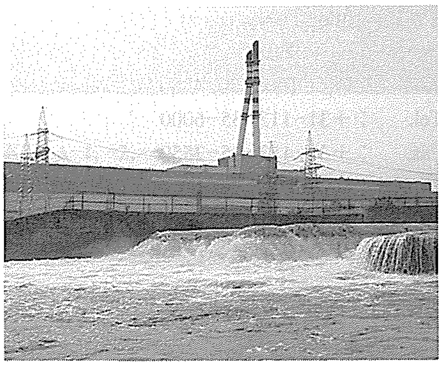
WOLSONG-1, -2, -3, -4
(月城原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Wolsong Nuclear Power Plant Unit-1, -2, -3, -4
Location : Gyeongju, Gyeongbuk
Mailing Address : 260 Naa-Ri, Yangnam-Myeon, Gyeongju-Si, Gyeongbuk, 780-715
Tel. : +82-54-779-2114
Fax. : +82-54-779-2999
URL or E-Mail : http://www.khnp.co.kr/wolsong
Owner : KHNP (see Kori)

YONGGWANG-1, -2, -3, -4, -5, -6
(霊光原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5, 6 号機)
Name : Yonggwang Nuclear Power Plant Unit-1, -2, -3, -4, -5, -6
Location : Yeonggwang, Jeonnam
Mailing Address : 514 Gyema-Ri, Hongnong-Eup, Yeonggwang-Gun, Jeonnam, 513-882
Tel. : +82-61-357-2114
Fax. : +82-61-357-2999
URL or E-Mail : http://www.khnp.co.kr/youngkwg
Owner : KHNP (see Kori)



リトアニア
(LITHUANIA)

IGNALINA-1, -2
(イグナリナ原子力発電所 1, 2 号機)
Name : State Enterprise Ignalina Nuclear Power Plant
Location : about 8 km from Visaginas (North-East of Ignalina)
Mailing Address : LT-31500 Visaginas
Tel. : +370-386-28350
Fax. : +370-386-60496
URL or E-Mail : http://www.iae.lt
Owner : Ministry of Economy (MOE)
Add. : Gedimino Ave. 38/2, LT-01104 Vilnius
Tel. : +370-5-262-1064
Fax. : +370-5-262-3974
URL or E-Mail : http://www.ukmin.lt



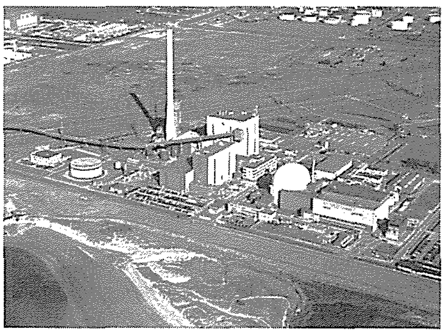
メキシコ
(MEXICO)

LAGUNA VERDE-1, -2
(ラグナベルデ原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Central Nucleoeléctrica Laguna Verde
Location : Alto Lucero, Veracruz (8 km S of Palmasola)
Mailing Address : Laguna Verde, Veracruz
Tel. : +52-299-989-9110
Fax. : +52-296-974-0121
URL or E-Mail : http://www.cfe.gob.mx/lagver/

Owner : Comisión Federal de Electricidad (CFE), Gerencia de Centrales Nucleoeléctricas (GCN)
Add. : Carretera Cardel-Nautla Km. 42.5 Laguna Verde, Mpio. Alto Lucero, Veracruz, México C. P. 91680
Tel. : +52-229-989-9110
Fax. : +52-296-974-0121

オランダ
(NETHERLANDS)

BORSSELE
(ボルセラ原子力発電所)
Name : Kernenergiecentrale Borssele
Location : Borssele (Vlissingen)
Mailing Address : Borssele-Zeeland
Tel. : +31-113-35-6000
Fax. : +31-113-35-2550
URL or E-Mail : http://www.epz.nl
Owner : N. V. EPZ
Add. : P. O. Box 130, 4380 AC Vlissingen
Tel. : +31-113-35-6000
Fax. : +31-113-35-2550
URL or E-Mail : http://www.epz.nl

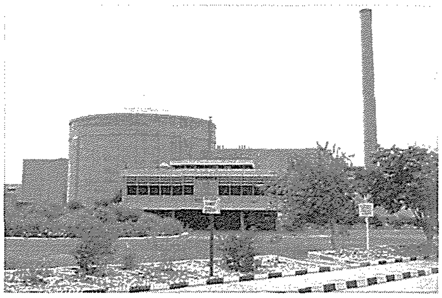


DODEWAARD
(ドーデバルト原子力発電所)
Name : Kernenergiecentrale Dodewaard
Location : Dodewaard (Nijmegen)
Mailing Address : Waalbandijk 112 A, 6669 MG Dodewaard
Tel. : +31-488-41-8811
Fax. : +31-488-41-2128
URL or E-Mail :
Owner : N. V. SEP (Dutch Electricity Generating Board)
Add. : Utrechtseweg 310, 6812 AR Arnhem, Postbus 575, 6800 AN Arnhem
Tel. : +31-26-372-1111
Fax. : +31-26-443-0858
URL or E-Mail :
Operator : N. V. GKN

パキスタン
(PAKISTAN)

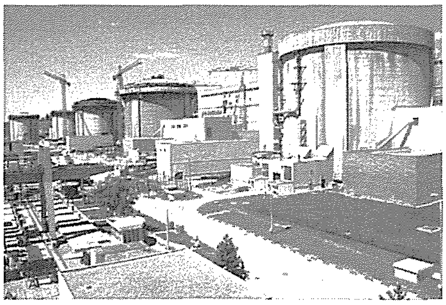
CHASHMA-1, -2
(チャシュマ原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Chashma Nuclear Power Plant (CHASNUPP)
Location : Chashma, District Mianwali, Punjab (7.5 km from Kundian, 32 km south of Mianwali)
Mailing Address : Chashma Barrage Colony, Kundian, Distt. Mianwali, Punjab 42030
Tel. : +92-45202-41525
Fax. : +92-45202-41505
URL or E-Mail : chasnupp@fsd.paknet.com.pk
Owner : Pakistan Atomic Energy Commission (PAEC)
Add. : P. O. Box 1114, Islamabad
Tel. : +92-51-9209032
Fax. : +92-51-9204908
URL or E-Mail : chashma@isd.paknet.com.pk

KARACHI
(カラチ原子力発電所)
Name : Karachi Nuclear Power Plant (KANUPP)
Location : Pradise Point, Karachi, Sind (14 km from the nearest major population center)
Mailing Address : P. O. Box 3183, Paradise Point, Karachi
Tel. : +92-21-920-2222
Fax. : +92-21-920-2240
URL or E-Mail : knpc@khi.comsats.net.pk
Owner : PAEC (see Chasnupp)



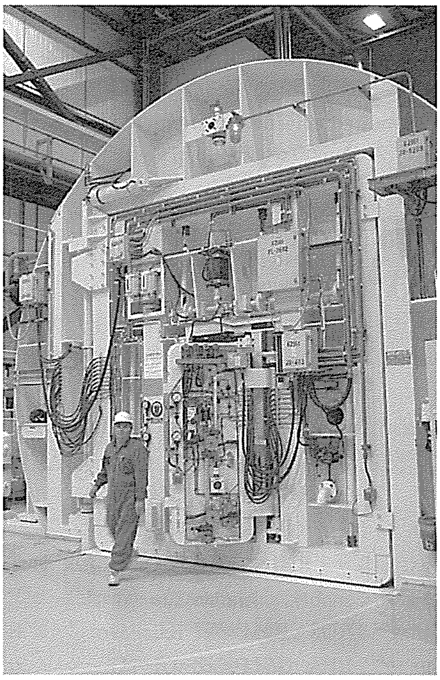
ルーマニア
(ROMANIA)

CERNAVODA-1
(チェルナボーダ原子力発電所 1 号機)
Name : Cernavoda-1
Location : Cernavoda (Danube)
Mailing Address : str. Medgidiei nr. 1 P. O. Box 42, 905200 Cernavoda, jud. Constanta
Tel. : +40-241-238610
Fax. : +40-241-239679
URL or E-Mail : mserban@cne.ro http://www.cne.ro
Owner : Societatea Nationala Nuclearelectrica S. A. (SNN)
Add. : 65, Polona Street, Sector 1 010494 Bucharest
Tel. : +40-21-203-8200
Fax. : +40-21-316-9400
URL or E-Mail : http://www.nuclearelectrica.ro
Operator : CNE-PROD: Centrala Nuclearoelectrica Cernavoda-Productie (Production Branch of SNN for Cernavoda NPP, Unit-1)



CERNAVODA-2, -3, -4, -5
(チェルナボーダ原子力発電所 2, 3, 4, 5 号機)
Name : Cernavoda-2, -3, -4, -5
Location : Cernavoda (Danube)
Mailing Address : str. Medgidiei nr. 3

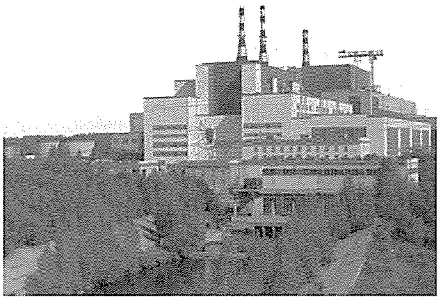
P. O. Box 1, 905200 Cernavoda, jud. Constanta
Tel. : +40-241-239962
Fax. : +40-241-239266
URL or E-Mail : nvmareuzescu@cne-u2.ro
Owner : SNN (see Cernavoda-1)
Operator : CNE-INVEST: Centrala Nuclearo-electrica Cernavoda-Investitii, Filiala SNN (Projects Branch of SNN for Cernavoda NPP, Units-2 to 5)



ロシア
(RUSSIAN FEDERATION)

BALAKOVO-1, -2, -3, -4
(バラコボ原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Balakovo Nuclear Power Plant Unit -1, -2, -3, -4
Location : Balakovo (ENE of Saratov)
Mailing Address : Saratovskaya Oblast, Balakovo, 413866
Tel. : +7-845-70-6-8866
Fax. : +7-845-70-3-2638
URL or E-Mail : http://aes.balakovo.ru
reaspravka@aes.balakovo.ru
Owner : Russian Federal Agency on Nuclear Energy (ROSATOM)
Add. : 26, B. Ordynka ul., 101000, Moscow
Tel. : +7-095-239-4545
Fax. : +7-095-230-2420
URL or E-Mail : http://www.minatom.ru
Operator : Rosenergoatom Concern (REA)
Add. : 24/26 B. Ordynka ul., Moscow, 119017
Tel. : +7-095-239-4505
Fax. : +7-095-230-2420
URL or E-Mail : info@rosenerfoatom.ru
http://www.rosatom.ru

BELOYARSK-1, -2, -3 (BN-600)
(ベロヤルスク原子力発電所 1, 2, 3 号機)
Name : Beloyarsk Nuclear Power Plant Unit -1, -2, -3
Location : near Beloyarsk (E of Sverdlovsk)
Mailing Address : Sverdlovskaya Oblast, Zarechny 624250
Tel. : +7-34377-3-6350
Fax. : +7-34377-3-1070
URL or E-Mail : dir@bpp.pssr.ru
Owner : ROSATOM (see Balakovo)
Operator : REA (see Balakovo)

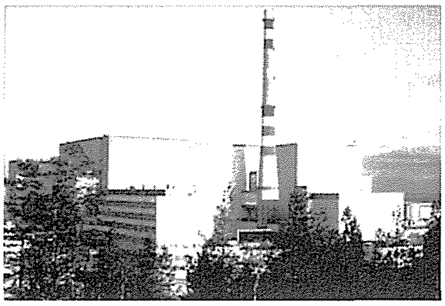


BILIBINO-1, -2, -3, -4
(ビリビノ原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Bilibino Nuclear Power Plant Unit-1, -2, -3, -4
Location : Chukotka, Nord Siberia
Mailing Address : Chukotsky Avtonomny Okrug, Bilibino, 689450
Tel. : +7-4-27-38-2-4448
Telex. : 354671 URAN RU
Owner : ROSATOM (see Balakovo)
Operator : REA (see Balakovo)

KALININ-1, -2, -3
(カリーニン原子力発電所 1, 2, 3 号機)
Name : Kalinin Nuclear Power Plant Unit-1, -2, -3
Location : Udomlya (NW of Tver)
Mailing Address : Tverskaya Oblast, Udomlya 171850
Tel. : +7-082-554-4742
Fax. : +7-082-554-4591
URL or E-Mail : http://www.knpp.ru
reaspravka@knpp.tmts.tver.su
Owner : ROSATOM (see Balakovo)
Operator : REA (see Balakovo)

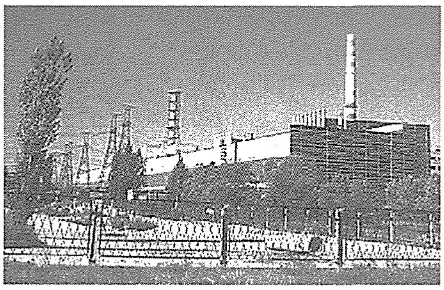
KOLA-1, -2, -3, -4
(コラ原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Kola Nuclear Power Plant Unit-1, -2, - 3, -4
Location : Polyarnie Zori (S of Murmansk)
Mailing Address : Murmanskaya Oblast, Polyarnie Zori, 184230
Tel. : +7-81-532-78-350
Fax. : +7-81-532-78-140
URL or E-Mail : http://www.ibrae.ac.ru
kolanpp@kolatom.murmansk.ru
Owner : ROSATOM (see Balakovo)
Operator : REA (see Balakovo)

ロシア
(RUSSIAN FEDERATION)



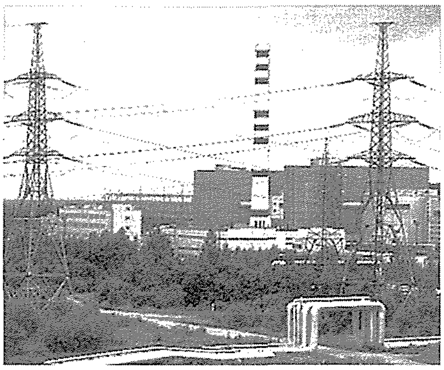
KURSK-1, -2, -3, -4, -5
(クルスク原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5 号機)

Name : Kursk Nuclear Power Plant Unit 1-5
Location : Kurchatov, Kursk (SWS of Kursk)
Mailing Address : Kurskaya Oblast, Kurchatov, 307250
Tel. : +7-07131-41819
Fax. : +7-07131-41849
URL or E-Mail : office@kunpp.kursknet.ru
Owner : ROSATOM (see Balakovo)
Operator : REA (see Balakovo)



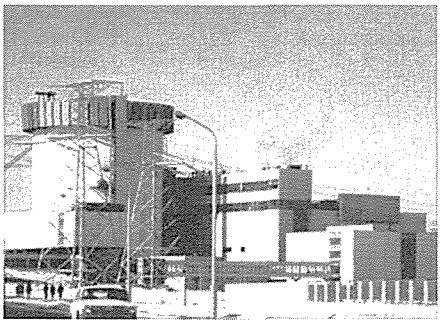
LENINGRAD-1, -2, -3, -4
(レニングラード原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)

Name : Leningrad Nuclear Power Plant Unit -1, -2, -3, -4
Location : Sosnovy Bor, St. Petersburg reg. (Gulf of Finland, 70 km W of St. Petersburg)
Mailing Address : Leningrad Oblast, Sosnovy Bor, 188540
Tel. : +7-812-69-2-1193
Fax. : +7-812-69-2-2518
URL or E-Mail : http://www.laes.sbor.ru
scr@laes.sbor.ru
Owner : ROSATOM (see Balakovo)
Operator : REA (see Balakovo)



NOVOVORONEZH-1, -2, -3, -4, -5
(ノボボロネジ原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5 号機)

Name : Novovoronezh Nuclear Power Plant Unit-1, -2, -3, -4, -5
Location : Novovoronezh, Voronezh (N of Voronezh)
Mailing Address : Voronezhskaya Oblast, Novovoronezh, 396072
Tel. : +7-073-64-73305
Fax. : +7-073-64-73302
URL or E-Mail : postmaster@nvnpp.vrn.ru
http://www.nvnpp.vrn.ru
Owner : ROSATOM (see Balakovo)
Operator : REA (see Balakovo)



OBNINSK
(オブニンスク原子力発電所)

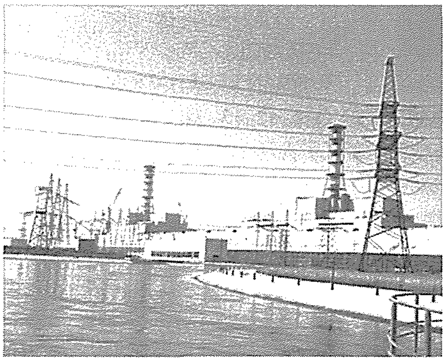
Name : Obninsk Nuclear Power Plant
Location : Obninsk, Kaluga
Mailing Address :
Tel. : +7-
Fax. : +7-
URL or E-Mail :
Owner : ROSATOM (see Balakovo)
Operator : Institute of Physics and Power Engineering (IPPE)
Add. : Bondarenko Square 1, 249020 Obninsk, Kaluga Region
Tel. : +7-095-546-3916
Fax. : +7-095-230-2326
URL or E-Mail :

ROSTOV (VOLGODONSK) -1, -2
(ロストフ (ボルゴドンスク) 原子力発電所 1, 2 号機)

Name : Rostov (Volgodonsk) Nuclear Power Plant Unit-1, -2
Location : Rostov, Volgodonsk
Mailing Address : Rostovskaya Oblast, Volgodonsk-28, 347396
Tel. : +7-863-92-2-3730
Fax. : +7-863-92-2-4855
URL or E-Mail : admin@rosnpp.org.ru
http://www.rosnpp.org.ru
Owner : ROSATOM (see Balakovo)
Operator : REA (see Balakovo)

SMOLENSK-1, -2, -3
(スモレンスク原子力発電所 1, 2, 3 号機)

Name : Smolensk Nuclear Power Plant Unit -1, -2, -3
Location : Smolensk
Mailing Address : Smolenskaya Oblast, Desnogorsk, 216400
Tel. : +7-081-53-7-23-50
Fax. : +7-081-53-7-4769, -0798
URL or E-Mail : snpp@sci.smolensk.ru
Owner : ROSATOM (see Balakovo)
Operator : REA (see Balakovo)



ULIYANOVSK (VK-50)
(ウリヤノフスク (VK-50) 原子力発電所)

Name : VK-50 Research Reactor
Location : Dimitrovgrad
Mailing Address : 433510, Dimitrovgrad-10 Ulyanovsk region
Tel. : +7-84235, -32021
Fax. : +7-
URL or E-Mail :
Owner : ROSATOM (see Balakovo)

Operator ：Research Institute for Atomic Reactor （RIAR）
Add. ：433510 Ulyanovsk Region, Dimitrovgrad 10
Tel. ：+7-84235-3-2727
Fax. ：+7-84235-3-5648
URL or E-Mail ：

ULIYANOVSK（BOR-60）
（ウリヤノフスク（BOR-60）原子力発電所）
Name ：BOR-60 Research Reactor
Location ：Dimitrovgrad
Mailing Address ：433510 Dimitrovgrad-10, Ulyanovsk region
Tel. ：+7-84235，-32021
Fax. ：+7-
URL or E-Mail ：
Owner ：ROSATOM（see Balakovo）
Operator ：RIAR（see Uliyanovsk VK-50）

スロバキア
(SLOVAK REPUBLIC)

BOHUNICE-1, -2, -3, -4, A-1
（ボフニチェ原子力発電所 1，2，3，4 号機，A-1 ボフニチェ原子力発電所）
Name ：SE-EBO Bohunice, Z.
Location ：Jaslovské Bohunice
Mailing Address ：Jaslovské Bohunice 919 31
Tel. ：+421-33-597-1111
Fax. ：+421-33-559-1527/-1513
URL or E-Mail ：http://www.seas.sk
Owner ：Slovenské Elektrárne, a. s.(SE, a. s.)
Add. ：827 36 Bratislava, Hraniênâ 12
Tel. ：+421-2-5069-1111
Fax. ：+421-2-5341-7525/7533
URL or E-Mail ：http://www.seas.sk
Operator ：Nuclear Power Station Bohunice (SE-EBO)

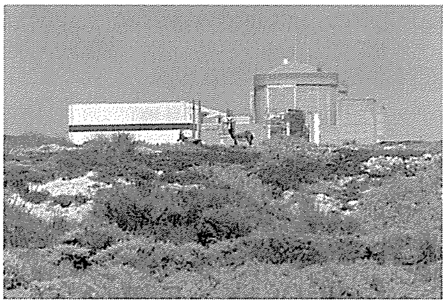
MOCHOVCE-1, -2, -3, -4
（モホフチェ原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機）
Name ：SE, a. s., EMO, z.
Location ：Mochovce
Mailing Address ：Mochovce 935 39
Tel. ：+421-36-6363665
Fax. ：+421-36-6391120
URL or E-Mail ：(see Bohunice)
Owner ：SE, a. s.(see Bohunice)
Operator ：Nuclear Power Station Mochovce (SE-EMO)

スロベニア
(SLOVENIA)

KRSKO
（クルスコ原子力発電所）
Name ：Krsko Nuclear Power Plant
Location ：Krsko
Mailing Address ：Vrbina 12, 8270 Krsko
Tel. ：+386-7480-2000
Fax. ：+386-7492-1528
URL or E-Mail ：http://www.nek.si
Owner ：ELES-GEN（Slovenia）and HEP（Croatia）
Add. ：C. 4. julija 32, 8270 krsko, Slovenia
Tel. ：+386-7-49-01-117
Fax. ：
URL or E-Mail ：
Operator ：NEK（Nuklearna elektrarna Krsko, Krsko nuclear power plant）
Add. ：Vrbina 12, 8270 Krsko
Tel. ：+386-7480-2000
Fax. ：+386-7492-1528

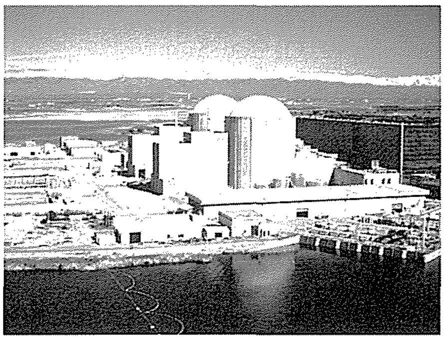
南アフリカ
(SOUTH AFRICA)

KOEBERG-1, -2
（クバーグ原子力発電所 1, 2 号機）
Name ：Koeberg Nuclear Power Station
Location ：Koeberg（near Melkbosstrand, 30 km N of Cape Town）
Mailing Address ：Private Bag X 10, Kernkrag 7440
Tel. ：+27-21-550-4836
Fax. ：+27-21-550-5107
URL or E-Mail ：FEATHERK@ESKOM.CO.ZA CO.ZA
Owner ：ESKOM
Add. ：P. O. Box 1091 Johannesburg 2000
Tel. ：+27-11-800-8111
Fax. ：+27-11-800-5881
URL or E-Mail ：http://www.eskom.co.za



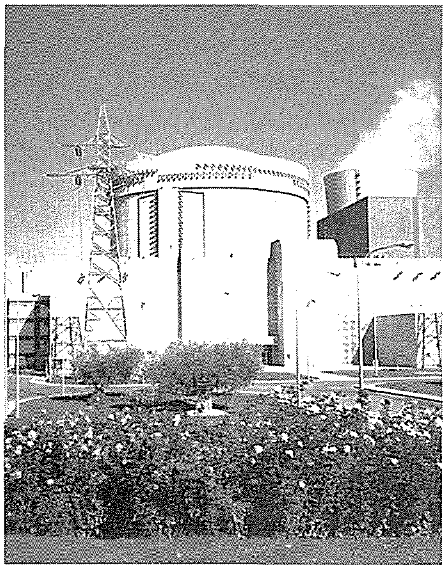
スペイン
(SPAIN)

ALMARAZ-1, -2
（アルマラス原子力発電所 1, 2 号機）
Name ：Central Nuclear de Almaraz-I, -II
Location ：Almaraz（16 km NE of Caceres）
Mailing Address ：Apartado de Correos, 74 Navalmoral de la Mata（Cáceres）10300
Tel. ：+34-927-54-5090
Fax. ：+34-927-54-5090
URL or E-Mail ：IAL@CNA.es
Owner ：Iberdrola Generación S. A.（ID）53 %, ENDESA 36 %, UFG 11%
Add. ：Hermosilla, 3 28006 Madrid
Tel. ：+34-91-577-6500
Fax. ：+34-91-576-6762
URL or E-Mail ：http://www.iberdrola.es
Operator ：Central Nucleares Almaraz-Trillo, AIE（CNAT）
Add. ：Plaza de Carlos Trias Bertran, 7 Edificio Sollube, 28020 Madrid
Tel. ：+34-91-555-9111
Fax. ：+34-91-556-6520
URL or E-Mail ：http://www.cnat.es



ASCÓ-1, -2
(アスコ原子力発電所1,2号機)

Name : Central Nuclear de Ascó, Unidad I-II
Location : Ascó, Tarragona
Mailing Address : 43791 Ascó, Tarragona
Tel. : +34-977-415000
Fax. : +34-977-405181
URL or E-Mail :
Owner : 1: ENDESA Generación S. A. 100%
2: ENDESA 85%, ID 15%
Operator : Asociación Nuclear Ascó-Vandellos II, A. I. E. (ANAV)
Add. : Apartado de Correos, 48
43890 L'Hospitalet de L'Infant
Tarragona
Tel. : +34-977-81-8800
Fax. : +34-977-81-8720
URL or E-Mail : http://www.anav.es

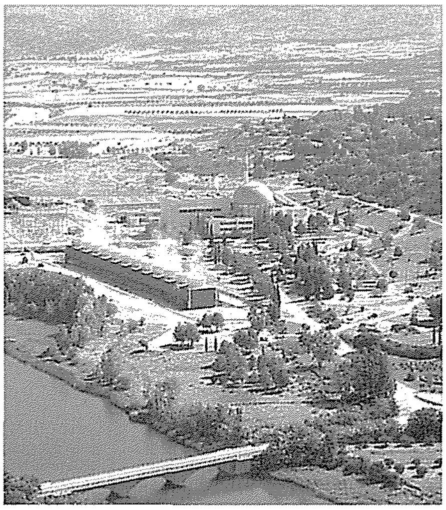


COFRENTES
(コフレンテス原子力発電所)

Name : Central Nuclear de Cofrentes
Location : Cofrentes, Valencia
Mailing Address : 46625 Cofrentes, Valencia
Tel. : +34-96-189-4300
Fax. : +34-96-219-6477
URL or E-Mail : a.penarrubia@iberdrola.es
Owner : Iberdrola Generación, S. A.

JOSÉ CABRERA (ZORITA)
(ホセカブレラ(ソリタ)原子力発電所)

Name : Central Nuclear José Cabrera
Location : Zorita, Guadalajara (Tajo river, 100 km NE of Madrid)
Mailing Address : Almonacid de Zorita, Guadalajara
Tel. : +34-91-567-3510
Fax. : +34-91-567-3500
Owner : Union Fenosa Generación S. A. (UFG)
Add. : Capitan Haya 53, 28020 Madrid
Tel. : +34-91-571-3700
Fax. : +34-91-570-0905



SANTA MARIA DE GAROÑA
(サンタ・マリアデガローニャ原子力発電所)

Name : Central Nuclear de Santa Maria de Garoña
Location : Santa Maria de Garoña, Burgos
Mailing Address : 09212 Santa Maria de Garoña, Burgos
Tel. : +34-947-34-9400
Fax. : +34-947-34-9440
Owner : Nuclenor, S. A.(ID 50%, ENDESA 50%)
Add. : Hernán Cortés 26, 39003 Santander
Tel. : +34-942-24-5100
Fax. : +34-942-24-5123

TRILLO-1
(トリリョ原子力発電所1号機)

Name : Central Nuclear de Trillo-I
Location : Trillo, Guadalajara
Mailing Address : 19450 Trillo (Guadalajara)
Tel. : +34-949-81-7900
Fax. : +34-949-81-7826
Owner : ID 48%, UFG 34.5%, HC G 15.5%, NUCLENOR 2%
(see Almaraz)
Operator : Central Nucleares Almaraz-Trillo, AIE (CNAT) (see Almaraz)

VANDELLÓS-1
(バンデリョス原子力発電所 1 号機)
Name : Central Nuclear de Vandellós-1
Location : Vandellos, Tarragona
Mailing Address : Carretera Nacinal-Km 211 L'Hospitalet de L'Infante, Tarragona
Tel. : +34-977-82-3050
Fax. : +34-977-49-0213
Owner : Hispano-Francesa de Energia Nuclear, S. A.(HIFRENSA) (EDF 25%, HE 23%, FECSA 23%, ENHER 23%, FES 6%)
Add. : Tuset 20-24, Planta, 08006 Barcelona
Tel. : +34-93-217-9200
Fax. : +34-93-217-5524

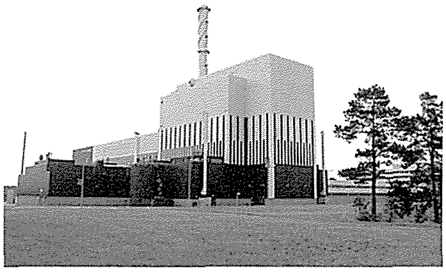
VANDELLÓS-2
(バンデリョス原子力発電所 2 号機)
Name : Central Nuclear de Vandellós II
Location : Vandellos, Tarragona
Mailing Address : Apartado. 27 L'Hospitalet de L'Infante, 43890 Tarragona
Tel. : +34-977-81-8800
Fax. : +34-977-81-8889
Owner : ENDESA 72%, ID 28%
Operator : Asociatión Nuclear Ascó-Vandellos II, A. I. E. (ANAV) (see Ascó)

スウェーデン
(SWEDEN)

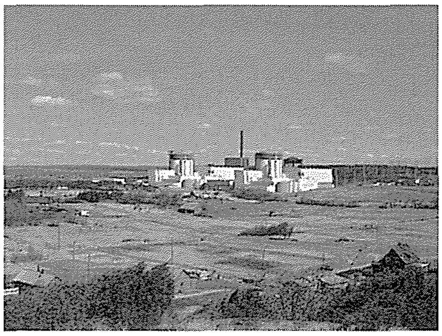
BARSEBÄCK-1, -2
(バーセベック原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Barsebäck Kraft AB
Location : Barsebäck (near Malmo)
Mailing Address : Box 524, S-24625 Löddeköpinge
Tel. : +46-46-72-4000
Fax. : +46-46-77-5793
Owner : Ringhals AB (Vattenfall AB 70%, Sydkraft AB 30%)
Add. : Box 524, S-24625 Löddeköpinge
Tel. : +46-46-72-4000
Fax. : +46-46-77-5793
URL or E-Mail : http://www.ringhals.se

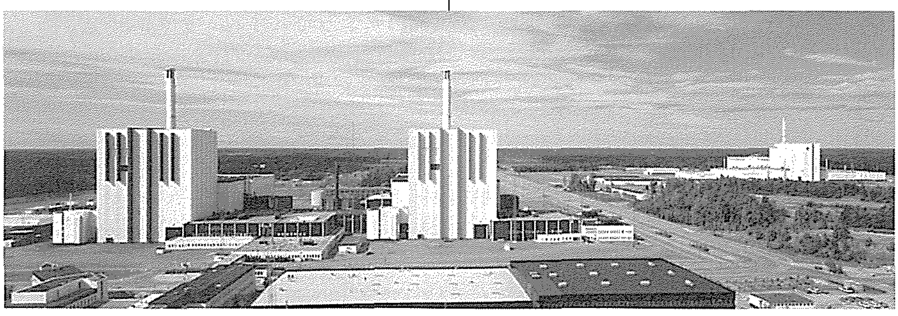
FORSMARK-1, -2, -3
(フォルスマルク原子力発電所 1, 2, 3 号機)
Name : Forsmarksverket
Location : Forsmark (70 km NE of Uppsala, 25 km N of Östhammar)
Mailing Address : S-74203 Östhammar
Tel. : +46-173-81000
Fax. : +46-173-81634
Owner : Forsmarks Kraftgrupp AB (FKA)
Add. : S-74203 Östhammar
Tel. : +46-173-81000
Fax. : +46-173-81634 (PR office)
URL or E-Mail : info@forsmark.vattenfall.se

OSKARSHAMN-1, -2, -3
(オスカーシャム原子力発電所 1, 2, 3 号機)
Name : Oskarshamn
Location : Oskarshamn, County of Kalmar (Figeholm about 5 km)
Mailing Address : S-57283 Oskarshamn
Tel. : +46-491-786000
Fax. : +46-491-786090
URL or E-Mail :
Operator : OKG Aktiebolag
Add. : S-572 83 Oskarshamn
Tel. : +46-491-786000
Fax. : +46-491-786090



RINGHALS-1, -2, -3, -4
(リングハルス原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Ringhals AB
Location : Ringhals (20 km from Varberg, 60 km S of Gothenburg)
Mailing Address : S-43022 Väröbacka
Tel. : +46-340-66-7000
Fax. : +46-340-66-5184
URL or E-Mail : http://www.ringhals.se
Owner : Vattenfall AB 70%, E. ON Sverige AB 30%
Add. : S-16287 Stockholm
Tel. : +46-8-739-5000
Fax. : +46-8-37-7795
URL or E-Mail : http://www.vattenfall.se





Forsmark (フォルスマルク)

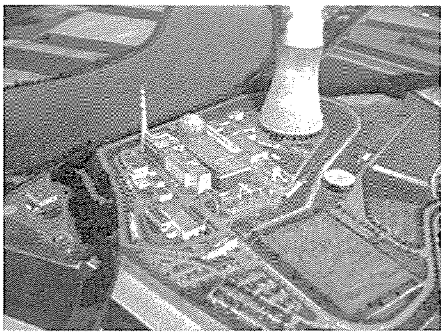
スイス
(SWITZERLAND)

BEZNAU-1, -2
(ベツナウ原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Kernkraftwerk Beznau 1, 2
Location : Doettingen, Aargau (40 km N of Zurich)
Mailing Address : CH-5312 Doettingen, Aargau
Tel. : +41-56-266-7111
Fax. : +41-56-266-7701
URL or E-Mail : nf@nok.ch
Owner : Nordostschweizerische Kraftwerke (NOK)

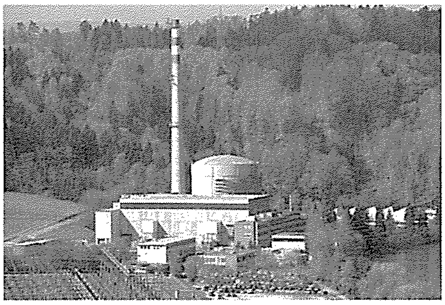
Add. : Parkstrasse 23, CH-5401 Baden
Tel. : +41-56-200-3111
Fax. : +41-56-200-3755
URL or E-Mail : http://www.nok.ch, www.axpo.ch

GÖSGEN
(ゲスゲン原子力発電所)
Name : Kernkraftwerk Gösgen
Location : Däniken (35 km SE of Basel)
Mailing Address : Postfach 4658 Däniken
Tel. : +41-62-288-2000
Fax. : +41-62-288-2001
URL or E-Mail :
Owner : Kernkraftwerk Gösgen-Däniken AG (KKG)
Add. : CH-4658 Däniken
Tel. : +41-62-288-2000
Fax. : +41-62-288-2001
URL or E-Mail : http://www.kkg.ch

LEIBSTADT
(ライプシュタット原子力発電所)
Name : Kernkraftwerk Leibstadt AG
Location : Leibstadt, Aargau
Mailing Address : CH-5325 Leibstadt, Aargau
Tel. : +41-56-267-7111
Fax. : +41-56-247-1437
URL or E-Mail : http://www.kkl.ch
Owner : Kernkraftwerk Leibstadt AG (KKL)
Add. : CH-5325 Leibstadt
Tel. : +41-56-267-7111
Fax. : +41-56-247-1437
URL or E-Mail : http://www.kkl.ch

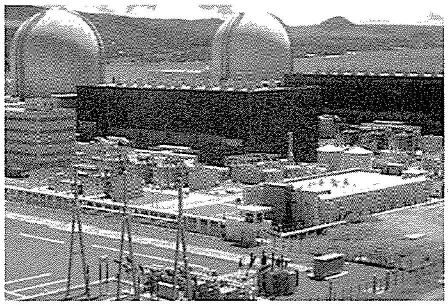


MÜHLEBERG
(ミューレベルク原子力発電所)
Name : Kernkraftwerk Mühleberg
Location : Mühleberg (14 km from Bern)
Mailing Address : CH-3203 Mühleberg, Bern
Tel. : +41-31-754-7111
Fax. : +41-31-754-7120
URL or E-Mail : http://www.bkw-fmb.ch
Owner : BKW FMB Energie AG
Add. : Viktoriaplatz 2, CH-3000 Bern 25
Tel. : +41-31-330-5111
Fax. : +41-31-330-5635
URL or E-Mail : http://www.bkw-fmb.ch

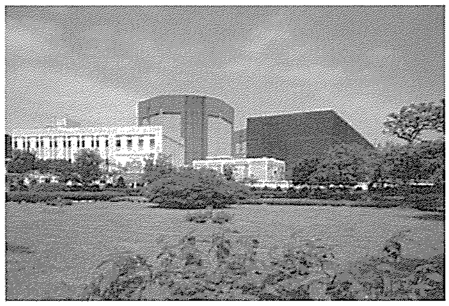


台湾
(TAIWAN)

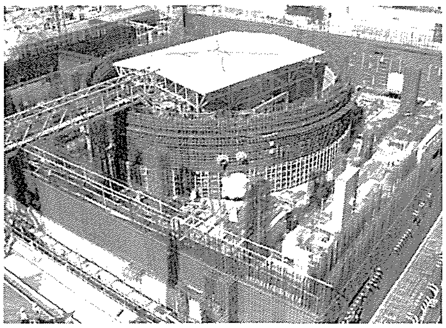
CHINSHAN-1, -2
(金山原子力発電所 1, 2 号機)
Name : First Nuclear Power Station
Location : Shin-Men
Mailing Address : Chienhua Tsun, Shin-Men Hsiang, Taipei Hsien
Tel. : +886-2-2638-3501
Fax. : +886-2-2638-2111
URL or E-Mail : d 350@taipower.com.tw
Owner : Taiwan Power Co.
Add. : 242 Roosevelt Road, Section 3 Taipei 100
Tel. : +886-2-2365-1234
Fax. : +886-2-2367-8593 (TAI POWER)
+886-2-2368-5843 (TAIPOWER, DONG),
+886-2-2367-1675 (TAIPOWER, DNE)
URL : http://www.taipower.com.tw
E-Mail : d 014@taipower.com.tw (TAIPOWER)
d 056@taipower.com.tw (TAIPOWER, DONG)
d 027@taipower.com.tw (TAIPOWER, DNE)



KUOSHENG-1, -2
(国聖原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Second Nuclear Power Station
Location : Wanli
Mailing Address : 60 Pa-Tou, Yeh-Liu Village, Wanli Hsiang, Taipei Hsien
Tel. : +886-2-2498-5990
Fax. : +886-2-2498-2624
URL or E-Mail : d 351@taipower.com.tw
Owner : Taiwan Power Co. (see Chinshan)

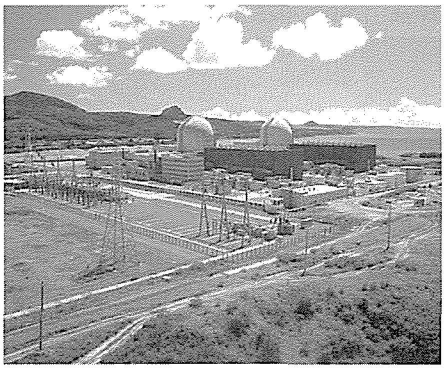


LUNGMEN-1, -2
(龍門原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Fourth Nuclear Power Station
Location : Kung-Liao
Mailing Address : 62 Yen-Hai St., Kung-Liao Hsiang. Taipei Hsien, Taiwan
Tel. : +886-2-2490-2401
Fax. : +886-2-2490-2402
URL or E-Mail : d 67220@taipower.com.tw
Owner : Taiwan Power Co. (see Chinshan)



MAANSHAN-1, -2
(馬鞍山原子力発電所 1, 2 号機)

Name : Third Nuclear Power Station
Location : Heng-Chun, Ping Tung-Hsien
Mailing Address : 387 Nan Wan Road, Hengchun Town, Ping Tung Hsien
Tel. : +886-8-889-3470
Fax. : +886-8-889-6014
URL or E-Mail : d 352@email.taipower.com.tw
Owner : Taiwan Power Co. (see Chinshan)



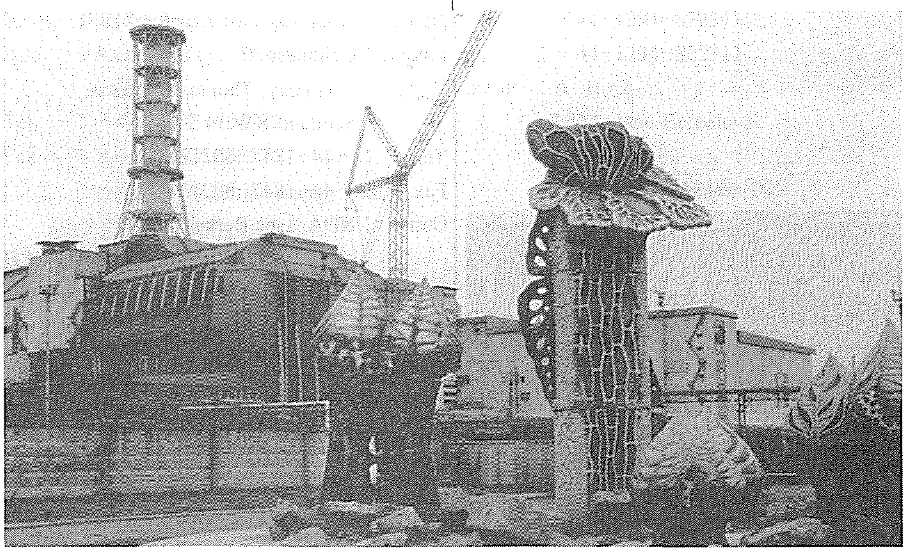
ウクライナ
(UKRAINE)

CHERNOBYL-1, -2, -3, -4
(チェルノブイリ原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)

Name : Chernobyl Nuclear Power Plant Unit -1, -2, -3, -4
Location : Kyiv Region
Mailing Address : 07100, Slavutych, Kyiv region
Tel. : +380-4493-433-50
Fax. : +380-4479-263-59
URL or E-Mail : Si@chnpp.atom.gov.ua
Owner : Ministry of Ukraine on Emergencies (MOE)
Add. :
Tel. :
Fax. :
URL or E-Mail :

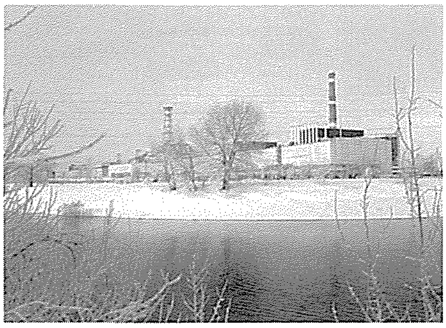
KHMELNITSKI-1, -2, -3, -4
(フメルニツキ原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)

Name : Khmelnitski Nuclear Power Plant-1, -2, -3, -4
Location : Khmelnitski Region
Mailing Address : 30100, Netishyn, Khmelnitsky region
Tel. : +380-3848-374-04
Fax. : +380-3848-311-02
URL or E-Mail : Office@khnpp.atom.gov.ua
Owner : Ministry of Fuels and Energy of Ukraine (MTE)
Add. :
Tel. :
Fax. :
URL or E-Mail :



Chernobyl (チェルノブイリ)

Operator : ENERGOATOM (National Nuclear Energy Generating Company)
Add. : Vetrova Srt. 3, 01032,, Kyiv
Tel. : +380-3848-31102
Fax. : +380-3848-33360
URL or E-Mail : Pr@naek.atom.gov.ua



ROVNO-1, -2, -3, -4
(ロブノ原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)

Name : Rovno Nuclear Power Plant-1, -2, -3, -4
Location : Rovno Region
Mailing Address : 34400, Kuznetsovsk, Rivne region
Tel. : +380-3636-22360
Fax. : +380-3636-21074
URL or E-Mail : Office@rnpp.atom.gov.ua
Owner : MTE

SOUTH UKRAINE-1, -2, -3
(南ウクライナ原子力発電所 1, 2, 3 号機)

Name : South-Ukraine Nuclear Power Plant -1, -2, -3
Location : Nikolaev Region
Mailing Address : 55000, Yuzhno-Ukrainsk, Nikolaev region
Tel. : +380-5136-5-13-32, 4-14-70
Fax. : +380-5136-2-18-32
URL or E-Mail : Gavrilov@sunpp.atom.gov.ua
Owner : MTE

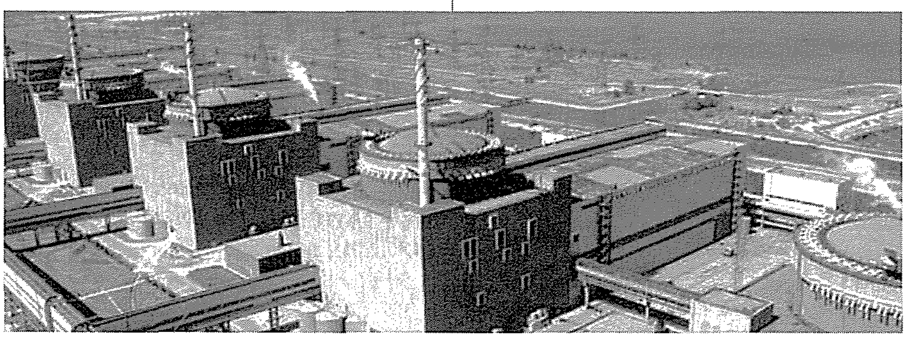
ZAPOROZHE−1, −2, −3, −4, −5, −6
(ザポロジェ原子力発電所 1, 2, 3, 4, 5, 6 号機)
Name : Zaporozhe Nuclear Power Plant−1, −2, −3, −4, −5, −6
Location : Zaporizhzhya Region
Mailing Address : 71500, Energodar, Zaporizhzhya region
Tel. : +380−6139−17121
Fax. : +380−6139−32067
URL or E−Mail : Uisol@mgw.nppzap.zaporizhzhe.ua
Owner : MTE

英国
(UNITED KINGDOM)

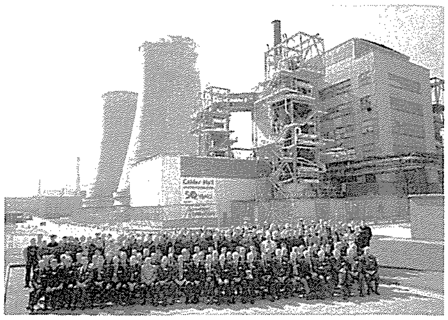
BERKELEY−1, −2
(バークレー原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Berkeley Power Station−1, −2
Location : Gloucester, Gloucestershire (11−12 miles ENE of Stroud)
Mailing Address : Berkeley, Gloucester GL 13 9PA
Tel. : +44−1453−81−0431
Fax. : +44−1453−81−3504
Owner : Nuclear Decommissioning Authority (NDA)
Add. : Herdus House
Westlakes Science & Technology Park
Moor Row
Cumbria
CA24 3 HU
Tel. : +44−01925−80−2001
Fax. : +44−01925−80−2003
URL or E−Mail : http://www.nda.gov.uk/Contact_Us_(124).aspx?pg=124

BRADWELL−1, −2
(ブラッドウェル原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Bradwell Power Station
Location : Chelmsford, Essex (21−22 miles NNE of West Mersea)
Mailing Address : Bradwell−on−Sea, South Minster, Essex CM 0 7 HP
Tel. : +44−1621−776331
Fax. : +44−1621−776331, ext. 3299
Owner : NDA (see Berkeley)

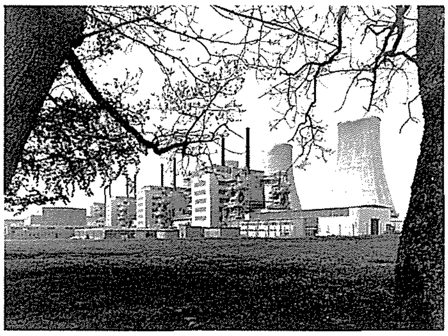
CALDER HALL−1, −2, −3, −4
(コールダーホール原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Calder Hall
Location : Calder Hall, Sellafield, West Cumbria (10 miles from Whitehaven)
Mailing Address : Seascale, Cumbria CA20 1 PG
Tel. : +44−19467−28333
Fax. : +44−19467−27263
Owner : NDA (see Berkeley)



Zaporozhe (ザポロジェ)

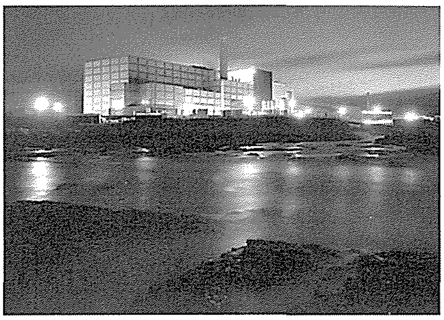


CHAPELCROSS−1, −2, −3, −4
(チャペルクロス原子力発電所 1, 2, 3, 4 号機)
Name : Chapelcross−1, −2, −3, −4
Location : Dunfriesshire (About 10 miles from Annan)
Mailing Address : Annan, Dumfriesshire, Scotland, DG 12 6RF
Tel. : +44−1461−202835
Fax. : +44−1461−202568
Owner : NDA (see Berkeley)



DOUNREAY DFR
(ドーンレイ DFR 原子力発電所)
Name : Dounreay Fast Reactor (DFR)
Location : Caithness
Mailing Address : Dounreay, Thurso, Caithness, Scotland KW 14 7 TZ
Tel. : +44−1847−802121
Fax. : +44−1847−802434
Owner : NDA (see Berkeley)

DOUNREAY PFR
(ドーンレイ PFR 原子力発電所)
Name : Dounreay Prototype Fast Reactor
Location : Caithness
Mailing Address : Dounreay, Thurso, Caithness, Scotland KW 14 7 TZ
Tel. : +44−1847−802121
Fax. : +44−1847−802434
Owner : NDA (see Berkeley)



DUNGENESS A-1, -2
(ダンジネスA原子力発電所1, 2号機)
Name : Dungeness A Power Station-1, -2
Location : Canterbury, Kent (12 miles ENE of Rye)
Mailing Address : Romney Marsh, Kent TN29 9PL
Tel. : +44-1797-343100
Fax. : +44-1797-343142
Owner : NDA (see Berkeley)

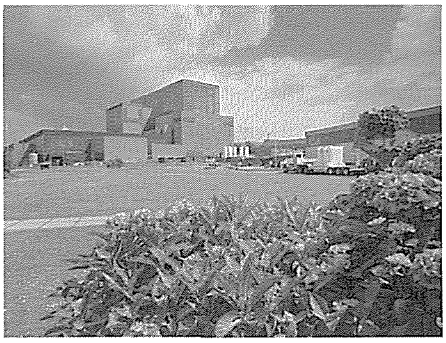
DUNGENESS B-1, -2
(ダンジネスB原子力発電所1, 2号機)
Name : Dungeness B Power Station-1, -2
Location : Romney Marsh, Kent (12 miles ENE of Rye)
Mailing Address : Romney Marsh, Kent TN29 9PX
Tel. : +44-1797-343300
Fax. : +44-1797-343499
Owner : British Energy plc.(BE)
Add. : 3 Redwood Crescent Peel Palk, East Kilbride G74 5PR
Tel. : +44-1355-262000
Fax. : +44-1355-565656
URL or E-Mail : http://www.british-energy.com
Operator : British Energy Generation Ltd.
Add. : Barnett Way, Barnwood Gloucester GL4 7RD
Tel. : +44-1452-652222
Fax. : +44-1452-652276
URL or E-Mail : http://www.british-energy.com

HARTLEPOOL-1, -2
(ハートルプール原子力発電所1, 2号機)
Name : Hartlepool Power Station-1, -2
Location : Middlesborough, Cleveland (3.5 miles N of Hartlepool)
Mailing Address : Tees Road, Hartlepool, Cleveland TS 25 2 BZ
Tel. : +44-1429-853535
Fax. : +44-1429-853409
Owner : BE (see Dungeness B)

HEYSHAM A-1, -2, B-1, -2
(ヘイシャム原子力発電所A 1, 2, B 1, 2号機)
Name : Heysham Power Station A-1, -2, B-1, -2
Location : Lancaster, Lancashire.(3 miles NNE of Morecambe)
Mailing Address : Heysham, Lancashire LA3 2XQ
Tel. : +44-1524-53131
Fax. : +44-1524-55104
Owner : BE (see Dungeness B)

HINKLEY POINT A-1, -2, B-1, -2
(ヒンクリー・ポイント原子力発電所A-1, -2, B-1, -2号機)
Name : Hinkley Point Power StationA-1, -2, B-1, -2
Location : Taunton, Somerset (7 miles SE of Bridgwater)
Mailing Address : Bridgwater, Somerset TA5 1UD
Tel. : +44-1278-652461
Fax. : +44-1278-654389
Owner : A-1, -2:
NDA (see Berkeley)
B-1, -2:
BE (see Dungeness B)

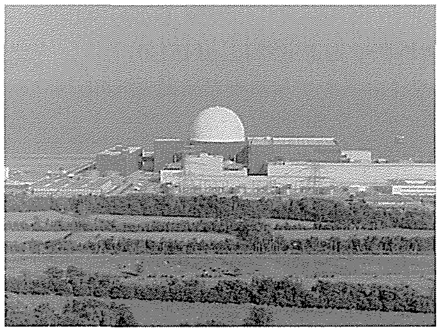
HUNTERSTON A-1, -2, B-1, -2
(ハンターストン原子力発電所A-1, -2, B-1, -2)
Name : Hunterston Power Station A-1, -2, B-1, -2
Location : West Kilbride, Scotland
Mailing Address : West Kilbride, Ayrshire, KA23 9 QJ Scotland
Tel. : +44-1294-822311
Fax. : +44-1294-822311
Owner : A-1, -2 :
NDA (see Berkeley)
B-1, -2 :
BE (see Dungeness B)



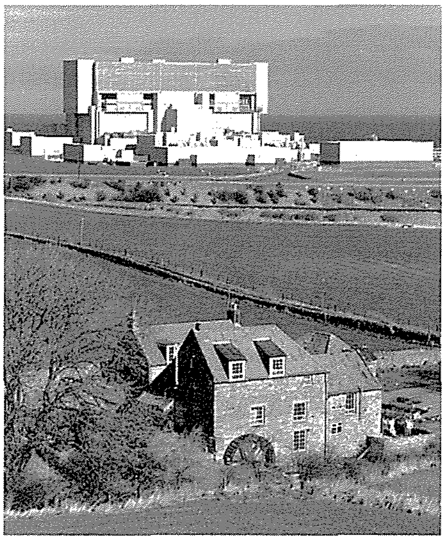
OLDBURY-1, -2
(オールドベリー原子力発電所1, 2号機)
Name : Oldbury On Severn Power Station
Location : Bristol, Avon (5 km SSE of Thornbury)
Mailing Address : Oldbury Naite, Thornbury Avon, BS 12 1 RQ
Tel. : +44-1454-416631
Fax. : +44-1454-893724
Owner : NDA (see Berkeley)

SIZEWELL A-1, -2
(サイズウェルA原子力発電所1, 2号機)
Name : Sizewell Power Station A-1, -2
Location : Ipswich, Suffolk (2 miles E of Leiston)
Mailing Address : Near Leiston, Suffolk IP16 4UE
Tel. : +44-1728-830444
Fax. : +44-1728-653520
Owner : NDA (see Berkeley)

SIZEWELL B
(サイズウェルB原子力発電所)
Name : Sizewell Power Station B
Location : Ipswich, Suffolk (2 miles E of Leiston)
Mailing Address : Near Leiston, Suffolk IP16 4UE
Tel. : +44-1728-663653
Fax. : +44-1728-653277
URL or E-Mail :
Owner : BE (see Dungeness B)



TORNESS-1, -2
(トーネス原子力発電所1, 2号機)
Name : Torness Power Station-1, -2
Location : Torness, East Lothian, Scotland
Mailing Address : Torness, Eastlothian, EH42 1QS Scotland
Tel. : +44-1368-64000
Fax. : +44-1728-5712
URL or E-Mail :
Owner : BE (see Dungeness B)



TRAWSFYNYDD-1, -2
（トロースフィニッド原子力発電所 1，2 号機）
Name ：Trawsfynydd Power Station-1, -2
Location ：Caenarfon, Gwynedd（2.5 miles N of Ffestiniog）
Mailing Address ：Blaenau Ffestiniog Gwynedd LL41 4DT
Tel. ：+44-1766-543210
Fax. ：+44-1766-343348
URL or E-Mail ：
Owner ：NDA（see Berkeley）

WINDSCALE（SELLAFIELD）
（ウィンズケール原子力発電所）
Name ：Sellafield
Location ：Cumbria
Mailing Address ：Seascale, Cumbria, CA20 1PG
Tel. ：+44-1940-28333
Fax. ：
URL or E-Mail ：
Owner ：NDA（see Berkeley）

WINFRITH SGHWR
（ウィンフリス SGHWR 原子力発電所）
Name ：Winfrith SGHWR
Location ：Dorset
Mailing Address ：Winfrith, Dorchester, Dorset DT2 8DH
Tel. ：+44-1305-63111
Fax. ：
URL or E-Mail ：
Owner ：NDA（see Berkeley）

WYLFA-1, -2
（ウィルファ原子力発電所 1, 2 号機）
Name ：Wylfa Power Station-1, -2
Location ：Bangor, North Wale
Mailing Address ：Camaes Bay, Anglesey, Gwynedd LL 67 0 DH
Tel. ：+44-1407-738733
Fax. ：+44-1409-733406
URL or E-Mail ：
Owner ：NDA（see Berkeley）

米国
(USA)

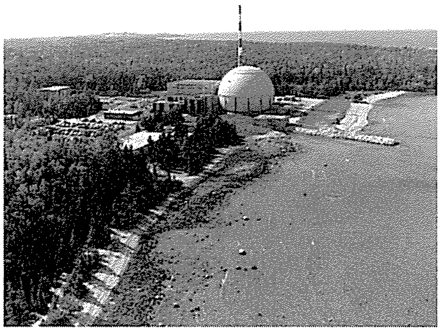
ALVIN W. VOGTLE-1, -2
（アルビン・W・ボーグル原子力発電所 1，2 号機）
Name ：Alvin W. Vogtle Nuclear Plant-1, -2
Location ：Burke, Georgia（25 miles SSE of Augusta, GA）
Mailing Address ：P. O. Box 1600, Waynesboro, Georgia 30830
Tel. ：+1-706-554-9961
Fax. ：+1-
URL or E-Mail ：
Owner ：Georgia Power Co. 45.7%, Oglethorpe Power Corp. 30%, Municipal Electric Authority of Georgia 22.7%, City of Dalton 1.6%
Add. ：333 Piedmont Avenue, Atlanta, Georgia 30302
Tel. ：+1-404-526-6526
Fax. ：+1-
URL or E-Mail ：http://www.southern co.com
http://www.georgia power co.com
http://www.opc.com
Operator ：Southern Nuclear Operating Co.（SNC）（a subsidiary company of Southern Co.）
Add. ：
Tel. ：+1-205-992-5776
Fax. ：
URL or E-Mail ：http://www.southernco.com/site/southernnuclear/home.asp

ARKANSAS NUCLEAR ONE-1, -2
（アーカンソー・ニュークリア・ワン原子力発電所 1, 2 号機）
Name ：Arkansas Nuclear One-1, -2
Location ：Pope County Arkansas（6 miles WNW of Russellville, AR）
Mailing Address ：1448 S. R. 333, Russellville, Ark. 72802
Tel. ：+1-501-858-5000
Fax. ：+1-501-858-5000
URL or E-Mail ：
Owner ：Entergy Arkansas, Inc.
Add. ：P. O. Box 551, Capitol & Broadway Little Rock, Arkansas 72203
Tel. ：+1-501-377-3530
Fax. ：+1-
URL or E-Mail ：http://www.entergy.com
Operator ：Entergy Nuclear, Inc.
Add. ：1340 Echelon Parkway, M-ECH-61, Jackson, MS 39213
Tel. ：+1-601-368-5000
Fax. ：+1-601-368-5694
URL or E-Mail ：http://www.entergy.com

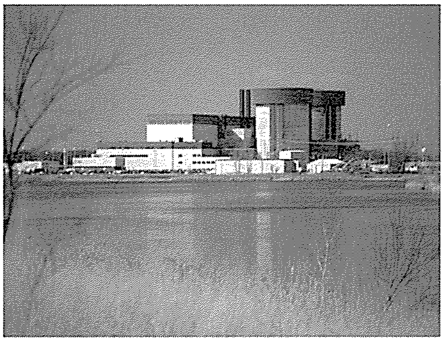
BEAVER VALLEY-1, -2
（ビーバーバレー原子力発電所 1, 2 号機）
Name ：Beaver Valley Power Station Unit-1, -2
Location ：Beaver, Pennsylvania（Shippingport, PA）
Mailing Address ：P. O. Box 4, Shippingport, Pennsylvania 15077-0004
Tel. ：+1-412-393-5255, -6000
Fax. ：+1-412-393-4671
URL or E-Mail ：
Owner ：FirstEnergy Corp.（FE）

holding company of Ohio Edison, Pennsylvania Power Co., The Illuminating Co. and Toledo Edison Co.
Add. : 76 South Main Street, Akron, Ohio 44308
URL or E-Mail : http://www.firstenergycorp.com
Operator : FirstEnergy Nuclear Operating Co. (FENOC)

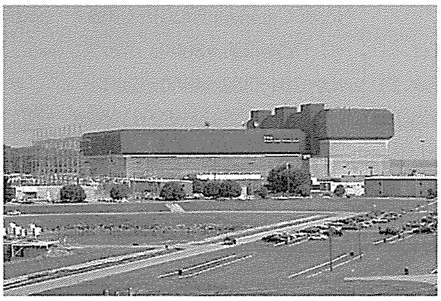
BIG ROCK POINT
(ビッグロックポイント原子力発電所)
Name : Big Rock Point Nuclear Plant
Location : Charlevoix, Michigan (4 miles NE of Charlevoix, MI)
Mailing Address : Route 3, US-31 North, Charlevoix, Michigan 49720
Tel. : +1-616-547-8177
Fax. : +1-616-547-8187
URL or E-Mail :
Owner : Consumers Energy Co.
Add. : 212 West Michigan Avenue, Jackson, Michigan 49201
Tel. : +1-517-788-0333
Fax. : +1-517-788-2397
URL or E-Mail : http://www.consumersenergy.com



BRAIDWOOD-1, -2
(ブレードウッド原子力発電所1, 2号機)
Name : Braidwood Station-1, -2
Location : Will County, Illinois (24 miles SSW of Joliet, IL)
Mailing Address : RR 1 Box 84, Braceville, Illinois 60407
Tel. : +1-815-417-2000
Fax. : +1-815-417-2265
URL or E-Mail :
Owner : Exelon Generation Co., LLC (PECO Energy and Unicom Corp., merged to form Exelon Corp. in Oct. 2000.)
Add. : 4300 Winfield Road, Warrenville, IL 60555
Tel. : +1-630-657-2000
Fax. : +1-630-657-
URL or E-Mail : http://www.exeloncorp.com



BROWNS FERRY-1, -2, -3
(ブラウンズフェリー原子力発電所1, 2, 3号機)
Name : Browns Ferry Nuclear Plant-1, -2, -3
Location : Athens, Alabama (10 miles NW of Decatur, AL)
Mailing Address : P. O. Box 2000, Decatur, Alabama 35609
Tel. : +1-256-729-7698
Fax. : +1-256-729-3670
URL or E-Mail : cwbeasley@tva.gov
Owner : Tennessee Valley Authority (TVA)
Add. : 1101 Market Street, Chattanooga, Tennessee 37402-2801
Tel. : +1-423-751-0011
Fax. : +1-423-751-4904
URL or E-Mail : http://www.tva.gov

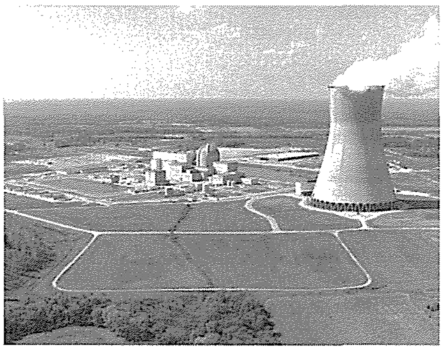


BRUNSWICK-1, -2
(ブランズウィック原子力発電所1, 2号機)
Name : Brunswick Nuclear Plant-1, -2
Location : Brunswick, North Carolina (3 miles N of Southport, NC)
Mailing Address : P. O. Box 10429, NC Highway 87 Southport, North Carolina 28461
Tel. : +1-910-457-9521
Fax. : +1-910-457-2150
URL or E-Mail :
Owner : Progress Energy 81.7% North Carolina Eastern Municipal Power Agency (NCEMPA) 18.3% (see Crystal River-3)

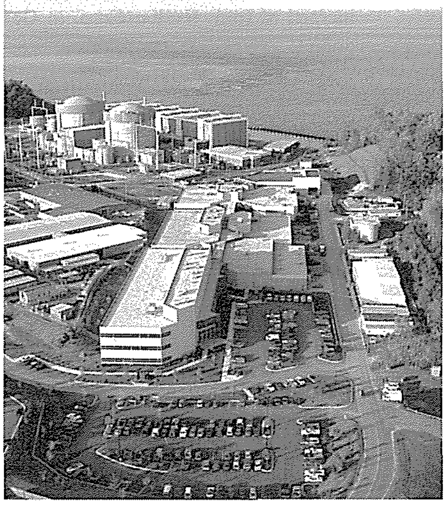
BYRON-1, -2
(バイロン原子力発電所1, 2号機)
Name : Byron Station-1, -2
Location : Ogle County, Illinois (17 miles SW of Rockford, IL)
Mailing Address : 4450 N. German Church Rd., Byron, Illinois 61010
Tel. : +1-815-406-2000
Fax. : +1-815-417-
URL or E-Mail :
Owner : Exelon Generation Co. (see Braidwood)

CALLAWAY-1
(キャラウェイ原子力発電所1号機)
Name : Callaway Nuclear Power Plant
Location : Callaway County, Missouri (10 miles

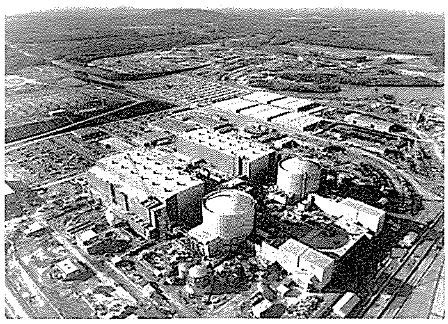
SE of Fulton, MO)
Mailing Address : P. O. Box 620, Fulton, Missouri 65251
Tel. : +1-573-676-8000
Fax. : +1-573-676-4484
URL or E-Mail :
Owner : Ameren UE (Former plant owner, Union Electric Co., merged with CIPSCO Inc., to form Ameren Corp., on December 31, 1997. Ameren UE is a subsidary of Ameren Corp.)
Add. : 1901 Choteau Avenue, St. Louis, Missouri 63103
Tel. : +1-314-621-3222
Fax. : +1-314-554-2888
URL or E-Mail : http://www.ameren.com



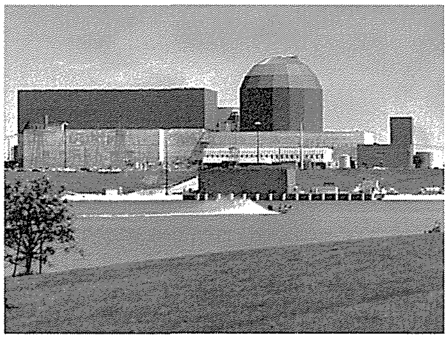
CALVERT CLIFFS-1, -2
(カルバート・クリフス原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Calvert Cliffs Nuclear Power Plant-1, -2
Location : Calvert County, Maryland (40 miles S of Annapolis)
Mailing Address : 1650 Calvert Cliffs Parkway Lusby, Maryland 20657
Tel. : +1-410-495-4600
Fax. : +1-410-495-3800
URL or E-Mail : http://www.constellationenergy.com
Owner : Constellation Energy Group (holding company)
Add. : 750 East Pratt Street, Baltimore, Maryland 21202
Tel. : +1-410-783-2800
Fax. : +1-
URL or E-Mail : http://www.constellationenergy.com
Operator : Constellation Energy Group



CATAWBA-1, -2
(カトーバ原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Catawba Nuclear Station-1, -2
Location : York, South Carolina (6 miles NNW of Rock Hill, SC)
Mailing Address : P. O. Box 293, Clover, South Carolina 29710
Tel. : +1-803-831-3000
Fax. : +1-704-382-4545
URL or E-Mail :
Owner : 1; North Carolina Electric Member ship Coop. 56.2%, Duke Energy Corp. 25%, Saluda River Electric Coop. 18.8%
2; North Carolina Municipal Power Agency 75%, Piedmont Municipal Power Agency 25%
Operator : Duke Power
Add. : P. O. Box 1006, Charlotte North Carolina 28201-1006
Tel. : +1-704-831-3000
Fax. : +1-704-382-4360
URL or E-Mail : http://www.duke-energy.com



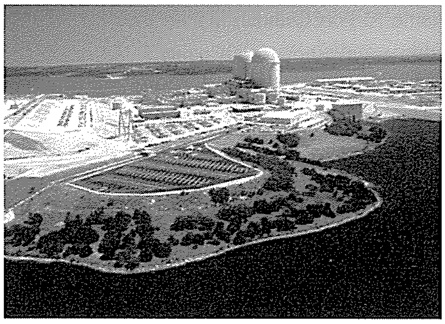
CLINTON-1
(クリントン原子力発電所 1 号機)
Name : Clinton Power Station
Location : DeWitt, Illinois (6 miles E of Clinton, IL)
Mailing Address : Mail Code V-275, P. O. Box 678, Highway 54, Clinton, Illinois 61727
Tel. : +1-217-937-2000
Fax. : +1-217-937-
URL or E-Mail :
Owner : AmerGen Energy Co. (a JV formed in September 1998 by PECO Energy, USA and British Energy, UK)
Add. : 4300 Winfield Road, Warrenville, IL 60555
Tel. : +1-630-657-2000
Fax. : +1-630-657-
URL or E-Mail :



COLUMBIA
(コロンビア原子力発電所)
Name : Columbia Generating Station
Location : Hanford, Washington
Mailing Address : U. S. DOE Hanford Site, Richland Washington 99352
Tel. : +1-509-372-5000
Fax. : +1-509-
URL or E-Mail : http://www.wnp 2.com
Owner : Energy Northwest (former Washing-

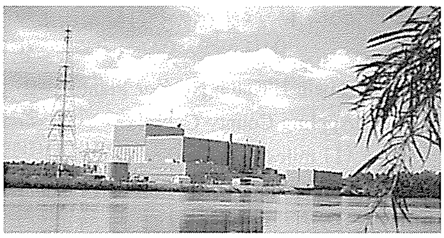
ton Public Power Supply System)
Add. : P. O. Box 968, 3000 George Washington Way, Richland, Washington 99352−0968
Tel. : ＋1−509−372−5000
Fax. : ＋1−509−5238
URL or E−Mail :

COMANCHE PEAK−1, −2
(コマンチェピーク原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Comanche Peak Steam Electric Station−1, −2
Location : Glen Rose, Texas (90 miles SW of Dallas/Fort Worth, TX)
Mailing Address : P. O. Box 1002, Glen Rose, Texas 76043
Tel. : ＋1−817−897−8920
Fax. : ＋1−817−897−6652
URL or E−Mail :
Owner : TXU Corp. (former Texas Utilities Electric Co.)
Add. : Energy Plaza, 1601 Bryan Street, Dallas, Texas 75201
Tel. : ＋1−214−812−8220
Fax. : ＋1−214−812−8224
URL or E−Mail : http://www.txu.com
Operator : TXU Electric Co.



CONNECTICUT YANKEE
(コネチカットヤンキー原子力発電所)
Name : Connecticut Yankee Atomic Power Station
Location : Haddam Neck Connecticut
Mailing Address : 362 Injun Hollow Road, East Hampton, Connecticut 06424−3099
Tel. : ＋1−860−267−9279
Fax. : ＋1−860−267−3535
URL or E−Mail :
Owner : Connecticut Yankee Atomic Power Co.
Add. : 362 Injun Hollow Road, East Hampton Connecticut 06424−3099
Tel. : ＋1−860−267−3530
Fax. : ＋1−860−267−3603
URL or E−Mail :

COOPER
(クーパー原子力発電所)
Name : Cooper Nuclear Station
Location : Nemaha, Nebraska (23 miles S of Nebraska City, NE)
Mailing Address : P. O. Box 98, Brownville, Nebraska 68321
Tel. : ＋1−402−825−3811
Fax. : ＋1−402−825−5211
URL or E−Mail :
Owner : Nebraska Public Power District (NPPD)
Add. : P. O. Box 499, Columbus, Nebraska 68601
Tel. : ＋1−402−564−8561
Fax. : ＋1−402−563−5551
URL or E−Mail : http://www.nppd.com



CRYSTAL RIVER−3
(クリスタルリバー原子力発電所 3 号機)
Name : Crystal River Unit 3
Location : Citrus County, Florida (7 miles NW of Crystal River, FL)
Mailing Address : 15760 W. Power Line St. Crystal River, Florida 34428−6708
Tel. : ＋1−352−563−4489
Fax. : ＋1−352−563−4627
URL or E−Mail :
Owner : Progress Energy 91.8%
(Carolina Power & Light Co. and Florida Power Corp. merged in 2000)
Others 8.2%
Add. : P. O. Box 1551, 411 Fayetteville Street, Raleigh, North Carolina 27602
Tel. : ＋1−919−546−6111
Fax. : ＋1−919−
URL or E−Mail : http://www.progress-energy.com

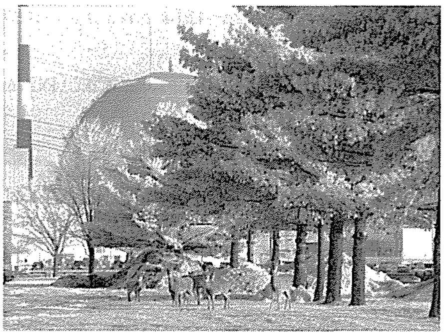
DAVIS BESSE
(デービスベッセ原子力発電所)
Name : Davis Besse Nuclear Power Station
Location : Ottawa, Ohio (21 miles E of Toledo, OH)
Mailing Address : 5501 North State Route 2, Oak Harbor, Ohio 43449
Tel. : ＋1−419−321−7114
Fax. : ＋1−419−249−2427
URL or E−Mail :
Owner : FirstEnergy Corp.
Cleveland Electric Illuminating Co. 51.4%, Toledo Edison Co. 48.6%
(see Beaver Valley)

DIABLO CANYON−1, −2
(ディアブロキャニオン原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Diablo Canyon Power Plant−1, −2
Location : San Luis Obispo, California (12 miles WSW of San Luis Obispo, CA)
Mailing Address : P. O. Box 56, Avila Beach, California 93424−0056
Tel. : ＋1−805−595−7351
Fax. : ＋1−805−595−4514
URL or E−Mail :
Owner : Pacific Gas and Electric Co. (PG & E)
Add. : 77 Beale Street, San Francisco, California 94106
Tel. : ＋1−415−781−4211, −972−7000
Fax. : ＋1−415−973−2313
URL or E−Mail : http://www.pge.com

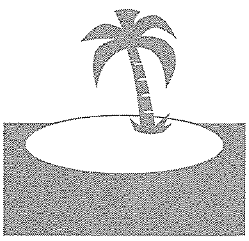
DONALD C. COOK−1, −2
(ドナルド・C・クック原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Donald C. Cook Nuclear Plant−1, −2
Location : Berrien County, Michigan (11 miles S of Benton Harbor, MI)
Mailing Address : Bridgman, Michigan 49106
Tel. : ＋1−616−465−5901
Fax. : ＋1−616−466−2411
URL or E−Mail :
Owner : Indiana Michigan Power Co.

c/o American Electric Power Service Corp.
Add. : P. O. Box 16631, 1 Riverside Plaza Columbus, Ohio 43215
Tel. : +1-614-223-1000
Fax. : +1-614-223-2004
URL or E-Mail :

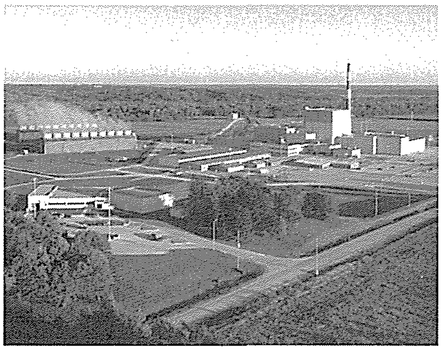
DRESDEN-1, -2, -3
（ドレスデン原子力発電所 1, 2, 3 号機）
Name : Dresden Station-1, -2, -3
Location : Grundy County, Illinois（9 miles E of Morris, IL）
Mailing Address : 6500 N. Dresden Road, Morris, Illinois, 61450
Tel. : +1-815-416-2000
Fax. : +1-815-416
URL or E-Mail :
Owner : Exelon Generation Co.
（see Braidwood）



DUANE ARNOLD-1
（デュアン・アーノルド原子力発電所 1 号機）

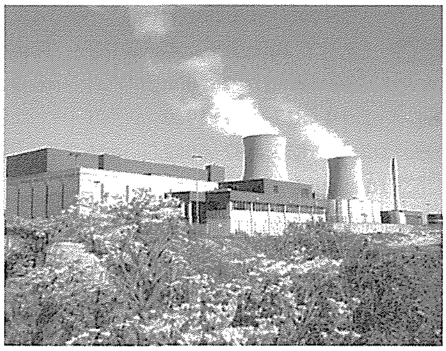


Name : Duane Arnold Energy Center
Location : Linn, Iowa（8 miles NW of Cedar Rapids, IA）
Mailing Address : 3277 Daec Road, Palo, Iowa 52324
Tel. : +1-319-851-7611
Fax. : +1-319-851-7323
URL or E-Mail :
Owner : Alliant Energy Corp. 70%, Central Iowa Power Coop. 20%, Corn Belt Power Coop. 10%
Add. : P. O. Box 351, Cedar Rapids, Iowa 52406
Tel. : +1-319-398-8101, -4411
Fax. : +1-319-398-8192
URL or E-Mail : http://www.alliantenergy.com
Operator : Nuclear Management Co.（NMC）
URL or E-Mail : http://www.nmc-rs.com

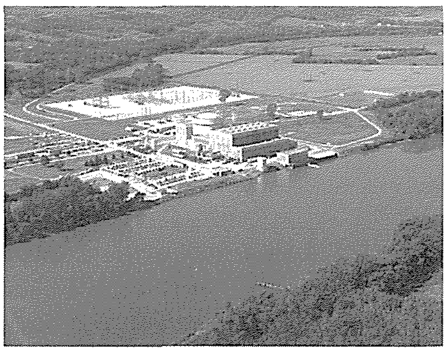


EDWIN I. HATCH-1, -2
（エドウィン・I・ハッチ原子力発電所 1, 2 号機）
Name : Edwin I. Hatch Nuclear Plant-1, -2
Location : Appling County Georgia（11 miles N of Baxley, GA）
Mailing Address : P. O. Box 210, Baxley, Georgia 31515
Tel. : +1-912-367-7781
Fax. : +1-912-367-7781
URL or E-Mail :
Owner : Georgia Power Co. 50.1%, Oglethorpe Power Corp. 30%, Municipal Electric Authority of Georgia 17.7%, City of Dalton 2.2%
Operator : Southern Nuclear Operationg Co.（SNC）（see Alvin W. Vogtle）

ENRICO FERMI-2
（エンリコ・フェルミ原子力発電所 2 号機）
Name : Enrico Fermi Atomic Power Plant Unit 2
Location : Monroe, Michigan（Laguna Beach, MI）
Mailing Address : 6400 North Dixie Highway, Newport, Michigan 48166
Tel. : +1-313-586-4167, 4308
Fax. : +1-313-586-4530
URL or E-Mail :
Owner : Detroit Edison Co.
Add. : 2000 Second Avenue, Detroit, Michigan 48226
Tel. : +1-734-235-8000
Fax. : +1-734-586-4530
URL or E-Mail : http://www.dteenergy.com



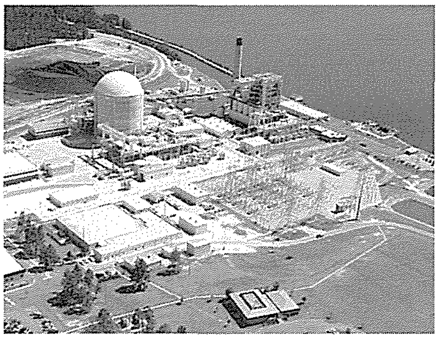
FORT CALHOUN-1
（フォートカルホーン原子力発電所 1 号機）
Name : Fort Calhoun Station Unit 1
Location : Washington County, Nebraska（22 miles N of Omaha, NE）
Mailing Address : P. O. Box 399, Fort Calhoun Nebraska 68023
Tel. : +1-402-533-6625
Fax. : +1-402-533-6747
URL or E-Mail :
Owner : Omaha Pubic Power District（OPPD）
Add. : 444 South Street Mall, Omaha, Nebraska 68102-2247
Tel. : +1-402-636-2000
Fax. : +1-402-636-3922
URL or E-Mail : http://www.oppd.com



FORT ST. VRAIN
(フォートセントブレイン原子力発電所)
Name : Fort St. Vrain Nuclear Generating Station
Location : Platteville, Colorado (35 miles N of Denver, CO)
Mailing Address : 16805 Weld County Road 19 ½ Platteville, Colorado 80651-9298
Tel. : +1-303-785-6471
Fax. : +1-303-
URL or E-Mail :
Owner : Public Service Company of Colorado
Add. : P. O. Box 840, Denver, Colorado 80202
Tel. : +1-303-571-7511, -7726
Fax. : +1-305-
URL or E-Mail :

GRAND GULF-1
(グランドガルフ原子力発電所1号機)
Name : Grand Gulf Nuclear Station
Location : Port Gibson, Mississippi (25 miles S of Vicksburg, MS)
Mailing Address : Bald Hill Road, P. O. Box 756, Port Gibson, Mississipi 39150
Tel. : +1-601-437-2800
Fax. : +1-601-437-2322
URL or E-Mail :
Owner : System Energy Resources, Inc. (SERI) 90%, South Mississippi Electric Power Association (SMEPA), 10%.[SERI is a wholly owned subsidiary of Entergy Corporation.]
Operator : Entergy Nuclear, Inc.
(see Arkansas Nuclear One-1, -2)

H. B. ROBINSON-2
(H. B.ロビンソン原子力発電所2号機)
Name : Robinson Nuclear Plant-2
Location : Hartsville, South Carolina (5 miles NW of Hartsville, SC)
Mailing Address : 3581 W. Entrance Rd, Hartsville, South Carolina 29550
Tel. : +1-843-857-5291
Fax. : +1-843-857-1319
Owner : Progress Energy
(see Crystal River-3)



HOPE CREEK-1
(ホープクリーク原子力発電所1号機)
Name : Hope Creek Generating Station
Location : Salem, New Jersey (18 miles SE of Wilmington, DE)
Mailing Address : P. O. Box 236, Hancocks Bridge, New Jersey 08038
Tel. : +1-609-339-3463
Fax. : +1-609-339-3726
URL or E-Mail :
Owner : Public Service Enterprise Group (PSEG) 100%
Add. : P. O. Box 236, Hancocks Bridge, New Jersey 08038
Tel. : +1-609-339-3373
Fax. : +1-609-339-3160
URL or E-Mail : http://www.pseg.com

INDIAN POINT-2
(インディアンポイント原子力発電所2号機)
Name : Indian Point Unit 2
Location : Westchester, New York (25 miles N of New York City, NY)
Mailing Address : 295 Broadway, Suite 1, P. O. Box 249, Buchanan, New York 10511
Tel. : +1-914-271-7060
Fax. : +1-914-271-7181
URL or E-Mail :
Owner : Entergy Nuclear Operations. Inc.
Operator : Entergy Nuclear Inc.
(see Arkansas Nuclear One-1, -2)

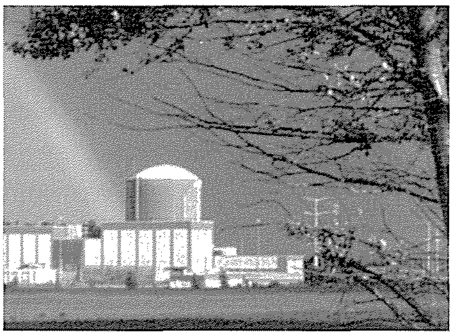
INDIAN POINT-3
(インディアンポイント原子力発電所3号機)
Name : Indian Point 3 Nuclear Power Plant
Location : Westchester, New York (25 miles N of New York City, NY)
Mailing Address : 295 Broadway, Suite 3 P. O. Box 308, Buchanan, New York 10511
Tel. : +1-914-736-8000
Fax. : +1-914-739-5427
URL or E-Mail :
Owner : Entergy Nuclear Operations Inc.
Operator : Entergy Nuclear Inc.
(see Arkansas Nuclear One-1, -2)

JAMES A. FITZPATRICK
(ジェームズ・A・フィッツパトリック原子力発電所)
Name : James A. FitzPatrick Nuclear Power Plant
Location : Scriba, New York (8 miles NE of Scriba, NY)
Mailing Address : 268 Lake Road East, Lycoming, New York 13093
Tel. : +1-315-342-3840
Fax. : +1-315-349-6480
URL or E-Mail :
Owner : Entergy Nuclear Operatious Inc.
Operator : Entergy Nuclear Inc.
(see Arkansas Nuclear One-1, -2)

JOSEPH M. FARLEY-1, -2
(ジョセフ・M・ファーリー原子力発電所)
Name : Joseph M. Farley Nuclear Plant-1, -2
Location : Houston, Alabama (28 miles SE of Dothan, AL)
Mailing Address : U. S. Highway 95, South, Columbia, Alabama 36319
Tel. : +1-334-899-5156
Fax. : +1-334-899-4641
URL or E-Mail :
Owner : Alabama Power Co. (a subsidiary company of Southern Co.)
Add. : 600 N. 18 th St., Birmingham, Alabama 35203
Tel. : +1-205-250-1000
Fax. : +1-205-868-5999
URL or E-Mail : http://www.alapower.com
Operator : Southern Nuclear Operating Co.
(see Alvin W. Vogtle)

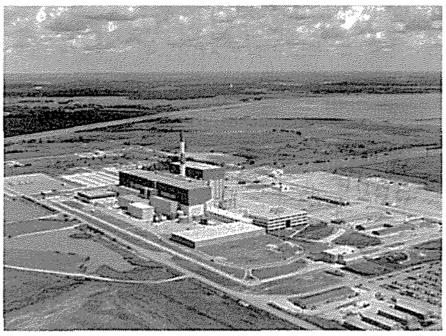
KEWAUNEE-1
(キウォーニ原子力発電所1号機)
Name : Kewaunee Power Station

Location : Kewaunee, Wisconsin (27 miles E of Green Bay, WI)
Mailing Address : RT. 1 P. O. Box 48, Kewaunee, Wisconsin, 54216-9510
Tel. : +1-920-388-2560
Fax. : +1-920-338-8384
URL or E-Mail : http://www.dom.com/about/stations/nuclear/kewaunee/index.jsp
Owner : Dominion Resources, Inc
Add. : P. O. Box 26666, Richmond, Virginia 23261
Tel. : +1-084-771-3000
Fax. : +1-804-273-3715
URL or E-Mail : http://www.dom.com



LACROSSE
(ラクロス原子力発電所)
Name : La Crosse Boiling Water Reactor
Location : Wisconsin
Mailing Address : Route 1, P. O. Box 275 Genoa, Vernon County, Wisconsin 54632
Tel. : +1-608-689-2331
Fax. : +1-608-689-4200
URL or E-Mail :
Owner : Dairyland Power Coop.
Add. : P. O. Box 817, 2615 East Avenue, South, La Crosse, Wisconsin 54602-0817
Tel. : +1-608-788-4000
Fax. : +1-608-
URL or E-Mail :

LASALLE-1, -2
(ラサール原子力発電所 1, 2 号機)
Name : LaSalle County Station-1, -2
Location : LaSalle County, Illinois (11 miles SE of Ottawa, ILL)
Mailing Address : 2601 N. 21 st Rd., Marseilles, Illinois 61341
Tel. : +1-815-415-2000
Fax. : +1-815-415-
URL or E-Mail :
Owner : Exelon Generation Co.
(see Braidwood)



LIMERICK-1, -2
(リメリック原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Limerick Generating Station-1, -2
Location : Montgomery, Pennsylvania (21 miles NW of Philadelphia, PA)
Mailing Address : Evergreen & Sanatoga Road, Pottstown, Pennsylvania 19464
Tel. : +1-610-718-1200
Fax. : +1-610-718-
URL or E-Mail :
Owner : Exelon Generation Co.
(see Braidwood)

MAINE YANKEE
(メインヤンキー原子力発電所)
Name : Maine Yankee Atomic Power Plant
Location : Wiscasset, Maine (10 miles N of Bath, ME)
Mailing Address : P. O. Box 408, RFD 2, Wiscasset, Maine 04578
Tel. : +1-207-882-6321
Fax. : +1-207-822-6321
URL or E-Mail : http://www.maineyankee.com
Owner : Maine Yankee Atomic Power Co. [Consisting of Central Maine Power Co. 38%, New England Power Co. 20%, Northeast Utilities 20% (Connecticut Light and Power Co. 12%, Public Service Co. of New Hampshire 5%, Western Massachusetts Electric Co. 3%), Bangor Hydro Electric Co. 7%, Maine Public Service Co. 5%, Campridge Electric Light Co. 4%, Montaup Electric Co. 4%, Central Vermont Public Service Corp. 2%]
Add. : 329 Bath Road, Brunswick, Maine 04011
Tel. : +1-207-798-4100
Fax. : +1-207-798-4101
URL or E-Mail : http://www.cmpc.com

MILLSTONE-1, -2, -3
(ミルストン原子力発電所 1, 2, 3 号機)
Name : Millstone Nuclear Power Station Unit-1, -2, -3
Location : Waterford, Connecticut (4 miles SW of New London, CT)
Mailing Address : Rope Ferry Road, Rte 156 Waterford, Connecticut 06385-0128
Tel. : +1-860-447-1791
Fax. : +1-860-440-2065
URL or E-Mail : http://www.dom.com/about/stations/nuclear/millstone/index.jsp
Owner : 1 & 2; Dominion Resources Inc. 100 % (see Kewaunee)
3; Dominion Resources Inc. 93.5%, Massachusets Municipal Wholesale Electric Co. 4.8%, Central Vermont Public Service Corp. 1.7%

MONTICELLO
(モンティセロ原子力発電所)
Name : Monticello Nuclear Plant
Location : Monticello, Minnesota (40 miles NW of Minneapolis, MI)
Mailing Address : 2807 West County Road 75, Monticello, Minnesota 55362
Tel. : +1-612-295-5151
Fax. : +1-612-295-1017
URL or E-Mail :
Owner : Xcel Energy
Add. : 414 Nicollet Mall, Minneapolis, Minnesota 55401-1993
Tel. : +1-612-330-5500
Fax. : +1-612-330-2900
URL or E-Mail : http://www.xcelenergy.com
Operator : Nuclear Management Co. (NMC)

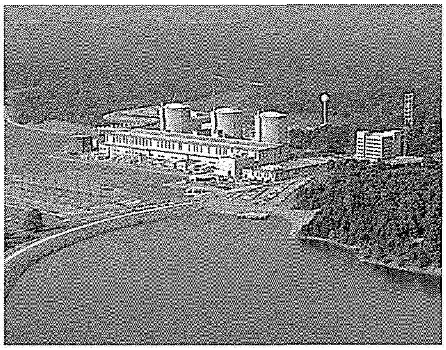
N REACTOR
(エヌ・リアクター原子力発電所)
Name : Hanford's N Reactor
Location : Handford, Washington (NW of

Richland, WA)
Mailing Address : U. S. DOE Handford Site, Richland, Washington 99352
Tel. : +1-509-376-7411
Fax. : +1-509-
URL or E-Mail :
Operator : UNC Nuclear Industries, Inc,
Add. : P. O. Box 490, Richland, Washington 99352
Tel. : +1-509-376-8905
Fax. : +1-509-
URL or E-Mail :

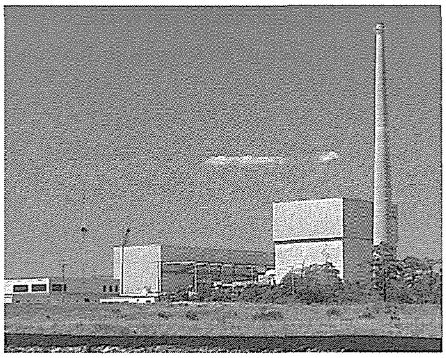
NINE MILE POINT-1, -2
(ナインマイルポイント原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Nine Mile Point Nuclear Power Plant-1, -2
Location : Oswego, New York (8 miles NE of Oswego, NY)
Mailing Address : Lake Road, P. O. Box 63, Lycoming, New York 13093
Tel. : +1-315-343-2110
Fax. : +1-315-
URL or E-Mail :
Owner : 1; Constellation Energy Group (holding company) 100%
2; Constellation Energy Group 82%, Long Island Lighting Co. 18%
Operator : Constellation Nuclear Group
(see Calvert Cliffs-1, -2)

NORTH ANNA-1, -2
(ノースアナ原子力発電所 1, 2 号機)
Name : North Anna Power Station-1, -2
Location : Louisa Virginia (40 miles NW of Richmond, VA)
Mailing Address : 1022 Heley Drive, Mineral, Virginia 23117
Tel. : +1-540-894-5151
Fax. : +1-540-894-2878
URL or E-Mail :
Owner : Dominion Resources Inc. 88.4%, Old Dominion Electric Coop 11.6%
(see Kewaunee)

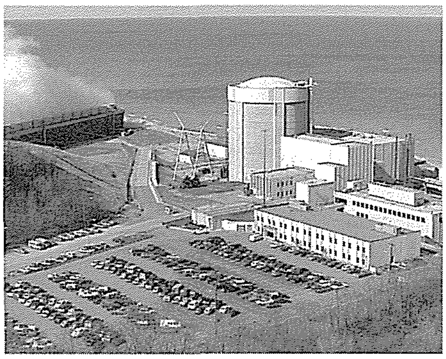
OCONEE-1, -2, -3
(オコニー原子力発電所 1, 2, 3 号機)
Name : Oconee Nuclear Station-1, -2, -3
Location : Oconee, South Carolina (30 miles W of Greenville, SC)
Mailing Address : P. O. Box 1439, Seneca, South Carolina 29679
Tel. : +1-704-885-3000
Fax. : +1-704-382-4545
URL or E-Mail :
Owner : Duke Energy Corp. (see Catawba)



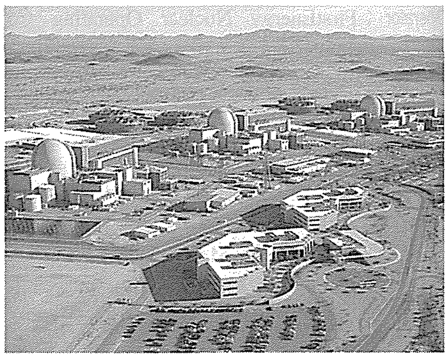
OYSTER CREEK
(オイスタークリーク原子力発電所)
Name : Oyster Creek Nuclear Generating Station
Location : Ocean County, New Jersey (9 miles S of Toms River, NJ)
Mailing Address : P. O. Box 388, Forked River, New Jersey 08731
Tel. : +1-609-971-4000
Fax. : +1-609-971-
URL or E-Mail :
Owner : AmerGen Energy Co.
(see Clinton)



PALISADES
(パリセード原子力発電所)
Name : Palisades Nuclear Plant
Location : Vanburen, Michigan (5 miles S of South Haven, MI)
Mailing Address : 27780 Blue Star Highway, Covert Michigan 49043
Tel. : +1-269-764-2000
Fax. : +1-269-764-2095
Owner : Consumers Energy Co.
(see Big Rock Point)
Operator : Nuclear Management Co. (NMC)



PALO VERDE-1, -2, -3
(パロベルデ原子力発電所 1, 2, 3 号機)
Name : Palo Verde Nuclear Generating Station-1, -2, -3
Location : Wintersburg, Arizona (55 miles W of Phoenix, AZ)
Mailing Address : P. O. Box 52034 Phoenix, AZ 85072
Tel. : +1-602-393-1000
Fax. : +1-602-932-1695
URL or E-Mail :
Owner : Arizona Public Service Co. 29.1%, Salt River Project 17.5%, El Paso Electric Co. 15.8%, Public Service Co of New Mexico 10.2%, Southern California Edison Co. 15.8%, Southern California Public Power Authority 5.9%, Los Angeles Department of Water Power 5.7%
Add. : P. O. Box 52034, Phoenix, Arizona 85072-2034
Tel. : +1-602-393-5000
Fax. : +1-602-932-1695
URL or E-Mail : http://www.apsc.com
http://www.whc.net/epec
http://www.ladwp.com
Operator : Arizona Public Service (APS)



米国
(USA)

PEACH BOTTOM-2, -3
(ピーチボトム原子力発電所 2, 3 号機)
Name : Peach Bottom Atomic Power Station -2, -3
Location : Peach Bottom Township York County, Pennsylvania (19 miles S of Lancaster, PA)
Mailing Address : 1848 Lay Road, Delta, Pennsylvania 17314
Tel. : +1-717-456-7014
Fax. : +1-717-456-
URL or E-Mail :
Owner : Exelon Generation Co. 50%, Pubic Service Enterprise Group 50%, (see Limerick)

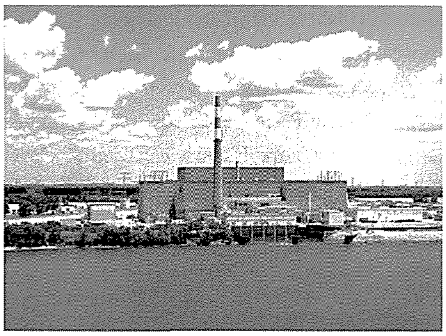
PERRY-1
(ペリー原子力発電所 1 号機)
Name : Perry Nuclear Power Plant-1
Location : Lake County, Ohio (7 miles NE of Painesville, OH)
Mailing Address : 10 Center Road, Perry, Ohio 44081
Tel. : +1-216-259-3737
Fax. : +1-216-259-3554
URL or E-Mail :
Owner : FirstEnergy Corp. (holding company, see Beaver Valley) [Cleveland Electric Illuminating 44.9%, Ohio Edison Co. 35.2%, Toledo Edison Co. 19.9%,]
Operator : FirstEnergy Nuclear Operating Co. (FENOC)

PILGRIM-1
(ピルグリム原子力発電所 1 号機)
Name : Pilgrim Nuclear Power Station-1
Location : Plymouth, Massachusetts (4 miles SE of Plymouth, MA)
Mailing Address : 600 Rocky Hill Road, Plymouth, Massachusettes 02360
Tel. : +1-508-830-7000
Fax. : +1-508-830-8767
URL or E-Mail :
Owner : Entergy Nuclear Generation Co. (a subsidiary of Entergy Corp.)
Add. : 1340 Echelon Parkway Jackson, Mississippi 39213
Tel. : +1-610-368-5548
URL or E-Mail : http://www.entergy.com
Operator : Entergy Nuclear Inc. (see Arkansas Nuclear One-1, -2)

POINT BEACH-1, -2
(ポイントビーチ原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Point Beach Nuclear Plant-1, -2
Location : Manitowoc, Wisconsin (15 miles N of Manitowoc, WI)
Mailing Address : 6610 Nuclear Road, Two Rivers, Wisconsin 54241
Tel. : +1-414-755-2321
Fax. : +1-414-
URL or E-Mail :
Owner : Wisconsin Energy Power Co. (Its principal subsidiary is Wisconsin Electric Corp.)
Add. : 231 West Michigan Street, Milwaukee, Wisconsin 53201
Tel. : +1-414-221-2896, -2345
Fax. : +1-414-221-2010
URL or E-Mail : http://www.wisenergy.com
Operator : Nuclear Management Co. (NMC)

PRAIRIE ISLAND-1, -2
(プレーリー・アイランド原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Prairie Island Nuclear Plant Unit-1, -2
Location : Welch, Minnesota (60 miles SE of Minneapolis, MN)
Mailing Address : 1717 Wakonade Dr, E (Rt. 2), Welch, Minnesota 55089
Tel. : +1-612-388-1121
Fax. : +1-612-330-5743
URL or E-Mail :
Owner : Xcel Energy (see Monticello)
Operator : Nuclear Management Co. (NMC)

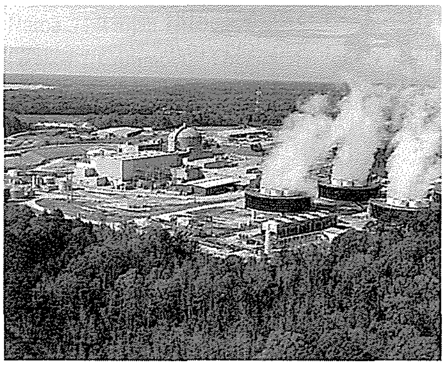
QUAD CITIES-1, -2
(クアド・シティーズ原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Quad Cities Station-1, -2
Location : Rock Island, Illinois (20 miles NE of Moline, IL)
Mailing Address : 22710 206 th Ave. North, Cordova, Illinois 61242
Tel. : +1-309-227-2000
Fax. : +1-309-227-
URL or E-Mail :
Owner : Exelon Generation Co. 75%, MidAmerican Energy Corp. 25% (see Braidwood)



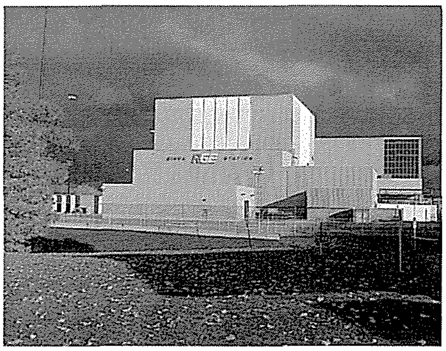
RANCHO SECO-1
(ランチョセコ原子力発電所 1 号機)
Name : Rancho Seco Nuclear Generation Station
Location : Sacramento, California (25 miles SE of Sacramento, CA)
Mailing Address : 14440 Twin Cities Road, Herald, California 95638-9799
Tel. : +1-209-333-2935
Fax. : +1-916-452-3211
URL or E-Mail :
Owner : Sacramento Municipal Utility District (AMUD)
Add. : P. O. Box 15830, 6201 S Street, Sacramento, California 52-1830
Tel. : +1-916-452-3211
Fax. : +1-916-732-6185
URL or E-Mail : http://www.smud.org

RIVER BEND-1
(リバーベンド原子力発電所 1 号機)
Name : River Bend Station-1
Location : St. Francisville, Louisiana (24 miles NNW of Baton Rouge, LA)

Mailing Address : P. O. Box 220, St. Francisville, Louisiana 70775
Tel. : +1-225-381-4240
Fax. : +1-225-381-4872
URL or E-Mail :
Owner : Entergy Gulf States, Inc.
Add. : P. O. Box 61000, New Orleans, LA 70160
Tel. : +1-504-595-3100
Fax. : +1-504-
URL or E-Mail :
Operator : Entergy Nuclear, Inc.
(see Arkansas Nuclear One-1, 2)

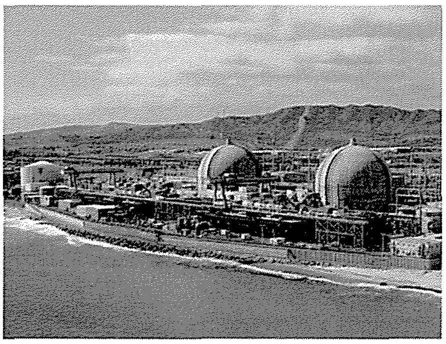


ROBERT E. GINNA
(ロバート・E・ギネイ原子力発電所)
Name : Robert E. Ginna Nuclear Power Plant
Location : Ontario Wayne, New York (on the south shore of Lake Ontario, 25 miles E of Rochester, NY)
Mailing Address : 1503 Lake Road, Ontario, New York 14519
Tel. : +1-585-771-3000
Fax. : +1-585-771-3900
URL or E-Mail :
Owner : Rochester Gas & Electric Corp.
Add. : 89 East Avenue Rochester, New York 14649
Tel. : +1-585-546-2700
Fax. : +1-585-771-4536
URL or E-Mail : http://www.rge.com



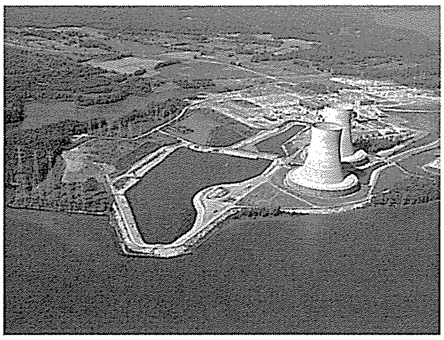
SALEM-1, -2
(セーレム原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Salem Generating Station-1, -2
Location : Salem, New Jersey (18 miles SE of Wilmington,DE)
Mailing Address : P. O. Box 236, Hancocks Bridge, New Jersey 08038
Tel. : +1-609-339-3463
Fax. : +1-609-935-2058
URL or E-Mail :
Owner : Public Service Enterprise Group (PSEG) 57.41%, Exelon Generation Co. 42.59%,
(see Hope Creek)

SAN ONOFRE-1, -2, -3
(サンオノフレ原子力発電所 1, 2, 3 号機)
Name : San Onofre Nuclear Generating Station
Location : San Diego, California
Mailing Address : P. O. Box 128, San Clemente, California 92674-0128
Tel. : +1-714-368-3000
Fax. : +1-714-368-7575
URL or E-Mail :
Owner : Southern California Edison Co. 75%, San Diege Gas & Electic Co. 20%, Anaheim Public Utilities Dept. 3.2%, Riverside Utilities Dept. 1.8%
Add. : P. O. Box 800, 2244 Walnut Grove Avenue, Rosemead, California 91770
Tel. : +1-818-302-1212
Fax. : +1-818-302-8984
URL or E-Mail : http://www.sce.com
http://www.sdge.com



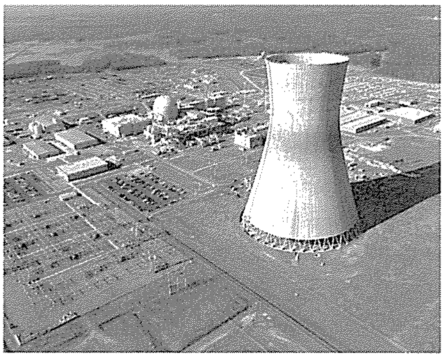
SEABROOK-1
(シーブルック原子力発電所 1 号機)
Name : Seabrook Station-1
Location : Seabrook, New Hampshire
Mailing Address : P. O. Box 300, Seabrook, New Hampshire 03874
Tel. : +1-603-773-7000
Fax. : +1-603-773-7422
URL or E-Mail :
Owner : FPL Energy Co. 88.2%, Massachusets Municipal Wholesale Electric Co. 11.6%, Taunton Electric 0.1%, Hudson Light & Power 0.1%
Add. : P. O. Box 14000, 700 Universe Blvd, Juno Beach, Florida 33408
Tel. : +1-561-694-4000
Fax. : +1-561-694-4311
URL or E-Mail : http://www.fpl.com

SEQUOYAH-1, -2
(セコヤー原子力発電所 1, 2 号機)
Name : Sequoyah Nuclear Plant-1, -2
Location : Hamilton, Tennessee (18 miles NE of Chattanooga, TN)
Mailing Address : P. O. Box 2000, Soddy Daisy, Tennessee 37379
Tel. : +1-615-843-7001
Fax. : +1-615-843-7400
URL or E-Mail :
Owner : Tennessee Valley Authority (TVA)
(see Browns Ferry)



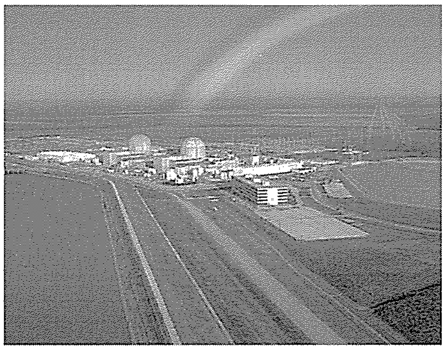
SHEARON HARRIS-1
(シアロンハリス原子力発電所 1 号機)

Name : Harris Nuclear Project-1
Location : Wake, North Carolina (20 miles SW of Raleigh, NC)
Mailing Address : P. O. Box 165, State Road 1135 New Hill, North Carolina 27562
Tel. : +1-919-362-8891
Fax. : +1-919-362-2095
URL or E-Mail :
Owner : Progress Energy 83.8% North Carolina Eastern Municipal Power Agency 16.2% (see Crystal Rirer-3)



SOUTH TEXAS PROJECT-1, -2
(サウステキサス・プロジェクト原子力発電所 1, 2 号機)

Name : South Texas Project Electric Generating Station-1, -2
Location : Matagorda, Texas (12 miles SSW of Bay City, TX)
Mailing Address : P. O. Box 289, Wadsworth 77483
Tel. : +1-512-972-7097
Fax. : +1-512-972-7073
URL or E-Mail :
Owner : Texas Genco LLC 44%, CPS Energy 40%, Austion Energy 16%
Operator : STP Nuclear Operating Co.
Add. : 12301 Kurland Dr. Houston, TX 77034
Tel. : +1-713-795-6000
Fax. :
URL or E-Mail : http://www.txgenco.com



ST. LUCIE-1, -2
(セントルーシー原子力発電所 1, 2 号機)

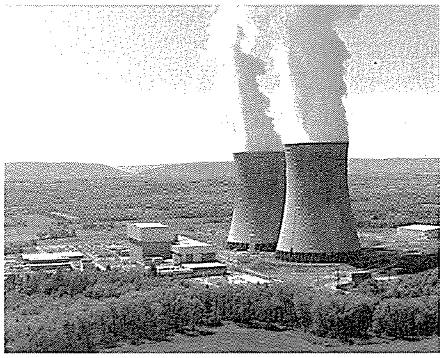
Name : St. Lucie Power Plant-1, -2
Location : Hutchinson Island St. Lucie County, Florida (8 miles S of Ft. Pierce, FL)
Mailing Address : P. O. Box 128, Fort Pierce, Florida 34954
Tel. : +1-712-465-3550
Fax. : +1-712-467-7554
URL or E-Mail :
Owner : 1; Florida Power & Light Co. (FPL) 100%
2; FPL 85.1%, Florida Municipal Power Agency 8.8%, Orlando Utilities Commission 6.1%
(see Seabrook)

SURRY-1, -2
(サリー原子力発電所 1, 2 号機)

Name : Surry Power Station-1, -2
Location : Surry, Virginia (17 miles NW of Newport News, VA)
Mailing Address : 5570 Hog Island Rd., Surry, Virginia 23883
Tel. : +1-804-357-3184
Fax. : +1-804-365-2244
URL or E-Mail :
Owner : Dominion Resources, Inc. (see Kewaunee)

SUSQUEHANNA-1, -2
(サスケハナ原子力発電所 1, 2 号機)

Name : Susquehanna Steam Electric Station -1, -2
Location : Luzerne, Pennsylvania (7 miles NE of Berwick, PA)
Mailing Address : 769 Salem Blvd. Berwick, Pennsylvania 18603
Tel. : +1-570-542-2181
Fax. : +1-570-542-1949
URL or E-Mail :
Owner : PPL 90%, Allegheny Electric Coop. 10%
Add. : Two North Ninth Street, Allentown, Pennsylvania 18101-1179
Tel. : +1-610-774-5151
Fax. : +1-610-774-5019
URL or E-Mail :
Operator : PPL Susquehanna LLC



THREE MILE ISLAND-1, -2
(スリーマイル・アイランド原子力発電所 1, 2 号機)

Name : Three Mile Island Nuclear Generating Station-1, -2
Location : Dauphin, Pennsylvania (10 miles SE of Harrisburg, PA)
Mailing Address : P. O. Box 480, Middletown, Pennsylvania 17057
Tel. : +1-717-948-8000
Fax. : +1-717-948-
URL or E-Mail :
Owner : 1; AmerGen Energy Co. (see Clinton)
2; GPU Nuclear, Inc.

TROJAN
(トロージャン原子力発電所)

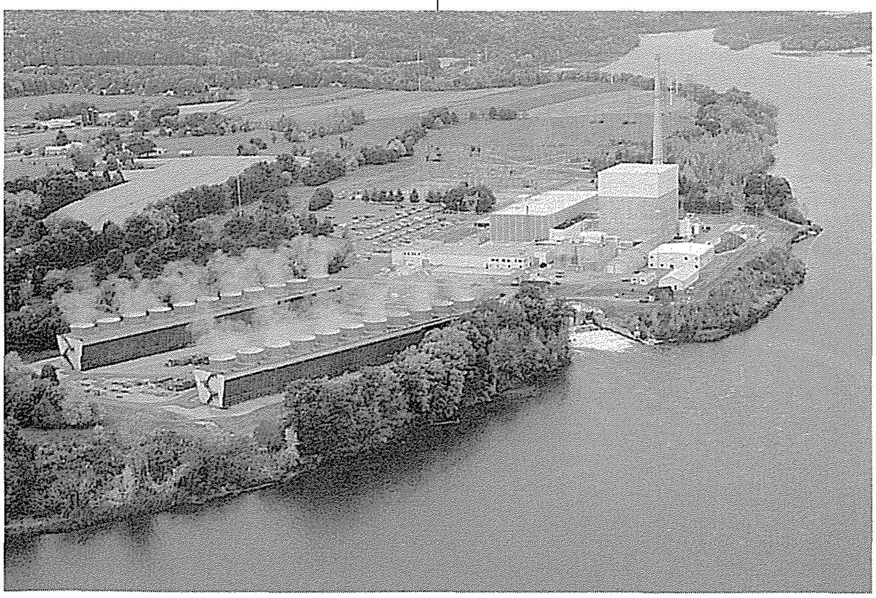
Name : Trojan Nuclear Plant
Location : Columbia, Oregon (32 miles N of Portland, OR)
Mailing Address : 71760 Columbia River Hwy, Rainier, Oregon 97048
Tel. : +1-503-556-3713
Fax. : +1-503-556-7901
URL or E-Mail :
Owner : Portland General Electric Co. 67.5%, Eugene Water & Electric Board 30%, Pennsylvania Power & Light Co. 2.5%
Add. : 121 SW Salmon Street, Portland, Oregon 97204
Tel. : +1-503-464-8000
Fax. : +1-503-778-5566
URL or E-Mail :

TURKEY POINT-3, -4
(ターキーポイント原子力発電所 3, 4 号機)

Name : Turkey Point Power Station-3, -4
Location : Florida City, Dade County, Florida (25 miles S of Miami, FL)
Mailing Address : 9760 SW 344 St. Florida City, Florida 33035
Tel. : +1-305-246-1300
Fax. : +1-305-246-6225
URL or E-Mail :
Owner : Florida Power & Light Co.
(see Seabrook)

VERMONT YANKEE
(バーモントヤンキー原子力発電所)

Name : Vermont Yankee Nuclear Power Station
Location : Vernon, Vermont (7 miles S of Brattleboro, VT)
Mailing Address : Governor Hunt Road, P. O. Box 157 Vernon, Vermont 05354
Tel. : +1-802-257-7711
Fax. : +1-802-258-5544
URL or E-Mail :
Owner : Entergy Nuclear Operations Inc.
(see Indian Point-2)



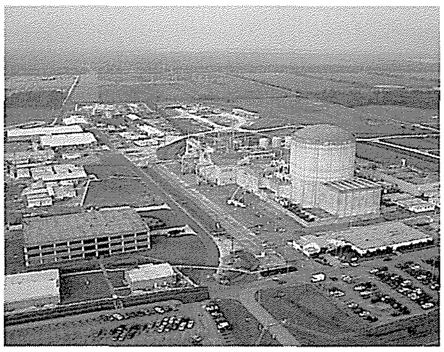
Vermont Yankee (バーモントヤンキー)

VIRGIL C. SUMMER
(バージル・C・サマー原子力発電所)

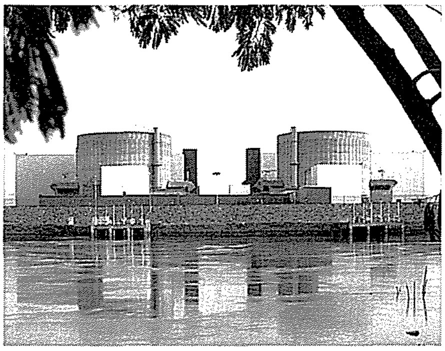
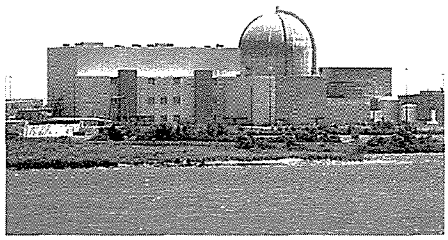
Name : Virgil C. Summer Nuclear Station
Location : Fairfield, South Carolina (26 miles NW of Columbia, SC)
Mailing Address : P. O. Box 88, Jenkinsville, South Carolina 29065
Tel. : +1-803-345-5209
Fax. : +1-803-345-4720
URL or E-Mail :
Owner : South Carolina Electric & Gas Co. 67%, Santee Cooper Power 33%
Add. : 1426 Main Street, Columbia, South Carolina 29218
Tel. : +1-803-748-3000
Fax. : +1-803-
URL or E-Mail : http://www.scana.com

WATERFORD-3
(ウォーターフォード原子力発電所 3 号機)

Name : Waterford Steam Electric Station-3
Location : St. Charles, Louisiana (20 miles W of New Orleans, LA)
Mailing Address : 17265 River Road, Killona, Louisiana 70066
Tel. : +1-504-739-6650
Fax. : +1-504-739-6303
URL or E-Mail :
Owner : Entergy Louisiana, Inc
Add. : P. O. Box 61000, New Orleans, Louisiana 70160
Tel. : +1-504-595-3100
Fax. : +1-504-
URL or E-Mail :
Operator : Entergy Nuclear, Inc.
(see Arkansas Nuclear One-1, -2)



米国
（USA）

WATTS BAR–1	WILLIAM B. MCGUIRE–1, –2	WOLF CREEK
（ワッツ・バー原子力発電所１号機） Name ：Watts Bar Nuclear Plant–1 Location ：Tennessee（7 miles SE of Spring City, TN） Mailing Address ：P. O. Box 800, Spring City, Tennessee 37381 Tel. ：+1–615–365–8767 Fax. ：+1–615–365–1924 URL or E–Mail ： Owner ：Tennessee Valley Authority（TVA）（see Browns Ferry）	（ウィリアム・B・マクガイヤー原子力発電所１，２号機） Name ：McGuire Nuclear Station–1, –2 Location ：Mecklenburg, North Carolina（17 miles N of Charlotte, NC） Mailing Address ：12700 Hagers Ferry Road, Huntersville, North Carolina 28078–8935 Tel. ：+1–704–875–4000 Fax. ：+1–704–382–4545 URL or E–Mail ： Owner ：Duke Energy Corp.（see Catawba） 	（ウルフ・クリーク原子力発電所） Name ：Wolf Creek Generating Station Location ：Coffey County, Kansas（3.5 miles NE of Burlingoton, KS） Mailing Address ：P. O. Box 411, Burlington, Kansas 66839 Tel. ：+1–620–364–8831 Fax. ：+1–620–364–4155 URL or E–Mail ： Owner ：Westar Co. 47% Kansas City Power & Light Co. 47% Kansas Electric Power Coop. 6% Add. ：1550 Oxen Lane NE Burlington, KS, 66839 URL or E–Mail ：http://www.wcnoc.com Operator ：Wolf Creek Nuclear Operating Corp. 

19. 主な核燃料サイクル施設

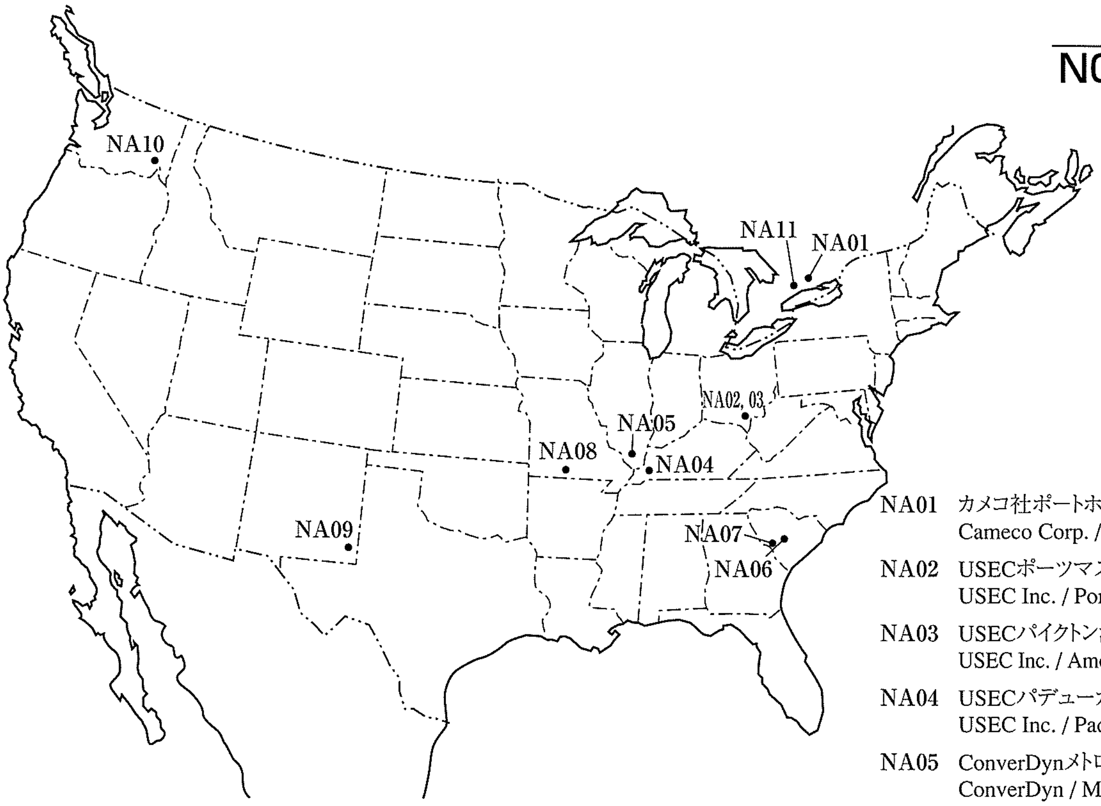
Nuclear Fuel Cycle Facilities

(Conversion, Enrichment, Fuel Fabrication, Reprocessing)

(2005年12月31日現在)
—As of December 31, 2005—

※データは，回答企業のみを掲載。
The data are limited to the answers which we have received from relevant companies.

北　米
NORTH AMERICA



NA01　カメコ社ポートホープ転換工場　C
Cameco Corp. / Port Hope Conversion Facility

NA02　USECポーツマス濃縮工場　Ed
USEC Inc. / Portsmouth Gaseous Diffusion Plant

NA03　USECパイクトン濃縮工場　Ep
USEC Inc. / American Centrifuge Plant

NA04　USECパデューカ濃縮工場　E
USEC Inc. / Paducah Gaseous Diffusion Plant

NA05　ConverDynメトロポリス工場　C
ConverDyn / Metropolis Conversion Facility

NA06　ウェスチングハウス・エレクトリック社コロンビア工場　F
Westinghouse Electric Co. / Columbia

NA07　米エネルギー省サバンナリバー・サイト(SRS)　Fp
U.S. Department of Energy (DOE) / Savannah River Site

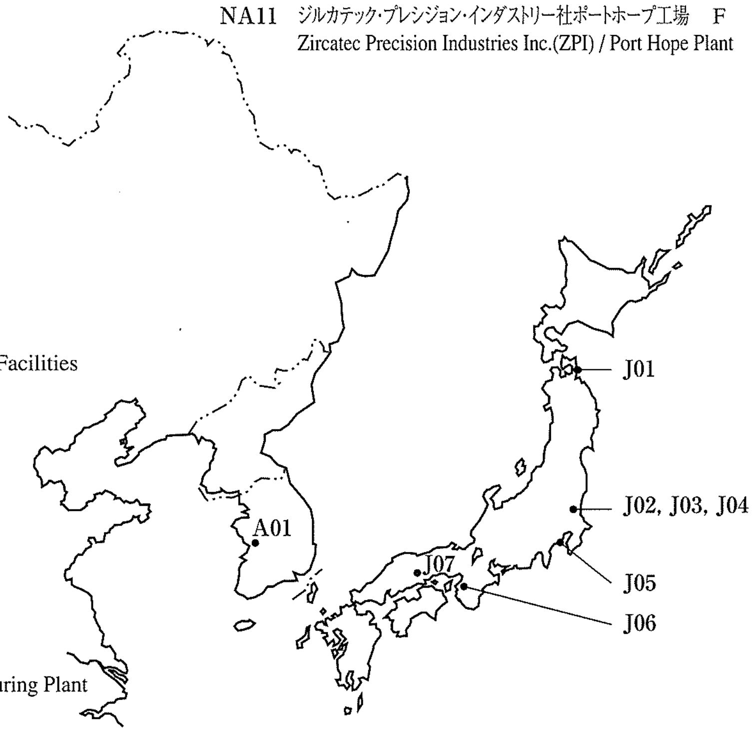
NA08　セコヤー・フュエル社セコヤー工場　Cd
Sequoyah Fuels Corp. (SFC) / Sequoyah Facility

NA09　ルイジアナ・エネルギー・サービス(LES)社National Enrichment Facility (NEF)　Ep
Louisiana Energy Services (LES) / National Enrichment Facility (NEF)

NA10　フラマトムANP社リッチランド工場　C,F
Framatome ANP Inc. / Richland Plant

NA11　ジルカテック・プレシジョン・インダストリー社ポートホープ工場　F
Zircatec Precision Industries Inc.(ZPI) / Port Hope Plant

アジア・　日本
ASIA・JAPAN



A01　韓国原子燃料会社(KNFC) C,F
Korea Nuclear Fuel Co., Ltd.

J01　日本原燃(株)六ヶ所原子燃料サイクル施設　E,Fp,Rc
Japan Nuclear Fuel Ltd. (JNFL) / Rokkasho Nuclear Fuel Cycle Facilities

J02　三菱原子燃料(株)　C,F
Mitsubishi Nuclear Fuel Co., Ltd. (MNF)

J03　(独)日本原子力研究開発機構東海事業所　F,R
Japan Atomic Energy Agency (JAEA) / Tokai Works

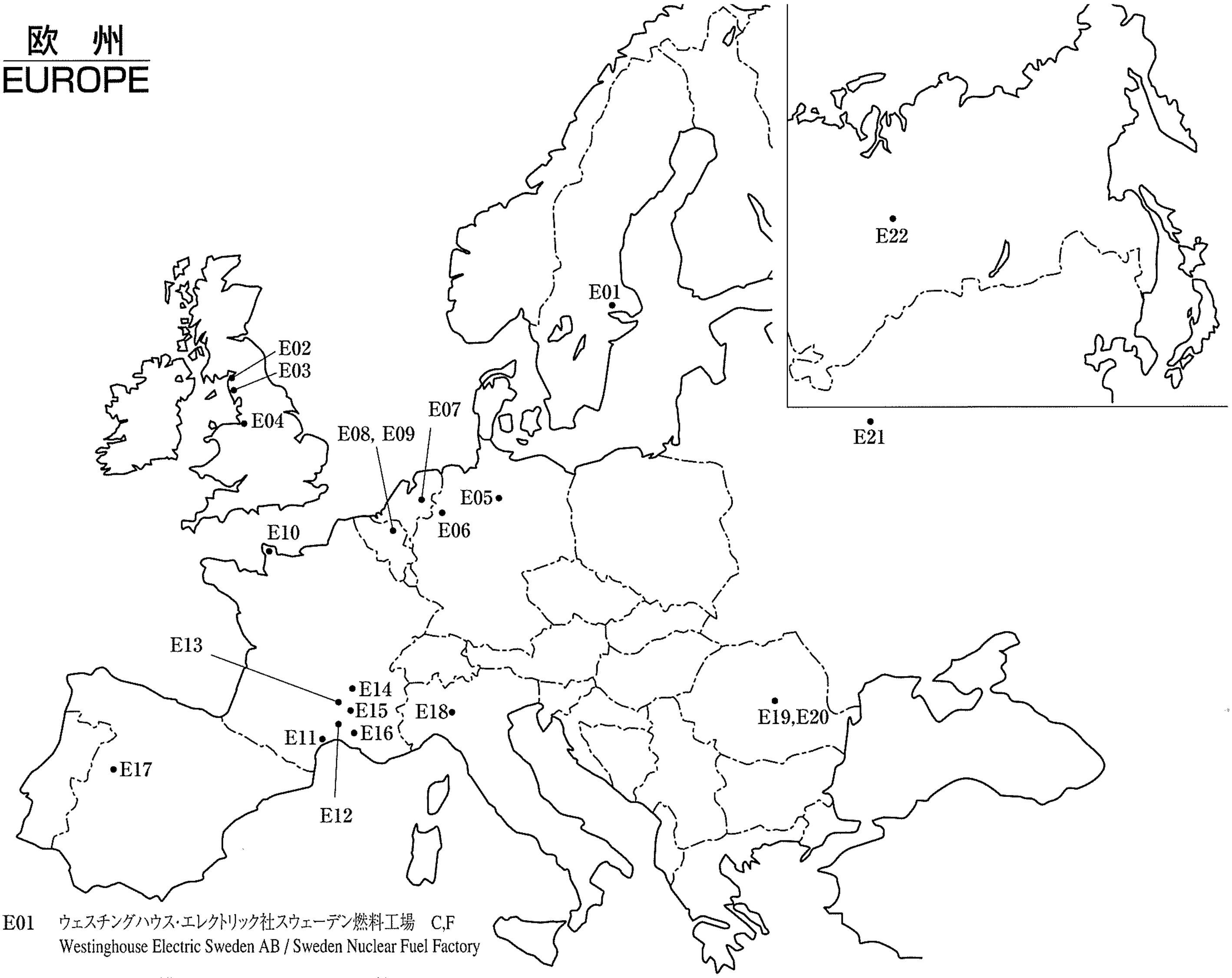
J04　原子燃料工業(株)東海事業所　F
Nuclear Fuel Industries, Ltd. (NFI) / Tokai Works

J05　(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン久里浜工場　F
Global Nuclear Fuel-Japan Co., Ltd. (GNF-J) / Kurihama Manufacturing Plant

J06　原子燃料工業(株)熊取事業所　F
Nuclear Fuel Industries, Ltd. (NFI) / Kumatori Works

J07　(独)日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター　Es, Cd
Japan Atomic Energy Agency (JAEA) / Ningyo-toge
Environment Engineering Center

欧州
EUROPE



E01　ウェスチングハウス・エレクトリック社スウェーデン燃料工場　C,F
Westinghouse Electric Sweden AB / Sweden Nuclear Fuel Factory

E02　原子力廃止措置機関セラフィールド施設　F,R
Nuclear Decommissioning Authority (NDA) / Sellafield

E03　原子力廃止措置機関スプリングフィールド施設　C,F
Nuclear Decommissioning Authority (NDA) / Springfields

E04　URENCOカーペンハースト濃縮工場　E
Urenco Ltd. / Capenhurst

E05　フラマトムANP社リンゲン燃料製造工場　C,F
Framatome ANP GmbH / Lingen Fabrication Plant

E06　URENCOグロナウ濃縮工場　E
Urenco Deutschland GmbH / Gronau

E07　URENCOアルメロ濃縮工場　E
Urenco Nederland B.V. / Almelo

E08　ベルゴニュークリア社デッセルMOX工場　F
Belgonucleaire SA / Dessel MOX Plant

E09　フラマトムANP社デッセル燃料製造工場　F
Framatome ANP SAS / Fuel Fabrication Plant of Dessel

E10　COGEMAラアーグ工場　R
COGEMA / La Hague Plant

E11　COMURHEXマルベシ工場　C
COMURHEX / Malvési Plant

E12　COMURHEXピエールラット工場　C
COMURHEX / Pierrelatte Plant

E13　フラマトムANP社FBFCロマンス工場　C,F
Framatome ANP SAS / FBFC Romans

E14　EURODIFトリカスタン工場　E
EURODIF SA / EURODIF Tricastin Plant

E15　MELOX工場　F
MELOX / MELOX Plant

E16　COGEMAカダラッシュ工場　F
COGEMA / Cadarache Plant

E17　ENUSAフズバド工場　F
ENUSA Industrias Avanzadas S.A. / Juzbado

E18　FN社ボスコマレンゴ工場　Fd
FN S.p.A / Impianto di Bosco Marengo

E19　SNニュークリアエレクトリカ社燃料製造工場　F
S.N. Nuclearelectrica SA / Fabrica de Combustibil Nuclear

E20　ルーマニア国営ウラン公社フェルディオアラ工場　C
CNU S.A. / Sucursala Feldioara

E21　TVELエレクトロスタル工場　F
JSC TVEL / MSZ, Electrostal

E22　TVELノボシビルスク工場　F
JSC TVEL / NCCP, Novosibirsk

	運転中 OP	建設中 UC	計画中 PL	休止 SP	閉鎖 CD
転換（Conversion）	C	Cc	Cp	Cs	Cd
濃縮（Enrichment）	E	Ec	Ep	Es	Ed
燃料製造（Fuel fabrication）	F	Fc	Fp	Fs	Fd
再処理（Reprocessing）	R	Rc	Rp	Rs	Rd

回答企業のデータのみを掲載。
The data are limited to the answers which we have received from relevant companies.

転換　CONVERSION

状況	運転者	施設	原料	製品	年間転換能力 (tU/y)	2005年の転換実績	営業運転 (年月日)	所有者および所有比率	所在地住所	国	URL	備考
OP	Cameco Corp.	Port Hope Conversion Facility	UO_3	UF_6+UO_2	12,500 UF_6／2,800 UO_2		1970	Cameco 100%	1 Eldorado Place, Port Hope, Ontario, L1A 3A1	Canada	http://www.cameco.com/	1935-began to produce radium
OP	Compania Natională a Uraniului S. A.	Sucursala Feldioara	U_3O_8	UO_2	300 tU		1978	100% State Owned	Str. Dumbrăvii Nr.1, Code 3011, Feldioara, Jud. Brasov	Romania	http://www.cnu.ro/	
OP	COMURHEX	Malvési Plant	U Conc.	UF_4	14,000		1963	COGEMA 100%	Usine de Malvési, BP 222, 11102 Narbonne Cedex	France	http://www.cogema.fr/	
OP	COMURHEX	Pierrelatte Plant	UF_4	UF_6	14,000		1963	COGEMA 100%	BP 29, 26701 Pierrelatte Cedex	France	http://www.cogema.fr/	
OP	COMURHEX	Pierrelatte Plant	Reprocessed U	UF_6	340		1963	COGEMA 100%	BP 29, 26701 Pierrelatte Cedex	France	http://www.cogema.fr/	
OP	ConverDyn	Metropolis Conversion Facility	U_3O_8	UF_6	12,700	11,000	1958	Honeywell Inti. Inc. 100%	Route 45 North, P.O.Box 430, Metropolis IL 62960	U.S.A.	http://www.honeywell.com/	Production in 2006 is expected to exceed 12,000 mtU/UF 6.
OP	Framatome ANP GmbH	Lingen Fabrication Plant	UF_6	UO_2	400		1974	Framatome ANP 100%	Am Seitenkanal 1, Postfach 1465, D-49784 Lingen (EMS)	Germany	http://www.framatome-anp.com/	
OP	Framatome ANP Inc.	Richland Fuel Fabrication Plant	UF_6	UO_2	1,200		1972	Framatome ANP 100%	2101 Horn Rapids Rd, Richland, WA	U.S.A.	http://www.framatome-anp.com/	
OP	Framatome ANP SAS	FBFC Romans	UF_6	UO_2	1,200		1974	Framatome ANP 100%	Les Bérauds-Zone industrille, BP 1114, F-26104 Romans Cedex	France	http://www.framatome-anp.com/	
OP	KEPCO Nuclear Fuel Co., Ltd. (KNFC)	Uranium Reconversion Facility	UF_6	UO_2	400		1990.3.1	KNFC 100%	493 Deokjin-dong, Yuseong-gu, Daejeon 305-353	Korea	http://www.knfc.co.kr/	
OP	Mitsubishi Nuclear Fuel Co., Ltd. (MNF)	MNF	UF_6	UO_2	450		1972.11.1	MNF 100% (MMC 66%／MHI 34%)	622-1 Funaishikawa, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken, 319-1197	Japan	http://www.mnf.co.jp/	
OP	Springfields Fuels Ltd.	Springfields (Hex Conversion)	Ore	UF_6	6,000		1993.3	NDA 100%	Salwick, Preston, Lancashire, PR 40 XJ	UK	http://www.nda.gov.uk/Home_(1).aspx?pg=/	
OP	Springfields Fuels Ltd.	Springfields (UO_2 Conversion)	UF_6	UO_2	710		1993.3	NDA 100%	Salwick, Preston, Lancashire, PR 40 XJ	UK	http://www.nda.gov.uk/Home_(1).aspx?pg=/	
CD	Japan Atomic Energy Agency (JAEA)	Ningyo-toge Environment Engineering Center	UO_3	UF_6	120		1988.8	JAEA 100%	1550 Kamisaibara-Kagamino-tyo, Tomata-gun, Okayama-ken, 708-0698	Japan	http://www.jaea.go.jp/	CD. 1999.7.29
CD	Sequoyah Fuels Corp. (SFC)	Sequoyah Facility	U_3O_8	UF_6			1970.2	General Atomics 100%	PO Box 610, Gore, OK 14435	U.S.A.		CD. 1993.2.16
Status	Company Name	Plant Name	Feed	Product	Capacity (tU/y)	2005 Actual Achievement	Start of Commercial Op.	Owner(s) & Share(s)	Address	Country	URL	Remarks

濃縮　ENRICHMENT

状況	運転者	施設	濃縮プロセス	年間濃縮能力 (tSWU/y)	2005年の濃縮実績	営業運転 (年月日)	所有者および所有比率	所在地住所	国	URL	備考
OP	EURODIF SA	EURODIF Tricastin Plant (Georges Besse)	Gaseous Diffusion	10,800		1979	COGEMA 44.7%, SOFIDIF (COGEMA 60%, OEAI 40%) 25%, ENUSA 11.1%, Synatom 11.1%, Enea 8.1%	Usine Georges-Besse, BP 175, 26702 Pierrelatte Cedex	France		
OP	Japan Nuclear Fuel Ltd. (JNFL)	Rokkasho Nuclear Fuel Cycle Facilities (Uranium Enrichment Plant)	Gas Centrifuge	1,050		1992.3.27	JNFL 100%	Oaza-Obuchi, Rokkasho-mura, Kamikita-gun, Aomori-ken, 039-3212	Japan	http://www.jnfl.co.jp/	
OP	Urenco (Capenhurst) Ltd.	Capenhurst	Gas Centrifuge	3,100		1972	Urenco Ltd. 100%	Capenhurst Works, Capenhurst, Cheshire, CH 1 6ER	UK	http://www.urenco.com/	
OP	Urenco Deutschland GmbH	Gronau	Gas Centrifuge	1,700		1985	Urenco Ltd. 100%	Betrieb Gronau, Postfach 1920, 48580 Gronau	Germany	http://www.urenco.com/	
OP	Urenco Nederland B.V.	Almelo	Gas Centrifuge	2,500		1972	Urenco Ltd. 100%	Postbus 158, Planthofsweg 77, 7600 AD Almelo	The Netherlands	http://www.urenco.com/	
OP	USEC Inc.	Paducah Gaseous Diffusion Plant	Gaseous Diffusion	11,300	Around 5,000	Mid 1960's	DOE 100% (Leased to USEC)	Paducah, Kentucky 42001	U.S.A.	http://www.usec.com/	
PL	Louisiana Energy Services (LES)	National Enrichment Facility	Gas Centrifuge	3,000		Around 2008	Urenco Ltd. 70.5%, Westinghouse Electric Co. 19.5%, US Utilities (Entergy, Duke Energy, Exelon) 10%	Near Eunice, Lea County, New Mexico	U.S.A.	http://www.nefnm.com/	
PL	USEC Inc.	American Centrifuge Plant	Gas Centrifuge	3,500		Up to 2010	USEC 100%	Piketon, Ohio 45661	U.S.A.	http://www.americancentrifuge.com/	
Status	Company Name	Plant Name	Enrichment Process	Capacity (tSWU/y)	2005 Actual Achievement	Start of Commercial Op.	Owner(s) & Share(s)	Address	Country	URL	Remarks

状況/Status : OP(In Operation・運転中), UC(Under Construction・建設中), PL(Planned・計画中), SP(Suspended・休止), CD(Closed Down・閉鎖)

濃縮（続き） ENRICHMENT（Continued）

状況	運転者	施設	濃縮プロセス	年間濃縮能力 (tSWU/y)	2005年の濃縮実績	営業運転（年月日）	所有者および所有比率	所在地住所	国	URL	備考
SP	Japan Atomic Energy Agency（JAEA）	Ningyo-toge Environment Engineering Center	Gas Centrifuge	100		1988.4.25	JAEA 100%	1550 Kamisaibara-Kagamino-tyo, Tomata-gun, Okayama-ken, 708-0698	Japan	http：//www.jaea.go.jp/	SP. 2001.3.23
CD	USEC Inc.	Portsmouth Gaseous Diffusion Plant	Gaseous Diffusion	7,400		Mid 1960's	DOE 100%（Leased to USEC）	Piketon, Ohio 45661	U.S.A.	http：//www.usec.com/	CD. 2001.6
Status	Company Name	Plant Name	Enrichment Process	Capacity (tSWU/y)	2005 Actual Achievement	Start of Commercial Op.	Owner(s) & Share(s)	Address	Country	URL	Remarks

燃料製造 FUEL FABRICATION

状況	運転者	施設	燃料の種類	年間製造能力 (tHM/y)	2005年の製造実績	営業運転（年月日）	所有者および所有比率	所在地住所	国	URL	備考
OP	Belgonucleaire SA	Dessel MOX Plant	MOX	38		1986	TBL-EBL 50%／SCK-CEN 50%	Europalaan 20, B-2480 Dessel	Belguim	http：//www.belgonucleaire.be/	
OP	British Nuclear Group Sellafield Ltd.	Sellafield（MOX Plant）	MOX	120		1999	NDA 100%	Seascale, Cumbria, CA20 1PG	UK	http：//www.nda.gov.uk/Home_(1).aspx?pg=/	
OP	COGEMA	The Cadarache Production Complex（CFCa）	MOX for PWR & BWR	40		1991	COGEMA 100%	Cadarache, BP 33, 13115 Saint-Paul-Lez Durance	France	http：//www.cogema.fr/	Production of MOX fuel rods stopped in July 2003.
OP	ENUSA Industrias Avanzadas, S. A.	Juzbado	PWR, VVER, BWR, Gadolinio	400	250	1985	Sociedad Estatal de Participaciones Industriales(60%)／Centro de Investigaciones Energéticas, Medioambientales y Tecnológicas(40%)	Carretera de Salamanca a Ledesma, km.26, 37080 Juzbado（SALAMANCA）	Spain	http：//www.enusa.es/	
OP	Framatome ANP Inc.	Richland Fuel Fabrication Plant	PWR, BWR	700		1972	Framatome ANP 100%	2101 Horn Rapids Rd, RichLand, WA	U.S.A.	http：//www.framatome-anp.com/	
OP	Framatome ANP GmbH	Lingen Fabrication Plant	PWR, BWR	650		1979.1	Framatome ANP 100%	Am Seitenkanal 1, Postfach 1465, D-49784 Lingen（EMS）	Germany	http：//www.framatome-anp.com/	
OP	Framatome ANP SAS	Fuel Fabrication Plant of Dessel	MOX for PWR	500 tU		1960	Framatome ANP 100%	Europalaan 12, B-2480 Dessel	Belguim	http：//www.framatome-anp.com/	
OP	Framatome ANP SAS	Fuel Fabrication Plant of Dessel	MOX for BWR	100 tU		1960	Framatome ANP 100%	Europalaan 12, B-2480 Dessel	Belguim	http：//www.framatome-anp.com/	
OP	Framatome ANP SAS	Fuel Fabrication Plant of Dessel	UO_2/Gd_2O_3 Pellets	30 tU		1999	Framatome ANP 100%	Europalaan 12, B-2480 Dessel	Belguim	http：//www.framatome-anp.com/	
OP	Framatome ANP SAS	FBFC Romans	PWR	820 tU		1974	Framatome ANP 100%	Les Bérauds-Zone industrille, BP 1114, F-26104 Romans Cedex	France	http：//www.framatome-anp.com/	
OP	Global Nuclear Fuel-Japan Co., Ltd.（GNF-J）	Kurihama Manufacturing Plant	BWR	750 tU	245	1970.9	GE 60%／Hitachi 20%／Toshiba 20%	2-3-1 Uchikawa, Yokosuka-shi, Kanagawa-ken, 239-0836	Japan	http：//www.gnfjapan.com/	
OP	Japan Atomic Energy Agency（JAEA）	Plutonium Fuel Fabrication Facility（PFFF）	MOX	10 tMOX	0	1972	JAEA 100%	4-33 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken, 311-1194	Japan	http：//www.jaea.go.jp/	
OP	Japan Atomic Energy Agency（JAEA）	Plutonium Fuel Production Facility（PFPF）	MOX for FBR	5 tMOX	0	1988	JAEA 100%	4-33 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken, 311-1194	Japan	http：//www.jaea.go.jp/	
OP	JSC TVEL	JSC "Mashinostroitelny Zavod"（MSZ), Electrostal	Powder, Pellets UF_6/UO_2	800		1996	JSC TVEL 100%	12 Karl Marx Str., Moscow Region, Electrostal, 144001	Russian Federation	http：//www.tvel.ru/	
OP	JSC TVEL	JSC "Mashinostroitelny Zavod"（MSZ), Electrostal	VVER-440	500		1953	JSC TVEL 100%	12 Karl Marx Str., Moscow Region, Electrostal, 144001	Russian Federation	http：//www.tvel.ru/	
OP	JSC TVEL	JSC "Mashinostroitelny Zavod"（MSZ), Electrostal	VVER-1000	120		1953	JSC TVEL 100%	12 Karl Marx Str., Moscow Region, Electrostal, 144001	Russian Federation	http：//www.tvel.ru/	
OP	JSC TVEL	JSC "Mashinostroitelny Zavod"（MSZ), Electrostal	RBMK	900		1953	JSC TVEL 100%	12 Karl Marx Str., Moscow Region, Electrostal, 144001	Russian Federation	http：//www.tvel.ru/	
OP	JSC TVEL	JSC "Mashinostroitelny Zavod"（MSZ), Electrostal	BN-600	50		1953	JSC TVEL 100%	12 Karl Marx Str., Moscow Region, Electrostal, 144001	Russian Federation	http：//www.tvel.ru/	
OP	JSC TVEL	JSC"Novosibirsk Chemical Concentrates Plant"（NCCP）	VVER-1000	1,000		1949	JSC TVEL 100%	94 Bogdan Khmelnitski Str., Novosibirsk-110, 630110	Russian Federation	http：//www.tvel.ru/	
OP	JSC TVEL	JSC"Novosibirsk Chemical Concentrates Plant"（NCCP）	Pellets for VVER-1000	100		1999	JSC TVEL 100%	94 Bogdan Khmelnitski Str., Novosibirsk-110, 630110	Russian Federation	http：//www.tvel.ru/	
Status	Company Name	Plant Name	Fuel Type	Capacity (tHM/y)	2005 Actual Achievement	Start of Commercial Op.	Owner(s) & Share(s)	Address	Country	URL	Remarks

状況/Status：OP(In Operation・運転中), UC(Under Construction・建設中), PL(Planned・計画中), SP(Suspended・休止), CD(Closed Down・閉鎖)

燃料製造（続き） FUEL FABRICATION（Continued）

状況	運 転 者	施 設	燃料の種類	年間製造能力 (tHM/y)	2005 年の製造実績	営業運転 (年月日)	所有者および所有比率	所 在 地 住 所	国	URL	備 考
OP	KEPCO Nuclear Fuel Co., Ltd. (KNFC)	PHWR Fuel Fabrication Plant	PHWR	400 tU		1998.1.1	KNFC 100%	493 Deokjin-dong, Yuseong-gu, Daejeon 305-353	Korea	http://www.knfc.co.kr/	
OP	KEPCO Nuclear Fuel Co., Ltd. (KNFC)	PWR Fuel Fabrication Plant	PWR	400 tU		1980.1.1	KNFC 100%	493 Deokjin-dong, Yuseong-gu, Daejeon 305-353	Korea	http://www.knfc.co.kr/	
OP	MELOX	MELOX Plant	MOX for PWR & BWR	145		1995	COGEMA 50% Framatome ANP 50%	BP 93 124 30 203 Bagnols-sur-Ceze Cedex	France	http://www.cogema.fr/	
OP	Mitsubishi Nuclear Fuel Co., Ltd. (MNF)	MNF	PWR	440 tU		1972.11.1	MNF 100% (MMC 66%／MHI 34%)	622-1 Funaishikawa, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken, 319-1197	Japan	http://www.mnf.co.jp/	
OP	Nuclear Fuel Industries, Ltd. (NFI)	Kumatori Works	PWR	284 tU		1975.8.16	NFI 100%	950, Asashironishi 1-chome, Kumatori-cho, Sennan-gun, Osaka-fu, 590-0481	Japan	http://www.nfi.co.jp/	
OP	Nuclear Fuel Industries, Ltd. (NFI)	Tokai Works	BWR	250 tU		1980.1.14	NFI 100%	3135-41 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken, 319-1196	Japan	http://www.nfi.co.jp/	
OP	S. N. Nuclearelectrica SA	Fabrica de Combustibil Nuclear	PHWR（CANDU-6）	200 tU		1995.1.1	S. N. Nuclearelectrica SA 100%	Str. Câmpului Nr.1, Code 0402, Mioveni, jud. Arges	Romania		
OP	Westinghouse Electric Sweden AB	Westinghouse Sweden Nuclear Fuel Factory	BWR & PWR	500 tU		1969	Westinghouse Electric Co. (Owned and operated by BNFL) 100%	SE-721 63, Västerås	Sweden	http://www.westinghousenuclear.com/	
OP	Westinghouse Electric Co.	Columbia	PWR & BWR	1,350 tU		1969	Westinghouse Electric Co. (Owned and operated by BNFL) 100%	P. O. Drawer R, Columbia, SC 29250	U.S.A.	http://www.westinghousenuclear.com/	
OP	Springfields Fuels Ltd.	Springfields（Magnox Plant）	Magnox	1,000	444 tU	1960	NDA 100%	Salwick, Preston, Lancashire, PR4 0XJ	UK	http://www.nda.gov.uk/Home_(1).aspx?pg=/	
OP	Springfields Fuels Ltd.	Springfields（Oxide Fuels Complex）	AGR	290	199 tU	1995.8	NDA 100%	Salwick, Preston, Lancashire, PR4 0XJ	UK	http://www.nda.gov.uk/Home_(1).aspx?pg=/	
OP	Zircatec Precision Industries Inc.	Port Hope	CANDU	1,200		1957.1.1		200 Dorset St. E., Port Hope, Ontario Canada L 1 A 3 V 4	Canada	http://www.zircatec.ca/	
PL	Japan Nuclear Fuel Ltd.（JNFL）	Rokkasho Nuclear Fuel Cycle Facilities（MOX Fuel Fabrication Plant）	MOX for PWR & BWR	130（max.）		2012.4	JNFL 100%	Oaza-Obuchi, Rokkasho-mura, Kamikita-gun, Aomori-ken, 039-3212	Japan	http://www.jnfl.co.jp/	
PL	U.S. Department of Energy (DOE)	Savannah River Site（SRS）	MOX				DOE 100%	Aiken, South Carolina 29802	U.S.A.	http://www.srs.gov/	
CD	FN S.p.A-Nuove Technologie e Servizi Avanzati	Impianto di Bosco Merengo	PWR & BWR	100		1973	ENEA 98.66%／Fiat Avio 1.28%／Finmeccanica 0.06%	SS 35 Bis dei Giovi-KM.15 P.O.Box 16-I 15062 Bosco Marengo	Italy		CD 1996.7.30
CD	Westinghouse Electric Co.	Springfields（Oxide Fuels Complex）	LWR	200		1996.10	Westinghouse Electric Co. (Owned and operated by BNFL) 100%	Salwick, Preston, Lancashire, PR4 0XJ	UK	http://www.westinghousenuclear.com/	CD 1999
CD	Westinghouse Electric Co.	Springfields（AGR）	AGR	300		1968	Westinghouse Electric Co. (Owned and operated by BNFL) 100%	Salwick, Preston, Lancashire, PR4 0XJ	UK	http://www.westinghousenuclear.com/	CD 1999
Status	Company Name	Plant Name	Fuel Type	Capacity (tHM/y)	2005 Actual Achievement	Start of Commercial Op.	Owner(s) & Share(s)	Address	Country	URL	Remarks

再処理 REPROCESSING

状況	運 転 者	施 設	燃料の種類	年間製造能力 (tHM/y)	2005 年の再処理実績	営業運転 (年月日)	所有者および所有比率	所 在 地 住 所	国	URL	備 考
OP	British Nuclear Group Sellafield Ltd.	Sellafield（Magnox Reprocessing Plant）	Magnox	1,500		1964.1	NDA 100%	Seascale, Cumbria, CA20 1PG	UK	http://www.nda.gov.uk/Home_(1).aspx?pg=/	
OP	COGEMA	La Hague Plant	Oxide (PWR & BWR)	1,700		1966	COGEMA 100%	50 444 Beaumont Hague Cedex	France	http://www.bnfl.com/	
OP	Japan Atomic Energy Agency（JAEA）	Tokai Reprocessing Plant（TRP）	BWR & PWR, ATR	120	40 t	1981.1.17	JAEA 100%	4-33 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken, 311-1194	Japan	http://www.jaea.go.jp/	
SP	British Nuclear Group Sellafield Ltd.	Sellafield（Thorp）	Oxide (AGR & LWR)	900		1994.3	NDA 100%	Seascale, Cumbria, CA20 1PG	UK	http://www.nda.gov.uk/Home_(1).aspx?pg=/	SP 2005.4
UC	Japan Nuclear Fuel Ltd.（JNFL）	Rokkasho Nuclear Fuel Cycle Facilities（Reprocessing Plant）	Oxide	800		2007.8	JNFL 100%	Oaza-Obuchi, Rokkasho-mura, Kamikita-gun, Aomori-ken, 039-3212	Japan	http://www.jnfl.co.jp/	
Status	Company Name	Plant Name	Reprocessing Fuel Type	Capacity (tHM/y)	2005 Actual Achievement	Start of Commercial Op.	Owner(s) & Share(s)	Address	Country	URL	Remarks

状況/Status : OP(In Operation・運転中), UC(Under Construction・建設中), PL(Planned・計画中), SP(Suspended・休止), CD(Closed Down・閉鎖)

世界の原子力発電開発の動向　2005年次報告

―2005 年 12 月 31 日現在―

頒価 9,200 円（会員頒価 4,600 円，送料込）

平成 18 年 5 月 26 日　発行

編集発行　（社）日本原子力産業協会©

〒105-8605　東京都港区新橋2－1－3
新橋富士ビル
電　話　03-6812-7103
U R L　http://www.jaif.or.jp

印　刷　三美印刷株式会社

世界の
原子力発電
開発の動向